

感染症発生動向調査事業報告書

平成30年（2018年）

序

感染症発生動向調査事業は、感染症発生状況の把握・分析、情報提供による感染症の発生及びまん延防止を目的として行われており、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に基づく事前対応型の感染症対策として位置づけられています。

東京都健康安全研究センターでは、所内に東京都感染症情報センターを設置し、一類感染症から五類感染症および新型インフルエンザ等のうち全症例の届出が義務付けられている疾患や、定点医療機関からの届出対象となる五類感染症等について、都内の発生状況や病原体の検出状況等を迅速に把握し、解析・評価を行ったうえで都民や医療機関等に情報提供を行っています。

さて、2018年は夏季より全国的に20-50代男性を中心とした風しんの国内感染例が急増し、都内においても、年間約50件であったところ、昨年は947人の風しん患者の報告がありました。これは2012-2013年の流行に次ぐもので現在も引き続き、多くの患者報告があります。このような状況を鑑み、都内の各自治体ではワクチン接種率の向上にむけた啓発や費用助成の取り組みが行われています。また、国はこれまで風しんワクチンを接種する機会がなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性（現在40~57歳）の風しんの免疫を十分に持たないものを対象に定期接種を行うことを決定し、すでに都内の区市町村では接種が始まっております。東京都は毎年麻しん風しん対策検討委員会を開催し、発生動向に加え、各自治体の取り組み状況の把握や好事例の共有を通じて効果的な対策の検討を行って参りましたが、引き続き早期終息に向け一層の取り組みが求められます。

また、2018年1月1日からは百日咳が全数報告疾患になり、都内でも予想を超える2,434件の報告がありました。約半数は10歳未満でしたが、その多くは百日咳含有ワクチンを規定回数接種していました。また、患者の約1/4は成人でありいずれも国内感染例が大部分を占めていました。患者届出数が多い背景には新たな検査法の導入による診断精度の向上もありますが、今後はより効果的な予防策の検討が必要になると思われます。

本報告書は、東京都感染症予防検討委員会における2018年の感染症発生情報の評価や予防策の検討の結果をまとめたものです。各疾患の発生動向につきまして、「小児科・内科疾患（インフルエンザ）」と「基幹定点における疾患」は長岡常雄委員長に、「眼科疾患」は井上賢治委員に執筆をお願いしました。また、「一、二、三、四、五類感染症（全数届出）」及び「性感染症」につきましては当センターの疫学情報担当が、「病原体情報」につきましては同じく微生物部が担当しました。

末筆になりましたが、感染症発生動向調査事業にご協力くださいました東京都医師会、定点医療機関および保健所等の関係者の皆様方に厚く御礼を申し上げます。

関係各位におかれましては、感染症対策の一助として本書を広くご活用くださいますようお願い申し上げます。

令和元年7月

東京都健康安全研究センター所長 吉村 和久

目 次

第1章 東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

東京都感染症発生動向調査事業報告	3
1 発生動向調査の概略	
(1) 調査対象疾患	4
(2) 定点医療機関	4
表1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数	4
(3) 運営方法	4
(4) 情報発信	5
2 本年（2018年）の概況	
(1) 一～四類、五類（全数把握対象）	5
(2) 五類感染症（定点把握対象）	7
(3) 疑似症（法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）	9
表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（一～四類、五類全数）	10
表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（全数動物）	11
表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（インフルエンザ定点・小児科定点）	12
表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（眼科定点）	13
表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（基幹定点週報告分）	13
表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（基幹定点月報告分）	14
表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（性感染症定点）	14
表2-7 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数（疑似症定点）	14
3 各疾患の動向	
(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）	15
ア 一類感染症	15
イ 二類感染症	15
ウ 三類感染症	15
エ 四類感染症	19
オ 五類感染症（全数把握対象）	24
表3-1 一、二、三類、四類、五類（全数把握）感染症 週別患者報告数	41
表3-2 一、二、三類、四類、五類（全数把握）感染症 保健所別患者報告数	44
表3-3 一、二、三類、四類、五類（全数把握）感染症 年齢階級別患者報告数	47
(2) 小児科・内科疾患	
ア インフルエンザ	50
イ R S ウイルス感染症	51
ウ 咽頭結膜熱	52

エ	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53
オ	感染性胃腸炎	54
カ	水痘	55
キ	手足口病	56
ク	伝染性紅斑	57
ケ	突発性発しん	58
コ	ヘルパンギーナ	59
サ	流行性耳下腺炎	60
シ	不明発しん症	61
ス	川崎病	62
(3) 眼科疾患		
ア	急性出血性結膜炎	63
イ	流行性角結膜炎	64
(4) 基幹定点医療機関における週報告疾患		
ア	細菌性髄膜炎	65
イ	無菌性髄膜炎	66
ウ	マイコプラズマ肺炎	67
エ	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	68
オ	感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）	69
カ	インフルエンザ入院	70
(5) 基幹定点医療機関における月報告疾患		
ア	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症	71
イ	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	72
ウ	薬剤耐性緑膿菌感染症	73
(6) 性感染症		
ア	性器クラミジア感染症	74
イ	性器ヘルペスウイルス感染症	75
ウ	尖圭コンジローマ	76
エ	淋菌感染症	77
オ	膣トリコモナス症	78
表 4-1	週別患者報告数	79
表 4-2	週別定点当たり患者報告数	81
表 5-1	保健所別患者報告数	83
表 5-2	保健所別定点当たり患者報告数	85
表 6	年齢階級別患者報告数	87
表 7-1	二次医療圏別患者報告数	88
表 7-2	二次医療圏別定点当たり患者報告数	89

表 8-1	月別患者報告数（基幹）	90
表 8-2	月別定点当たり患者報告数（基幹）	90
表 8-3	月別・性別患者報告数（基幹）	90
表 8-4	性別・年齢階級別患者報告数（基幹）	91
表 9-1	月別患者報告数（性感染症）	91
表 9-2	月別定点当たり患者報告数（性感染症）	91
表 9-3	月別・性別患者報告数（性感染症）	92
表 9-4	月別・性別定点当たり患者報告数（性感染症）	92
表 9-5	保健所別、二次医療圏別患者報告数（性感染症）	93
表 9-6	保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数（性感染症）	94
表 9-7	年齢階級別患者報告数（性感染症）	95
表 10	検査結果別報告数（基幹）	95
表 11	疑似症サーベイランス報告数	96

第2章 東京都感染症発生動向調査事業における病原体情報

1 ウイルス検査結果

(1) 小児科・内科・基幹病原体定点医療機関からの搬入検体

ア	インフルエンザ	100
イ	RSウイルス感染症	104
ウ	咽頭結膜熱	105
エ	感染性胃腸炎	106
オ	水痘	107
カ	手足口病	108
キ	伝染性紅斑	109
ク	突発性発しん	109
ケ	ヘルパンギーナ	110
コ	流行性耳下腺炎	111
サ	不明発しん症	112
シ	川崎病	114
ス	無菌性髄膜炎	114
(2)	眼科病原体定点医療機関からの搬入検体	115
(3)	性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体	115
(4)	積極的疫学調査による搬入検体	116

2 細菌検査結果

(1)	三類感染症の病原体検索	118
-----	-------------	-----

(2) 四類感染症の病原体検索	118
(3) 五類感染症（全数把握対象）の病原体検索	118
(4) 五類感染症（定点把握対象）の病原体検索	119
(5) 性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体	120

第3章 資料

1 東京都感染症発生動向調査定点医療機関名簿	125
2 東京都感染症予防検討委員会委員名簿	141
3 東京都感染症発生動向調査事業の流れ	142
東京都感染症発生動向調査事業実施要綱	143
別表1 感染症法に基づく感染症の分類	
1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び指定感染症	152
2 五類感染症（全数把握）	153
3 新型インフルエンザ等感染症	154
4 五類感染症（定点把握）	154
5 疑似症	154
別表2 五類感染症（定点把握）の調査単位と報告時期	155
別表3 疑似症の調査単位と報告時期	156
別記様式一覧表	157
別記様式1	158
別記様式2	159
別記様式3	160
別記様式8	161
別記様式11	163
別記様式74	165

第 1 章

東京都感染症発生動向調査事業における患者情報

東京都感染症発生動向調査事業報告

2018 年

(2018 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 30 日)

2018 年は風しんの大きな流行がありました。16 週から 29 週にかけては週に 1～2 人の散発的な報告数でしたが、30 週には 4 人となりその後増加を続け 42 週には 91 人とピークとなり以降は減少したものの、週当たり 20～30 人の報告が続いています。2018 年は合計で 947 人の報告数になり、2008 年に定点把握対象疾患から全数把握対象疾患に変更されて以降 2013 年の 3,445 人に次ぐ大きな流行となりました。10 月 22 日には米国疾病予防管理センター（CDC）から予防接種や過去の感染歴がない妊婦は日本に渡航しないよう勧告がなされました。患者は男性の 20 歳代から 50 歳代が多く、最も多かったのは 40 歳代の男性でした。2013 年の流行時でも最も多かったのは 30 歳代後半の男性であったことからこの年代とその前後の予防接種を受けていない男性を中心に今後も流行が継続してゆく恐れがあり、抗体検査とワクチン接種の重点的な対応がとられることとなりました。

また、10 月から 12 月にかけて都内の保育園などで合計 3 件の赤痢の集団発生がありました。いずれも園児に加え、職員あるいは保護者にも感染がみられました。最も規模が大きいものでは園児 28 人、職員 4 人、保護者 4 人の感染者が出ています。3 事例とも起因菌はソルネ菌でした。近年細菌性赤痢が重症化することは少なくなっていますが感染力が非常に強く特に乳幼児等が集団生活をする施設では十分な注意が必要です。

2018 年の梅毒の報告数は 1,775 人で、2017 年の 1,788 人と比較してまだ増加に歯止めがかからない状況です。特に全国の集計では 2017 年の 5,826 人に対して 2018 年は 7,001 人と増加中です。このためなお一層の対策が求められています。

本年も報告書を取りまとめることが出来ました。調査事業にご協力いただいた定点医療機関の先生方と関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。またご指導いただきました東京都医師会の川上一恵理事、副委員長の岡部信彦、萩原温久の両先生を始めとする検討委員会の諸先生方、円滑な委員会運営にご尽力いただいた事務局の皆様に厚く感謝をいたします。

令和元年 7 月

東京都感染症予防検討委員会
前委員長 長岡常雄

1 発生動向調査の概略

(1) 調査対象疾患

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「感染症発生動向調査事業実施要綱」に定められている全数把握対象疾患及び定点把握対象疾患に加え、厚生労働省令で定める二つの疑似症をサーベイランスの調査対象としている。また、東京都が独自に指定する調査対象疾患として、不明発しん症と川崎病を小児科疾患、膣トリコモナス症を性感染症に加えている。

(2) 定点医療機関

患者定点となる医療機関数は、小児科定点 264、内科定点 155、眼科定点 39、基幹定点 25、性感染症定点 55、疑似症単独定点 24 が設定され、このうち 70 医療機関が病原体定点を兼ねている。なお、小児科定点はインフルエンザ定点及び疑似症定点としての機能も果たし、内科定点は疑似症定点としての機能も果たしている。

表 1 東京都感染症発生動向調査事業定点医療機関数

(2018 年 12 月 31 日現在)

定点種別 (疾患数)	患者定点数	病原体定点数
小児科定点 (14)	264	26
内科定点 (1)	155	15
眼科定点 (2)	39	4
基幹定点 (9)	25	21
性感染症定点 (5)	55	4
疑似症単独定点 (2)	24	

(3) 運営方法

全数把握対象疾患は、診断後直ちに（五類感染症は 7 日以内、ただし侵襲性髄膜炎菌感染症、風しん及び麻しんは診断後直ちに）保健所に届出が行われるほか、小児科定点、内科定点、眼科定点及び基幹定点からの報告は週単位で、性感染症定点からの報告は月単位でなされる。ただし、基幹定点から報告される一部の疾患（薬剤耐性菌による感染症）については月単位となっている。

週単位で報告される疾患については、毎週月曜日から日曜日までに診断された患者を、小児科、内科、眼科の各定点医療機関は年齢別の患者数、基幹定点医療機関は年齢及び検出病原体名を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

月単位で報告される疾患については、性感染症定点医療機関は当該月の年齢別患者数、基幹定点医療機関は当該月の患者の年齢、検体採取部位を所定の調査票に記入し保健所に送付する。

疑似症サーベイランスでは、疑似症定点医療機関において報告基準を満たす患者が発生した場合に、症例分類、年齢、性別を、所定の調査票に記入し直ちに保健所に送付する（疑似症単独定点は、疑似症サーベイランスシステムへ直接入力する）。なお、発生がない場合であってもその旨週単位で報告する。

医療機関から届いた情報は、保健所が発生動向調査システム及び疑似症サーベイランスシステムに入力する。東京都健康安全研究センター疫学情報担当（基幹地方感染症情報センター）は、保健所か

らの情報を確認後、国へ送信する。

(4) 情報発信

患者情報は、全国の情報及び病原体定点で採取された検体からの病原体検出結果と共に、「感染症週報」として東京都感染症情報センターホームページ (<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp>) で公開され、広く都民に情報還元が図られている。さらに都医ニュースの特定の感染症を取り上げ、週報に「感染症豆知識」として掲載している。

また、隔月第4木曜日を目途に開催される東京都感染症予防検討委員会において直近2か月分の情報について討議し、その情報は東京都医師会雑誌に「感染症だより」として掲載されている。

2 本年(2018年)の概況

(1) 一～五類、五類(全数把握対象)

百日咳が2018年1月1日より、五類定点把握対象疾患から五類全数把握対象疾患に変更となった。また、急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)が5月1日より五類全数把握対象疾患に追加された。

ア 一類感染症

一類感染症の届出はなかった。

イ 二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)の届出はなかった。結核については別途「東京都における結核の概況」として報告する。

ウ 三類感染症

コレラ：2018年は届出がなかった。

細菌性赤痢：109件の届出があった。菌種は *sonnei* 96件、*flexneri* 9件、*boydii* 1件、*dysenteriae* 1件、不明2件であった。推定感染地は国内68件、国外40件、国内又は国外1件であった。

腸管出血性大腸菌感染症：466件の届出があった。血清型・毒素型は O157 VT1・VT2 が163件、O157 VT2 が119件、その他の O157 が28件、O26 VT1 が29件、O111 VT1 が15件等であった。症状別では患者327人(うちHUS 8人)、無症状病原体保有者139人で、推定感染地は国内396件、国外14件、国内又は国外2件、不明54件であった。

腸チフス：11件の届出があった。

パラチフス：10件の届出があった。

エ 四類感染症

E型肝炎：101件の届出があった。推定感染地は国内82件、国外5件、国内又は国外3件、不明11件であった。

A型肝炎：421件の届出があり、2003年以来最多となった。推定感染地は国内370件、国外18件、国内又は国外4件であった。推定感染経路は、経口感染94件、性的接触241件、経口感染又は性的接触31件、その他1件、不明54件であった。

オウム病：2件の届出があった。

Q熱：2件の届出があった。推定感染地はいずれも国外であった。

つつが虫病：12件の届出があった。推定感染地はいずれも国内（都内10件、千葉県2件）であった。

デング熱：61件（デング出血熱はなし）の届出があった。推定感染地はすべて国外であった。

ボツリヌス症：1件の届出があった。

マラリア：14件の届出があり、熱帯熱マラリア13件、不明1件であった。

ライム病：1件の届出があり、推定感染地は国外であった。

類鼻疽：1件の届出があり、推定感染地は国外であった。

レジオネラ症：164件の届出があった。病型は肺炎型158件、ポンティアック熱型6件で、死亡例が2人あった。推定感染地は国内144件、国外5件、国内又は国外1件、不明14件であり、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは28件だった。

レプトスピラ症：5件の届出があった。推定感染地は国内4件、国外1件であった。

オ 五類感染症（全数把握対象）

アメーバ赤痢：163件の届出があった。腸管アメーバ症153件、腸管外アメーバ症8件、腸管及び腸管外アメーバ症2件であった。推定感染地は国内108件、国外29件、国内又は国外4件、不明22件であった。

ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く）：69件の届出があった。B型肝炎58件、C型肝炎10件、サイトメガロウイルス（CMV）肝炎1件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症：233件の届出があった。推定感染地は国内212件、国外5件、不明16件であった。

急性弛緩性麻痺：8件の届出があった。推定感染地は国内7件、不明1件であった。

急性脳炎：65件の届出があった。病原体はインフルエンザウイルス23件、ヒトヘルペスウイルス3件、アデノウイルス2件、エンテロウイルス2件、ロタウイルス、単純ヘルペスウイルス、RSウイルス、ノロウイルス、肺炎球菌各1件、不明30件であった。

クリプトスポリジウム症：3件の届出があった。

クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）：25件の届出があった。孤発性プリオン病・古典型CJD22件、孤発性プリオン病・その他2件、遺伝性プリオン病・家族性CJD1件であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症：87件の届出があり、過去10年で最も多い届出数となった。血清群別では、A群37件、B群14件、F群1件、G群34件、不明1件であった。19人の死亡例が報告された。

後天性免疫不全症候群：422件の届出があり、AIDS患者71人、HIV感染者351人（指標疾患以外の有症者61人、無症候性キャリア290人）であった。推定感染地は国内349件、国外22件、国内又は国外3件、不明48件であった。推定感染経路は、性的接触378件（同性間306件、異性間57件、両性間8件、不明7件）、静注薬物使用1件、2経路以上2件、不明41件であった。

ジアルジア症：19件の届出があった。推定感染地は国内8件、国外10件、国内又は国外1件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症：40件の届出があった。血清型はf型2件、型別不明30件、検査未実施8件であった。Hibワクチン接種歴は、4回接種が2件、3回接種が4件、1回接種が1件のほ

か、接種なし5件、不明28件であった。

侵襲性髄膜炎菌感染症：6件の届出があった。血清群はY群3件、不明3件であった。推定感染地はすべて国内で、ワクチン接種歴は、なし2件、不明4件であった。

侵襲性肺炎球菌感染症：401件の届出があった。死亡例は25人報告された。ワクチン接種歴は4回接種41件、3回接種19件、2回接種7件、1回接種53件、接種歴なし145件、接種歴不明136件であった。

水痘（入院例）：61件の届出があった。死亡例の報告はなかった。推定感染地は国内56件、国外2件、不明3件であった。

梅毒：1,775件の届出があった。早期顕症梅毒Ⅰ期555件、早期顕症梅毒Ⅱ期717件、晩期顕症梅毒30件、無症候472件、先天梅毒1件であった。

播種性クリプトコックス症：18件の届出があった。推定感染地は国内17件、不明1件であった。

破傷風：8件の届出があった。推定感染地はすべて国内であった。

バンコマイシン耐性腸球菌感染症：7件の届出があった。耐性遺伝子型はvanB3件、vanM1件、不明3件であった。

百日咳：届出は2,434件であった。百日咳含有ワクチン接種歴は、4回1,421件、3回89件、2回13件、1回25件、なし120件、不明766件であった。

風しん：届出は947件であった。検査診断例923件（うちPCR陽性例は515件）、臨床診断例24件であった。

麻疹：23件の届出があった。検査診断例17件、臨床診断例1件、修飾麻疹5件であった。推定感染地は国内12件、国外7件、国内または国外1件、不明3件であった。PCR検査で麻疹ウイルスが確認された21件の遺伝子型別はD8型19件、B3型1件、H1型1件であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：4件の届出があった。

五類感染症のうち先天性風しん症候群（CRS）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症の届出はなかった。

（2）五類感染症（定点把握対象）

ア 小児科・内科疾患

2017年と比較して10%以上報告数が減少した疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱、水痘、手足口病、流行性耳下腺炎の5疾患であった。定点当たりの報告数が前年並みであった疾患はインフルエンザ、A群溶血レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、突発性発しん、不明発しん症、川崎病の6疾患であった。定点当たりの報告数が前年と比べ10%以上増加した疾患は伝染性紅斑、ヘルパンギーナの2疾患であった。

【前年比減少疾患】

RSウイルス感染症：2018年の報告数は7,830人、定点当たり30.49人であった。定点当たりの当年/前年比は0.88であった。

咽頭結膜熱：2018年の報告数は4,671人、定点当たり17.96人であった。定点当たりの当年/前年比は0.64であった。

水痘：2018年の報告数は4,515人、定点当たり17.35人であった。定点当たりの当年/前年比は0.88であった。

手足口病：2018年の報告数は8,452人、定点当たり32.65人であった。定点当たりの当年/前年比は0.25であった。

流行性耳下腺炎：2018年の報告数は1,246人、定点当たり4.79人であった。定点当たりの当年/前年比は0.43であった。

【前年並みであった疾患】

インフルエンザ：2018年の報告数は137,262人、定点当たり331.57人であった。定点当たりの当年/前年比は1.06であった。

A群溶血レンサ球菌咽頭炎：2018年の報告数は32,120人、定点当たり123.25人であった。定点当たりの当年/前年比は1.05であった。

感染性胃腸炎：2018年の報告数は79,282人、定点当たり304.52人であった。定点当たりの当年/前年比は0.93であった。

突発性発しん：2018年の報告数は6,771人、定点当たり26.05人であった。定点当たりの当年/前年比は0.96であった。

不明発しん症：2018年の報告数は1,073人、定点当たり4.14人であった。定点当たりの当年/前年比は0.98であった。

川崎病：2018年の報告数は214人、定点当たり0.82人であった。定点当たりの当年/前年比は1.04であった。

【前年比増加疾患】

伝染性紅斑：2018年の報告数は10,733人、定点当たり41.36人であった。定点当たりの当年/前年比は8.21であった。

ヘルパンギーナ：2018年の報告数は8,188人、定点当たり32.01人であった。定点当たりの当年/前年比は1.21であった。

イ 眼科疾患

急性出血性結膜炎：報告数は14人、定点当たり0.37人だった。2018年は過去5年間の定点当たり報告数とほぼ同等（定点当たり0.28～0.37人）だった。

流行性角結膜炎：報告数は1,060人、定点当たり28.22人だった。過去3年間は定点当たり30人を超えていたが、2018年はやや減少した。

ウ 基幹定点における週報告疾患

細菌性髄膜炎：2018年の報告数は32人、定点当たり1.28人であった。定点当たりの当年/前年比は0.78であった。

無菌性髄膜炎：2018年の報告数は33人、定点当たり1.32人であった。定点当たりの当年/前年比は0.85であった。

マイコプラズマ肺炎：2018年の報告数は230人、定点当たり9.20人であった。定点当たりの当年/前年比は0.97であった。

クラミジア肺炎（オウム病を除く）：2018年の報告数は40人、定点当たり1.60人であった。定点当たりの当年/前年比は0.87であった。

感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：2018年の報告数は110人、定点当たり4.40人であった。定点当たりの当年/前年比は0.47であった。

インフルエンザ入院：2018年の報告数は1,113人、定点当たり44.52人であった。定点当たりの当年/前年比は1.23であった。

エ 基幹定点における月報告疾患

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：2018年の報告数は804人、定点当たり32.16人であった。定点当たりの当年/前年比は0.91であった。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：2018年の報告数は102人、定点当たり4.08人であった。定点当たりの当年/前年比は0.97であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：2018年の報告数は9人、定点当たり0.36人であった。定点当たりの当年/前年比は3.00であった。

オ 性感染症

2018年における東京都の年間患者報告数で前年より増加が認められた性感染症は、性器クラミジア感染症、尖圭コンジローマ、膣トリコモナス症であった。膣トリコモナス症を除いて、他の性感染症は女性より男性が多く届け出がなされていた。

性器クラミジア感染症：報告数は2,551人、定点当たり46.46人であった。男性の報告数は1,422人、定点当たり25.90人（前年比1.09）、女性の報告数は1,129人、定点当たり20.56人（前年比1.14）であった。

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数は1,037人、定点当たり18.88人であり、男性の報告数は674人、定点当たり12.27人（前年比0.74）、女性の報告数は363人、定点当たり6.61人（前年比0.99）であった。

尖圭コンジローマ：報告数は1,051人、定点当たり19.14人であり、男性の報告数は740人、定点当たり13.47人（前年比1.07）、女性の報告数は311人、定点当たり5.99人（前年比1.00）であった。

淋菌感染症：報告数は1,104人、定点当たり20.11人であり、男性の報告数は818人、定点当たり14.90人（前年比0.99）、女性の報告数は286人、定点当たり5.21人（前年比1.01）であった。

膣トリコモナス症：報告数は128人、定点当たり2.33人で昨年に比べ報告数は18人増加した。男性の報告数は6人、定点当たり0.11人（前年比3.00）、女性の報告数は122人、定点当たり2.22人（前年比1.13）であった。

（3）疑似症（法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症）

摂氏38℃以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。）は3人、発熱及び発しん又は水疱は4人報告があった。

表2-1(1) 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(一～四類、五類全数)

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	痘そう	-	-	-	-	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	ペスト	-	-	-	-	-	-	-
	マールブルグ病	-	-	-	-	-	-	-
二類	ラッサ熱	-	-	-	-	-	-	-
	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-	-	-
	結核	2,874	2,671	2,533	2,306	2,340	2,213	集計中
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-	-	-
	中東呼吸器症候群 *10	/	/	-	-	-	-	-
三類	鳥インフルエンザ(H5N1) *1	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H7N9) *7	/	-	-	-	-	-	-
	コレラ	-	-	3	1	2	2	-
	細菌性赤痢	75	36	41	53	40	34	109
	腸管出血性大腸菌感染症	258	382	362	335	452	467	466
四類	腸チフス	13	23	27	14	18	8	11
	パラチフス	11	20	8	9	8	6	10
	E型肝炎	21	32	27	39	37	57	101
	ウエストナイル熱	-	-	-	-	-	-	-
	A型肝炎	35	19	38	39	65	65	421
四類	エキノкокクス症	1	-	-	1	-	1	-
	黄熱	-	-	-	-	-	-	-
	オウム病	-	2	3	-	2	-	2
	オムスク出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	回帰熱	1	-	-	-	-	2	-
	キャサヌル森林病	-	-	-	-	-	-	-
	Q熱	-	3	-	-	-	-	2
	狂犬病	-	-	-	-	-	-	-
	コクシジオイデス症	1	4	-	2	2	1	-
	サル痘	-	-	-	-	-	-	-
	ジカウイルス感染症 *11	/	/	/	/	3	-	-
	重症熱性血小板減少症候群 *4	/	-	-	-	-	-	-
	腎症候性出血熱	-	-	-	-	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ダニ媒介脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	炭疽	-	-	-	-	-	-	-
	チクングニア熱 *2	3	4	5	7	4	3	-
	つつが虫病	19	12	18	14	7	13	12
	デング熱	56	66	163	92	90	65	61
	東部ウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)	-	-	-	-	-	-	-
	ニパウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	日本紅斑熱	-	-	-	1	-	1	-
	日本脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-	-	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	-	-	-	-
	鼻疽	-	-	-	-	-	-	-
	ブルセラ症	-	-	4	2	1	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	-	-	-	-
	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	発しんチフス	-	-	-	-	-	-	-
	ボツリヌス症	-	-	-	-	1	2	1

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
四 類	マラリア	24	12	27	16	18	27	14
	野兔病	-	-	-	-	-	-	-
	ライム病	-	7	2	2	-	1	1
	リッサウイルス感染症	-	-	-	-	-	-	-
	リフトバレー熱	-	-	-	-	-	-	-
	類鼻疽	-	1	-	1	-	1	1
	レジオネラ症	60	80	107	153	143	159	164
	レプトスピラ症	6	6	6	10	7	9	5
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-	-	-	-	-
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	198	187	229	205	222	219	163
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	60	72	48	53	69	67	69
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症*8	/	/	56	236	190	212	233
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)*13	/	/	/	/	/	/	8
	急性脳炎	33	46	52	47	85	74	65
	クリプトスポリジウム症	2	7	82	3	2	2	3
	クロイツフェルト・ヤコブ病	18	19	17	24	16	19	25
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	23	37	41	62	65	72	87
	後天性免疫不全症候群	461	469	512	435	464	464	422
	ジアルジア症	16	22	15	19	17	24	19
	侵襲性インフルエンザ菌感染症*5	/	12	22	29	46	56	40
	侵襲性髄膜炎菌感染症*5	/	11	9	8	5	3	6
	侵襲性肺炎球菌感染症*5	/	124	225	323	356	390	401
	水痘(入院例)*8	/	/	11	55	56	55	61
	髄膜炎菌性髄膜炎*6	-	-	/	/	/	/	/
	先天性風しん症候群	-	13	3	-	-	-	-
	梅毒	297	419	507	1,044	1,673	1,788	1,775
	播種性クリプトコックス症*8	/	/	4	11	20	15	18
	破傷風	5	4	10	2	4	9	8
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	-	-	-	-
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	10	8	6	2	2	8	7	
百日咳*12	/	/	/	/	/	/	2,434	
風しん*3	672	3,445	99	33	19	22	947	
麻しん*3	84	69	94	10	22	28	23	
薬剤耐性アシネトバクター感染症*9	/	/	3	13	1	6	4	

*1 2008年5月12日より追加指定。

*2 2011年2月1日より追加指定。

*3 2008年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。

*4 2013年3月4日より追加指定。

*5 2013年4月1日より髄膜炎菌性髄膜炎に替わり指定。

*6 2003年11月5日より四類(全数把握対象)から五類(全数把握対象)に変更となった後、2013年4月1日より届出対象から除外。

*7 2013年4月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。

*8 2014年9月19日より追加指定。

*9 2011年2月1日より五類(定点把握対象)に追加指定、2014年9月19日に五類(全数把握対象)に変更。

*10 2014年7月26日より指定感染症に定められた後、2015年1月21日より二類感染症に変更。

病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*11 2016年2月15日より追加指定。

*12 2018年1月1日より五類(定点把握対象)から五類(全数把握対象)に変更。

*13 2018年5月1日より追加指定。

表2-1(2) 東京都感染症発生動向調査年別患畜報告数(全数動物)

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
エボラ出血熱のサル	-	-	-	-	-	-	-
マールブルグ病のサル	-	-	-	-	-	-	-
ペストのプレーリードッグ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のイタチアナグマ	-	-	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群のタヌキ	-	-	-	-	-	-	-

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
重症急性呼吸器症候群のハクビシン	-	-	-	-	-	-	-
結核のサル	-	-	-	-	-	-	-
中東呼吸器症候群のラクダ*1							
鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
細菌性赤痢のサル	-	-	-	-	-	-	-
ウエストナイル熱の鳥類	-	-	-	-	-	-	-
エキノコックス症の犬	-	-	-	-	-	-	-

*1 2014年7月26日より追加指定

表2-2 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(インフルエンザ定点・小児科定点)

上段:年間報告数

下段:定点当たり

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
小児科定点数	150	150	264	264	264	264	264	264	264	264
インフルエンザ定点数	290	290	419	419	419	419	419	419	419	419
インフルエンザ	142,140 495.53	12,614 43.97	99,940 240.03	135,064 323.29	75,328 181.11	152,421 367.55	59,435 145.11	125,207 302.31	129,813 314.14	137,262 331.57
RSウイルス感染症*1	845 5.73	2,153 14.52	3,628 13.94	6,349 24.51	6,058 23.48	6,183 23.70	7,197 27.82	7,021 27.06	8,838 34.47	7,830 30.49
咽頭結膜熱	1,339 9.07	1,979 13.37	4,936 18.95	5,510 21.20	6,184 23.89	5,607 21.54	5,385 20.77	5,026 19.38	7,322 28.21	4,671 17.96
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	10,058 68.03	11,231 75.80	25,487 97.66	25,224 96.60	24,801 95.29	27,581 105.60	35,039 134.57	31,211 120.13	30,664 117.71	32,120 123.25
感染性胃腸炎	37,599 254.50	63,372 427.41	95,910 367.56	118,967 455.28	102,987 395.81	84,091 322.84	91,052 350.13	110,239 423.72	84,981 326.63	79,282 304.52
水痘	7,079 47.94	9,472 63.93	15,679 60.11	12,995 49.75	11,452 44.22	10,314 39.69	6,765 26.04	5,541 21.34	5,135 19.73	4,515 17.35
手足口病	3,426 23.36	6,257 42.52	24,786 95.84	5,411 20.90	29,320 114.72	6,089 23.44	32,599 126.39	6,993 26.97	33,056 129.10	8,452 32.65
伝染性紅斑	1,558 10.54	2,929 19.79	6,317 24.23	1,626 6.23	1,608 6.19	5,069 19.44	10,174 39.08	2,485 9.57	1,311 5.04	10,733 41.36
突発性発しん	4,463 30.24	4,397 29.74	8,447 32.44	8,547 32.85	8,299 32.00	8,120 31.18	7,816 30.10	7,231 27.87	7,056 27.13	6,771 26.05
百日咳	225 1.53	506 3.42	450 1.73	286 1.10	91 0.35	158 0.61	300 1.15	181 0.70	113 0.44	
ヘルパンギーナ	2,574 17.63	8,400 57.06	14,431 55.78	13,548 52.28	8,480 33.06	15,874 61.25	7,200 27.91	13,094 50.69	6,812 26.54	8,188 32.01
流行性耳下腺炎	5,175 35.05	5,154 34.87	4,488 17.23	3,089 11.88	2,549 9.83	3,003 11.57	4,883 18.83	8,526 32.88	2,903 11.16	1,246 4.79
不明発しん症*2	657 4.48	622 4.21	1,506 5.78	1,400 5.40	1,094 4.24	1,158 4.45	1,312 5.06	983 3.79	1,101 4.25	1,073 4.14
川崎病*2	71 0.48	89 0.60	217 0.83	177 0.68	221 0.85	180 0.69	199 0.77	208 0.80	205 0.79	214 0.82

*1 2003年45週より実施

*2 東京都独自疾患

表2-3 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(眼科定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
定点数	39	39	39	39	39	39	39	39	39	39
急性出血性結膜炎	53 1.37	74 1.91	31 0.84	19 0.50	17 0.45	13 0.34	14 0.36	11 0.28	12 0.31	14 0.37
流行性角結膜炎	703 18.28	951 24.60	842 22.73	1,140 30.01	891 23.68	913 23.79	1,256 32.49	1,201 31.03	1,219 31.48	1,060 28.22

表2-4 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数

(基幹定点週報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
定点数	24	25	25	25	25	25	25	25	25	25
細菌性髄膜炎	24 1.02	18 0.76	52 2.14	42 1.68	48 1.93	22 0.88	38 1.52	33 1.32	41 1.64	32 1.28
無菌性髄膜炎	28 1.17	38 1.61	96 3.91	121 4.86	126 5.06	102 4.09	73 2.92	77 3.08	39 1.56	33 1.32
マイコプラズマ肺炎	305 12.93	416 17.76	1,143 46.78	1,067 42.84	514 20.66	234 9.37	770 30.85	1,047 41.88	237 9.48	230 9.20
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	46 1.96	20 0.85	18 0.74	14 0.56	40 1.60	21 0.84	59 2.36	50 2.00	46 1.84	40 1.60
感染性胃腸炎 ^{*1} (ロタウイルスによる)					22 0.88	134 5.36	99 3.96	108 4.32	235 9.40	110 4.40
インフルエンザ入院 ^{*2}			12 0.48	610 24.40	518 20.89	735 29.40	486 19.44	649 25.96	902 36.08	1,113 44.52

*1 2013年42週より実施

*2 2011年36週より実施

表2-5 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(基幹定点月報告分)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
定点数	24	25	25	25	25	25	25	25	25	25
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1,290 54.44	1,312 55.36	1,136 46.67	1,074 43.25	918 37.26	908 36.44	877 35.21	867 34.68	881 35.24	804 32.16
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	552 23.30	635 26.77	596 24.55	440 17.72	467 18.94	186 7.47	158 6.36	138 5.52	105 4.20	102 4.08
薬剤耐性緑膿菌感染症	22 0.93	26 1.10	37 1.52	24 0.97	32 1.29	21 0.84	28 1.12	22 0.88	3 0.12	9 0.36
薬剤耐性アシネト* バクター感染症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00				

* 2011年2月より2014年9月18日まで実施。

表2-6 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(性感染症定点)

上段:年間報告数
下段:定点当たり

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
定点数	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
性器クラミジア感染症	2,295 42.51	2,376 44.07	2,426 44.37	2,315 42.64	2,286 42.46	2,427 44.90	2,678 49.09	2,712 49.39	2,294 41.77	2,551 46.46
性器ヘルペスウイルス感染症	954 17.69	1,194 22.15	1,236 22.60	1,311 24.17	1,216 22.60	1,298 24.00	1,329 24.36	1,400 25.49	1,279 23.29	1,037 18.88
尖圭コンジローマ	727 13.47	842 15.62	837 15.31	877 16.17	959 17.84	986 18.22	1,237 22.68	1,321 24.06	1,021 18.58	1,051 19.14
淋菌感染症	950 17.61	1,067 19.81	1,212 22.15	1,035 19.09	1,070 19.87	1,259 23.31	1,394 25.55	1,528 27.82	1,109 20.20	1,104 20.11
膣トリコモナス症*	138 2.55	150 2.78	136 2.49	129 2.38	113 2.10	127 2.36	151 2.77	117 2.13	110 2.00	128 2.33
梅毒様疾患*	94 1.74	83 1.54	117 2.14	120 2.21	136 2.53	135 2.50	221 4.05			

* 東京都独自疾患、梅毒様疾患は2015年末で終了

表2-7 東京都感染症発生動向調査年別患者報告数
(疑似症定点)

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
定点数	315	315	443	443	443	443	443	443	443	443
発熱及び呼吸器症状*	147	20	9	10	38	147	126	49	26	3
発熱及び発しん・水疱*	6	9	4	15	16	20	21	5	3	4

* 2008年7月より実施

3 各疾患の動向

(1) 一～四類、五類感染症（全数把握対象）

ア 一類感染症

一類感染症（エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱）は届出がなかった。

イ 二類感染症

① 結核

結核の発生動向は別途、「東京都における結核の概況」で報告する。

② その他の二類感染症

急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ（H5N1）、鳥インフルエンザ（H7N9）は届出がなかった。

ウ 三類感染症

① コレラ

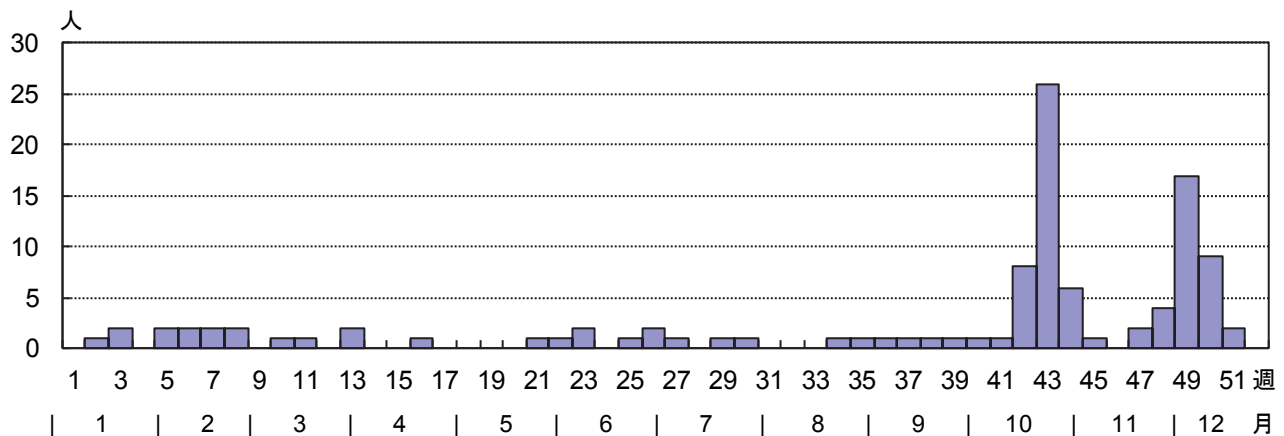
2018年は届出がなかった。

② 細菌性赤痢

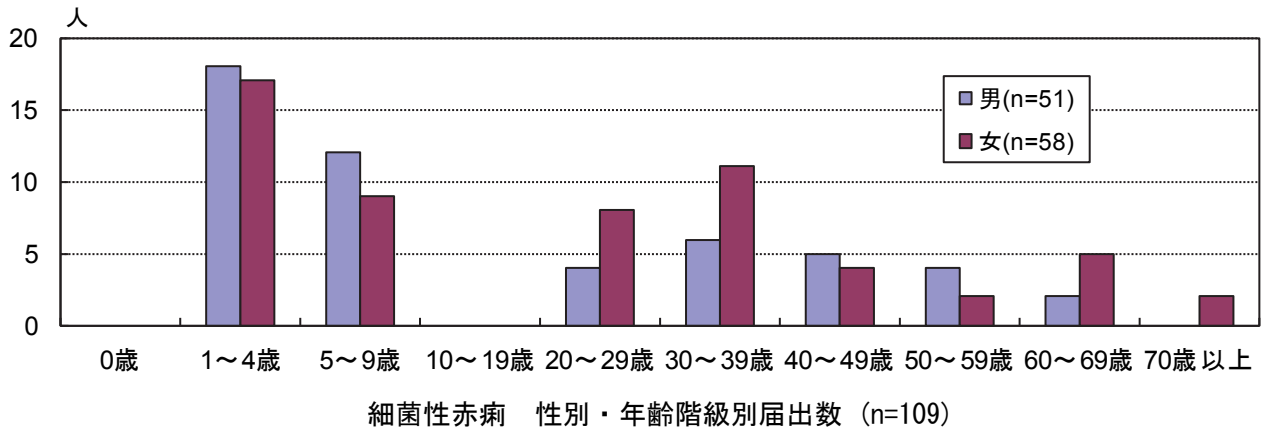
2018年は109件の届出があった。菌種は *sonnei* 96件、*flexneri* 9件、*boydii* 1件、*dysenteriae* 1件、不明2件であった。特に10～12月に集団事例の発生に伴い増加した。性別は男性51人、女性58人で、年齢階級別では10歳未満56人（うち5歳未満35人）、20～29歳12人、30～39歳17人、40～49歳9人、50～59歳6人、60～69歳7人、70～79歳2人であった。

推定感染地は国内68件、国外40件（フィリピン5件、インド4件、中国、モロッコ、米国各3件、カンボジア、エチオピア、インドネシア各2件、マレーシア、ミャンマー、スリランカ、ケニア、ボツワナ、ポリビア、ペルー各1件、二か国以上9件）、国内又は国外（タイ）1件であった。

症例の集積は、第42～45週に保育園関係が36人、第48～51週にこども園関係で26人、第50～51週に保育園関係が5人であった。



細菌性赤痢 週別届出数 (n=109)



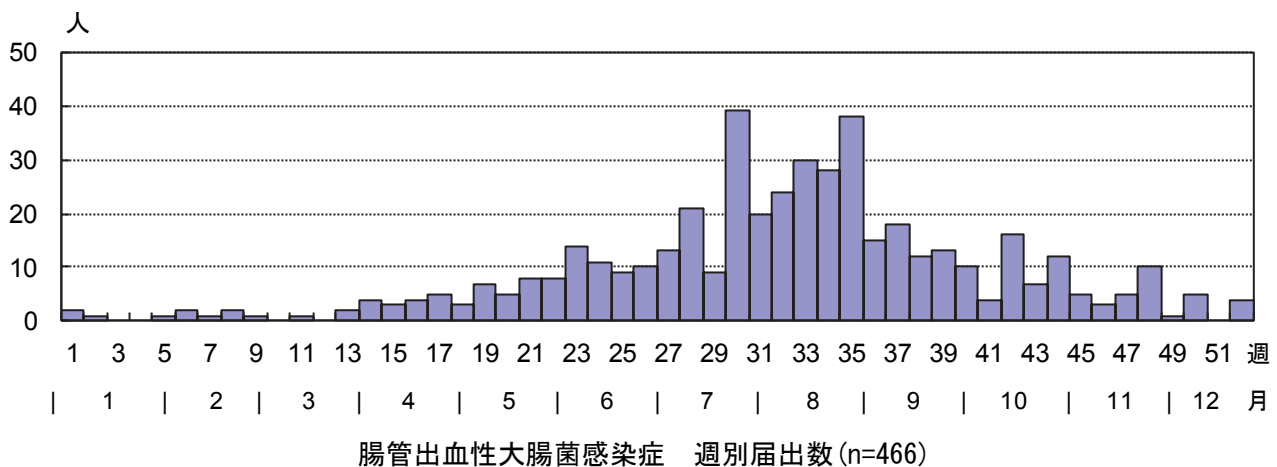
③ 腸管出血性大腸菌感染症

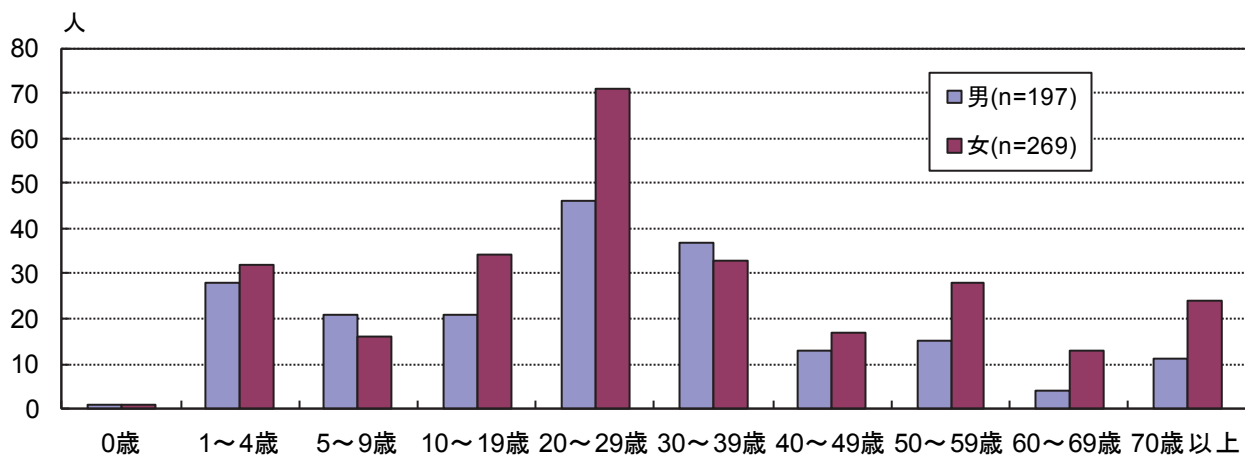
2018年は466件の届出があった。症状別では患者327人、無症状病原体保有者139人であった。届出はほぼ1年を通して見られたが、特に7～8月に集団事例の発生に伴い増加した。性別は男性197人、女性269人で、年齢階級別では10歳未満99人（うち5歳未満62人）、10～19歳55人、20～29歳117人、30～39歳70人、40～49歳30人、50～59歳43人、60～69歳17人、70歳以上35人であった。血清型・毒素型はO157 VT1・VT2が163件で最多であった。

推定感染地は国内396件、国外14件（韓国3件、中国、ベトナム、インドネシア各2件、UAE、フィリピン、ペルー、マルタ、ロシア各1件）、国内又は国外（韓国、フィリピン各1件）2件、不明54件であった。

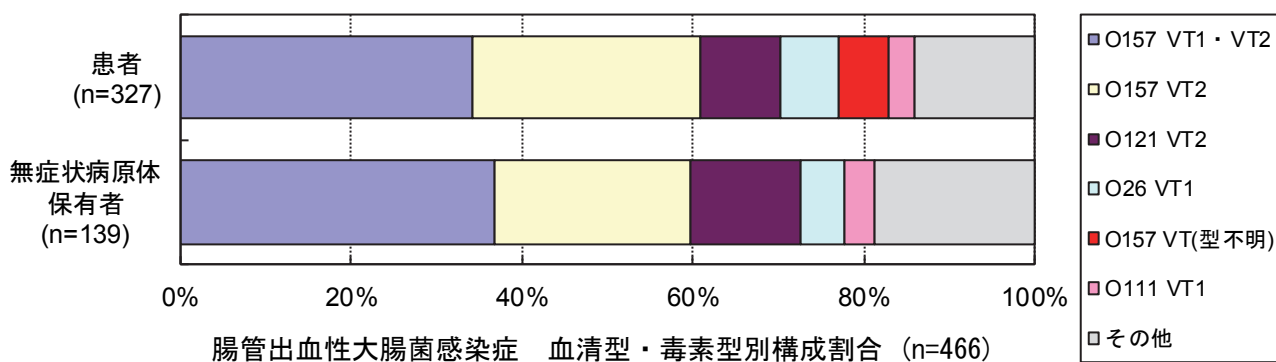
症例の集積は、第27～29週にO157 VT2による焼肉店関連が13人、第29～31週にO121 VT2による保育園関連が28人、35週にO157 VT1・VT2によるホテル関連が16人あった。

溶血性尿毒症症候群（HUS）と判明している者は8人おり、内訳は10歳未満5人（うち5歳未満3人）、10歳代2人、70歳代1人であった。





腸管出血性大腸菌感染症 性別・年齢階級別届出数 (n=466)



腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別構成割合 (n=466)

腸管出血性大腸菌感染症 血清型・毒素型別届出数 (n=466)

血清型	毒素型	人数	血清型	毒素型	人数
O8	VT2	1	O125	VT1	1
	VT1	29		VT1	2
O26	VT2	1	O128	VT2	1
	不明	4	O145	VT2	2
O63	VT1	1		VT1	7
O63, O157	VT1・VT2	1		VT2	119
O78	VT1	1	O157	VT1・VT2	163
O91	VT1	1		VT1とVT2	1
	VT1	7		VT1・VT2とVT2	1
O103	不明	2		不明	19
	VT1	15		VT1	10
O111	VT1・VT2	1		VT2	13
	不明	2	不明	VT1・VT2	7
O115	VT1	1		不明	4
O121	VT2	49			

溶血性尿毒症症候群発症例 (n=8)

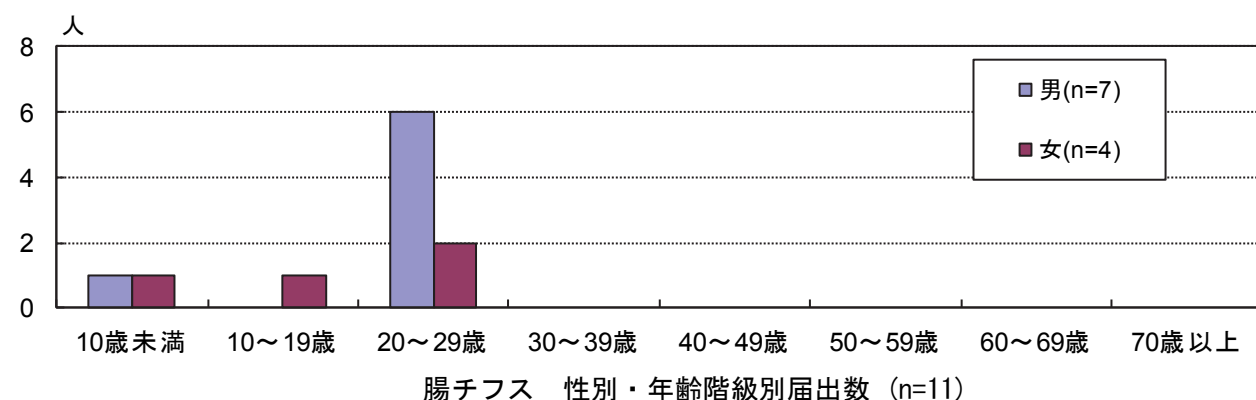
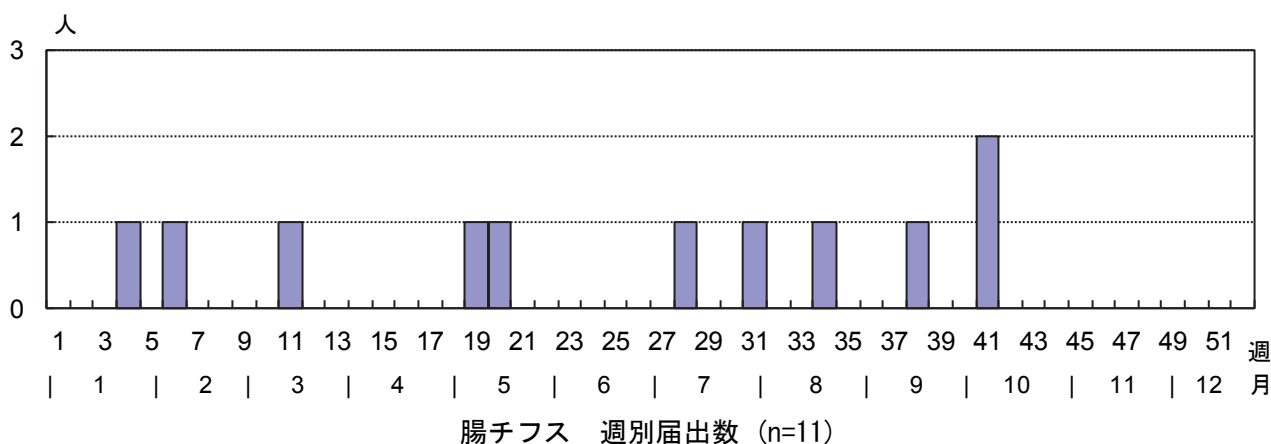
受理日	性別	年齢	血清型・毒素型	推定感染地	推定感染経路等
2/9	女	17	血清型・毒素型不明	国内	焼き肉
5/17	男	77	O157 VT1・VT2	国内	
8/10	男	11	O157 毒素型不明	国内	
8/10	女	2	O157 VT1・VT2	不明	焼き鳥のレバー
8/22	男	1	血清型・毒素型不明	国内	
8/22	女	2	O157 VT2	不明	
8/31	男	6	O157 VT2	国内	焼き肉、生卵、魚
11/26	男	6	O157 VT1・VT2	国内	

④ 腸チフス

2018年は11件の届出があった。性別では男性7人、女性4人、年齢階級別では10歳未満2人、10～19歳1人、20～29歳8人であった。

ファージ型別はUVS4が3株、E1が2株、DVSが2株、M1が1株、UVS1が1株、不明が2株であった。

推定感染地はすべて国外で、インド5件、ネパール2件、バングラデシュ、パキスタン、ミャンマー、バングラデシュ又はタイ各1件であった。



⑤ パラチフス

2018年は10件の届出があった。性別は男性6人、女性4人であり、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳3人、30～39歳2人、40～49歳2人、50～59歳2人であった。

ファージ型別はUT (Untypable) が3株、1型が2株、2型が2株、不明が3株であった。

推定感染地は国外9件 (インド5件、カンボジア2件、バングラデシュ1件、インド又はネパール

1件)、不明1件であった。

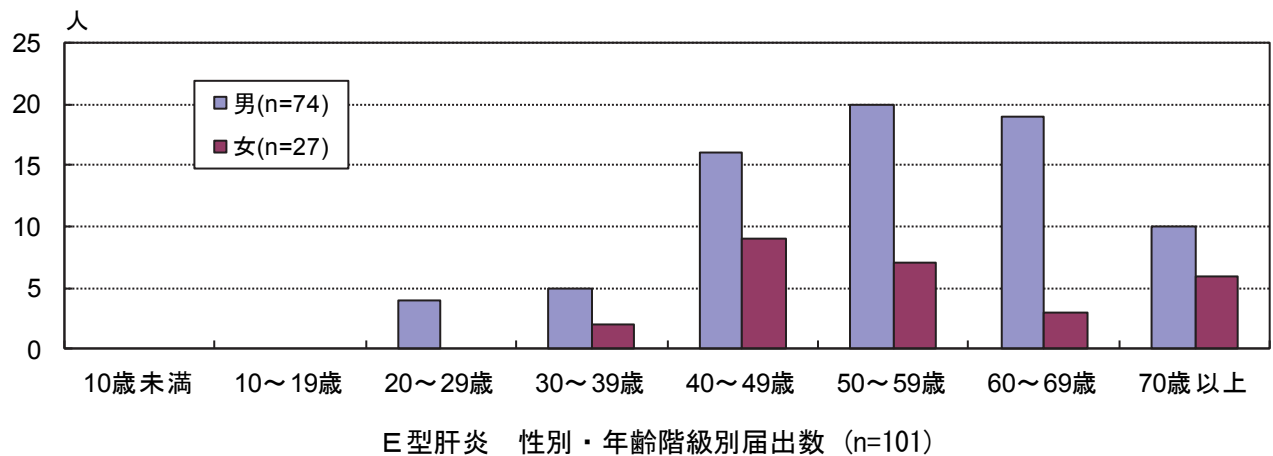
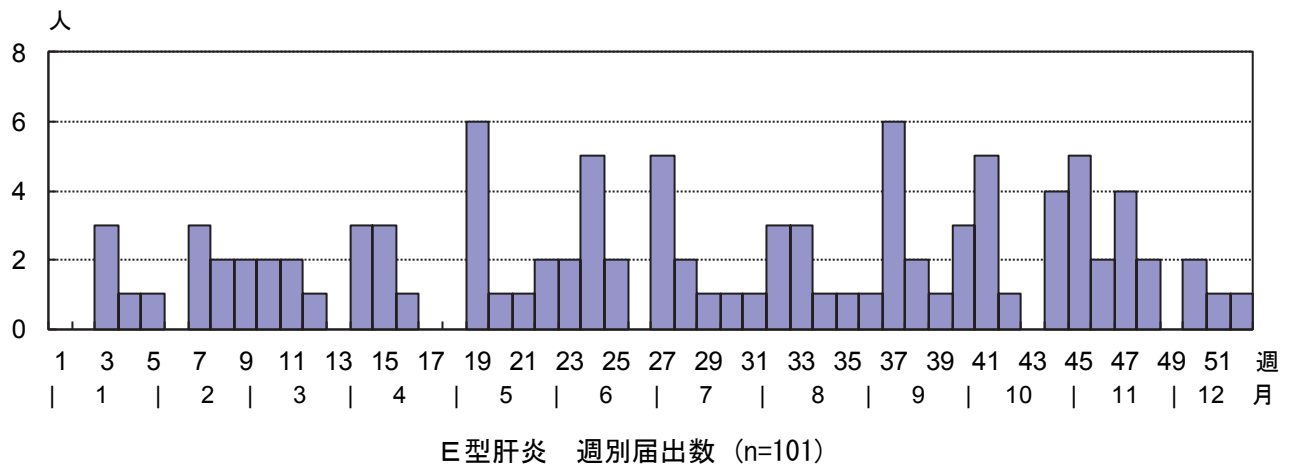
エ 四類感染症

① E型肝炎

2018年は101件の届出があった。性別は男性74人、女性27人で、年齢階級別では20～29歳4人、30～39歳7人、40～49歳25人、50～59歳27人、60～69歳22人、70歳以上16人であった。

推定感染地は国内82件、国外5件（インド2件、台湾2件、バングラデシュ1件）、国内又は国外（インドネシア1件、インド又はミャンマー1件、渡航先不明1件）3件、不明11件であった。

推定感染経路は経口感染62件、不明39件であった。経口感染62件のうち、2件で魚介類、26件で肉類、1件で魚介及び肉類、1件で水が感染原因として疑われており、他32件の感染原因は不明だった。

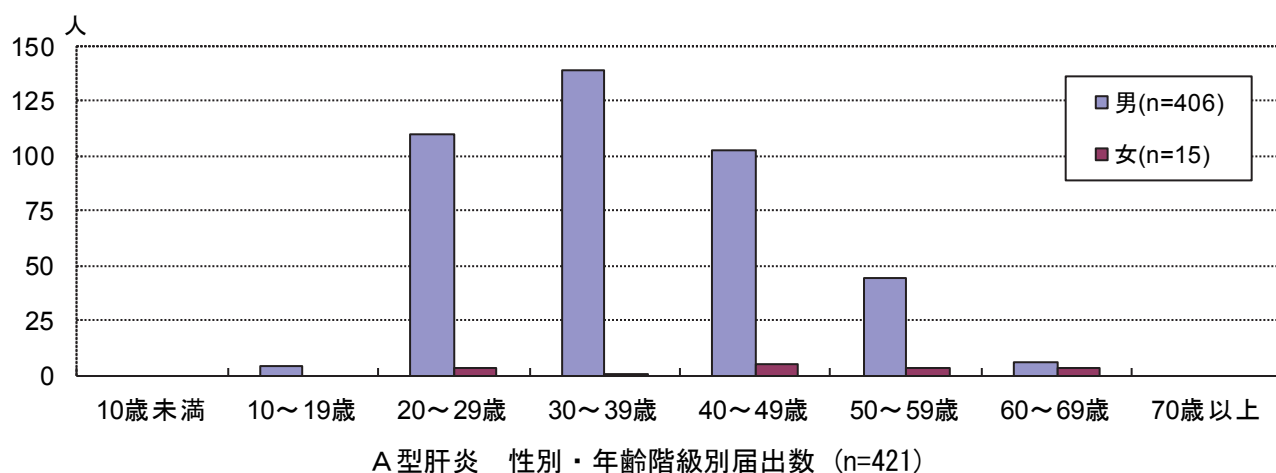
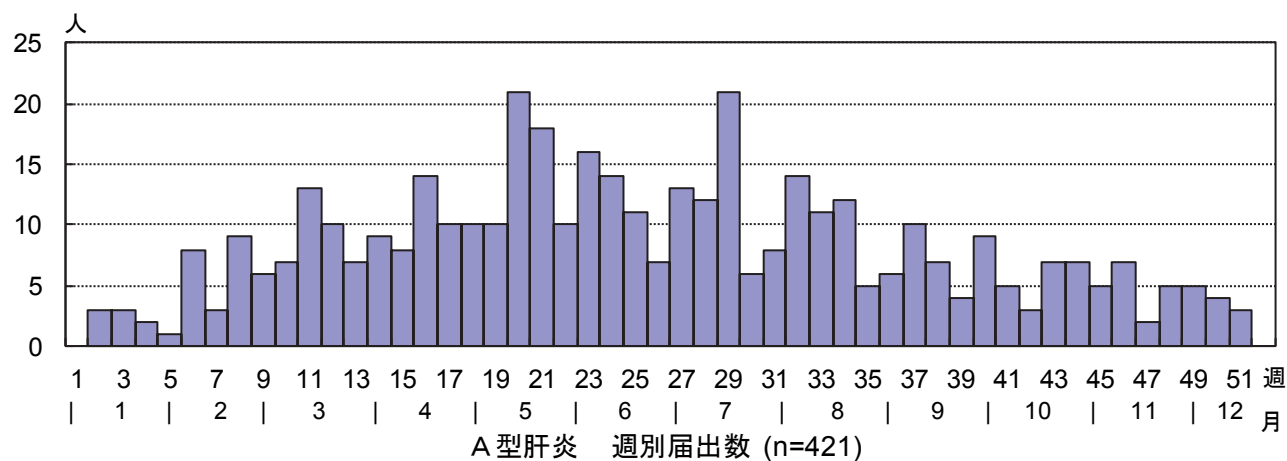


② A型肝炎

2018年は421件の届出があった。性別は男性406人、女性15人で、年齢階級別では10～19歳4人、20～29歳113人、30～39歳140人、40～49歳108人、50～59歳47人、60～69歳9人であった。

推定感染地は国内370件、国外18件、国内又は国外4件、不明29件であった。国外感染と推定された18件の推定感染国はタイ3件、韓国、米国、インドネシア、バングラデシュ、フィリピン、ベトナム、モロッコ、香港、台湾、中国、北朝鮮各1件、インドネシア又はフィリピン1件、カンボジア又はタイ1件、韓国又はタイ1件、モロッコ又はイタリア又は米国1件であった。

推定感染経路は、飲食物を介した経口感染 94 件、性的接触 241 件、経口感染又は性的接触 31 件、その他 1 件、不明 54 件であった。経口感染 94 件の推定原因食品は、魚介類が 38 件（うちカキ 23 件、他の貝類 4 件）、肉類 4 件、肉類と魚介類 2 件、その他 2 件、不明 48 件であった。性的接触 241 件の内訳は、男性 240 件（同性間 219 件、異性間 8 件、両性間 4 件、性別不明 9 件）、女性 1 件（性別不明）であった。



③ オウム病

2018 年は 2 件の届出があった。性別は男性 1 人、女性 1 人で、年齢階級別では 30～39 歳 1 人、40～49 歳 1 人であった。推定感染地は国内、感染経路はいずれも鳥類との接触が推定された。

④ Q 熱

2018 年は 2 件の届出があった。性別は男性 1 人、女性 1 人で、年齢階級別では 0～9 歳 1 人、40～49 歳 1 人であった。推定感染地はいずれも国外（マラウイ）で、感染経路は動物との接触、家畜の塵埃感染が推定された。

⑤ つつが虫病

2018 年は 12 件の届出があった。性別は男性 11 人、女性 1 人であった。年齢階級別は 30～39 歳 1 人、50～59 歳 3 人、60～69 歳 3 人、70 歳以上 5 人であった。推定感染地はいずれも国内で、東京都 10 件（多摩地区 3 件、島しょ地区 7 件）、千葉県 2 件であった。

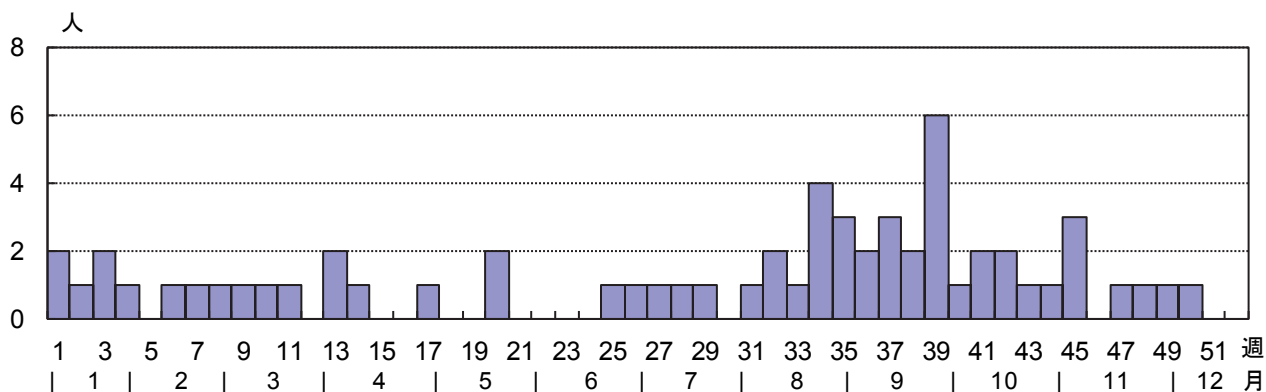
つつが虫病届出例 (n=12)

受理日	性別	年齢	推定感染地	媒介動物との接触状況
1/15	女	39	東京都 (島しょ)	
2/5	男	59	東京都 (島しょ)	
2/6	男	56	東京都 (島しょ)	屋外飼育の飼い猫からの感染
2/23	男	61	東京都 (島しょ)	
10/31	男	71	東京都 (多摩)	山でダニによくさされる
11/8	男	85	東京都 (多摩)	
11/27	男	87	東京都 (多摩)	
12/7	男	61	東京都 (島しょ)	野外、草むら
12/14	男	68	千葉県	
12/25	男	54	東京都 (島しょ)	
12/25	男	72	東京都 (島しょ)	
12/28	男	71	千葉県	

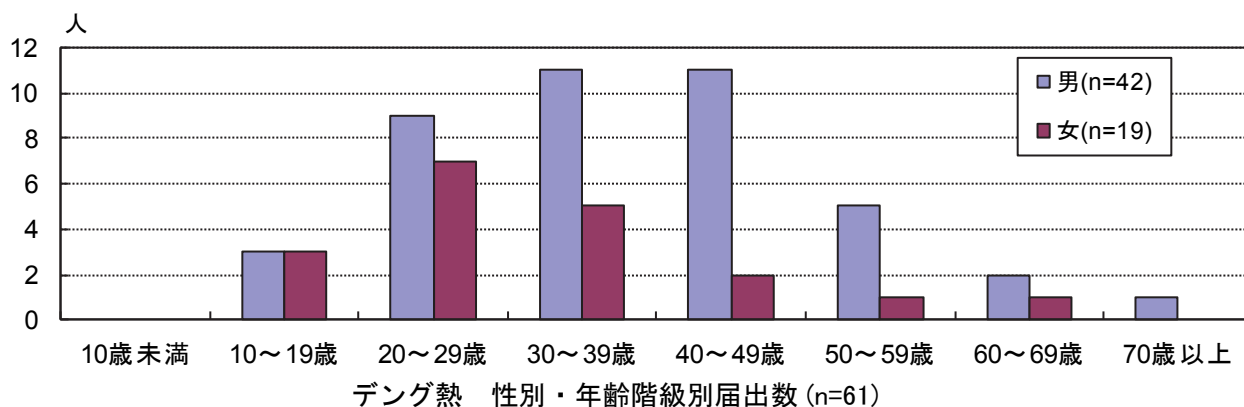
⑥ デング熱

2018年は61件の届出があった。デング出血熱の届出はなかった。性別は男性42人、女性19人、年齢階級別は10～19歳6人、20～29歳16人、30～39歳16人、40～49歳13人、50～59歳6人、60～69歳3人、70歳以上1人であった。血清型は16件報告されており、その内訳は1型3件、2型9件、3型4件であった。

推定感染地はすべて国外で、フィリピン13件、ベトナム8件、カンボジア6件、インドネシア6件、タイ4件、インド4件、マレーシア2件、バングラデシュ2件、仏領ポリネシア、ミャンマー、パラグアイ、スリランカ、サウジアラビア、キューバ各1件、二か国以上10件であった。



デング熱 週別届出数 (n=61)



デング熱 性別・年齢階級別届出数 (n=61)

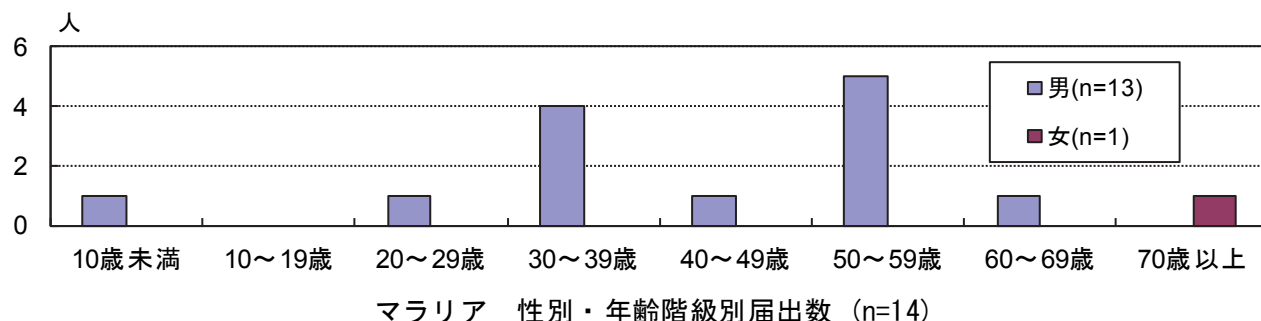
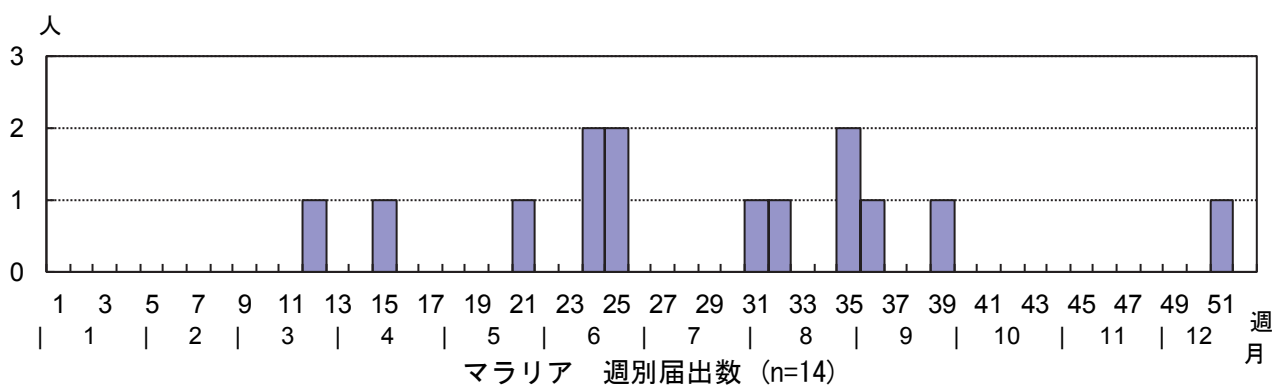
⑦ ボツリヌス症

2018年は1件の届出があった。症例は60歳代男性で、病型は成人腸管定着型、毒素はA型であった。推定感染地は国内で、ハチミツを摂取しており、便からボツリヌス菌が検出された。

⑧ マラリア

2018年は14件の届出があった。熱帯熱マラリア13人、不明1人であった。性別は男性13人、女性1人、年齢階級別は10歳未満1人、20～29歳1人、30～39歳4人、40～49歳1人、50～59歳5人、60～69歳1人、70歳以上1人であった。

推定感染地はすべてアフリカであった。熱帯熱と診断された症例の推定感染地は、ナイジェリア3件、コートジボアール及びベナン各2件、ニジェール、ブルキナファソ、マダガスカル、モザンビーク、中央アフリカ及び南スーダン各1件で、病原虫種不明の1件はルワンダであった。



⑨ ライム病

2018年は1件の届出があった。症例は30歳代の女性で、推定感染地は国外（クロアチア）で、森の中の草むらにいたマダニからの感染が推定された。

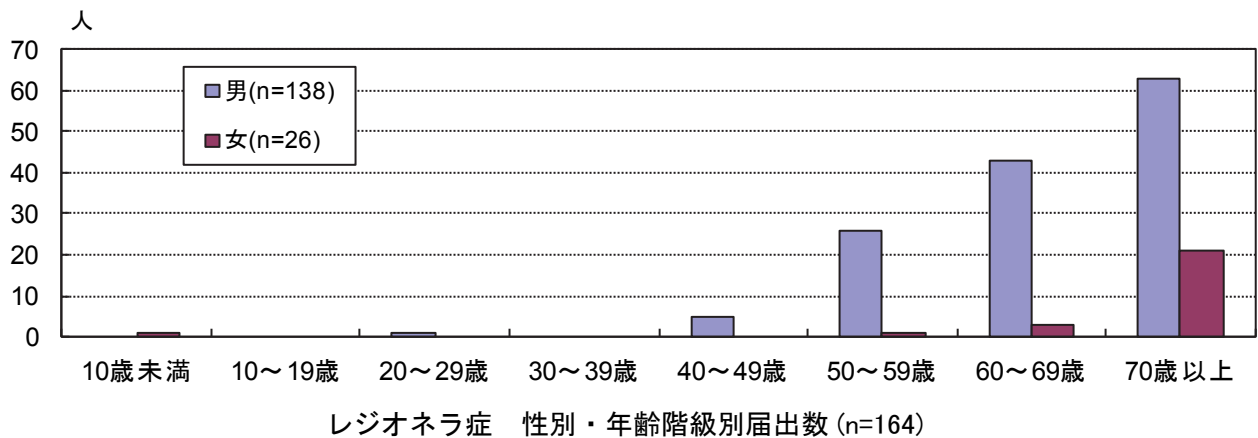
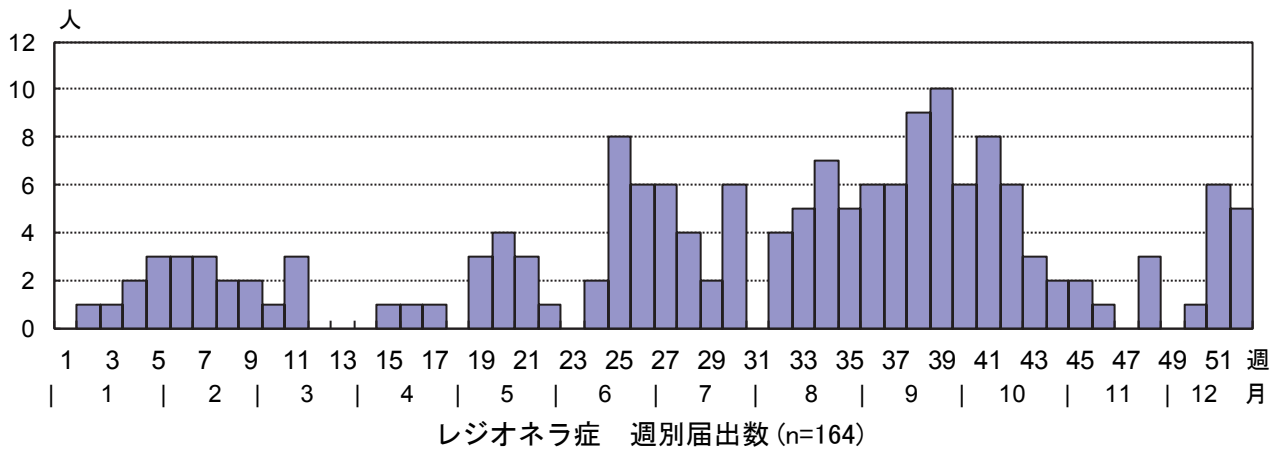
⑩ 類鼻疽

2018年は1件の届出があった。症例は20歳代の女性であった。推定感染地は国外（ベトナム）であった。飼い犬に咬まれて受傷し、化膿した皮膚からの感染が疑われた。

⑪ レジオネラ症

2018年は164件の届出があった。病型は肺炎型158件、ポンティアック熱型6件であった。死亡例は2人報告された。性別は男性138人、女性26人、年齢階級別は0～9歳1人、20～29歳1人、40～49歳5人、50～59歳27人、60～69歳46人、70歳以上84人であった。

推定感染地は国内 144 件、国外 5 件（インド 2 件、米国、中国、北朝鮮各 1 件）、国内又は国外（渡航先不明）1 件、不明 14 件であった。推定感染経路は、水系感染 67 件、塵埃感染 9 件、水系又は塵埃感染 1 件、その他 31 件、不明 56 件であった。水系感染のうち、公共浴場施設（温泉を含む）での感染と推定されたのは 28 件であった。



⑫ レプトスピラ症

2018 年は 5 件の届出があった。性別は男性 3 人、女性 2 人、年齢階級別は 10～19 歳 1 人、40～49 歳 1 人、50～59 歳 2 人、70 歳以上 1 人であった。推定感染地は国内 4 件、国外（タイ）1 件であった。

レプトスピラ症届出例 (n=5)

受理日	性別	年齢	推定感染地	推定感染経路、接触場所、滞在歴
5/31	男	59	国内	ネズミ
9/26	男	49	国内	河川
9/30	女	78	国内	
10/15	女	51	国内	沢登り中に川に転落し裂創受傷
10/19	男	18	タイ	ラフティング、川の飲水

⑬ その他の四類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む）、エキノコックス症、黄熱、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、狂犬病、コクシジオイデス症、サル痘、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る）、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く）、ニパウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、B ウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、野兔病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、ロッキー山紅斑熱

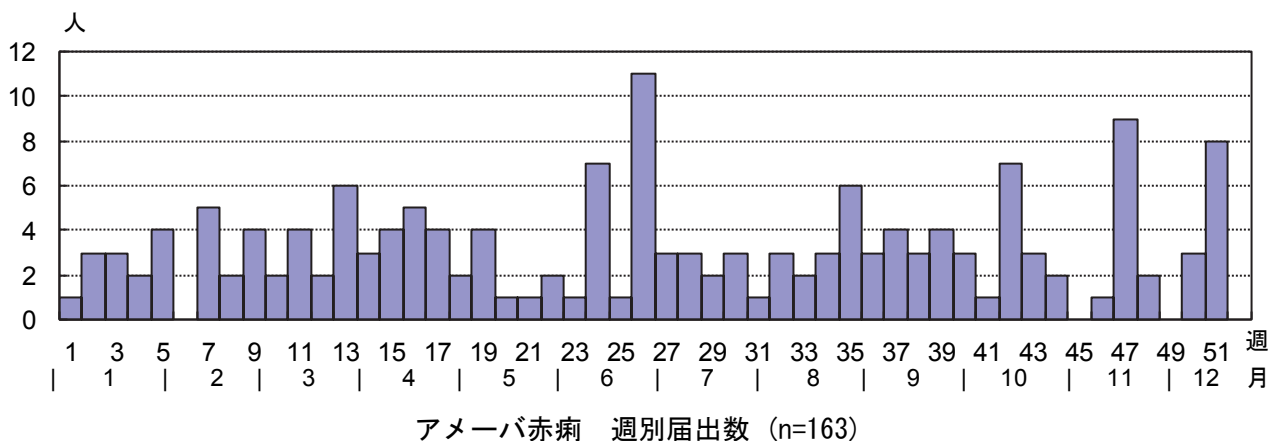
オ 五類感染症（全数把握対象）

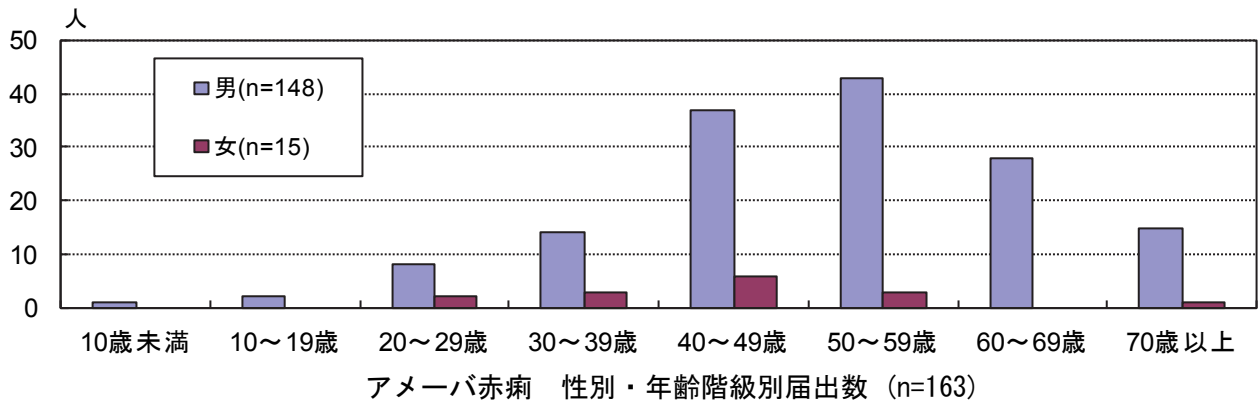
① アメーバ赤痢

2018 年は 163 件の届出があった。腸管アメーバ症 153 件、腸管外アメーバ症 8 件、腸管及び腸管外アメーバ症 2 件であった。性別は男性 148 人、女性 15 人で、年齢階級別では 10 歳未満 1 人、10～19 歳 2 人、20～29 歳 10 人、30～39 歳 17 人、40～49 歳 43 人、50～59 歳 46 人、60～69 歳 28 人、70 歳以上 16 人であった。

推定感染地は国内 108 件、国外 29 件、国内又は国外（渡航先不明 2 件、中国、ベトナム各 1 件）4 件、不明 22 件であり、国外感染例 29 件を推定感染地域別にみると、東南アジア 14 件、東アジア 4 件、南アジア 4 件、中東 2 件、ヨーロッパ 1 件、南米 1 件、2 地域以上 2 件、渡航先不明 1 件であった。渡航先不明を除く推定感染国は、フィリピン 4 件、タイ 3 件、中国 3 件、インド 3 件、シンガポール 2 件、インドネシア、ベトナム、モルディブ、ヨルダン、ポルトガル、ブラジル、東南アジア（国名不明）各 1 件のほか、中国又は韓国、タイ又は台湾、インド又はインドネシア、シンガポール又はベトナム又はタイ、ミャンマー又はラオス、トルコ又はイスラエル各 1 件であった。

推定感染経路は、性的接触 48 件（同性間 17 件、異性間 23 件、両性間 2 件、性別不明 6 件）、飲食物による経口感染 40 件、不明 75 件であった。





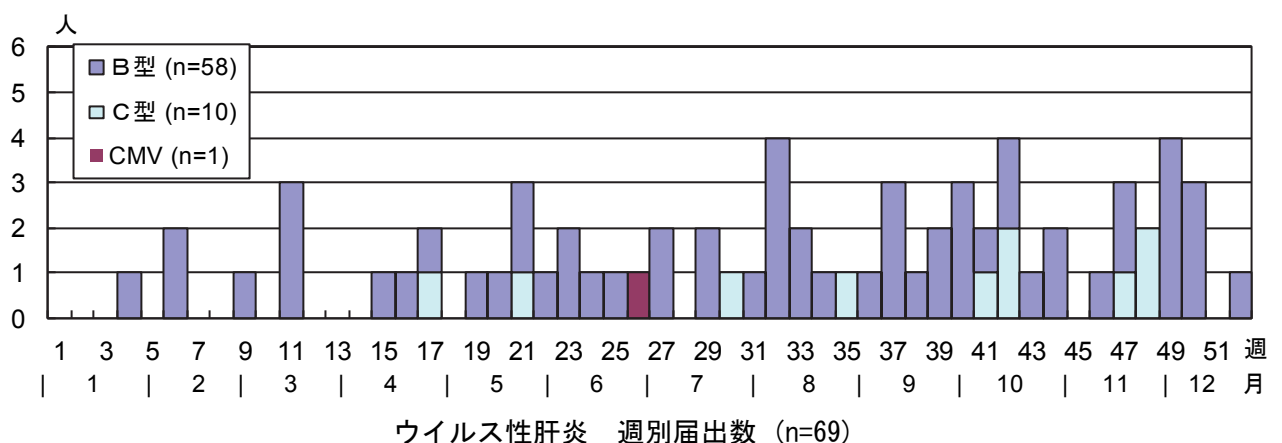
② ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く)

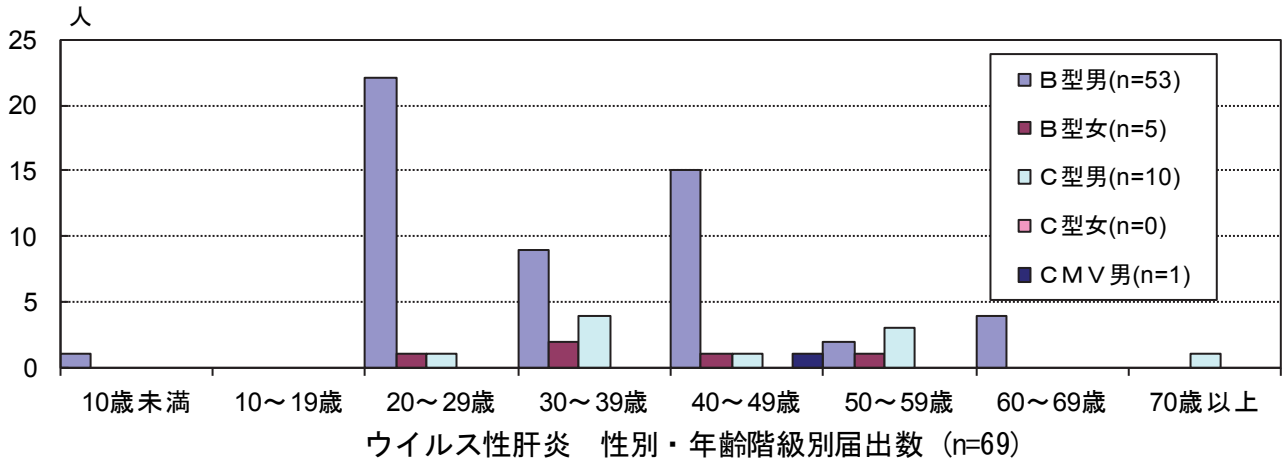
2018年は69件の届出があった。内訳は、B型肝炎58件、C型肝炎10件、サイトメガロウイルス(CMV)肝炎1件であった。

B型肝炎58件の届出のうち男性は53人、女性は5人で、年齢階級別では10歳未満1人、20～29歳23人、30～39歳11人、40～49歳16人、50～59歳3人、60～69歳4人であった。推定感染地は国内49件、国外5件(ベトナム3件、タイ1件、フィリピン又はタイ1件)、推定感染経路は性的接触42件(同性間18件、異性間21件、両性間1件、性別不明2件)、父母以外からの水平感染1件、不明15件であった。

C型肝炎10件の届出はすべて男性で、年齢は20～29歳1人、30～39歳4人、40～49歳1人、50～59歳3人、70歳以上1人であった。推定感染地はすべて国内、推定感染経路は性的接触7件(すべて同性間)、静注薬物常用1件、静注薬物常用又は性的接触(同性間)1件、不明1件であった。

サイトメガロウイルス(CMV)肝炎の1件は40歳代の男性、推定感染地は国内、感染経路は不明であった。



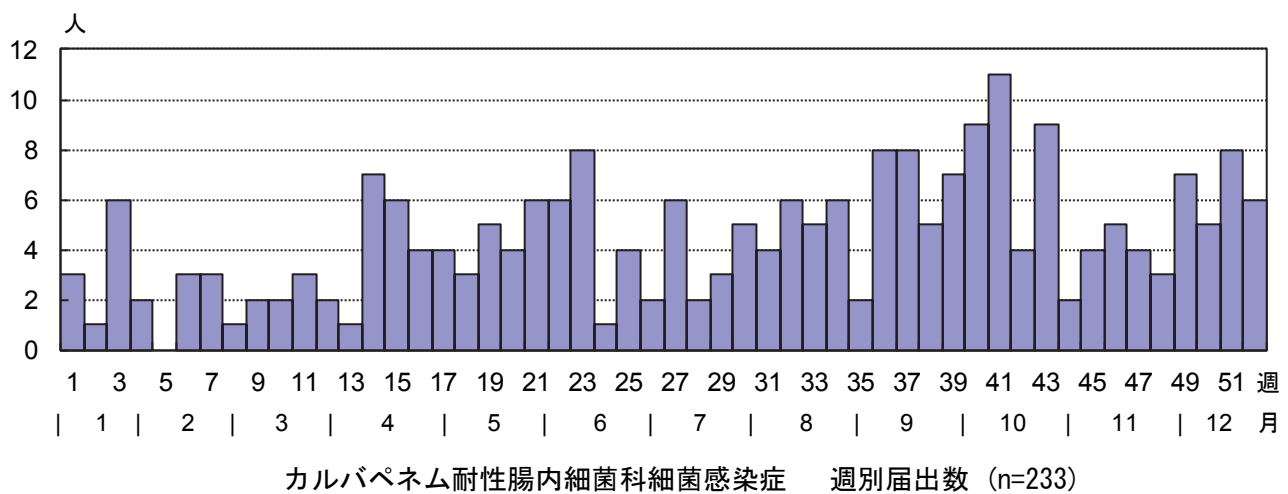


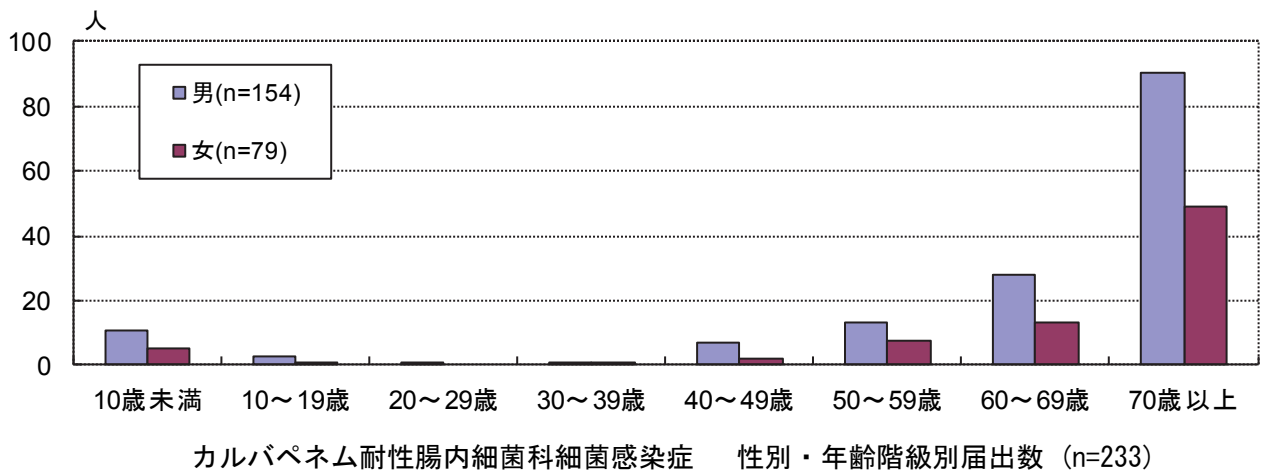
③ カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

2018年は233件の届出があった。性別は男性154人、女性79人で、年齢階級別では10歳未満16人(すべて5歳未満)、10～19歳4人、20～29歳1人、30～39歳2人、40～49歳9人、50～59歳21人、60～69歳41人、70歳以上139人(70歳代68人、80歳代56人、90歳以上15人)であった。死亡例は3人(10～19歳1人、60～69歳1人、70歳以上1人)報告された。

推定感染地は国内212件、国外5件(インド2件、バングラデシュ1件、中国1件、渡航先不明1件)、不明16件であった。

分離された菌種は、*Enterobacter cloacae* 82件、*Klebsiella aerogenes* 81件、*Klebsiella pneumoniae* 20件、*Escherichia coli* 16件、*Citrobacter freundii* 8件、*Klebsiella oxytoca* 5件、*Serratia marcescens* 4件、*Proteus mirabilis* 2件、*Enterobacteriaceae*、*Leclercia adecarboxylata* が各1件、2菌種が1件(*Enterobacter cloacae* 及び *Enterobacter aerogenes*) であった。また、この他に *Enterobacter* sp. 7件、*Klebsiella* sp. 2件、*Citrobacter* sp.、*Serratia* sp. が各1件分離され、1件は詳細不明であった。





④ 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）

2018年は8件の届出があった。性別は男性6人、女性2人で、年齢階級別では、10歳未満7人（うち5歳未満4人）、10～19歳1人、推定感染地は国内7件、不明1件で、すべて病原体不明であった。ポリオワクチン接種歴は、4回3件、3回2件、2回2件、不明1件であった。

⑤ 急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）

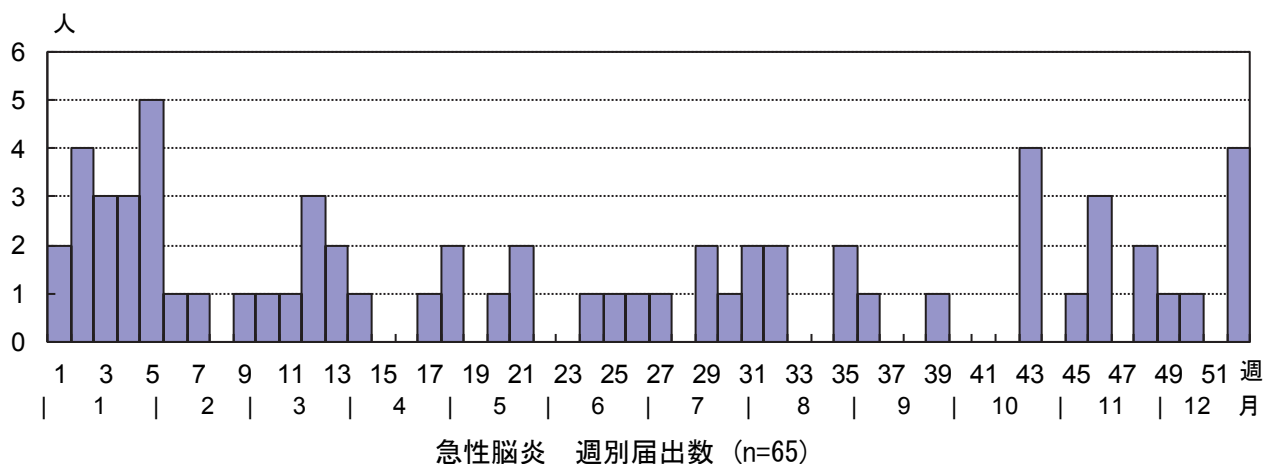
2018年は65件の届出があった。

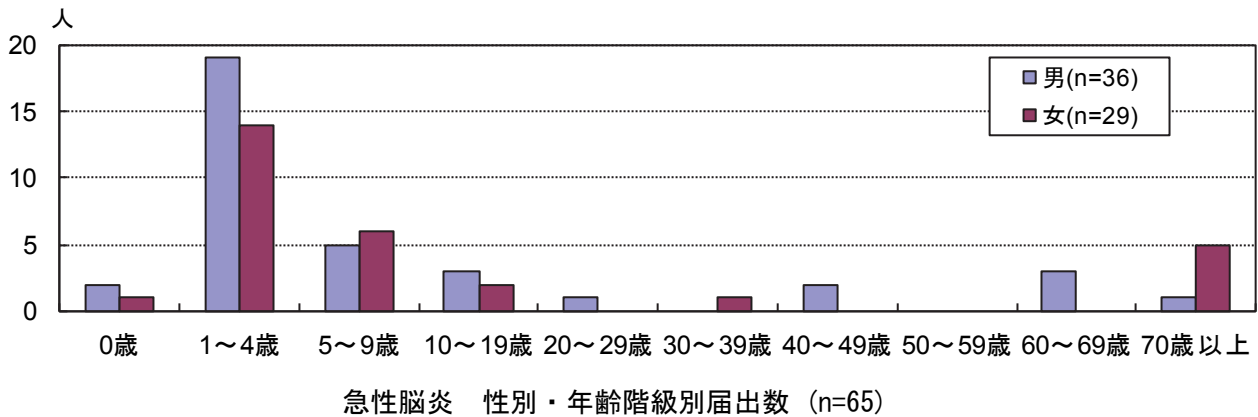
原因と推定された病原体は、インフルエンザウイルス23件、ヒトヘルペスウイルス3件、アデノウイルス2件、エンテロウイルス2件、ロタウイルス、単純ヘルペスウイルス、RSウイルス、ノロウイルス、肺炎球菌各1件、不明30件であった。

性別は男性36人、女性29人で、年齢階級別では10歳未満47人（5歳未満36人）、10～19歳5人、20～29歳1人、30～39歳1人、40～49歳2人、60～69歳3人、70歳以上6人であった。

死亡例は3人（10歳未満2人、10～19歳1人）報告されており、病原体は、インフルエンザウイルスAH1N1pdm1件、インフルエンザウイルスB型1件、不明1件であった。

推定感染地は国内62件、不明3件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染36件、接触感染3件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染2件、その他8件、不明16件であった。





⑥ クリプトスポリジウム症

2018年は3件の届出があった。性別は男性2人、女性1人で、年齢階級別は20～29歳2人、30～39歳1人であった。推定感染地はすべて国内で、すべて動物・蚊・昆虫等からの感染（牛との接触2件）が推定された。

⑦ クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）

2018年は25件の届出があった。性別は男性8人、女性17人で、年齢階級別では50～59歳2人、60～69歳2人、70歳以上21人であった。

孤発性プリオン病・古典型CJDが22件（ほぼ確実18件、疑い4件）、孤発性プリオン病・その他が2件（ほぼ確実1件、疑い1件）、遺伝性プリオン病・家族性CJDが1件（ほぼ確実）であった。

孤発性プリオン病24件の症状は、進行性認知症が23件に認められたほか、ミオクローヌス17件、記憶障害15件、無動性無言状態14件、小脳症状14件、錐体路症状13件、精神・知能障害13件、錐体外路症状10件、視覚異常5件、筋強剛5件、痙性対麻痺1件、異常感覚1件であった。

家族性CJD1件の症状は、進行性認知症の他、錐体路症状、運動性失語であった。

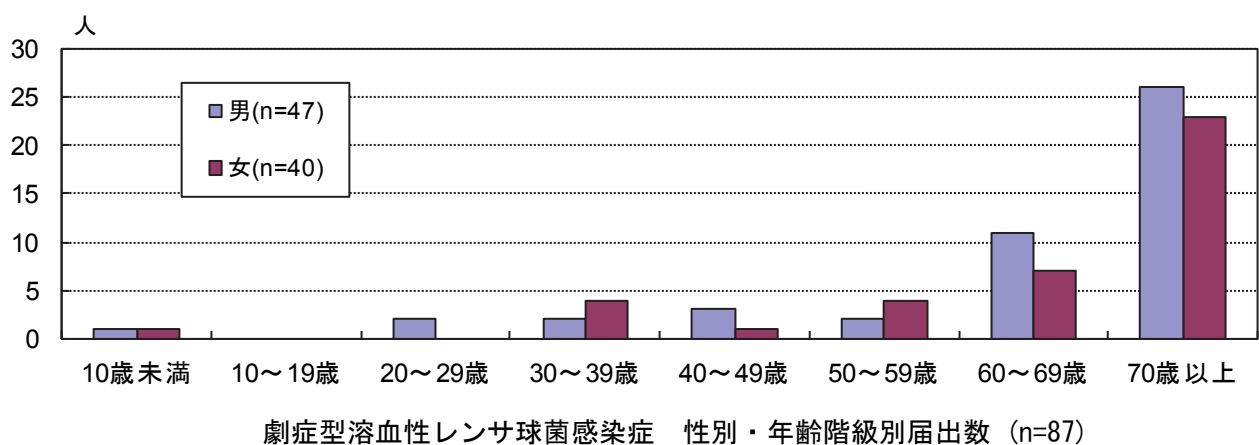
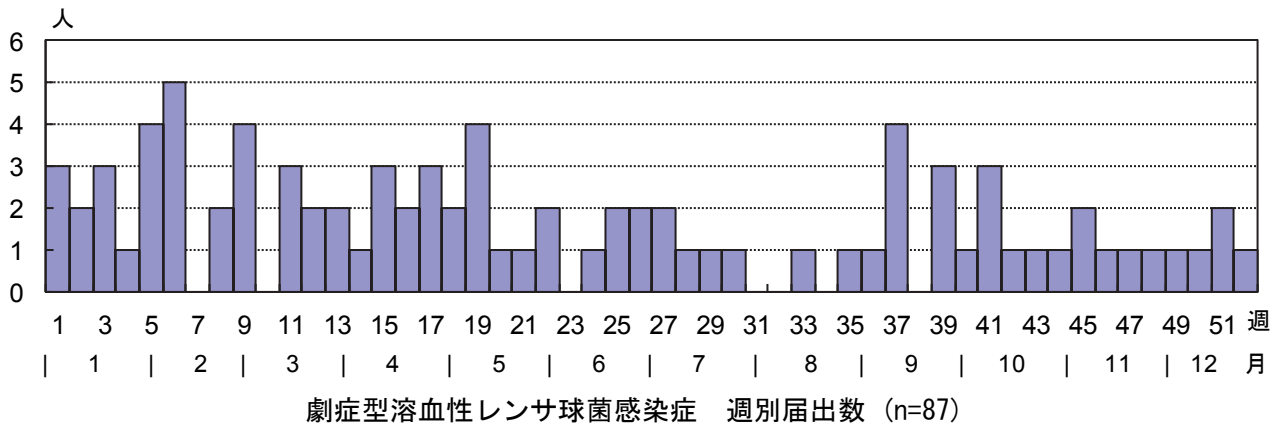
プリオン遺伝子検査による診断がなされたのは6件（古典型CJD4件、その他の孤発性プリオン病1件、家族性CJD1件）であった。

⑧ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

2018年は87件の届出があり、過去10年で最も多い届出数となった。性別は男性47人、女性40人で、年齢階級別では10歳未満2人（すべて5歳未満）、20～29歳2人、30～39歳6人、40～49歳4人、50～59歳6人、60～69歳18人、70歳以上49人であった。死亡例は19人（20～29歳1人、40～49歳1人、50～59歳2人、60～69歳2人、70歳以上13人）報告された。

推定感染地は国内79件、国外4件（アイルランド、米国、タイ、バヌアツ各1件）、不明4件であった。推定感染経路は創傷感染30件、飛沫・飛沫核感染3件、接触感染1件、その他14件、不明39件であった。

血清群は、A群37件（42.5%）、B群14件（16.1%）、F群1件（1.1%）、G群34件（39.1%）、不明1件（1.1%）であった。



⑨ 後天性免疫不全症候群

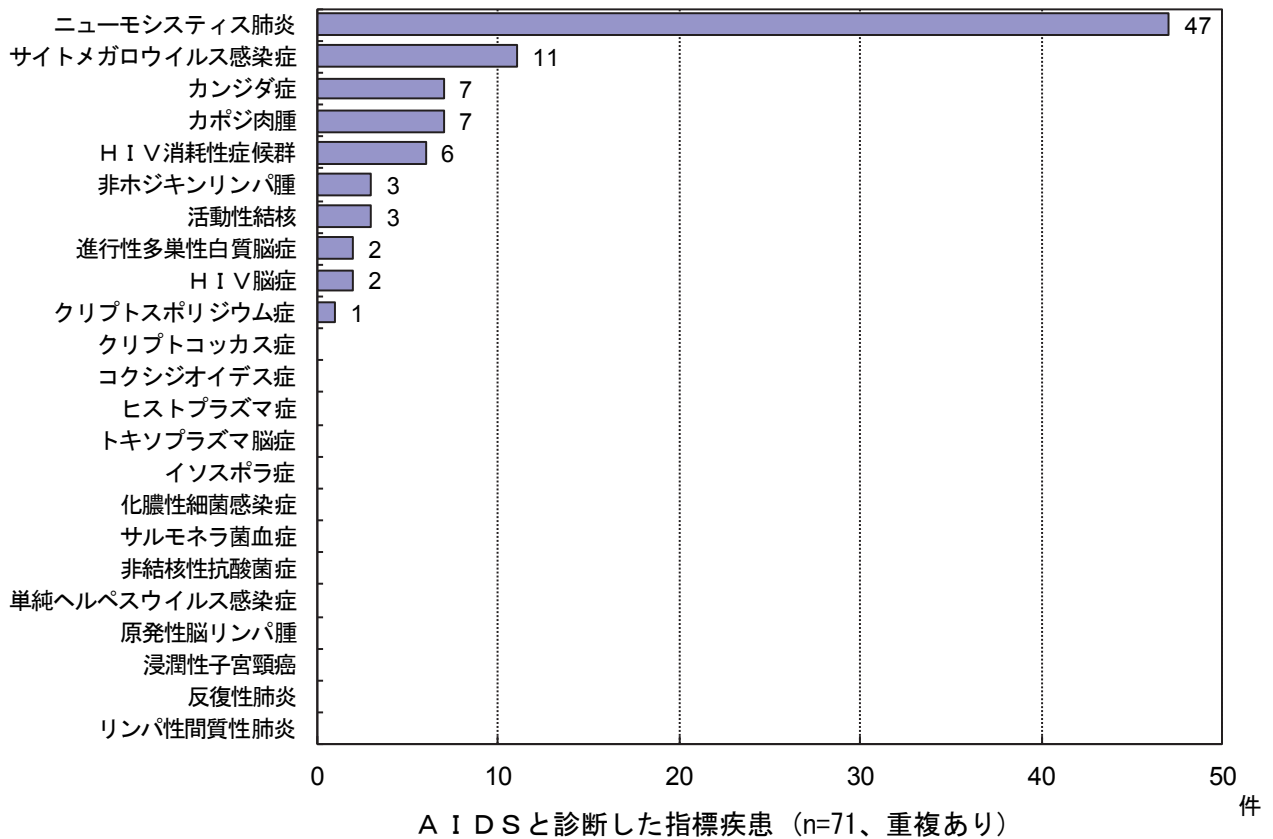
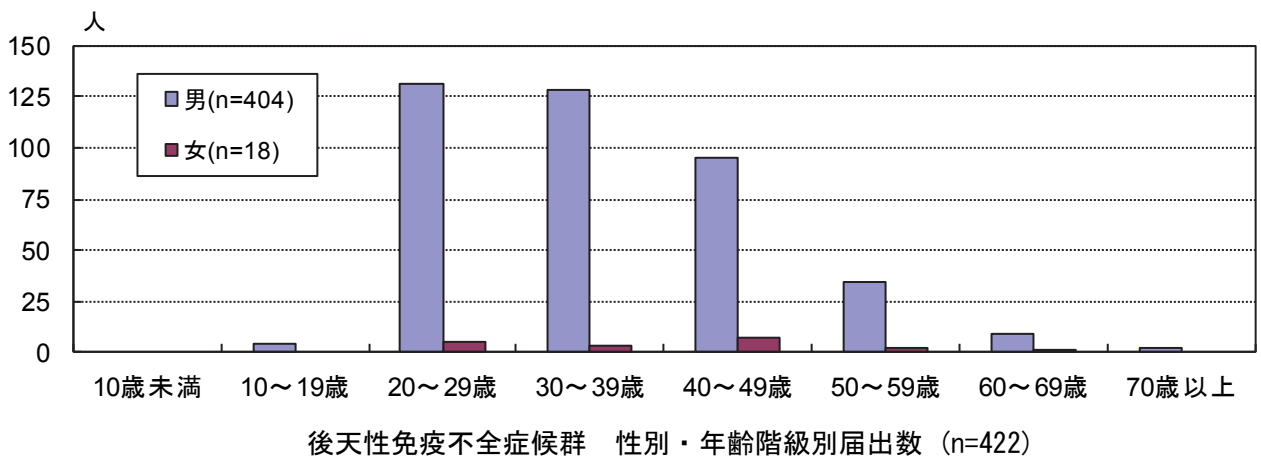
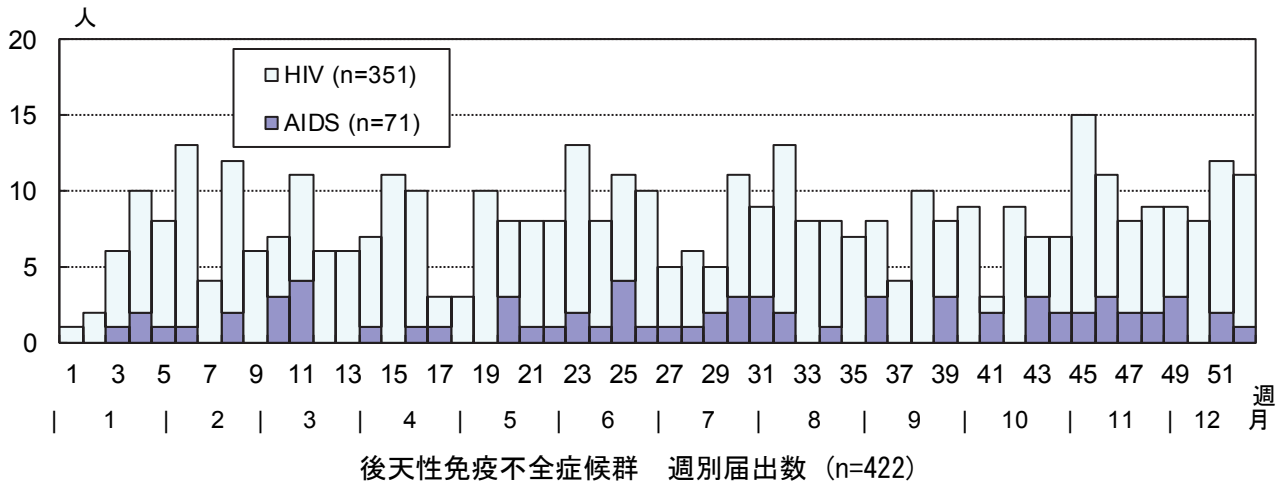
2018年は422件の届出があり、AIDS患者71人、HIV感染者351人（指標疾患以外の有症者61人、無症候性キャリア290人）であった。AIDS患者71人の内訳は男性66人、女性5人で、年齢階級別では20～29歳13人、30～39歳16人、40～49歳26人、50～59歳14人、60～69歳1人、70歳以上1人であった。

HIV感染者のうち指標疾患以外の有症者の61人内訳はすべて男性で、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳19人、30～39歳18人、40～49歳16人、50～59歳5人、60～69歳2人であった。

HIV感染者のうち無症候性キャリアの290人の内訳は男性277人、女性13人で、年齢階級別では10～19歳3人、20～29歳104人、30～39歳97人、40～49歳60人、50～59歳18人、60～69歳7人、70歳以上1人であった。

推定感染地は国内349件、国外22件、国内又は国外3件、不明48件であった。国外感染例22件の推定感染地域は、東アジア9件、東南アジア8件、ヨーロッパ1件、北米1件、アフリカ1件、2地域以上1件、不明1件であった。推定感染国別に見ると、中国7件、タイ3件、韓国2件、インドネシア、フィリピン、マレーシア、ミャンマー、ラオス、フランス、米国、ガーナ、台湾又はフィリピン各1件、渡航先不明1件であった。

推定感染経路は性的接触378件（同性間306件、異性間57件、両性間8件、不明7件）、静注薬物使用1件、2経路以上2件（いずれも同性間性的接触又は静注薬物使用）、不明41件であった。

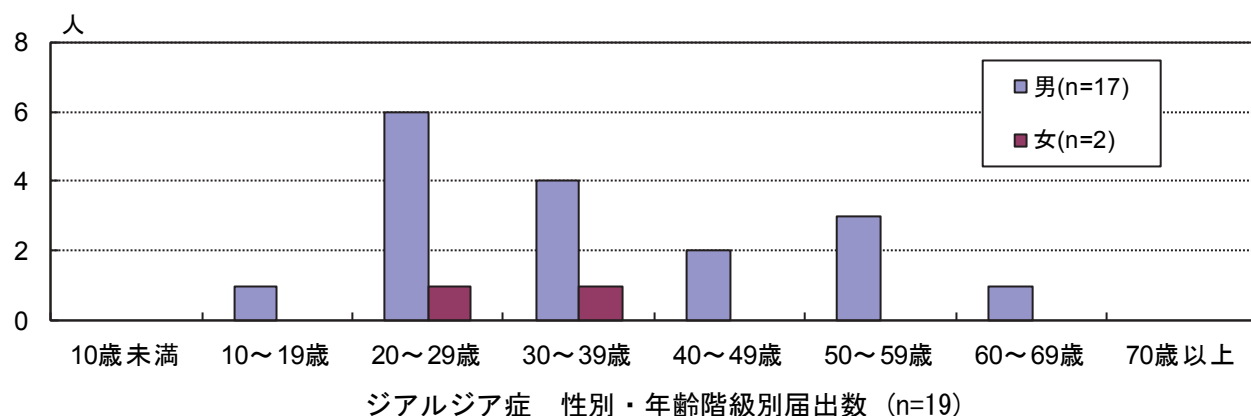
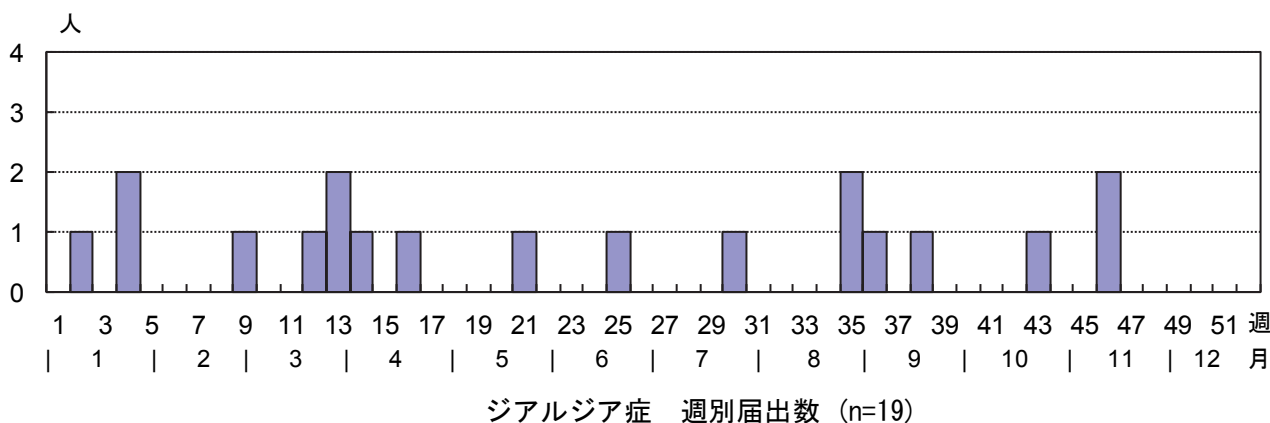


⑩ ジアルジア症

2018年は19件の届出があった。性別は男性17人、女性2人で、年齢階級別では10～19歳1人、20～29歳7人、30～39歳5人、40～49歳2人、50～59歳3人、60～69歳1人であった。

推定感染地は国内8件、国外10件、国内又は国外（渡航先不明）1件であった。国外感染例10件を推定感染国別に見ると、インド5件、カンボジア、ベトナム、インド又はカンボジア又はタイ、ネパール又はミャンマー又はタイ、バングラデシュ又はパキスタン各1件であった。

推定感染経路は、経口感染8件、性的接触4件（同性間1件、異性間2件、不明1件）、水系感染2件、不明5件であった。



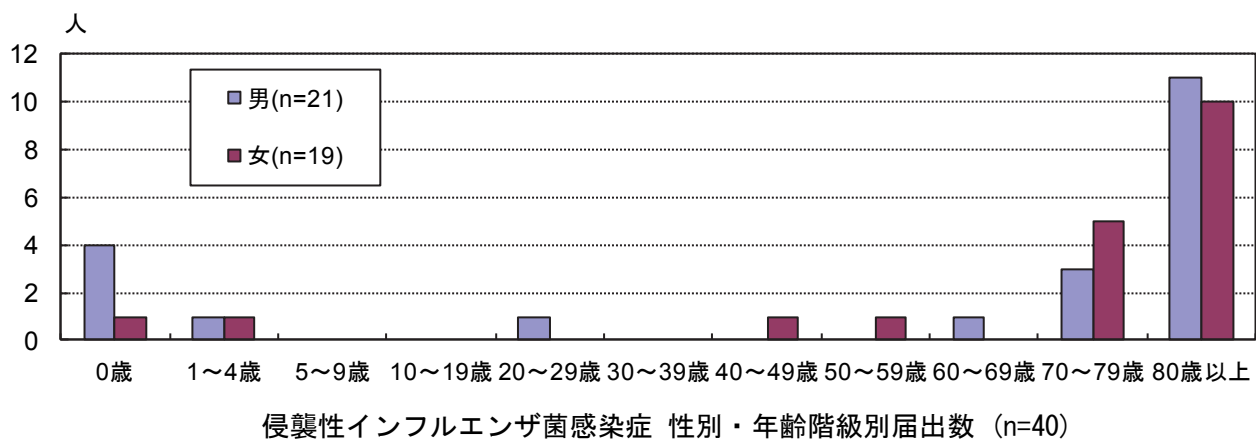
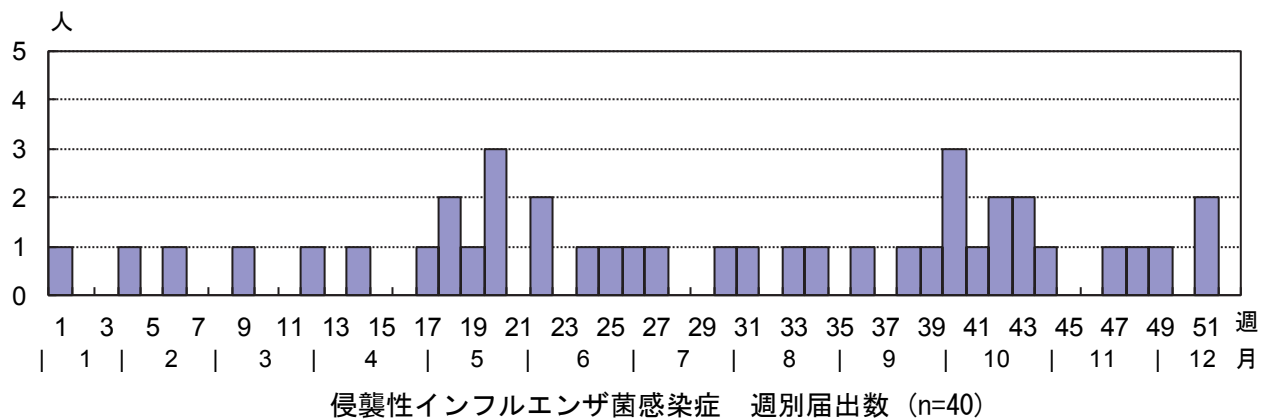
⑪ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

2018年は40件の届出があった。性別は男性21人、女性19人で、年齢階級別では10歳未満7人（すべて5歳未満）、20～29歳1人、40～49歳1人、50～59歳1人、60～69歳1人、70歳以上29人（70歳代8人、80歳代16人、90歳以上5人）で、死亡例は4人報告された。

血清型は、f型2件、型別不明30件、検査未実施8件であった。

推定感染地は国内35件、不明5件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染12件、その他2件、不明26件であった。

Hib ワクチン接種歴は4回が2件、3回が4件、1回が1件（いずれも10歳以下）のほか、なし5件、不明28件であった。



⑫ 侵襲性髄膜炎菌感染症

2018年は6件の届出があった。性別は男性4人、女性2人であった。年齢階級別では30～39歳1人、40～49歳2人、50～59歳1人、60～69歳1人、70歳以上1人で、死亡例は2人報告された。

血清群は、Y群3件、不明3件であった。

推定感染地はすべて国内で、感染経路はすべて不明であった。ワクチン接種歴は、なし2件、不明4件であった。

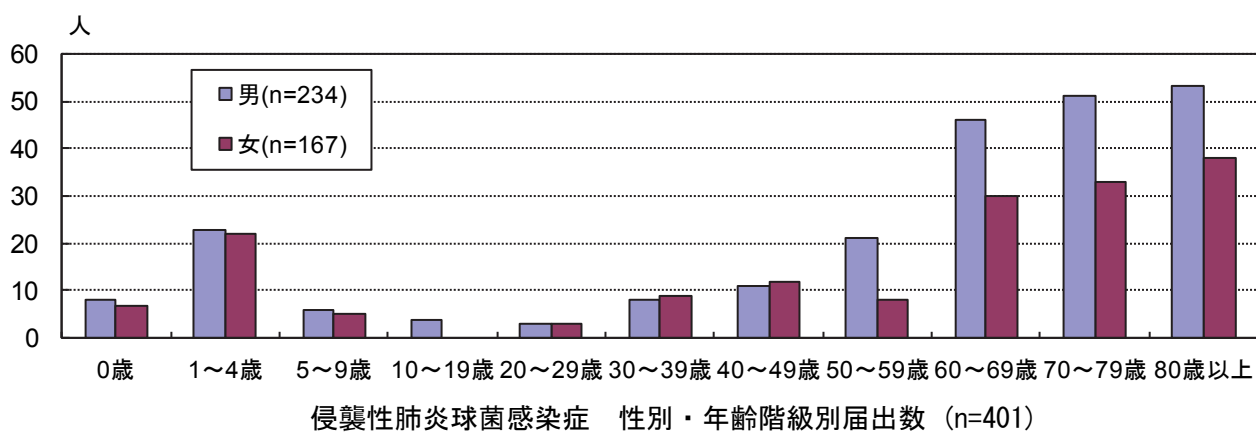
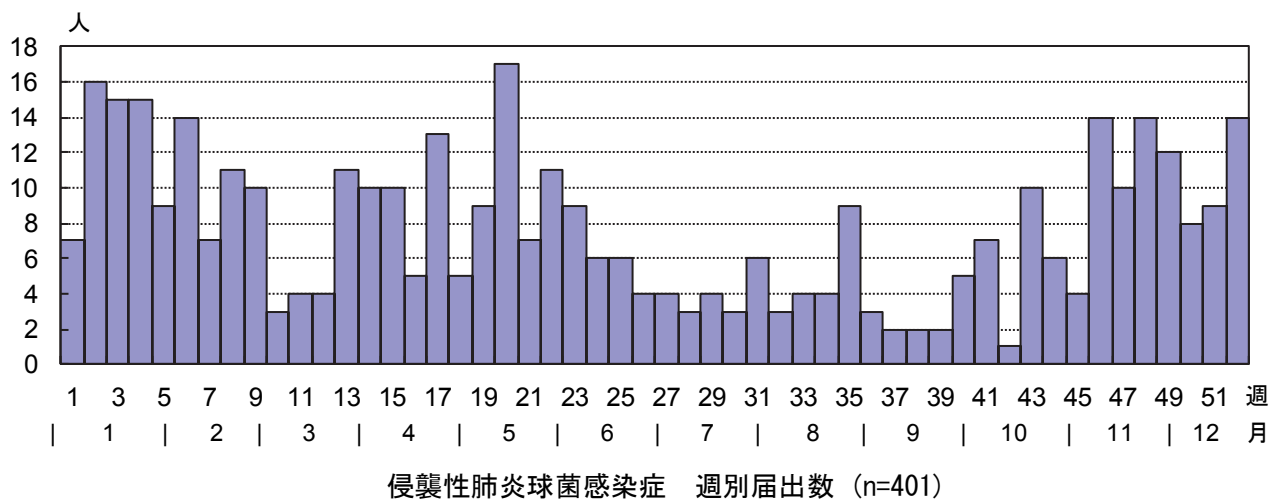
⑬ 侵襲性肺炎球菌感染症

2018年は401件の届出があった。性別は男性234人、女性167人であった。年齢階級別では10歳未満71人（うち5歳未満60人）、10～19歳4人、20～29歳6人、30～39歳17人、40～49歳23人、50～59歳29人、60～69歳76人、70歳以上175人で、死亡例は25人報告された。

推定感染地は国内380件、国外1件（イギリス）、国内又は国外（渡航先不明）1件、不明19件であった。推定感染経路は飛沫・飛沫核感染142件、接触感染3件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染3件、その他18件、不明235件であった。

ワクチン接種歴は4回41件、3回19件、2回7件、1回53件、なし145件、不明136件であった。

届出のうち、血清型が判明したのは123件で、最も多い血清型は3型（12件、9.8%）であった。



年齢階級別・種類別ワクチン接種歴 (n=401)

	7価			7価3回		13価			13価1回		23価	
	4回	2回	1回	13価1回	4回	3回	2回	1回	23価1回	2回	1回	
5歳未満					34	16	1	2				
5~9歳	4	1	1	1		1						
10~64歳				1								1
65歳以上									1	1		11
合計	4	1	2	1	34	17	1	2	1	1		12

	価数不明 接種歴有	接種歴 なし	接種歴 不明	総計
5歳未満	4	1	2	60
5~9歳	1	2		11
10~64歳	3	71	33	109
65歳以上	36	71	101	221
合計	44	145	136	401

侵襲性肺炎球菌感染症 血清型 (n=123)

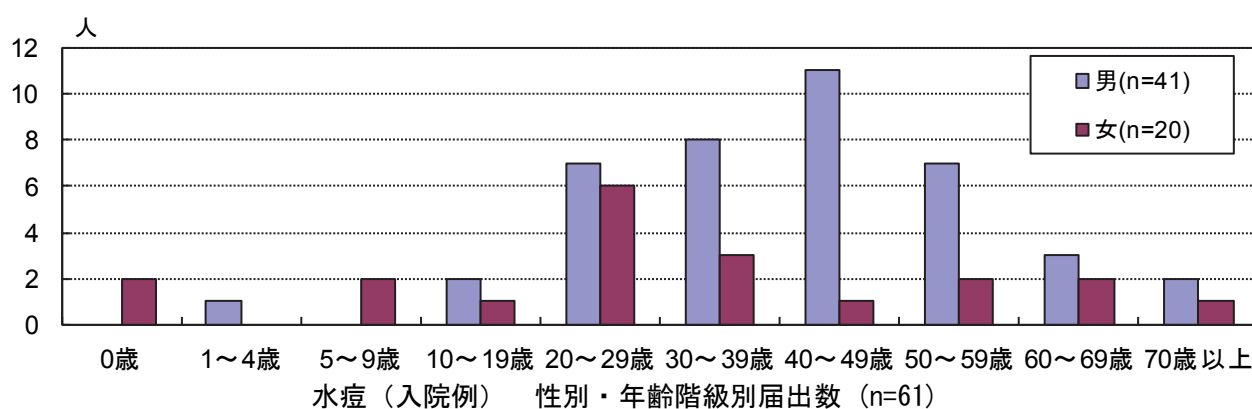
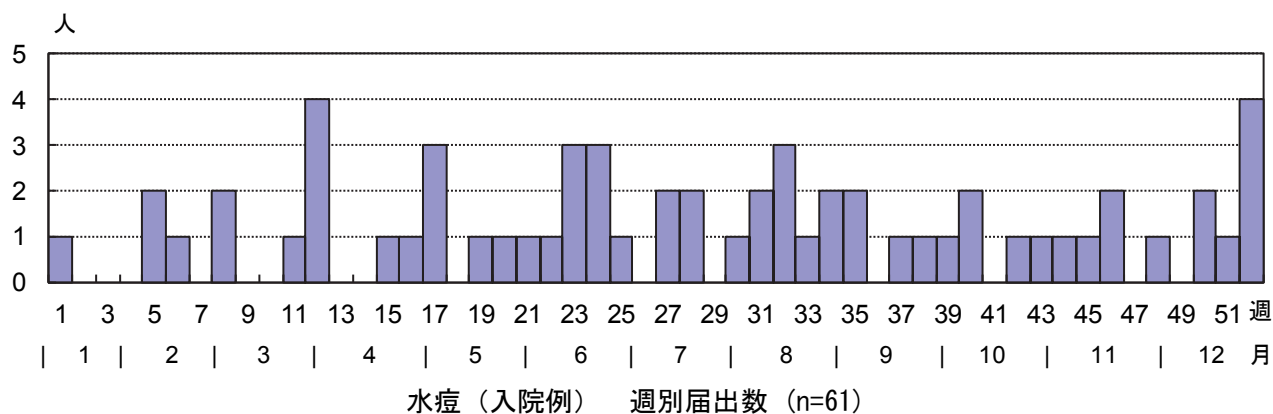
血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数	血清型	届出数
3 型	12	15B 型	5	7C 型	3	14 型	1
12F 型	11	23A 型	5	7F 型	3	19 型	1
15A 型	11	24F 型	5	20 型	2	19F 型	1
24B 型	11	11A 型	4	33F 型	2	24A 型	1
10A 型	7	35B 型	4	38 型	2	31 型	1
19A 型	7	15C 型	3	6B 型	1	35F 型	1
6C 型	6	22F 型	3	6D 型	1		
1 型	5	34 型	3	7A 型	1		

⑭ 水痘 (入院例)

2018 年は 61 件の届出があった。性別は男性 41 人、女性 20 人で、年齢階級別では 10 歳未満 5 人、10～19 歳 3 人、20～29 歳 13 人、30～39 歳 11 人、40～49 歳 12 人、50～59 歳 9 人、60～69 歳 5 人、70 歳以上 3 人であった。死亡例の報告はなかった。

推定感染地は国内 56 件、国外 (フィリピン 1 件、中国 1 件) 2 件、不明 3 件で、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 22 件、接触感染 4 件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 4 件、不明 31 件であった。

ワクチン接種歴は 2 回 4 件、1 回 1 件、なし 20 件、不明 36 件であった。



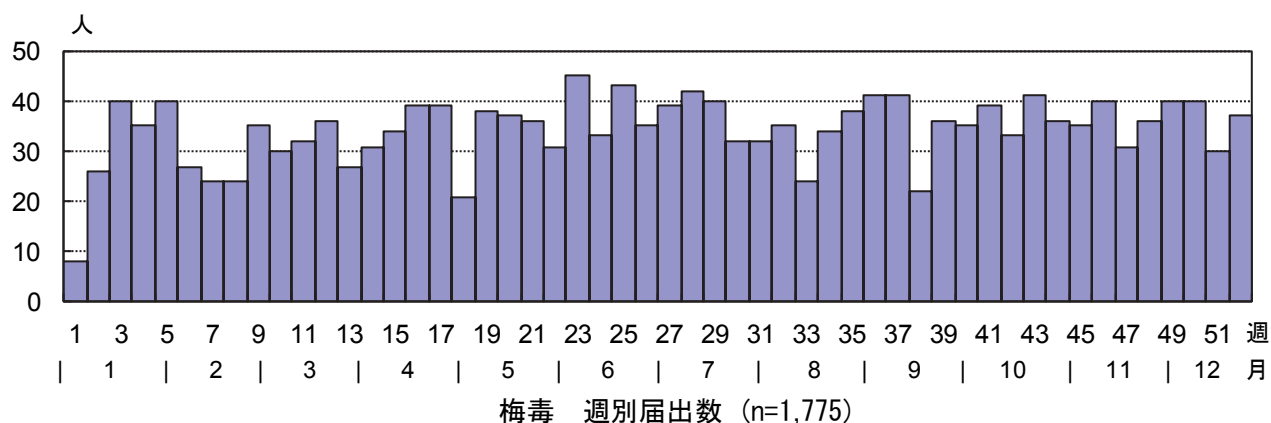
⑮ 梅毒

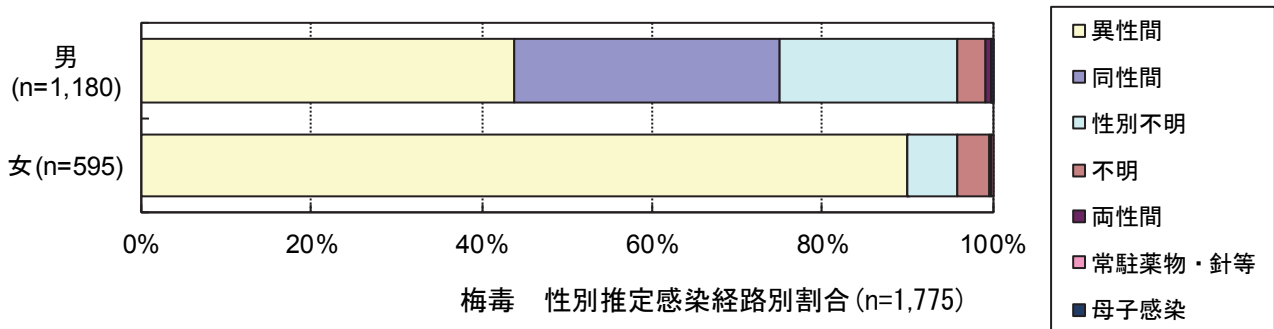
2018 年は 1,775 件の届出があった。病型は、早期顕症梅毒 I 期 555 件、早期顕症梅毒 II 期 717 件、晩期顕症梅毒 30 件、無症候 472 件、先天梅毒 1 件であった。性別は男性 1,180 人、女性 595 人であつ

た。年齢階級別では10歳未満（新生児）1人、10～19歳56人、20～29歳596人、30～39歳436人、40～49歳405人、50～59歳187人、60～69歳61人、70歳以上33人で、20～49歳の男性が925人で全体の52.1%を占めた。一方、20～29歳596人のうち女性が339人で56.9%を占めた。

推定感染地は国内1,663件、国外22件、国内又は国外（タイ1件、渡航先不明3件）4件、不明86件であり、国外感染例22件の推定感染国は、タイ7件、韓国2件、中国2件、台湾、インドネシア、シンガポール、マレーシア、イギリス、ベルギー各1件、ロシア又はスペイン1件、渡航先不明4件であった。

推定感染経路は性的接触1,709件（同性間369件、異性間1,053件、両性間8件、性別不明279件）、母子感染1件、同性間性的接触又は静注薬物常用1件、性的接触（性別不明）又は針等の鋭利なものへの刺入による感染1件、不明63件となった。





⑯ 播種性クリプトコックス症

2018年は18件の届出があった。性別は男性9人、女性9人で、年齢階級別では30～39歳1人、50～59歳2人、60～69歳2人、70歳以上13人であった。死亡例は4人報告された。

推定感染地は国内17件、不明1件であった。推定感染原因は免疫不全14件（ステロイド加療中5件、関節リウマチ加療中3件、癌加療中2件、HIV、低栄養、糖尿病各1件、状況不明1件）、鳥類の糞などとの接触1件、不明3件であった。

⑰ 破傷風

2018年は8件の届出があった。性別は男性3人、女性5人で、年齢階級別では20～29歳1人、30～39歳1人、40～49歳1人、50～59歳2人、60～69歳1人、70歳以上2人であった。

推定感染地はすべて国内で、推定感染経路はすべて創傷感染であった。破傷風含有ワクチン接種歴は、なし4件、不明4件であった。

⑱ バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）感染症

2018年は7件の届出があった。性別は男性3人、女性4人で、年齢階級別では50～59歳1人、60～69歳2人、70歳以上4人であった。菌種は *Enterococcus faecium* 5件、*Enterococcus faecalis* 2件、耐性遺伝子は *vanB* 3件、*vanM* 1件、不明3件であった。

推定感染地は国内6件、不明1件であった。推定感染経路は抗生剤使用による耐性1件、以前の入院時に感染・保菌1件、不明5件であった。

⑲ 百日咳

2018年の届出は2,434件であった。性別は男性1,114人、女性1,320人で、年齢階級別では10歳未満1,257人（うち0歳104人、1～4歳110人）、10～19歳578人、20～29歳85人、30～39歳153人、40～49歳204人、50～59歳85人、60～69歳40人、70歳以上32人であった。

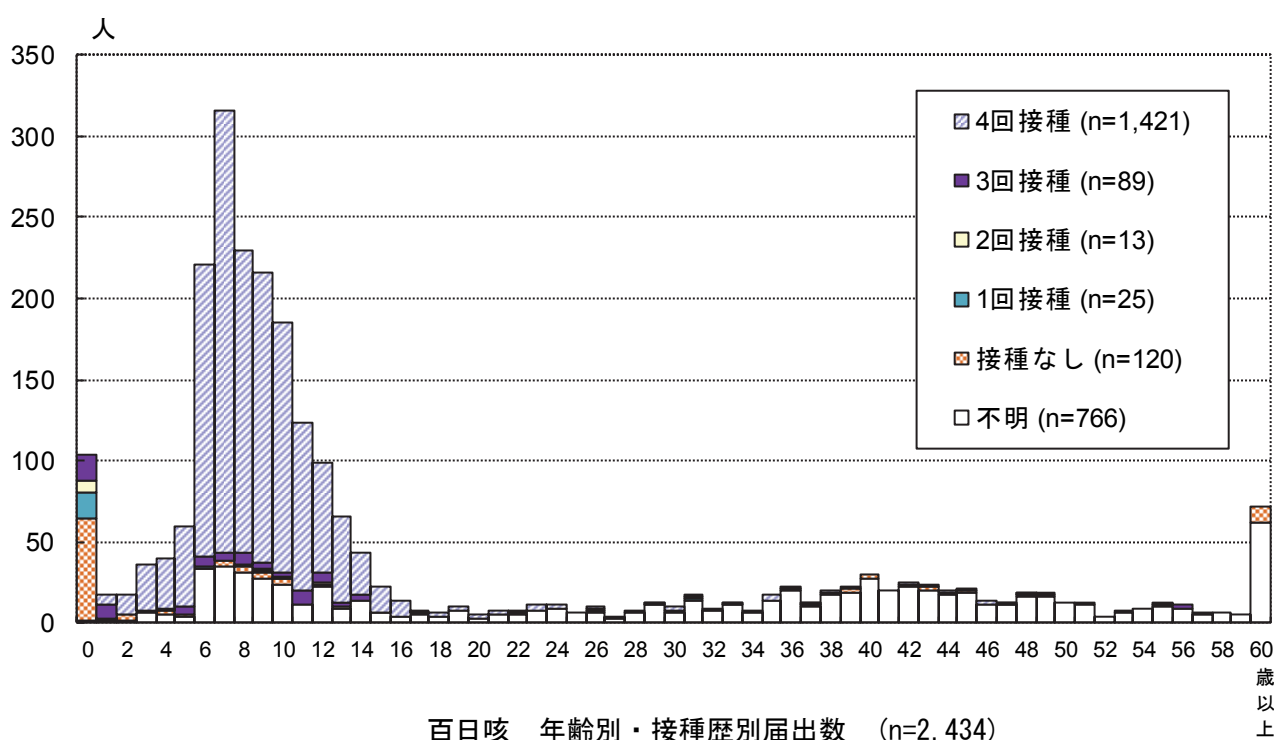
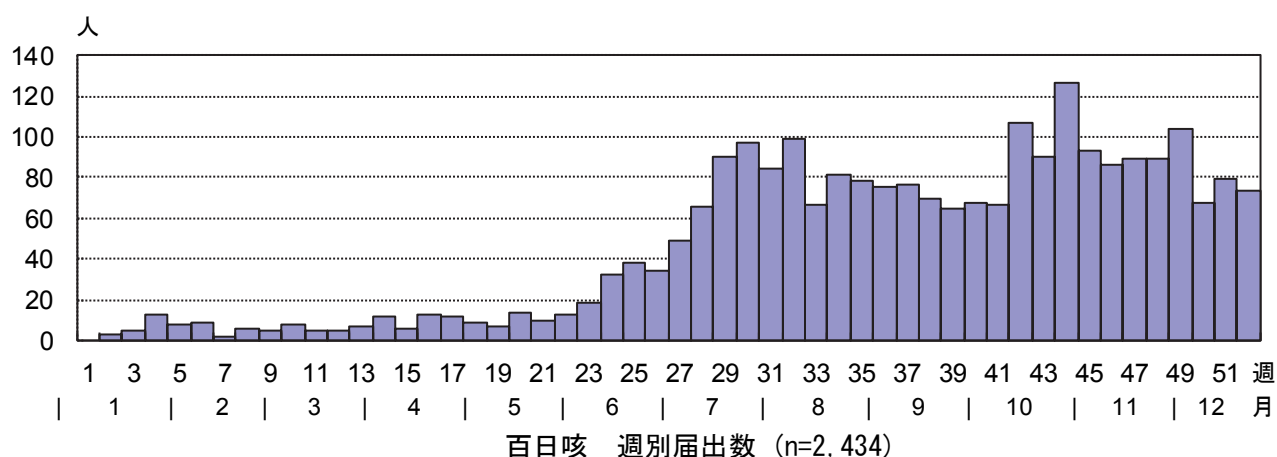
推定感染地は国内2,122件、国外（モンゴル3件、中国、ブラジル各1件）5件、国内又は国外（韓国、ベトナム、米国各1件、渡航先不明4件）7件、不明300件であった。

百日咳含有ワクチン接種歴は、4回1,421件、3回89件、2回13件、1回25件、なし120件、不明766件であった。

診断方法は、分離同定15件、遺伝子検査（LAMP法）1,375件、遺伝子検査（PCR法）26件、抗体検査981件、その他の検査32件、臨床決定66件であった。

菌種同定を行ったのは7件で、菌種はいずれも *Bordetella pertussis* であった。遺伝子型が判明したの

は 8 件で、MLST-2 型が 6 件、MLST-4 型が 1 件、MLST-2 及び 3 型が 1 件であった。



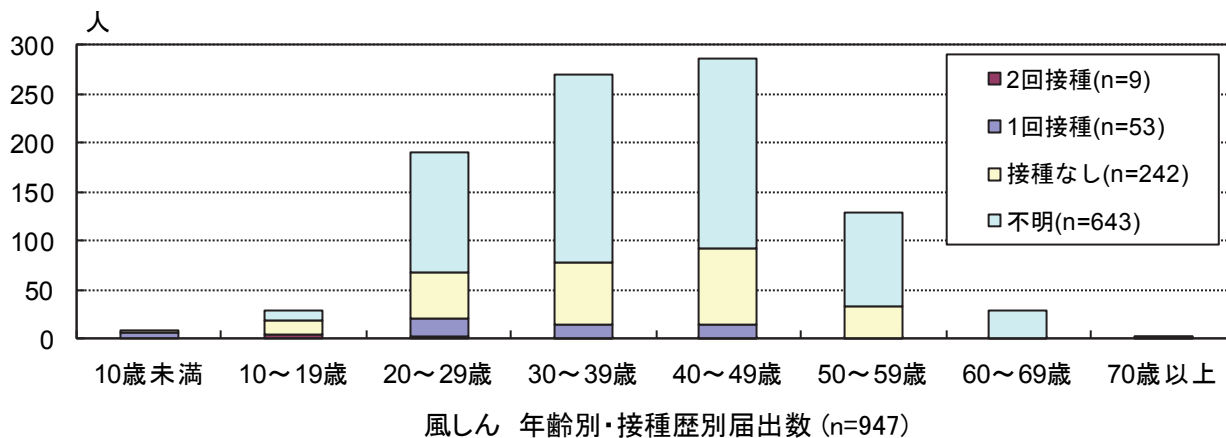
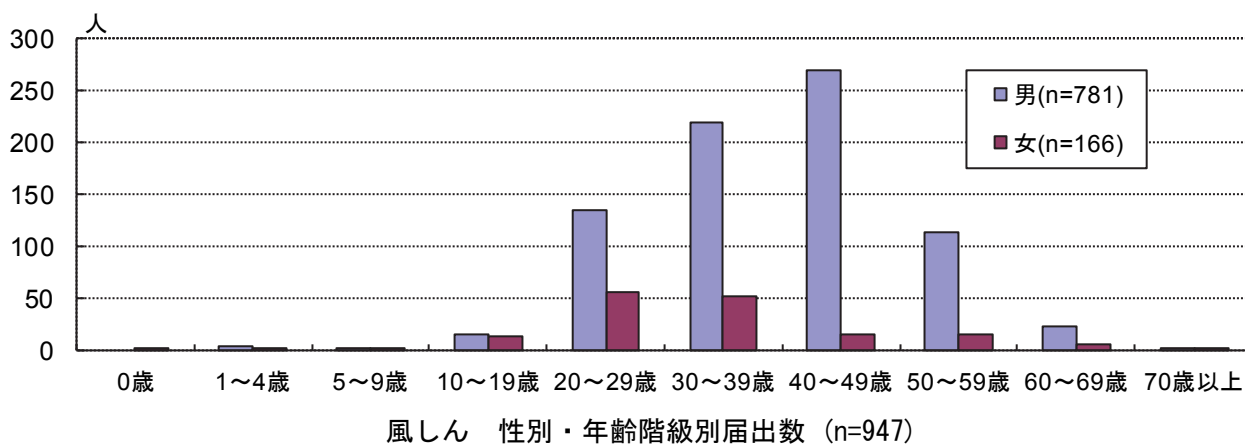
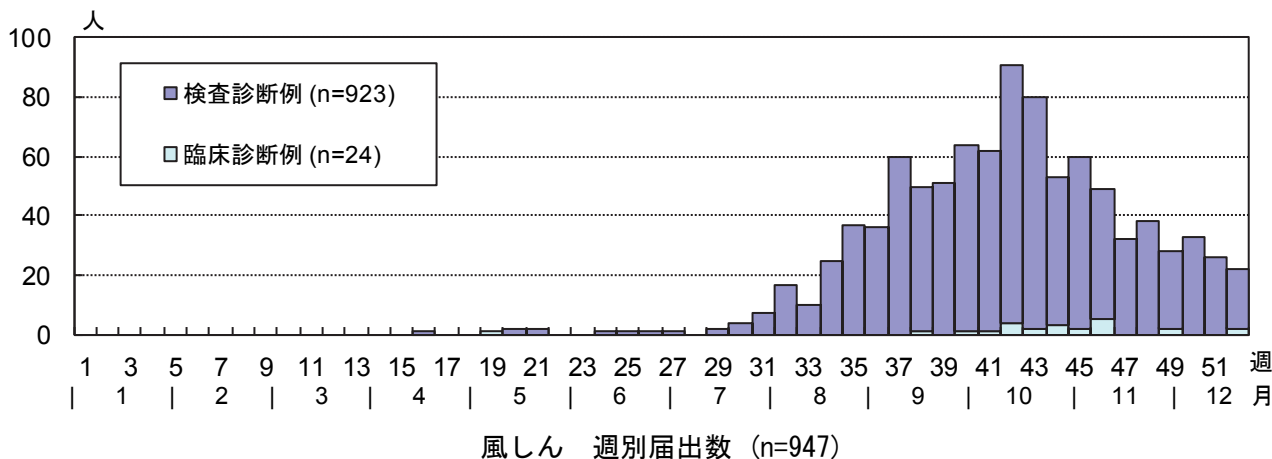
⑳ 風しん

2018 年の届出は 947 件であった。検査診断例 923 件（うち PCR 陽性例は 515 件）、臨床診断例 24 件であった。先天性風疹症候群はなかった。

性別は男性 781 人、女性 166 人で、年齢階級別では 10 歳未満 10 人（うち 5 歳未満 7 人）、10～19 歳 29 人、20～29 歳 190 人、30～39 歳 271 人、40～49 歳 286 人、50～59 歳 129 人、60～69 歳 29 人、70 歳以上 3 人であった。

推定感染地は国内 752 件、国外（韓国、香港、フィリピン、インドネシア、インド、ジャマイカ、チリ各 1 件）7 件、国内又は国外（スイス）1 件、不明 187 件であった。

風しん含有ワクチン接種歴は、2 回 9 件、1 回 53 件、なし 242 件、不明 643 件であった。



② 麻しん

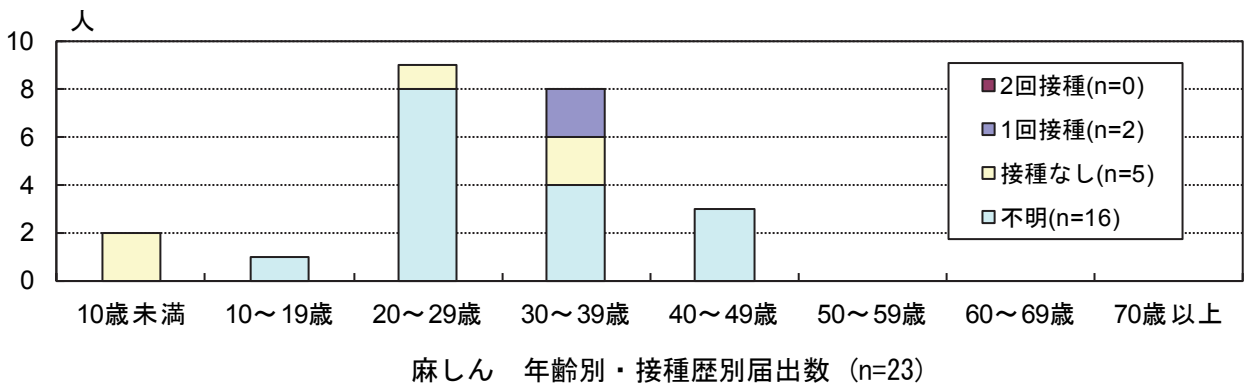
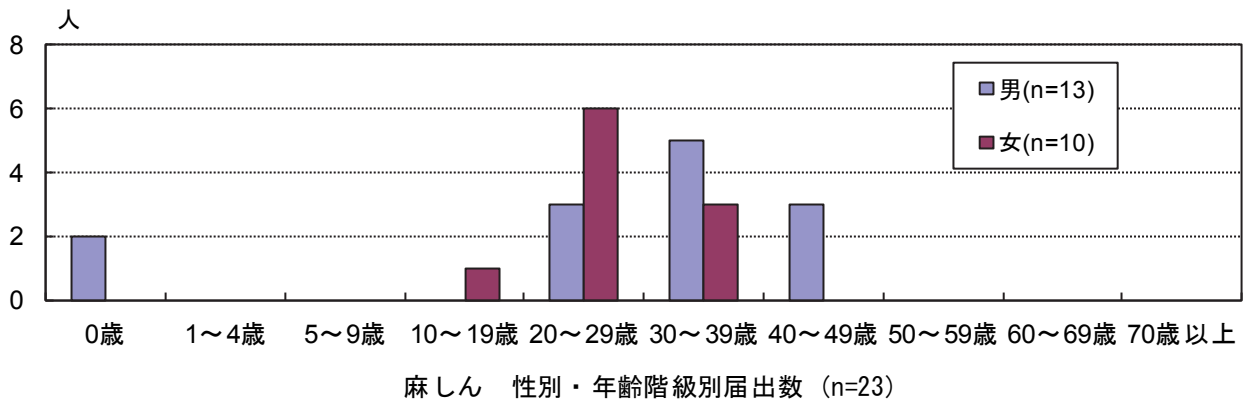
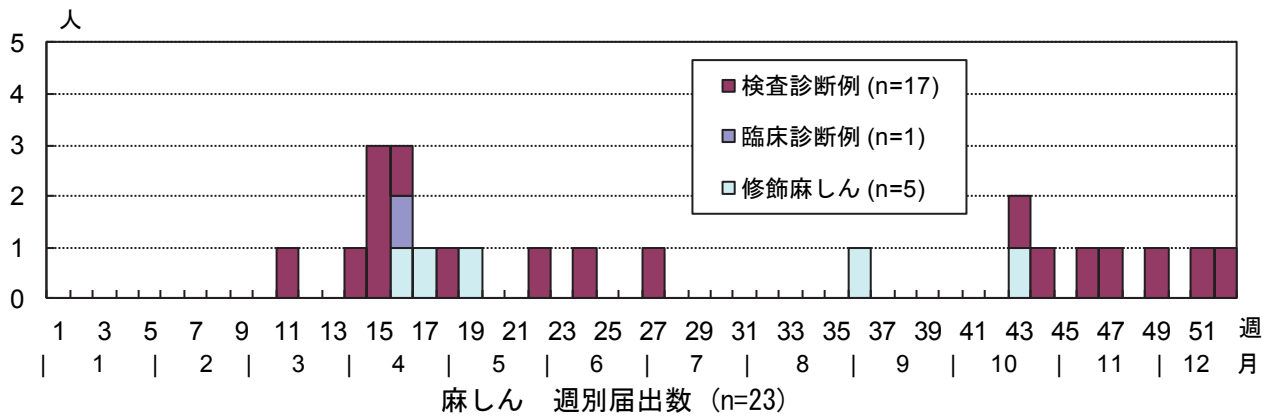
2018年は23件の届出があった。検査診断例17件、臨床診断例1件、修飾麻しん5件であった。肺炎、脳炎の合併の報告はなかった。

性別は男性13人、女性10人で、年齢階級別では10歳未満2人(すべて5歳未満)、10~19歳1人、20~29歳9人、30~39歳8人、40~49歳3人であった。推定感染地は国内12人、国外(タイ3件、シンガポール、フィリピン、ベトナム、マレーシア各1件)7人、国内又は国外(中国又はマレーシア)1件、不明3件であった。

麻しん含有ワクチン接種歴は、1回2件、なし5件、不明16件であった。

PCR検査で麻しんウイルス陽性が確認された例は21件あり、それらの遺伝子型別の内訳はD8型

19 件、B3 型 1 件、H1 型 1 件で、D8 型が 90.5%を占めた。



麻しん届出例 (n=23)

受理日	性別	年齢	遺伝子型	推定感染地域	ワクチン接種歴
3/15	男	23	D8	タイ	不明
4/7	女	23	D8	タイ	不明
4/10	女	35	D8	国内	なし
4/12	男	30	D8	国内	不明
4/13	女	24	D8	国内	不明
4/18	女	36	D8	国内	なし
4/19	男	39	不明	国内	不明
4/20	女	17	D8	国内	不明
4/27	男	46	D8	国内	不明
5/1	女	22	D8	国内	不明
5/7	女	32	D8	国内	1回

6/3	男	0	D8	シンガポール	なし
6/12	男	30	H1	中国又はマレーシア	不明
7/4	男	29	D8	タイ	なし
9/3	男	33	B3	フィリピン	1回
10/24	女	23	D8	不明	不明
10/26	女	23	D8	国内	不明
10/29	男	23	不明	不明	不明
11/17	男	0	D8	不明	なし
11/22	女	29	D8	国内	不明
12/7	男	47	D8	国内	不明
12/18	男	34	D8	マレーシア	不明
12/30	男	48	D8	ベトナム	不明

⑳ 薬剤耐性アシネトバクター感染症

2018年は4件の届出があった。性別は男性3人、女性1人で、50～59歳1人、70歳以上3人であった。推定感染地はすべて国内で、推定感染原因は院内感染2件、以前からの保菌1件、その他（不明）1件であった。

㉑ その他の五類感染症

以下の疾患は届出がなかった。

先天性風しん症候群（CRS）、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症

表3-1(1) 一、二、三類感染症 週別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

週	期 間	一 類							二 類							三 類				
		エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ベスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	バラチフス
1	1. 1～ 1. 7																	2		
2	1. 8～ 1. 14															1	1			
3	1. 15～ 1. 21															2				
4	1. 22～ 1. 28																	1		
5	1. 29～ 2. 4															2	1			
6	2. 5～ 2. 11															2	2	1	1	
7	2. 12～ 2. 18															2	1		1	
8	2. 19～ 2. 25															2	2			
9	2. 26～ 3. 4																1			
10	3. 5～ 3. 11															1			1	
11	3. 12～ 3. 18															1	1	1		
12	3. 19～ 3. 25																			
13	3. 26～ 4. 1															2	2			
14	4. 2～ 4. 8																4			
15	4. 9～ 4. 15																3			
16	4. 16～ 4. 22															1	4		1	
17	4. 23～ 4. 29																5		1	
18	4. 30～ 5. 6																3			
19	5. 7～ 5. 13																7	1		
20	5. 14～ 5. 20																5	1		
21	5. 21～ 5. 27															1	8			
22	5. 28～ 6. 3															1	8		1	
23	6. 4～ 6. 10															2	14			
24	6. 11～ 6. 17																11			
25	6. 18～ 6. 24															1	9			
26	6. 25～ 7. 1															2	10			
27	7. 2～ 7. 8															1	13			
28	7. 9～ 7. 15																21	1		
29	7. 16～ 7. 22															1	9			
30	7. 23～ 7. 29															1	39			
31	7. 30～ 8. 5																20	1		
32	8. 6～ 8. 12																24		1	
33	8. 13～ 8. 19																30			
34	8. 20～ 8. 26															1	28	1		
35	8. 27～ 9. 2															1	38			
36	9. 3～ 9. 9															1	15			
37	9. 10～ 9. 16															1	18			
38	9. 17～ 9. 23															1	12	1		
39	9. 24～ 9. 30															1	13			
40	10. 1～10. 7															1	10			
41	10. 8～10. 14															1	4	2		
42	10. 15～10. 21															8	16			
43	10. 22～10. 28															26	7			
44	10. 29～11. 4															6	12			
45	11. 5～11. 11															1	5			
46	11. 12～11. 18																3		1	
47	11. 19～11. 25															2	5			
48	11. 26～12. 2															4	10		1	
49	12. 3～12. 9															17	1			
50	12. 10～12. 16															9	5		1	
51	12. 17～12. 23															2				
52	12. 24～12. 30																4			
	合 計															109	466	11	10	

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-1(2) 四類感染症 週別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

週	期 間	四 類											
		E型 肝炎	A型 肝炎	オウ ム病	Q 熱	つ つが 虫病	デ ン グ 熱	ボ ツ リ ヌ ス 症	マ ラ リ ア	ラ イ ム 病	類 鼻 疽	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
1	1. 1～ 1. 7						2	1					
2	1. 8～ 1.14		3				1					1	
3	1.15～ 1.21	3	3			1	2					1	
4	1.22～ 1.28	1	2				1					2	
5	1.29～ 2. 4	1	1									3	
6	2. 5～ 2.11		8			2	1					3	
7	2.12～ 2.18	3	3				1					3	
8	2.19～ 2.25	2	9			1	1					2	
9	2.26～ 3. 4	2	6				1					2	
10	3. 5～ 3.11	2	7				1					1	
11	3.12～ 3.18	2	13				1					3	
12	3.19～ 3.25	1	10						1				
13	3.26～ 4. 1		7				2						
14	4. 2～ 4. 8	3	9				1						
15	4. 9～ 4.15	3	8						1			1	
16	4.16～ 4.22	1	14								1	1	
17	4.23～ 4.29		10				1					1	
18	4.30～ 5. 6		10										
19	5. 7～ 5.13	6	10									3	
20	5.14～ 5.20	1	21				2					4	
21	5.21～ 5.27	1	18						1			3	
22	5.28～ 6. 3	2	10									1	1
23	6. 4～ 6.10	2	16										
24	6.11～ 6.17	5	14						2			2	
25	6.18～ 6.24	2	11				1		2			8	
26	6.25～ 7. 1		7				1					6	
27	7. 2～ 7. 8	5	13				1					6	
28	7. 9～ 7.15	2	12	1			1					4	
29	7.16～ 7.22	1	21				1					2	
30	7.23～ 7.29	1	6									6	
31	7.30～ 8. 5	1	8				1		1				
32	8. 6～ 8.12	3	14		2		2		1			4	
33	8.13～ 8.19	3	11				1					5	
34	8.20～ 8.26	1	12				4					7	
35	8.27～ 9. 2	1	5				3		2			5	
36	9. 3～ 9. 9	1	6				2		1	1		6	
37	9.10～ 9.16	6	10				3					6	
38	9.17～ 9.23	2	7				2					9	
39	9.24～ 9.30	1	4				6		1			10	2
40	10. 1～10. 7	3	9				1					6	
41	10. 8～10.14	5	5	1			2					8	
42	10.15～10.21	1	3				2					6	2
43	10.22～10.28		7				1					3	
44	10.29～11. 4	4	7			1	1					2	
45	11. 5～11.11	5	5			1	3					2	
46	11.12～11.18	2	7									1	
47	11.19～11.25	4	2				1						
48	11.26～12. 2	2	5			1	1					3	
49	12. 3～12. 9		5			1	1						
50	12.10～12.16	2	4			1	1					1	
51	12.17～12.23	1	3						1			6	
52	12.24～12.30	1				3						5	
	合 計	101	421	2	2	12	61	1	14	1	1	164	5

表3-1(3) 五類(全数把握)感染症 週別患者報告数

2018年第1週~2018年第52週

週	期 間	五 類																						
		アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く)	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
1	1. 1~ 1. 7	1		3		2			3	1		1		7	1	8								
2	1. 8~ 1.14	3		1		4		1	2	2	1		16		26	1				3				
3	1.15~ 1.21	3		6		3		1	3	6		1	15		40					5				
4	1.22~ 1.28	2	1	2		3			1	10	2	1	15		35	1				13				
5	1.29~ 2. 4	4				5			4	8			9	2	40					8				
6	2. 5~ 2.11		2	3		1		1	5	13		1	14	1	27	2				9				
7	2.12~ 2.18	5		3		1			4	4			7		24					2				
8	2.19~ 2.25	2		1					2	12			1	11	2	24	1			6				
9	2.26~ 3. 4	4	1	2		1			4	6	1	1	10		35					5				
10	3. 5~ 3.11	2		2		1				7			3		30	1				8				
11	3.12~ 3.18	4	3	3		1	1	1	3	11			4	1	32			1		5		1		
12	3.19~ 3.25	2		2		3			2	6	1	1	4	4	36	1	1			5				
13	3.26~ 4. 1	6		1		2			2	6	2		1	11	27	1				7			1	
14	4. 2~ 4. 8	3		7		1			1	7	1	1	1	10		31				12		1		
15	4. 9~ 4.15	4	1	6				1	3	11			10	1	34					6		3		
16	4.16~ 4.22	5	1	4					2	10	1		5	1	39	1				13	1	3	1	
17	4.23~ 4.29	4	2	4		1			3	3			13	3	39					12		1		
18	4.30~ 5. 6	2		3	1	2			2	3		2	5		21					9		1		
19	5. 7~ 5.13	4	1	5					4	10		1	9	1	38					7	1	1		
20	5.14~ 5.20	1	1	4		1		1	1	8		3	1	17	1	37				14	2			
21	5.21~ 5.27	1	3	6	1	2		1	1	8	1		7	1	36	1				10	2			
22	5.28~ 6. 3	2	1	6			1		2	8		2	11	1	31					13		1		
23	6. 4~ 6.10	1	2	8				1		13			9	3	45					19				
24	6.11~ 6.17	7	1	1		1			1	8		1	6	3	33			1		32	1	1	1	
25	6.18~ 6.24	1	1	4		1		3	2	11	1	1	6	1	43					38	1			
26	6.25~ 7. 1	11	1	2		1			2	10		1	4		35					34	1			
27	7. 2~ 7. 8	3	2	6		1			2	2	5	1	4	2	39	1				49	1	1		
28	7. 9~ 7.15	3		2					1	6			3	2	42					66				
29	7.16~ 7.22	2	2	3		2	1		1	5		1	4		40	1		1		90	2			
30	7.23~ 7.29	3	1	5		1			1	11	1	1	3	1	32		1			97	4			
31	7.30~ 8. 5	1	1	4		2		2		9		1	6	2	32	1				84	7			
32	8. 6~ 8.12	3	4	6		2				13			3	3	35					99	17			
33	8.13~ 8.19	2	2	5				1	1	8		1	4	1	24					67	10			
34	8.20~ 8.26	3	1	6	1					8		1	4	2	34	1		1		81	25			
35	8.27~ 9. 2	6	1	2		2			1	7	2		9	2	38					78	37			
36	9. 3~ 9. 9	3	1	8		1			1	8	1	1	3		41	1				76	36	1		
37	9.10~ 9.16	4	3	8				1	4	4			2	1	41		1	1		77	60			
38	9.17~ 9.23	3	1	5						10	1	1	2	1	22					70	50			
39	9.24~ 9.30	4	2	7		1		1	3	8		1	2	1	36		2			65	51			
40	10. 1~10. 7	3	3	9	1				1	9		3	5	2	35					68	64			
41	10. 8~10.14	1	2	11				1	3	3	1	1	7		39		2			67	62			
42	10.15~10.21	7	4	4	1			2	1	9		2	1	1	33	1				107	91		1	
43	10.22~10.28	3	1	9	1	4		1	1	7	1	2	10	1	41					90	80	2		
44	10.29~11. 4	2	2	2	1			1	1	7		1	6	1	36					126	53	1		
45	11. 5~11.11			4		1		1	2	15			4	1	35	1				93	60			
46	11.12~11.18	1	1	5		3			1	11	2		14	2	40					86	49	1		
47	11.19~11.25	9	3	4					1	8		1	10		31		1	1		89	32	1		
48	11.26~12. 2	2	2	3		2			1	9		1	14	1	36	1				89	38			
49	12. 3~12. 9		4	7		1		1	1	9		1	12		40					104	28	1		
50	12.10~12.16	3	3	5	1	1			1	8			8	2	40					68	33			
51	12.17~12.23	8		8					2	12		2	9	1	30			1		79	26	1		
52	12.24~12.30		1	6		4			1	11			14	4	37					74	22	1		
合計		163	69	233	8	65	3	25	87	422	19	40	6	401	61	1,775	18	8	7	2,434	947	23	4	

表3-2(1) 一、二、三類感染症 保健所別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

	一 類							二 類						三 類					
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核 *	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
千代田															2	16	2		
中央区																			
みなと															3	15			1
新宿区															7	12			4
文京															4	12	2		2
台東																5			
墨田区																9	2		
江東区															2	14			
品川区															2	10			
目黒区															32	11			1
大田区															4	32			
世田谷															6	55			
渋谷区															2	4	1		
中野区															1	12			
杉並																15	1		
池袋															5	17	1		
北区															2	11			
荒川区															1	2			
板橋区																28			
練馬区															1	15			
足立																13			
葛飾区															26	8			
江戸川																13			
八王子市																18			2
町田市																9			
西多摩															3	6			
南多摩																12			
多摩立川															1	11			
多摩府中															3	53	2		
多摩小平															2	27			
島しょ																1			
合 計															109	466	11		10

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-2(2) 四類感染症 保健所別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

	四 類											
	E型 肝炎	A型 肝炎	オウ ム病	Q 熱	つ つが 虫病	デ ン グ 熱	ボ ツ リ ヌ ス 症	マ ラ リ ア	ラ イ ム 病	類 鼻 疽	レ ジ オ ネ ラ 症	レ プ ト ス ピ ラ 症
千代田	10	4									3	
中央区	3	1				3					3	1
みなと	6	47			1	5		3			5	
新宿区	11	131		2		27		5		1	10	3
文京	10	54	1			6	1	2			5	1
台東		2									2	
墨田区	5	15				1		2			1	
江東区	1	9				1					3	
品川区	6	4									10	
目黒区	7	12				1					6	
大田区	8	13				5					16	
世田谷	1	7							1		4	
渋谷区	2	8	1			1					4	
中野区		14									6	
杉並	1	12				3					3	
池袋		2									1	
北区	3	12									6	
荒川区		3									2	
板橋区	10	27				3					15	
練馬区		8									3	
足立	1	1									5	
葛飾区	3	3			1						4	
江戸川	1	1									1	
八王子市	1	4						1			6	
町田市	3	3									1	
西多摩	2	1			2						2	
南多摩	2	5									5	
多摩立川		2									10	
多摩府中	1	12			1	3					11	
多摩小平	3	4				2		1			11	
島しょ					7							
合 計	101	421	2	2	12	61	1	14	1	1	164	5

表3-2(3) 五類(全数把握)感染症 保健所別患者報告数

2018年第1週~2018年第52週

	五 類																					
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺 (急性灰白髄炎を除く)	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症
千代田	7		4				2	1	1			7		24					23	26		
中央区	4		7		2			1	1			4	1	48					32	18		
みなと	18	7	21		3		2	25		1		14	1	178					72	58		
新宿区	26	18	11		6		1	8	140	6	3	1	34	5	760	2		1	39	50	2	
文京	12	4	12		1	1	3	8	38	3	2	1	31	7	54	5	1	2	132	20		
台東	3		1						9				4		135	1			37	18		
墨田区	5	1	8	1	4	1		4	10		2		11	3	15	1	2		60	21	2	
江東区	3	3	13		1			1	3			1	5	1	21	1			91	31		
品川区	6	6	14				2	9	11	1	1		7	3	14	1			162	48		
目黒区	2	1	4		3		1	3	4	1			9	2	8		1		47	20	2	
大田区	2	4	8	1	7			4	8	2	2		17	9	24	1	1	1	75	48	1	
世田谷	12	2	6	1	14		1	3	6	1	1		9	1	32				264	63		
渋谷区	4		12					1	64		2		12	3	54	1			15	30	1	
中野区	6	2	7				2	1	11				4	3	20				49	38		
杉並	4	6	3		1			2	14		1		9	3	13				37	36		
池袋	4							1	3				1		86				19	29		
北区	6	1	2						8		2		10	1	15				11	22		
荒川区	2	2	2		5		2		2		1		4		11				21	17		
板橋区	8	8	20		2		2	3	15		1		33	3	43	1	1		81	51	7	4
練馬区	5		4	2	1	1	1	2	5		3		17		10	1			69	40	1	
足立	1	1	5	1				1	1		2		4	1	9			2	53	44		
葛飾区	2		1		1		1	2	2		1		8		15	1			30	17		
江戸川	4		3		1			6	5				6		23			1	81	29	1	
八王子市			7				2		2		1	1	12	2	18				133	13	1	
町田市	1		12		1			1	2				5		25				83	14	2	
西多摩								1	1		1		2		6		1		120	4		
南多摩	1	2	3		1			1	1		1		19	2	15				130	12	1	
多摩立川	6		7				2	2	8		1	1	21	1	31				115	23		
多摩府中	4		27	2	11		4	5	17	3	8		55	8	48	2	1		288	55	1	
多摩小平	5	1	9				1	14	5		3	1	27	1	20				47	52	1	
島しょ																			18			
合 計	163	69	233	8	65	3	25	87	422	19	40	6	401	61	1,775	18	8	7	2,434	947	23	4

表3-3(1) 一、二、三類感染症 年齢階級別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

	一 類							二 類						三 類					
	エボラ出血熱	クリミア・コンゴ出血熱	痘そう	南米出血熱	ペスト	マールブルグ病	ラッサ熱	急性灰白髄炎	結核*	ジフテリア	重症急性呼吸器症候群	中東呼吸器症候群	鳥インフルエンザ (H5N1)	鳥インフルエンザ (H7N9)	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
0歳								/									2		
1～4歳								/							35	60			
5～9歳								/							21	37	2		
10～14歳								/								23	1	1	
15～19歳								/								32			
20～24歳								/							6	68	6	1	
25～29歳								/							6	49	2	2	
30～34歳								/							7	38			
35～39歳								/							10	32		2	
40～44歳								/							5	19		2	
45～49歳								/							4	11			
50～54歳								/							5	22		2	
55～59歳								/							1	21			
60～64歳								/							4	8			
65～69歳								/							3	9			
70歳以上								/							2	35			
合 計								/							109	466	11	10	

* 結核については、別途「東京都における結核の概況」として報告する。

表3-3(2) 四類感染症 年齢階級別患者報告数

2018年第1週～2018年第52週

	四 類											
	E型肝炎	A型肝炎	オウム病	Q熱	つつが虫病	デング熱	ボツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症
0歳											1	
1～4歳				1								
5～9歳								1				
10～14歳												
15～19歳		4				6						1
20～24歳	2	43				7		1				
25～29歳	2	70				9				1	1	
30～34歳	1	72	1			9		2	1			
35～39歳	6	68			1	7		2				
40～44歳	14	62		1		7					1	
45～49歳	11	46	1			6		1			4	1
50～54歳	10	30			1	5		4			14	1
55～59歳	17	17			2	1		1			13	1
60～64歳	13	3			2	2		1			14	
65～69歳	9	6			1	1	1				32	
70歳以上	16				5	1		1			84	1
合 計	101	421	2	2	12	61	1	14	1	1	164	5

表3-3(3) 五類(全数把握)感染症 年齢階級別患者報告数

2018年第1週~2018年第52週

	五 類																					
	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎（A型・E型を除く）	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く）	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症
0歳			14	1	3			2			5		15	2	1				104	1	2	
1~4歳			2	3	33						2		45	1					110	6		
5~9歳	1	1		3	11								11	2					1043	3		
10~14歳			3	1	3					1			4	2					517	4		
15~19歳	2		1		2				4					1	56				61	25	1	
20~24歳	6	13			1	1		2	58	2			1	4	311				43	56	7	
25~29歳	4	11	1			1			78	5	1		5	9	285		1		42	134	2	
30~34歳	7	8	1		1	1		1	77	2			6	7	225		1		57	147	5	
35~39歳	10	7	1					5	54	3		1	11	4	211	1			96	124	3	
40~44歳	18	12	5		2			1	47	1	1		11	8	222		1		118	179		
45~49歳	25	6	4					3	55	1		2	12	4	183				86	107	3	
50~54歳	28	4	9					2	26	2		1	12	3	124	1	1		45	84		1
55~59歳	18	2	12				2	4	11	1	1		17	6	63	1	1	1	40	45		
60~64歳	12	3	20		3			11	5	1		1	30	3	33	1	1		22	21		
65~69歳	16	1	21				2	7	5		1		46	2	28	1		2	18	8		
70歳以上	16	1	139		6		21	49	2		29	1	175	3	33	13	2	4	32	3		3
合 計	163	69	233	8	65	3	25	87	422	19	40	6	401	61	1,775	18	8	7	2,434	947	23	4

(2) 小児科・内科疾患

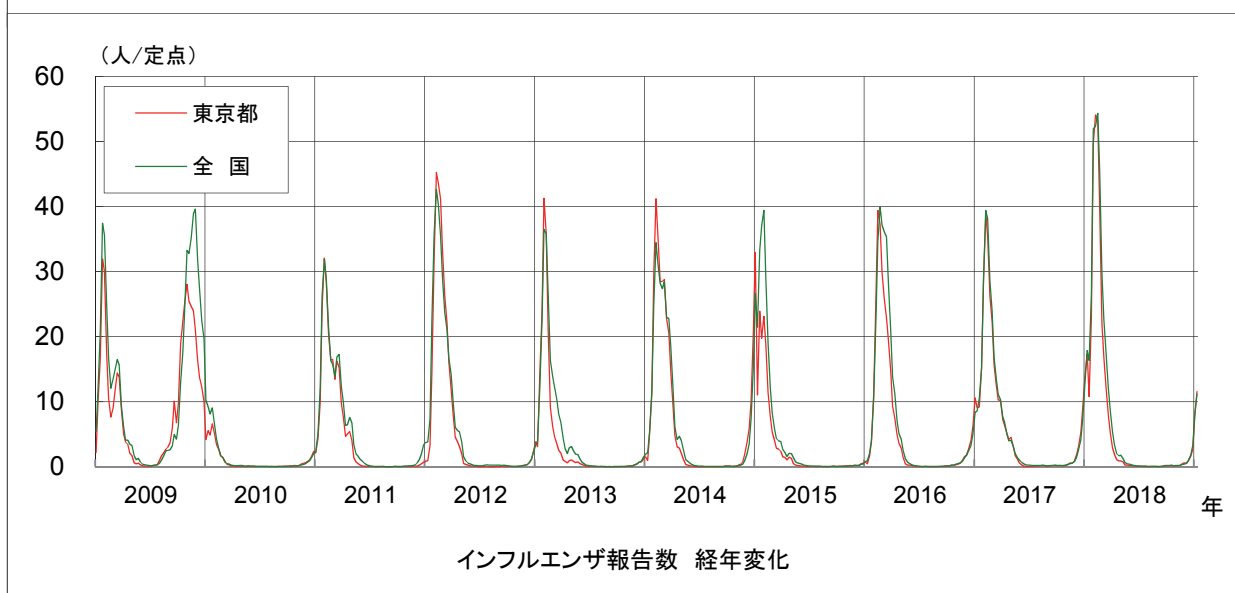
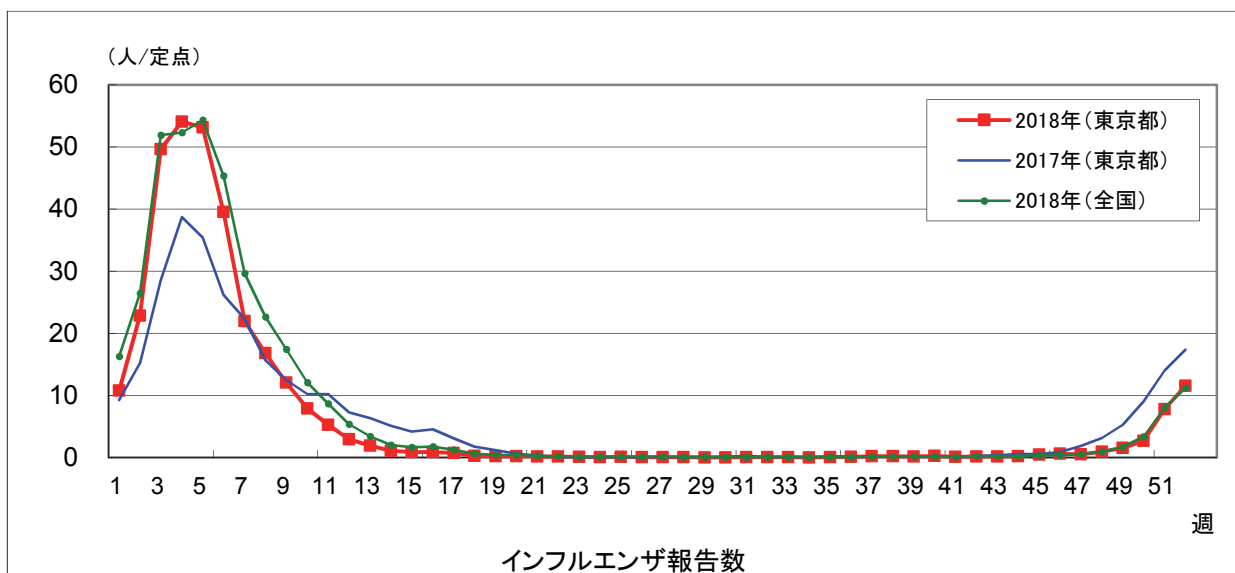
ア インフルエンザ

2018年の報告数は137,262人、定点当たり331.57人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は274.46人であり、2018年は例年と比べてやや多い報告数であった。

2017/18シーズンの流行は2017年47週(11.20~11.26)に定点当たり1.86人と1.0人を超え流行期に入り、51週(12.18~12.24)には14.03人と10.0人を超え、2018年の3週(1.15~1.21)には49.67人と30.0人を超え、4週(1.22~1.28)には54.10人とピークになった。その後10週(3.5~3.11)に7.90人と10.0を割り、15週(4.9~4.15)に0.86人と1.0人以下となり流行は終息した。

2018/19シーズンの流行は2018年49週(12.3~12.9)に1.57人と1.0人を超えて流行期に入り、52週(12.24~12.30)には11.54人と10.0人を超えた。なお2019年2週(1.7~1.13)に31.71人と30.0人を超え、4週(1.21~1.27)に64.18人とピークになった後、8週(2.18~2.24)には6.62人と10.0人以下となった。

2018年の保健所別定点当たり患者報告数で最も多かったのは八王子市の505.86人、最も少なかったのは品川区の170.68人であった。年齢階級別では1歳未満1,367人(1.0%)、1歳~10歳未満62,395人(45.5%)、10歳~20歳未満29,102人(21.2%)、20歳~60歳未満35,823人(26.1%)、60歳以上8,575人(6.2%)であった。



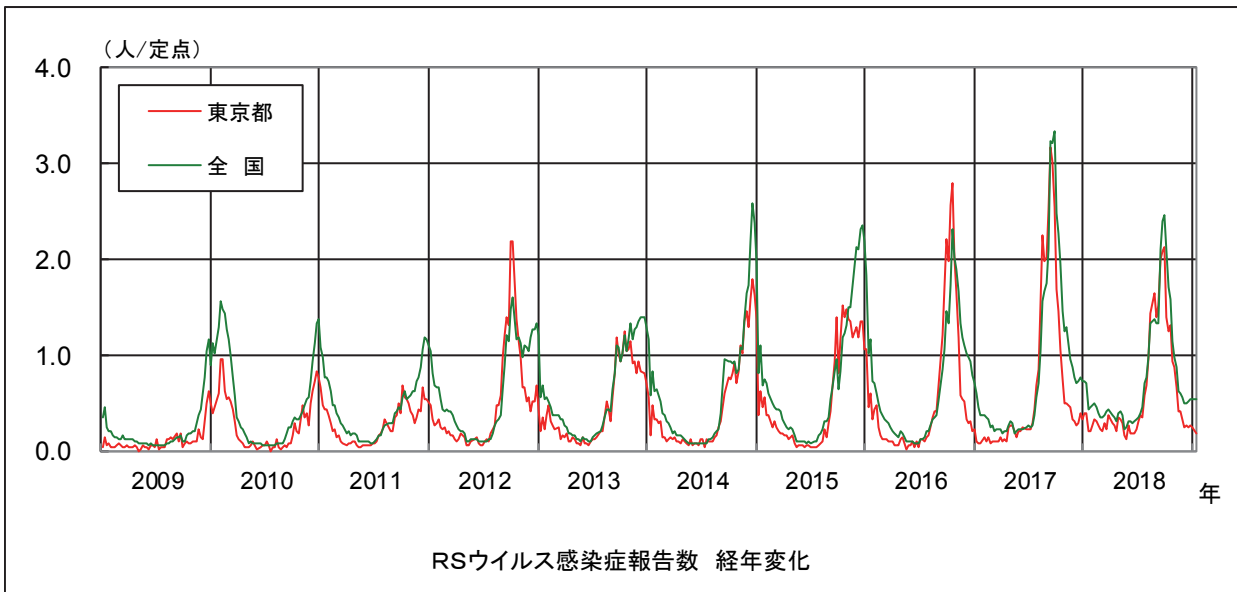
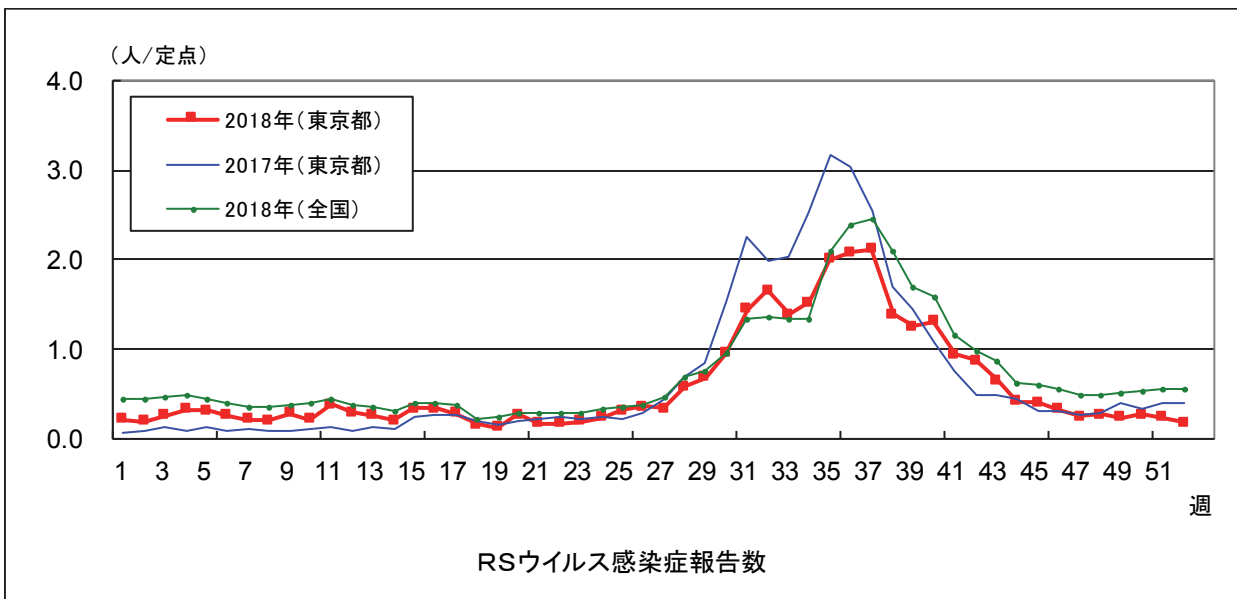
イ RSウイルス感染症

2018年の報告数は7,830人、定点当たりの報告数は30.49人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は22.57人であり、2018年の報告数はここ10年では2017年に次いで2番目に多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では28週(7.9~7.15)から43週(10.22~10.28)にかけて0.5人を超える大きな山があり、ピークは37週(9.10~9.6)の2.12人であった。

保健所別定点当たりの報告数で最も多かったのは荒川区の88.67人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が903人(11.5%)、6か月~12か月未満が1,849人(23.6%)、1歳代が3,175人(40.6%)、2歳代が1,148人(14.7%)と2歳以下で90.4%を占めている。



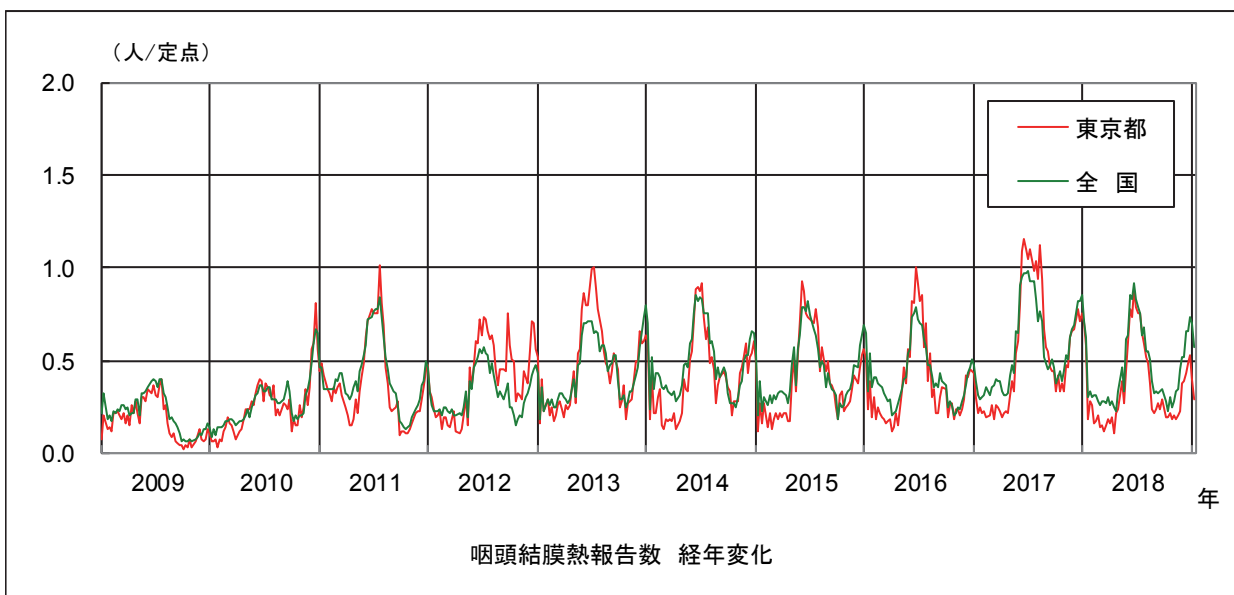
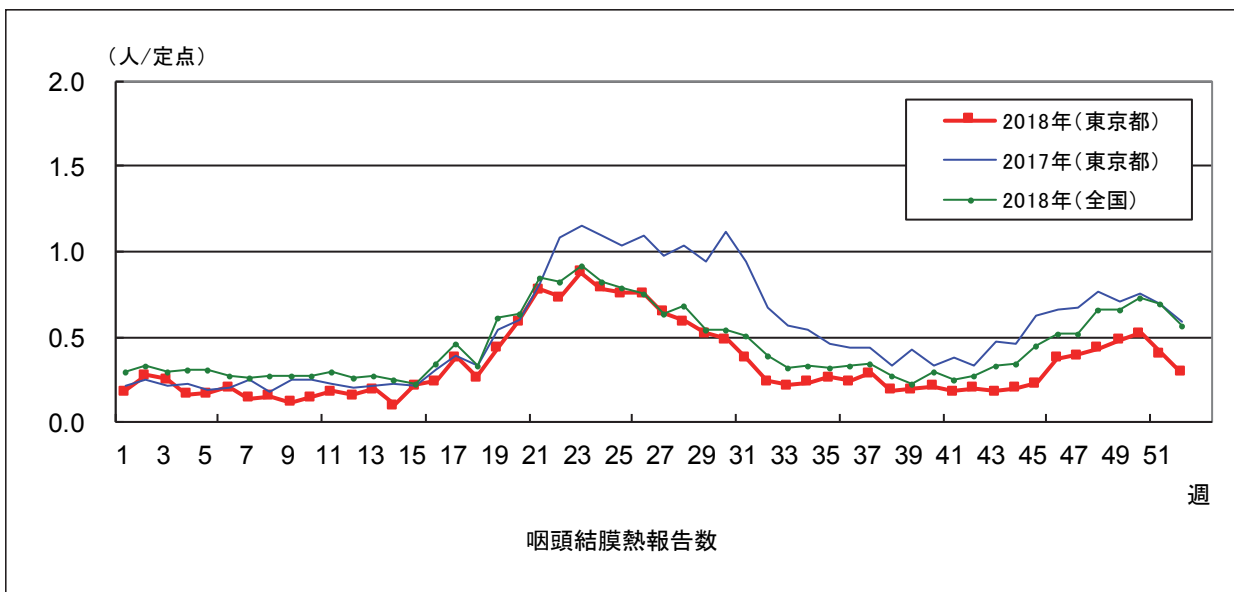
ウ 咽頭結膜熱

2018年の報告数は4,671人、定点当たりの報告は17.96人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は19.43人であり2018年の報告数はここ10年ではやや少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数は19週(5.7~5.13)から30週(7.23~7.29)と48週(11.26~12.2)から51週(12.17~12.23)にかけて0.4人を超える二つの山があり、ピークは23週(6.4~6.10)の0.88人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは台東の44.50人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が1,299人(27.8%)と最も多く、5歳以下で85.8%を占めている。



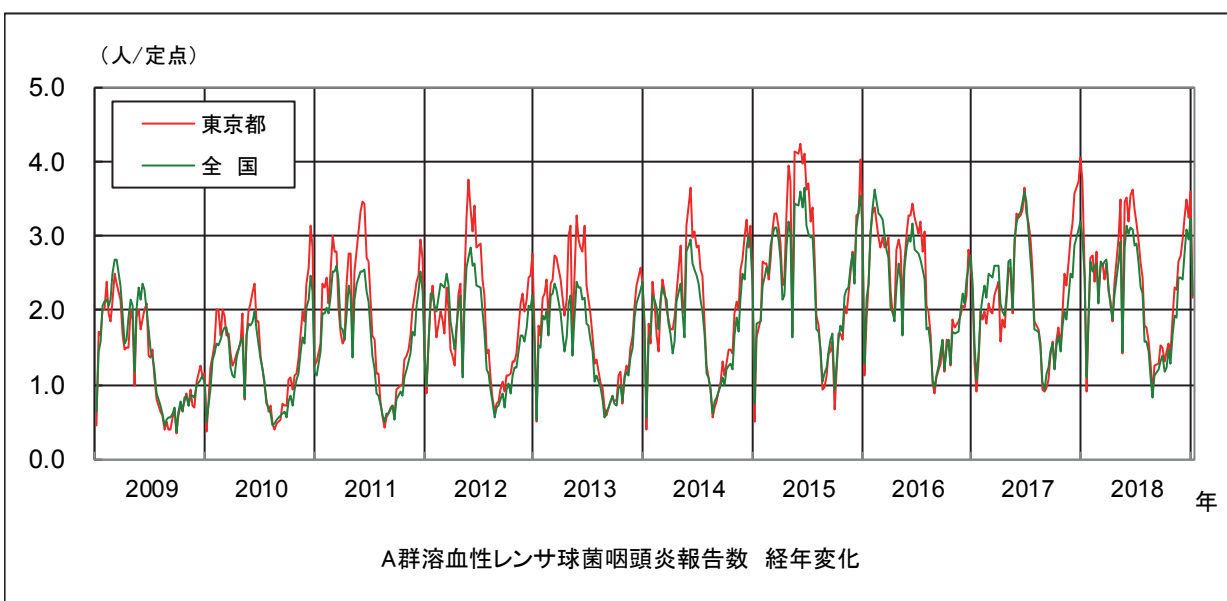
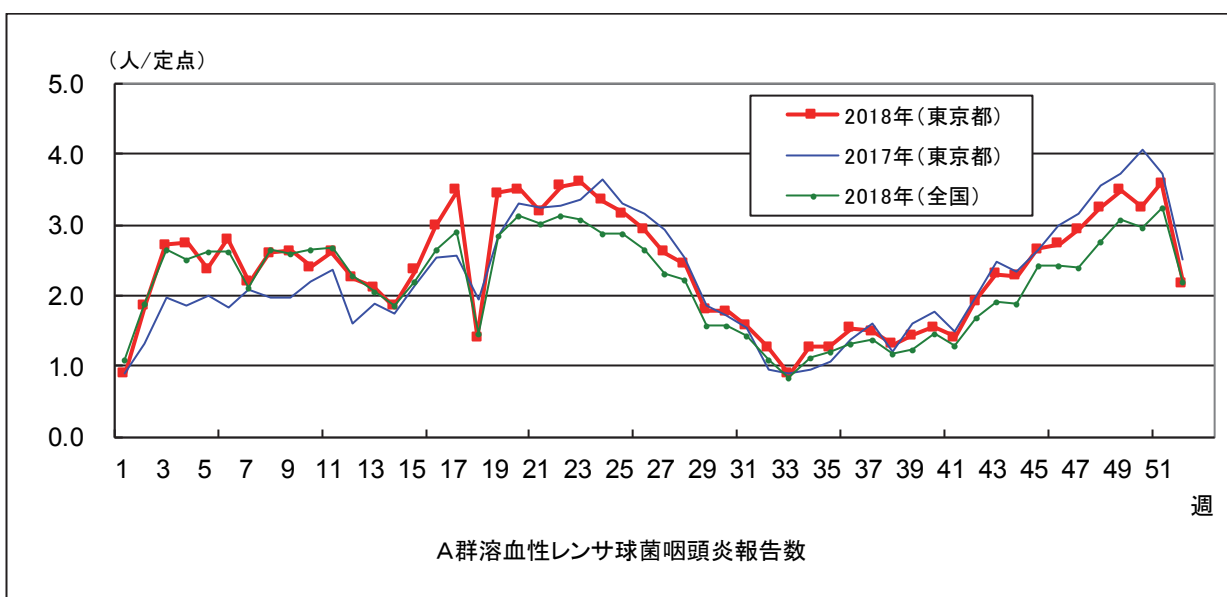
エ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

2018年の報告数は32,120人であり、定点当たりの報告数は123.25人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は103.46人であり、2018年の報告数はここ10年では2015年に次いで2番目に多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では17週(4.23~4.29)から25週(6.18~6.24)にかけてと48週(11.26~12.2)から51週(12.17~12.23)にかけて3.0人を超える2つの山があり、ピークは23週(6.4~6.10)の3.61人と51週(12.17~12.23)の3.59人であった。なお18週(4.30~5.6)に報告数の減があるのは5月の連休の関係で診療日数の減があったためと思われる。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは多摩小平の219.25人であった。

年齢階級別報告数では5歳代が4,406人(13.7%)と最も多く、3歳代から7歳代で60.2%を占めている。



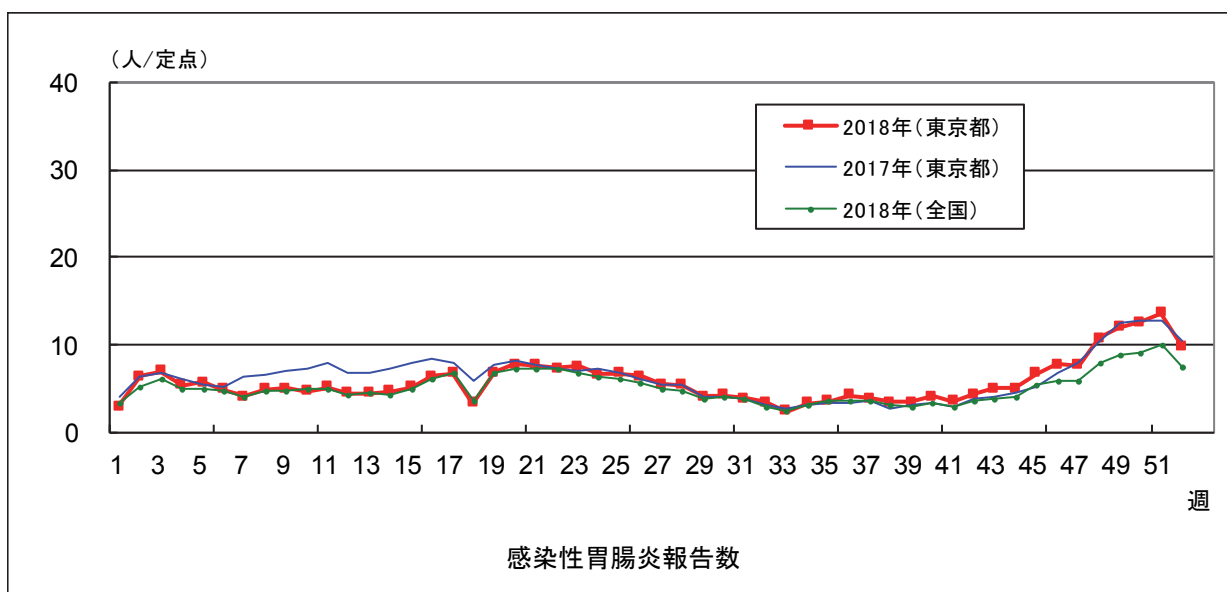
オ 感染性胃腸炎

2018年の報告数は79,282人、定点当たりの報告数は304.52人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は362.84人であり、2018年の報告数はここ10年では2009年に次いで2番目に少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告では48週(11.26~12.2)から51週(12.17~12.23)にかけて10.0人を超える山があり、ピークは51週(12.17~12.23)の13.64人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは中央区の599.33人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が最も多く10,969人(13.8%)であった。

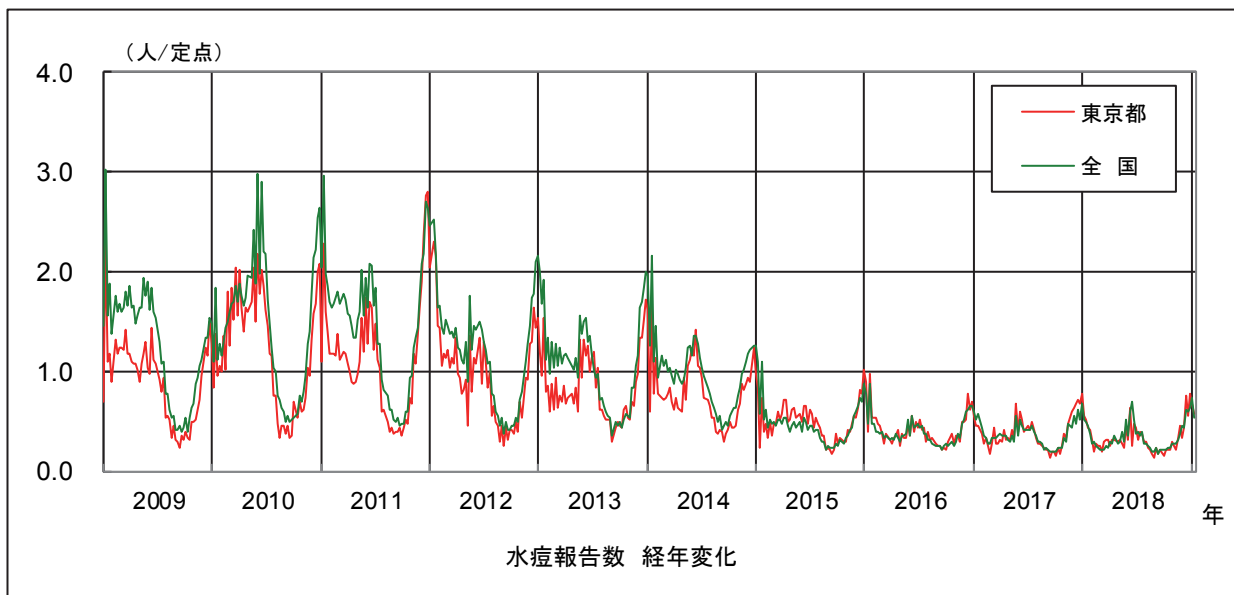
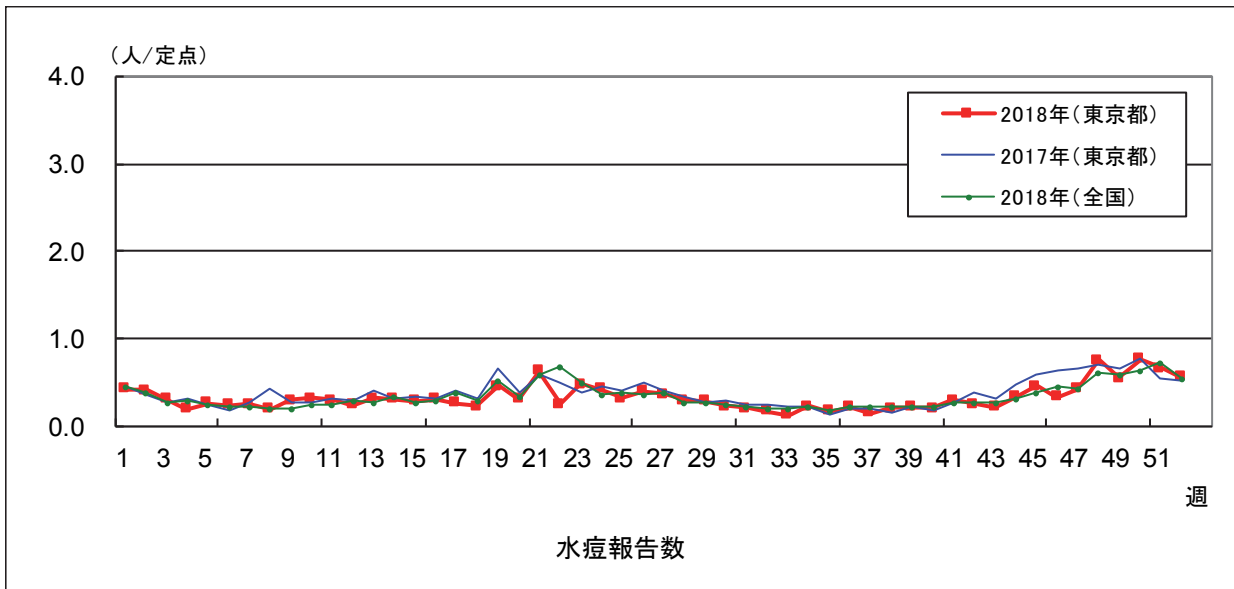


カ 水痘

2018年の報告数は4,515人、定点当たりの報告数は17.35人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は39.01人であり、2018年の報告数はこの10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では48週(11.26～12.2)から52週(12.24～12.30)にかけて0.5人を超える小さな山がありピークは50週(12.10～12.16)の0.77人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは町田市の30.63人であった。年齢階級別報告数では7歳代が646人(14.3%)と最も多かった。

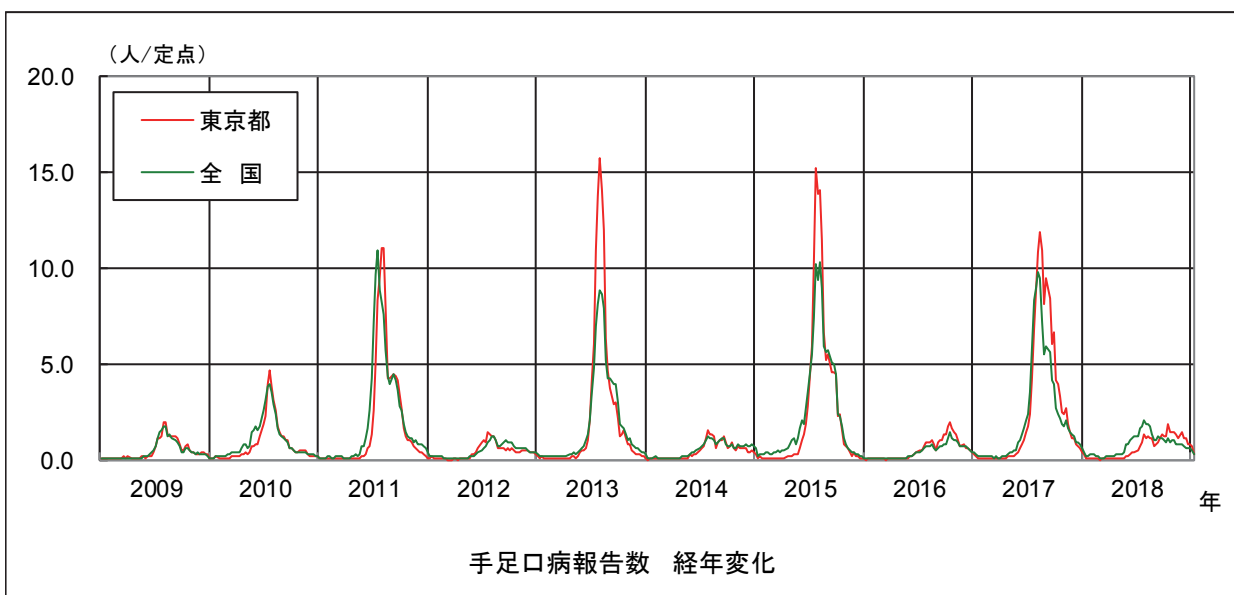
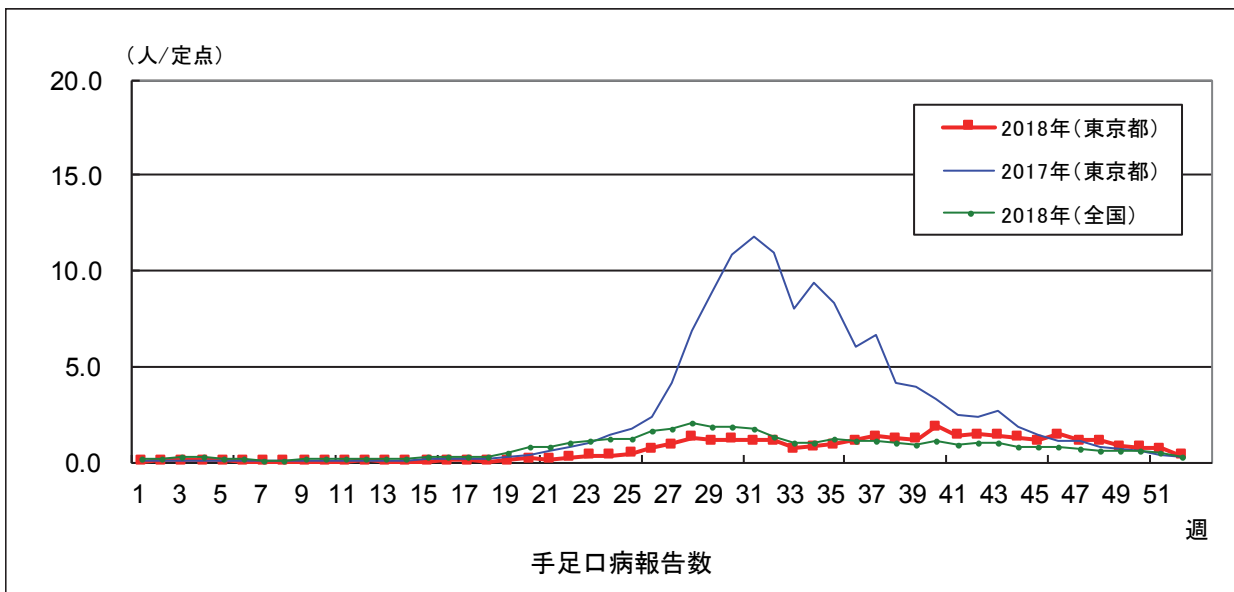


キ 手足口病

2018年の報告数は8,452人、定点当たりの報告数は32.65人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は63.59人であった。ここ10年では2011年以降1年ごとに報告の多い年と少ない年を繰り返しており2018年は報告数が少ない年にあたった。

週別定点当たりの報告数では28週(7.9~7.15)から32週(8.6~8.12)にかけてと36週(9.3~9.9)から48週(11.26~12.2)にかけて1.0人を超える2つに緩やかな山がみられる。ピークは40週(10.1~10.7)の1.86人である。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは台東の132.75人であった。年齢階級別報告数では1歳代が2,460人(29.1%)と最も多かった。



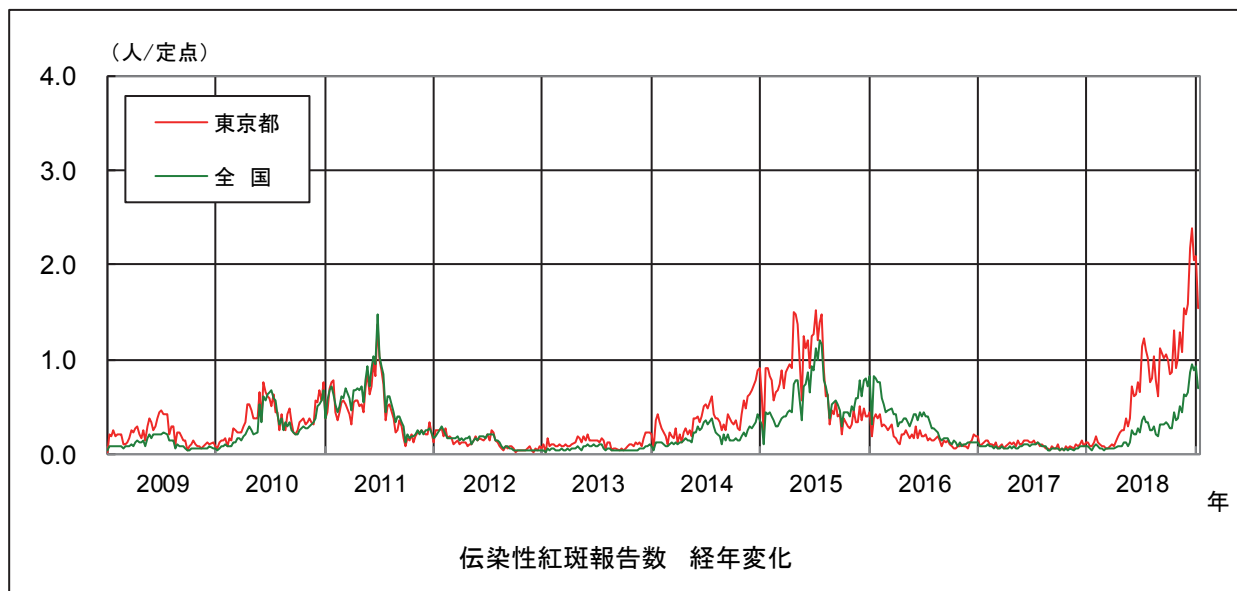
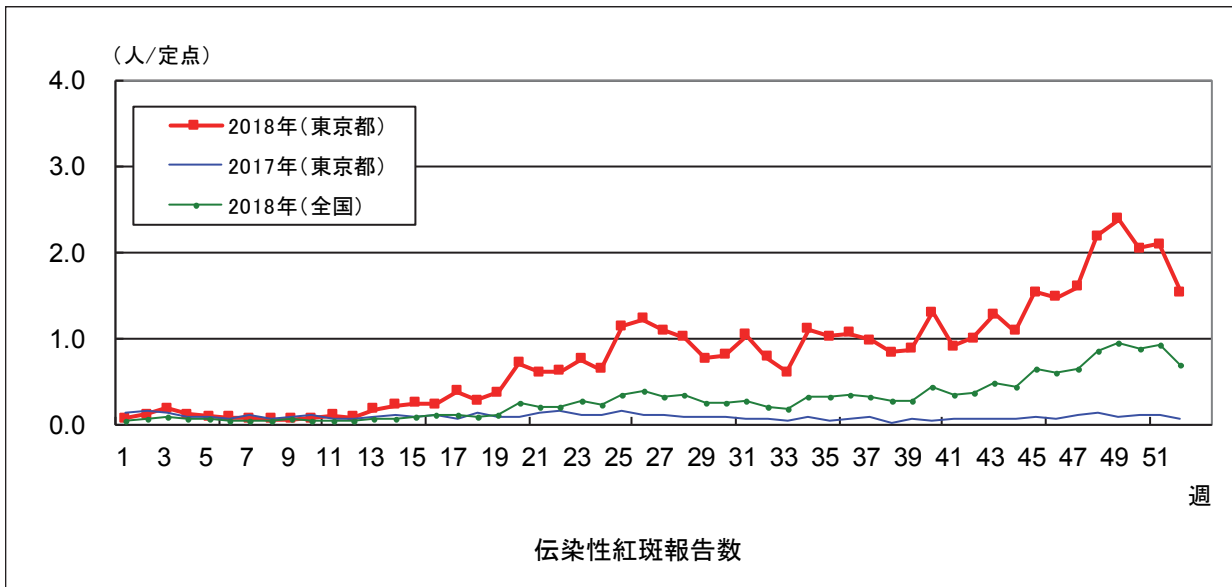
ク 伝染性紅斑

2018年の報告数は10,733人、定点当たりの報告数は41.36人であった。ここ10年の定点当たりの報告の平均は18.15人であった。2018年の定点当たりの報告数はこの10年で最も多い報告数であった。

週別定点当たりの報告数では19週（5.7～5.13）頃より報告数の増加がみられ45週（11.5～11.11）以降は1.5人を超えて一段の増加がみられピークは49週（12.3～12.9）の2.39人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の86.45人であった。

年齢階級別報告数では5歳代が1,962人（18.3%）と最も多かった。



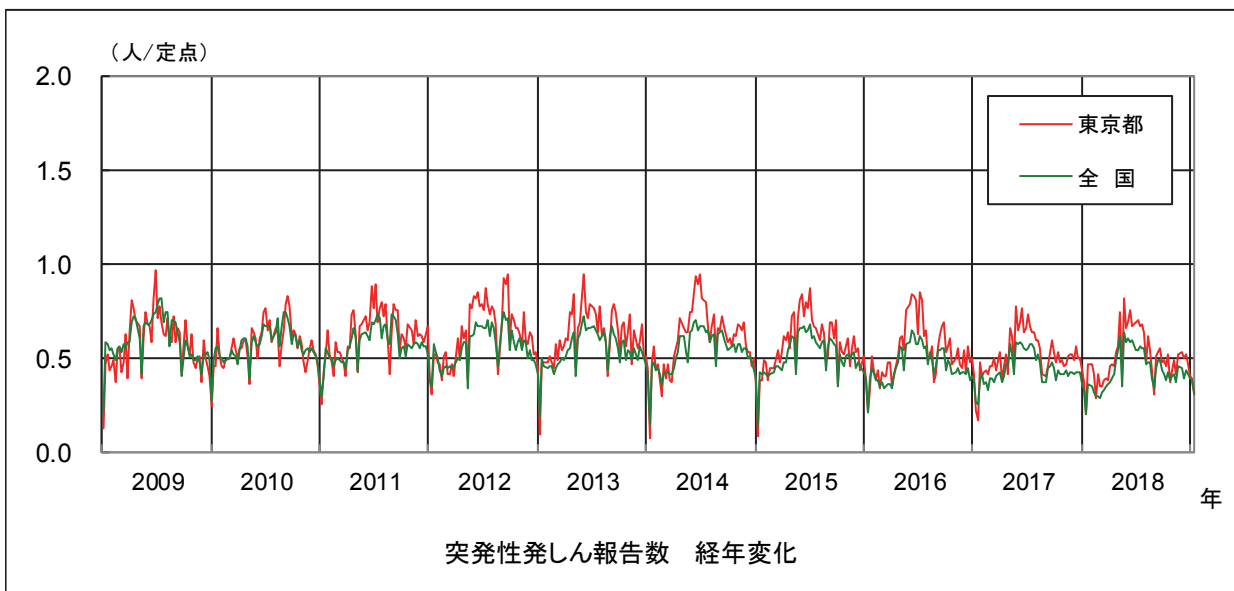
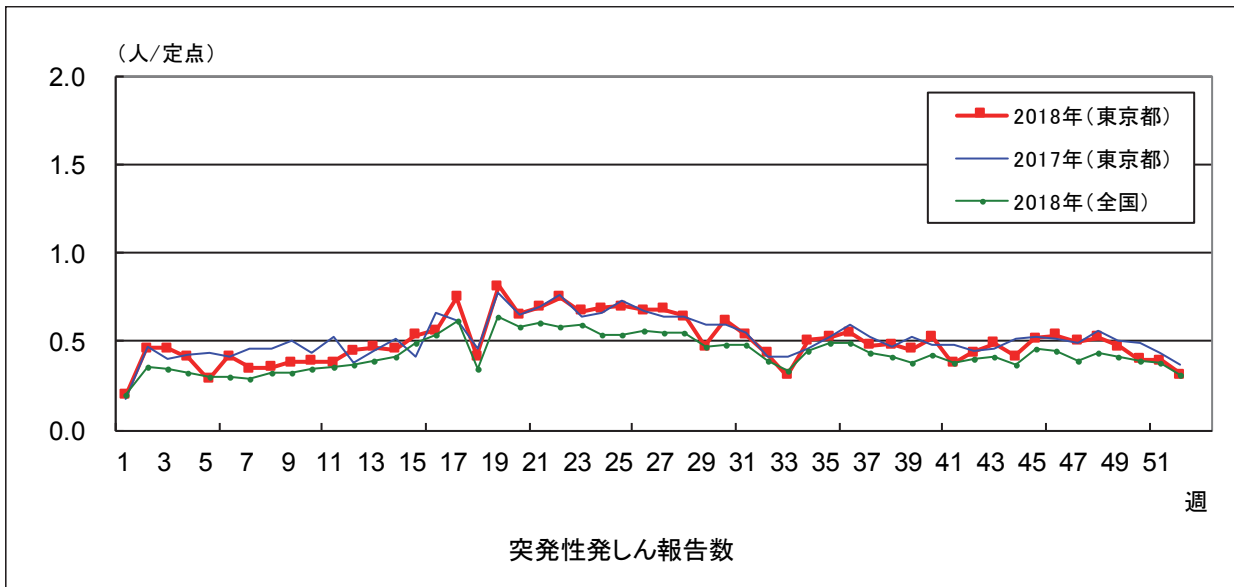
ケ 突発性発しん

2018年の報告数は6,771人、定点当たりの報告数は26.05人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は29.96人であった。2018年の定点当たりの報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では例年通りやや夏季に多い傾向はみられるが季節変動は少なかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは台東の53.75人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が3,439人（50.8%）と最も多かった。



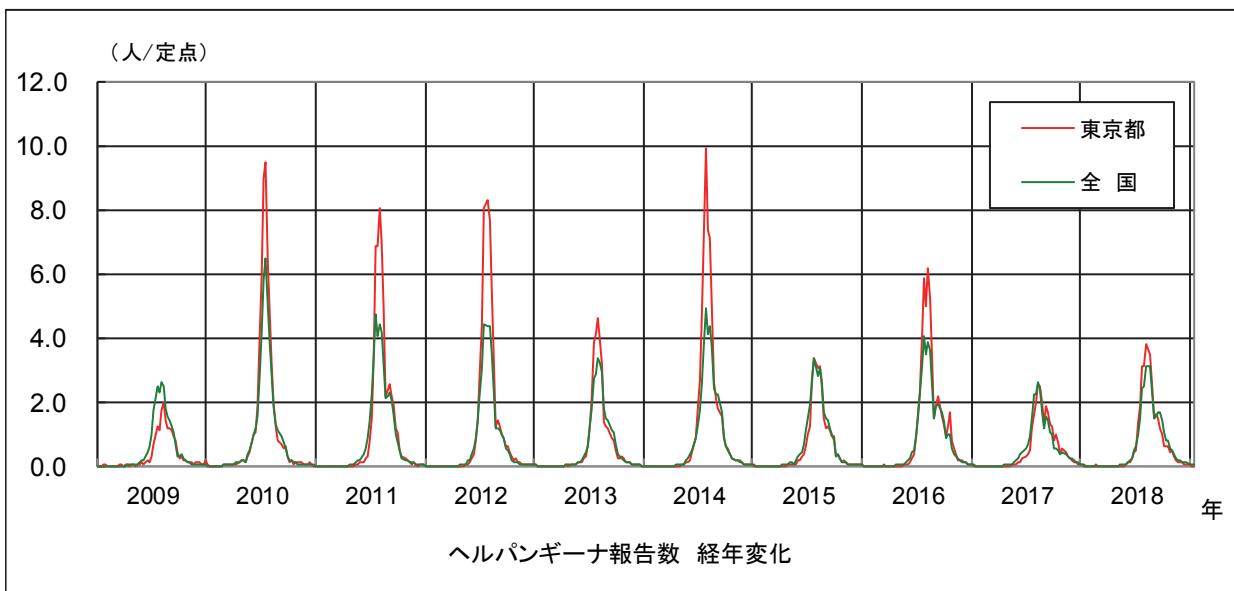
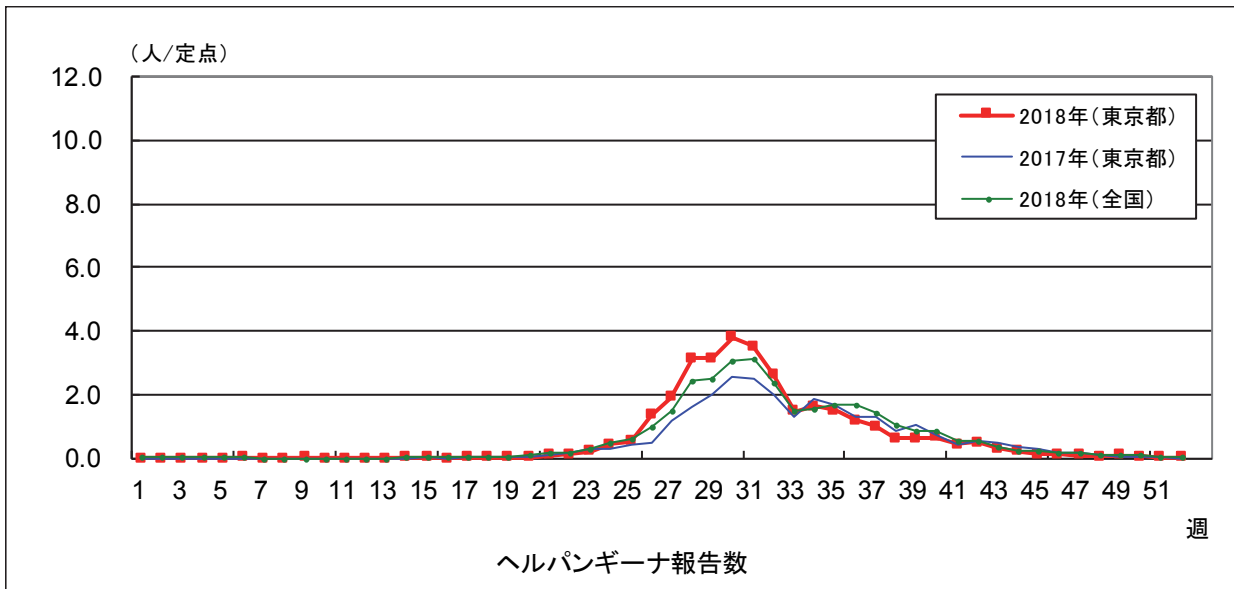
コ ヘルパンギーナ

2018年の報告数は8,188人、定点当たりの報告数は32.01人であった。ここ10年の定点当たりの平均は41.42人であり、2018年の定点当たりの報告数はやや少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では26週(6.25～7.1)から37週(9.10～9.16)にかけて1.0人を超える山があり、ピークは30週(7.23～7.29)の3.81人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは荒川区の56.50人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が2,565人(31.3%)と最も多かった。



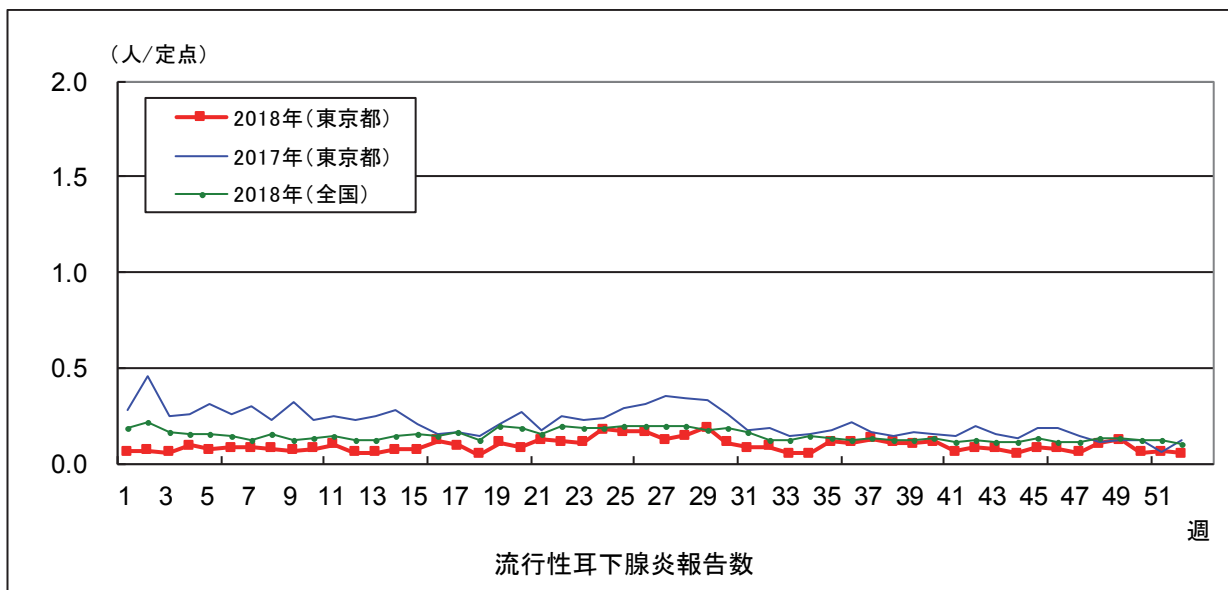
サ 流行性耳下腺炎

2018年の報告数は1,246人、定点当たりの報告数は4.79人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は18.81人であり、2018年の報告数はここ10年で最も少ない報告数であった。ここ10年では2010年と2016年に大きな流行があった。

週別定点当たりの報告数では季節変動は明らかではない。最多の報告数は29週（7.16～7.22）の0.19人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは八王子市の9.73人であった。

年齢階級別報告数では5歳代が198人（15.9%）と最も多かった。

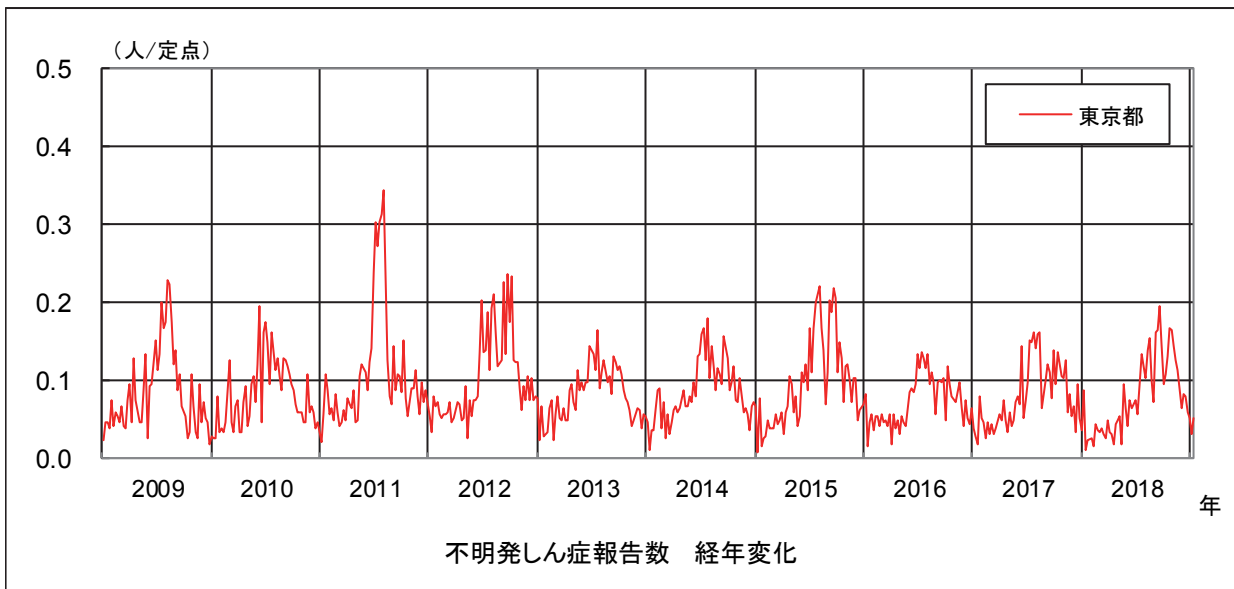
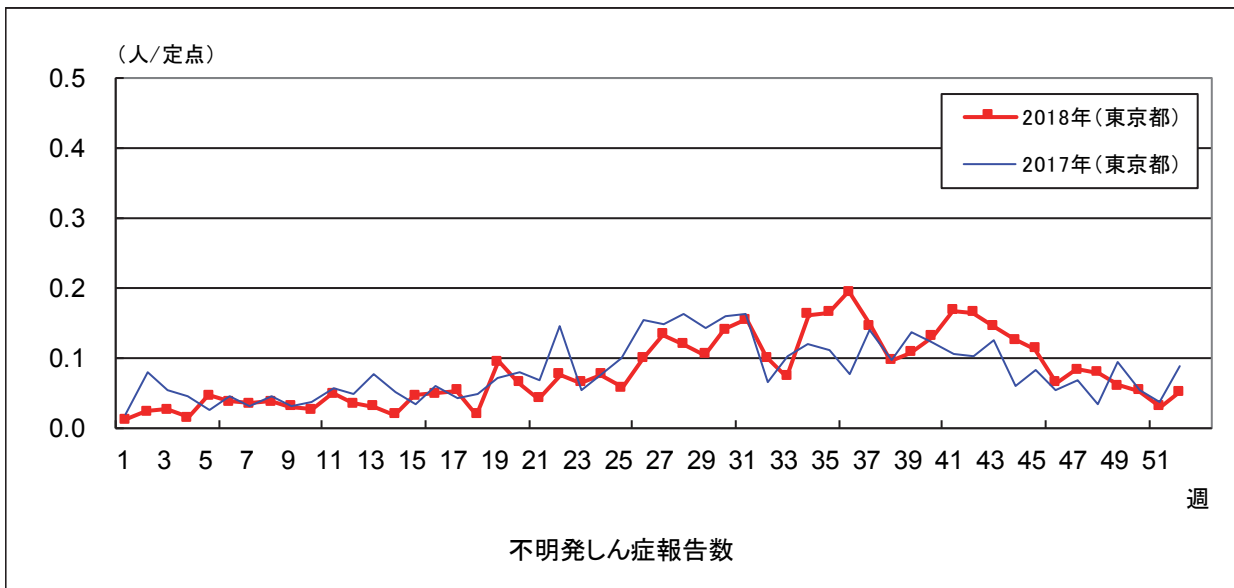


シ 不明発しん症

2018年の報告数は1,073人であり、定点当たりの報告は4.14人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は4.58人であり、2018年は平均的な報告数であった。

週別定点当たりの報告数では26週（6.25～7.1）から45週（11.5～11.11）にかけて0.1人を超える緩やかな山があり、ピークは36週（9.3～9.9）の0.20人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは墨田区の9.40人であった。年齢階級別報告数では1歳代が319人（29.7%）と最も多かった。



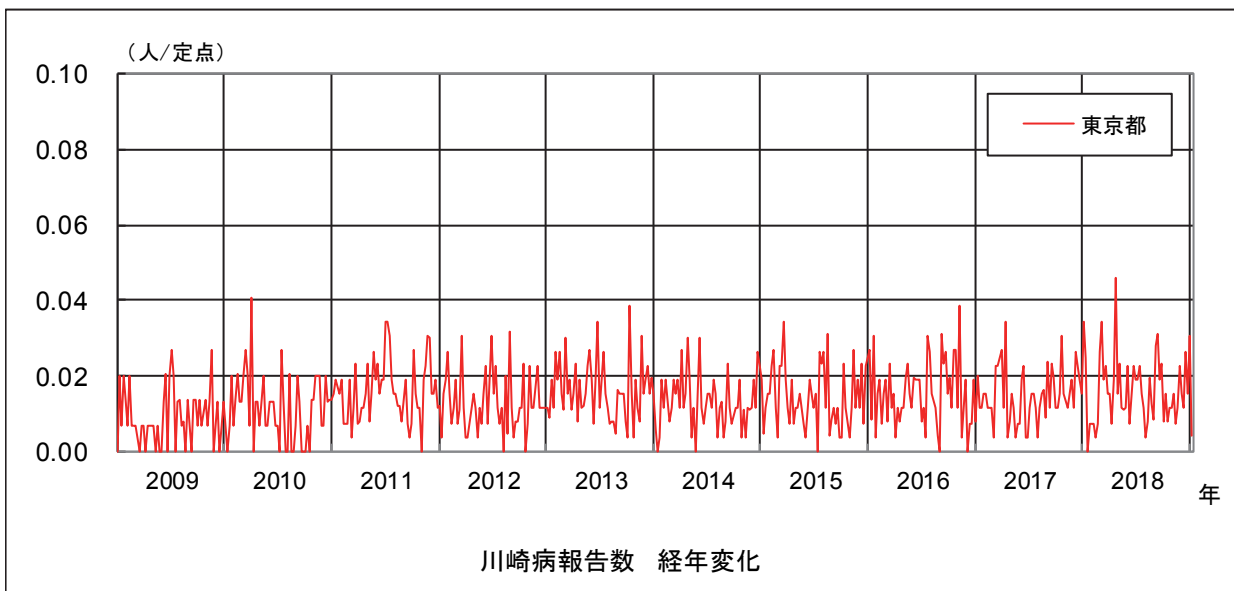
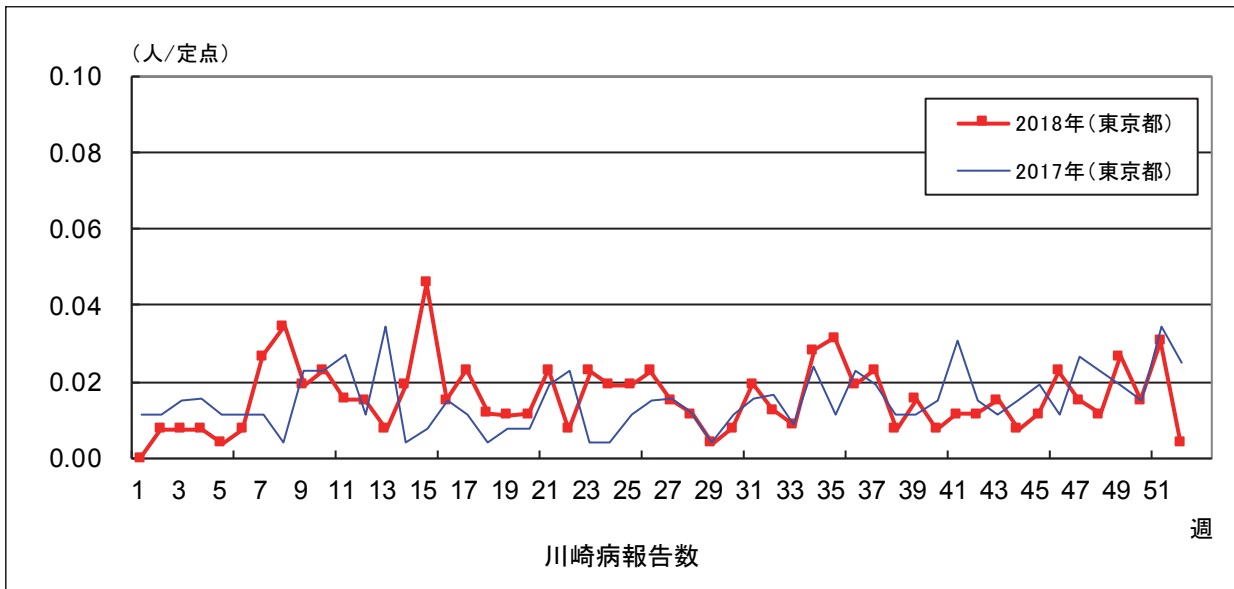
ス 川崎病

2018年の報告数は214人であり、定点当たりの報告数は0.82人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.73人であり、2018年は平均的な報告数であった。

週別定点当たりの報告数では例年と同様に季節変動は明確でない。最も多かったのは15週（4.9～4.15）の0.05人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは新宿区の5.66人であった。

年齢階級別報告数では1歳代が63人（29.4%）と最も多かった。



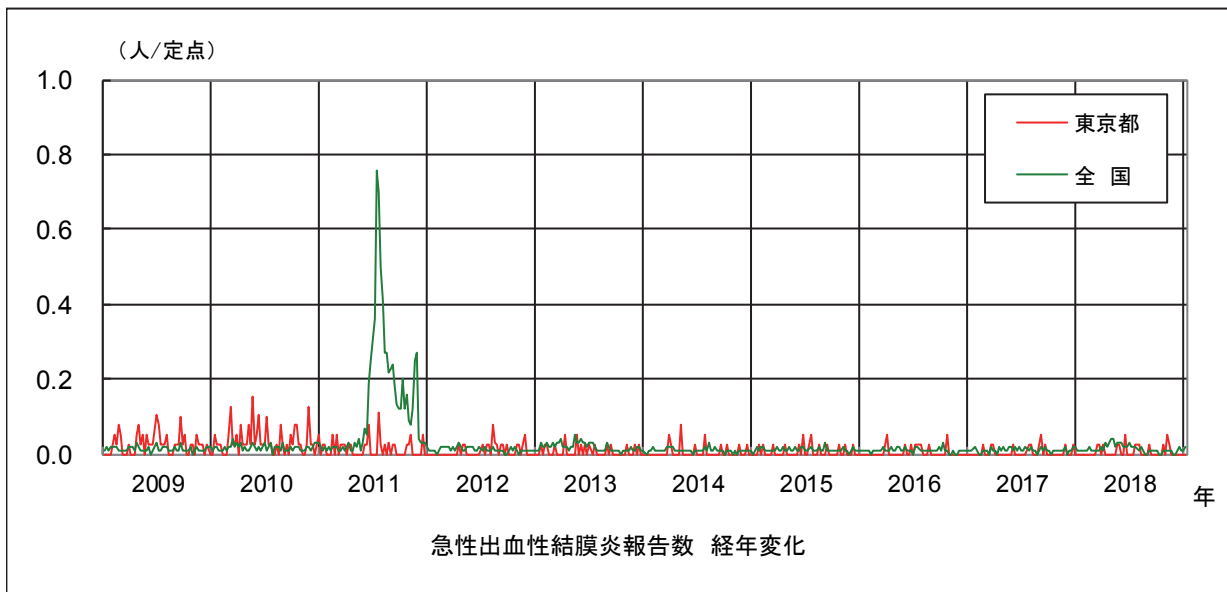
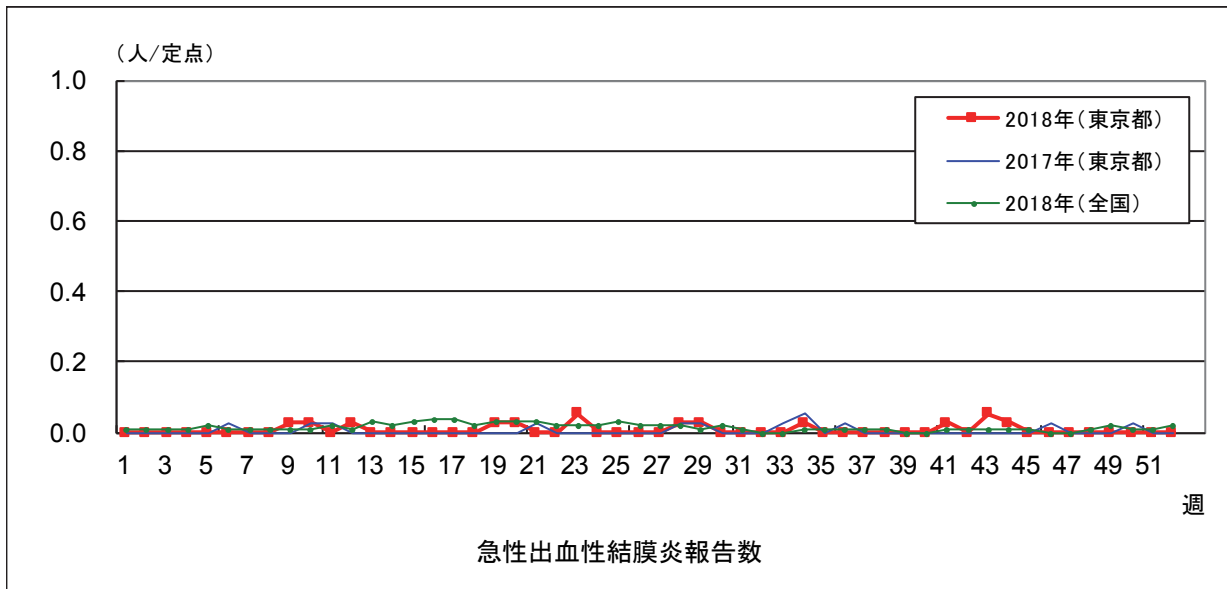
(3) 眼科疾患

ア 急性出血性結膜炎

2018年の報告数は14人、定点当たり0.37人だった。過去5年間の定点当たりの報告数はほぼ同等(0.28~0.37人)だった。

患者発生数の推移には1年を通じてあまり特徴がなく、23週(6.4~6.10)・43週(10.22~10.28)に2人発生した以外は各週1人以下で、年間40週は発生がなかった。全国的にも低いレベルで分散した発生が続いており、東京も同様だった。

二次医療圏別では眼科定点のある12医療圏のうち、報告のあったのは7医療圏で 区西北部圏、区西南部圏、区東部圏、北多摩南部圏が2人以上が多かった。報告年齢は分散していたが、20歳以上の成人が13人と全体の92.9%を占めた。19歳以下では5歳に1人(7.1%)みられた。

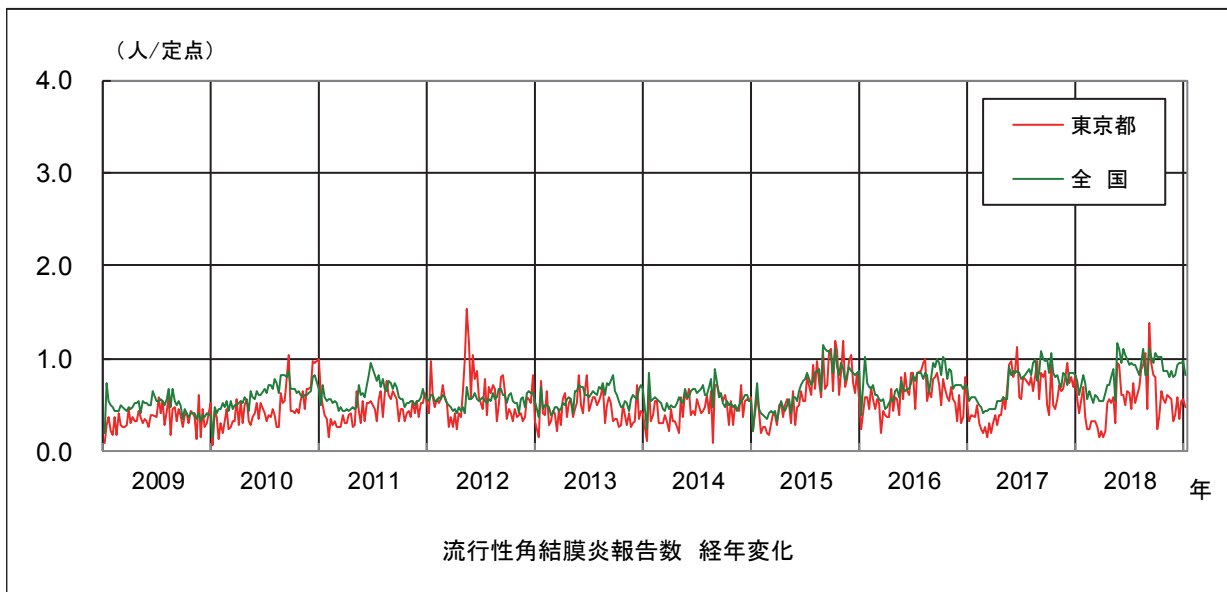
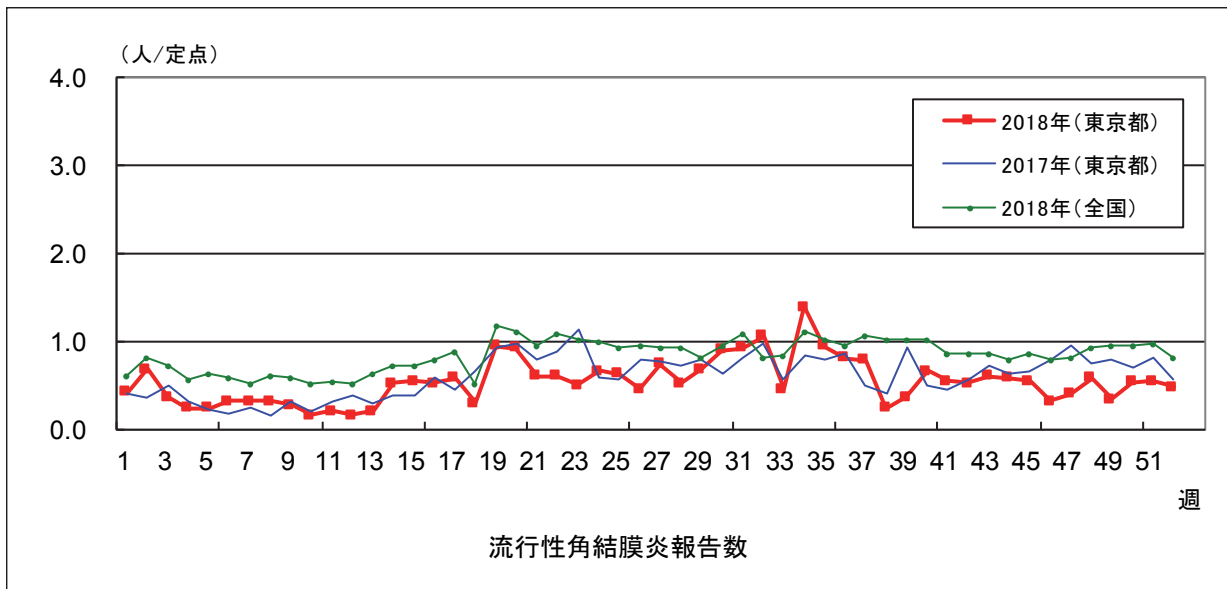


イ 流行性角結膜炎

2018年の報告数は1,060人、定点当たり28.22人だった。過去10年間では最近3年間は定点当たり30人を超えていたが、2018年は減少した。

患者発生数は第4週(1.22~1.28)から第13週(3.26~4.1)までが定点当たり0.32人以下と少なく、その他はほぼ平坦化していた。全国と比較しても同様であった。

二次医療圏別では、定点当たり報告数では区中央圏62.00人、区東部圏33.00人、区西南部圏32.50人で多かった。報告年齢は20歳から49歳が574人と54.2%を占め、20歳以上の成人が768人(72.5%)だった。10歳未満は229人(21.6%)で、各年齢層に分散していた。



(4) 基幹定点医療機関における週報告疾患

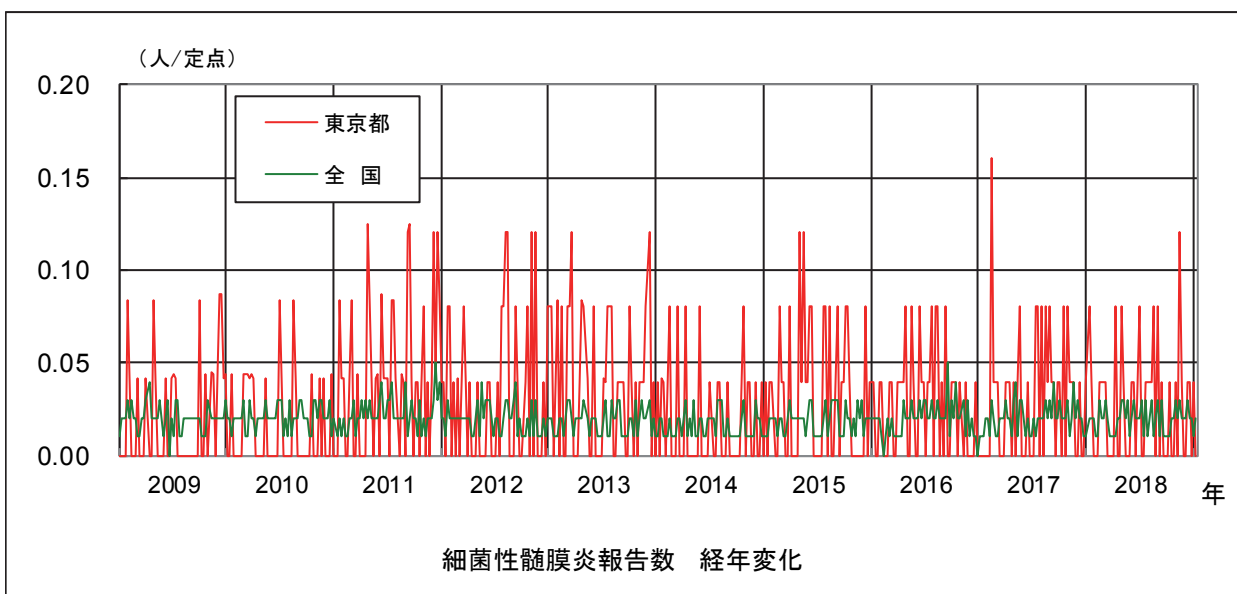
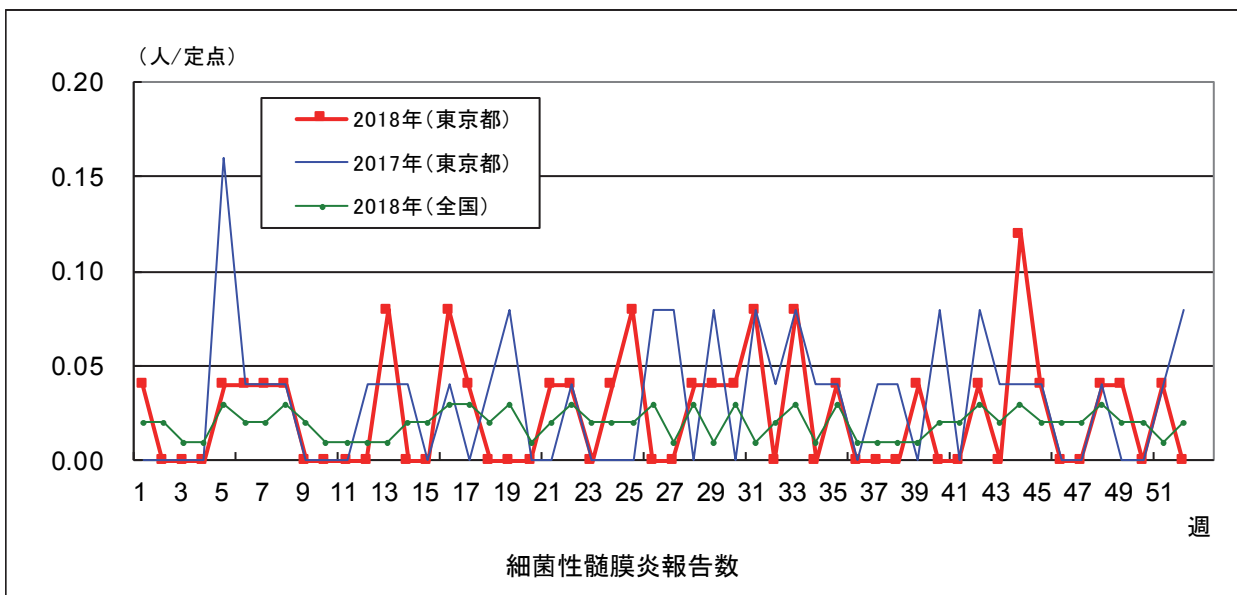
ア 細菌性髄膜炎

2018年の報告数は32人、定点当り報告数は1.28人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.42人であり、2018年はやや少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており季節変動は明らかではない。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは多摩府中の4.67人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が9人(28.1%)、60歳以上が13人(40.6%)であった。



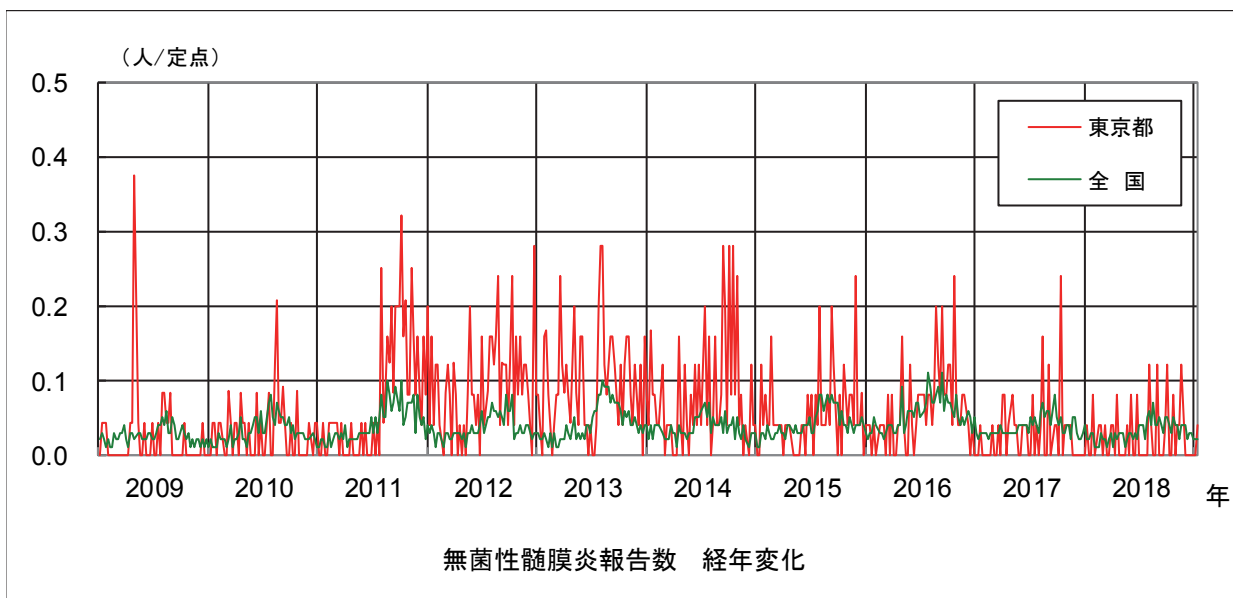
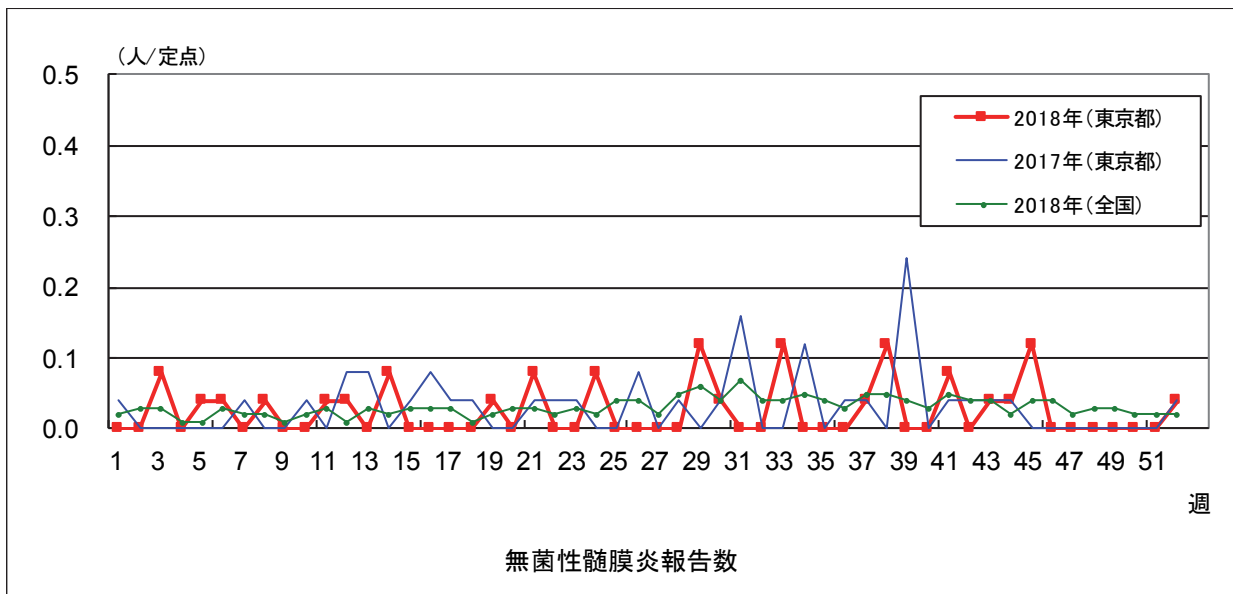
イ 無菌性髄膜炎

2018年の報告数は33人、定点当たり1.32人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は2.96人であり、2018年は2009年に次いで少ない報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発しており明らかな季節変動は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは世田谷の8.00人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満13人(39.4%)、60歳以上4人(12.1%)であった。



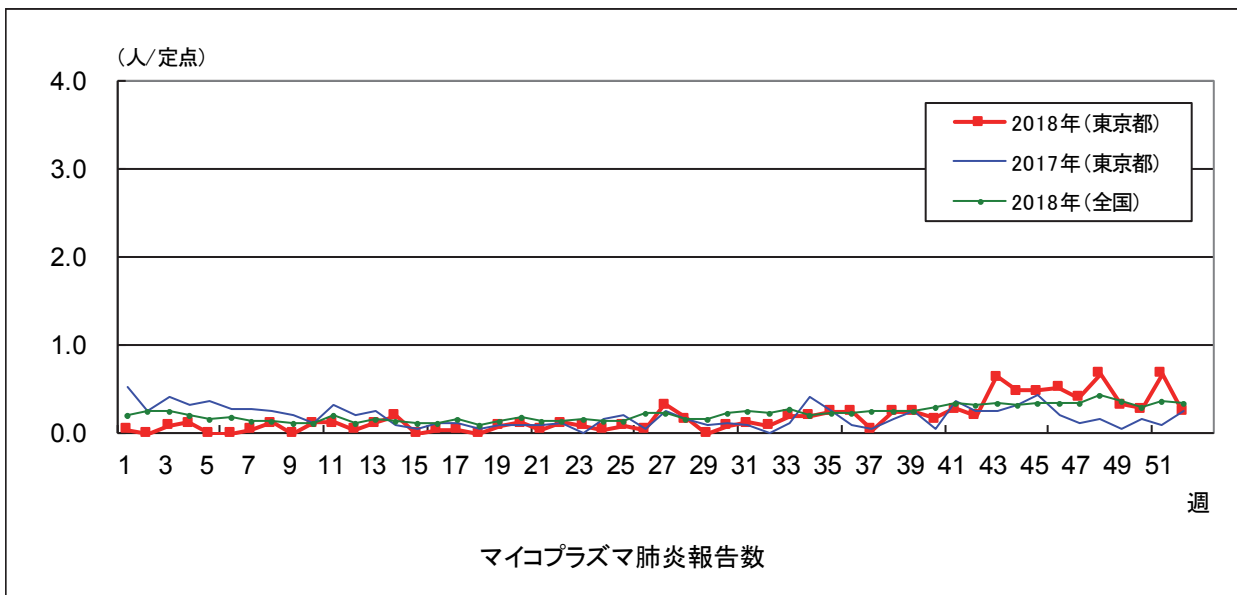
ウ マイコプラズマ肺炎

2018年の報告数は230人、定点当たりの報告数は9.20人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は24.17人であり、2018年はここ10年で最も少ない報告数であった。ここ10年では2011年と2012年、および2015年と2016年に大きな流行が見られた。

週別定点当たりの報告数では2016年後半の流行期以降報告数の減少が続いているが、年間を通してみると年の初めより終わりにかけて緩やかな増加がみられピークは48週（11.26～12.2）および51週（12.17～12.23）の0.68人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのはみなとの37.00人であった。

年齢階級別報告数では6か月未満が1人（0.4%）、60歳以上が11人（4.8%）であった。



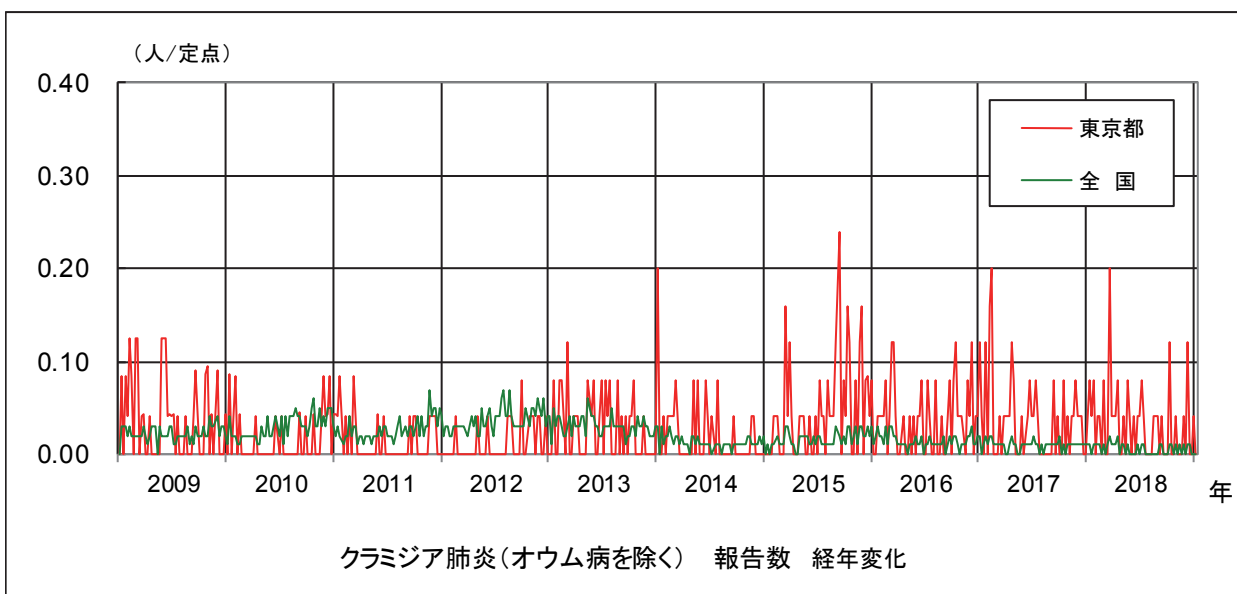
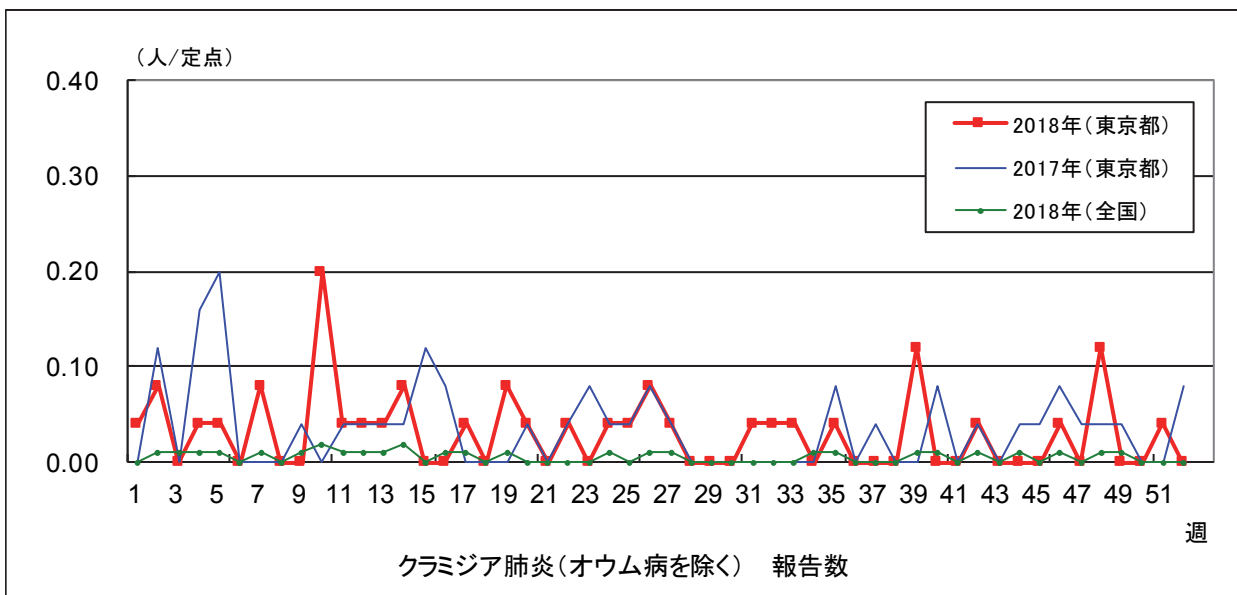
エ クラミジア肺炎（オウム病を除く）

2018年の報告数は40人であり、定点当たりの報告数は1.60人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は1.44人であり、平均的な報告数であった。

週別定点当たりの報告数では年間を通じて散発的に発生しており明らかな季節性は見られなかった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは池袋の10.00人であった。

年齢階級別報告数では70歳代が11人（27.5%）、80歳代以上が8人（20.0%）であった。



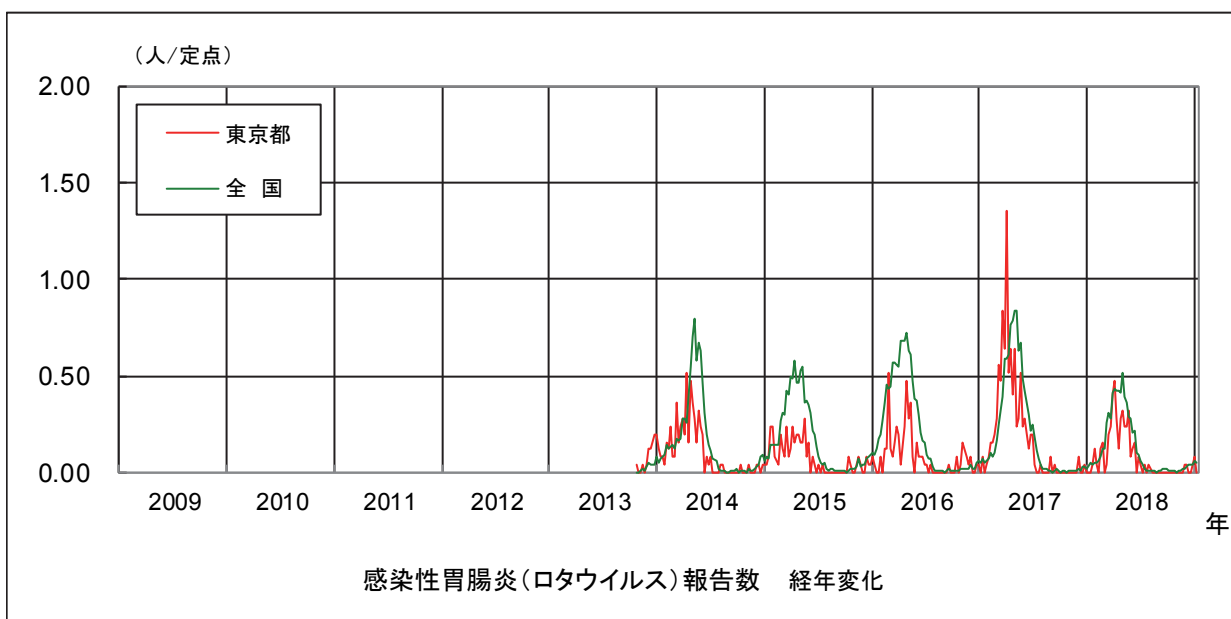
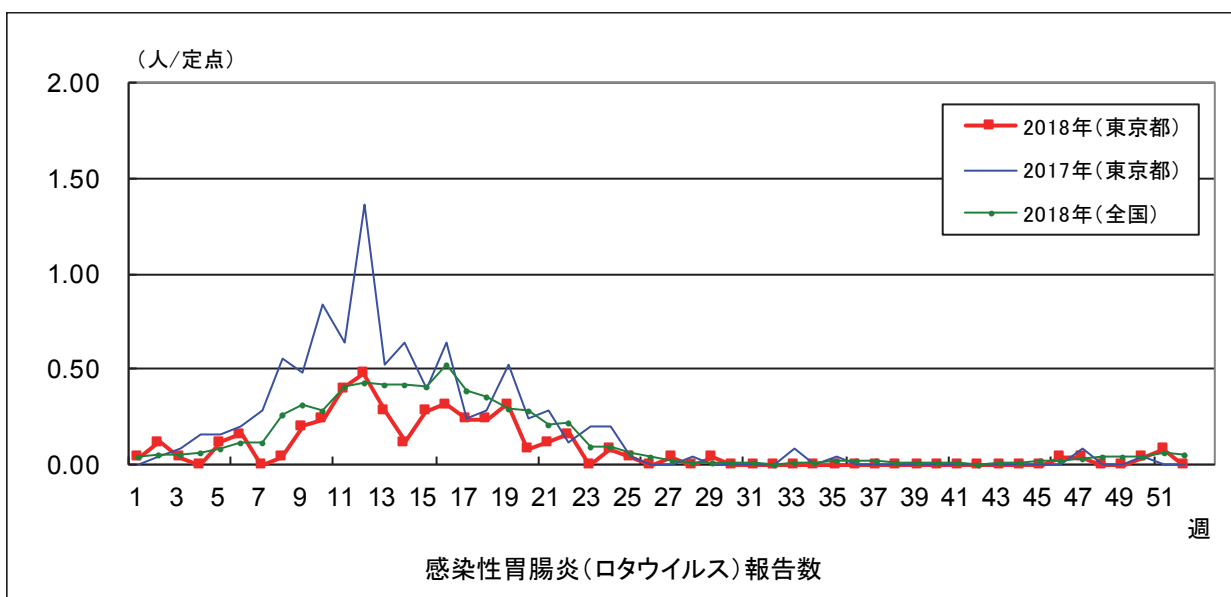
オ 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）

2018年の報告数は110人であり、定点当たりの報告数は4.40人であった。報告は2013年42週より開始されている。

週別定点当たりの報告数では2017年ほど明確ではないが12週（3.19～3.25）の0.48人をピークとした山が見られた。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは葛飾区の31.00人であった。

年齢階級別報告数では6歳以下が86人（78.2%）であった。

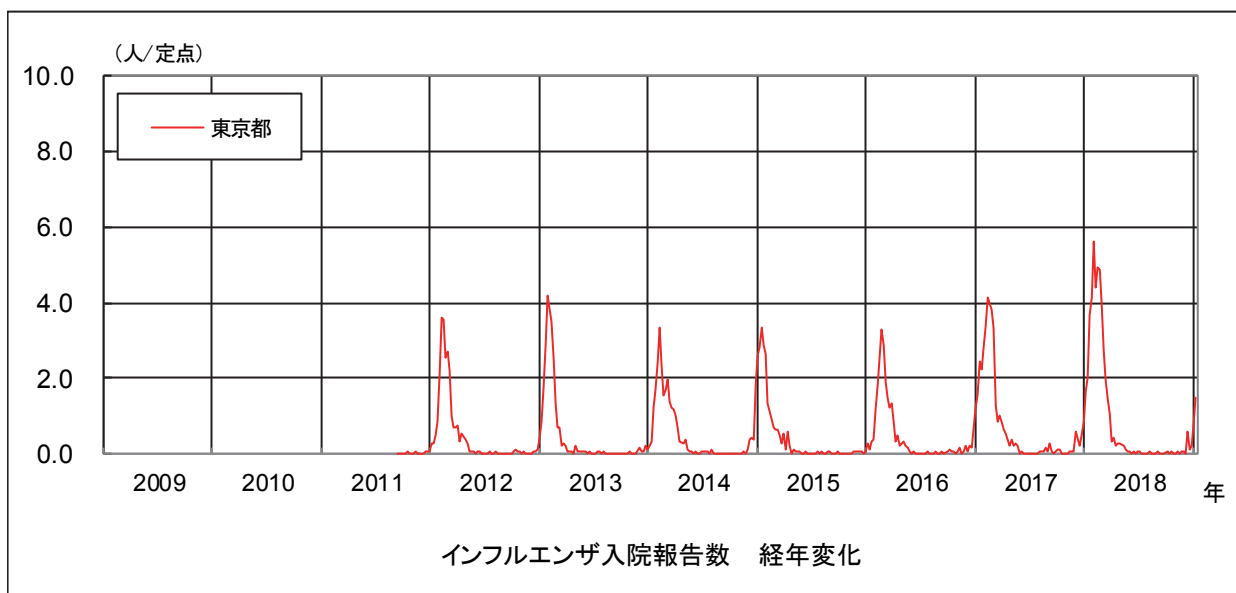
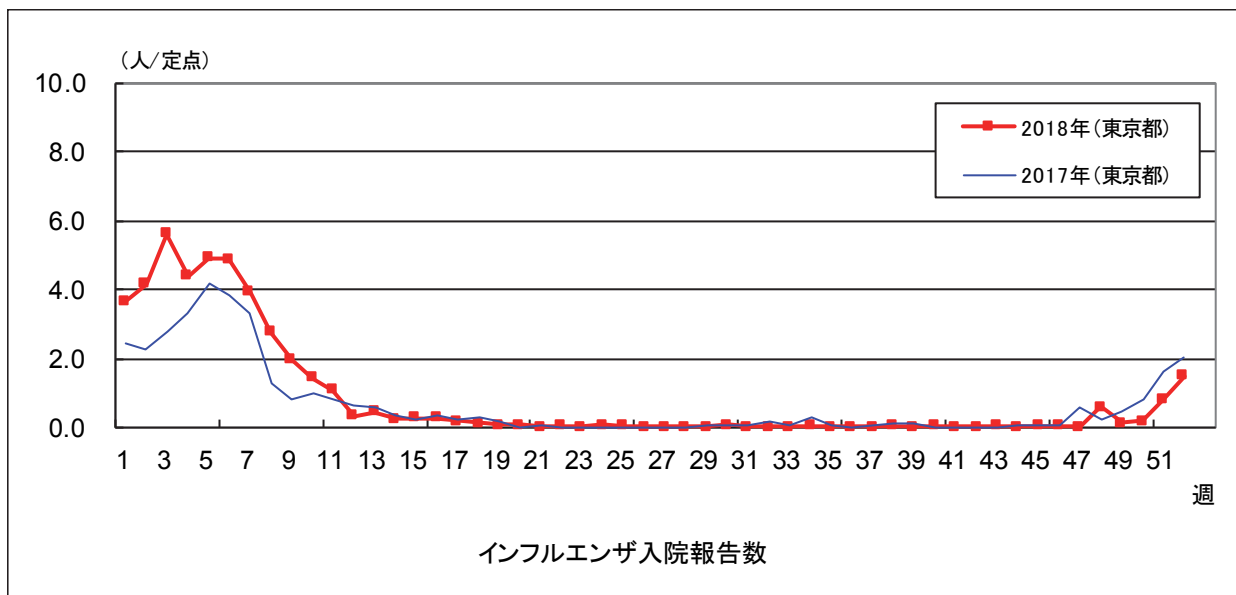


カ インフルエンザ入院

2018年の報告数は1,113人で、定点当たりの報告数は44.52人であった。2011年36週より報告が開始されたが、開始以降最多の報告数となった。ピークは3週（1.15~1.21）の5.60人であった。

保健所別定点当たり報告数で最も多かったのは葛飾区の109.00人であった。

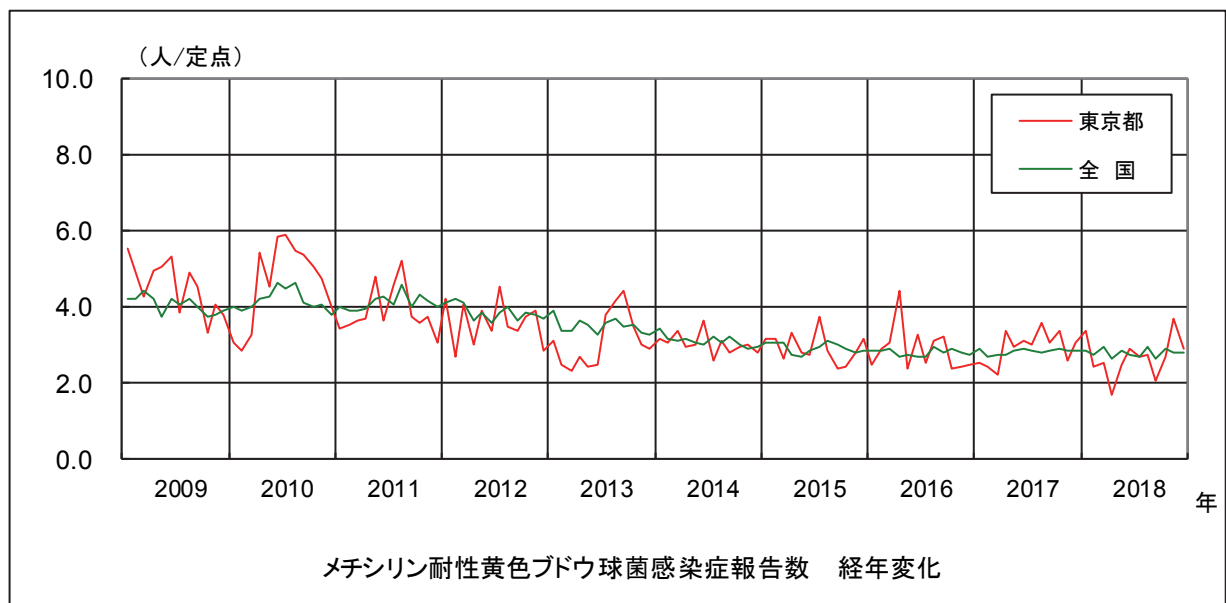
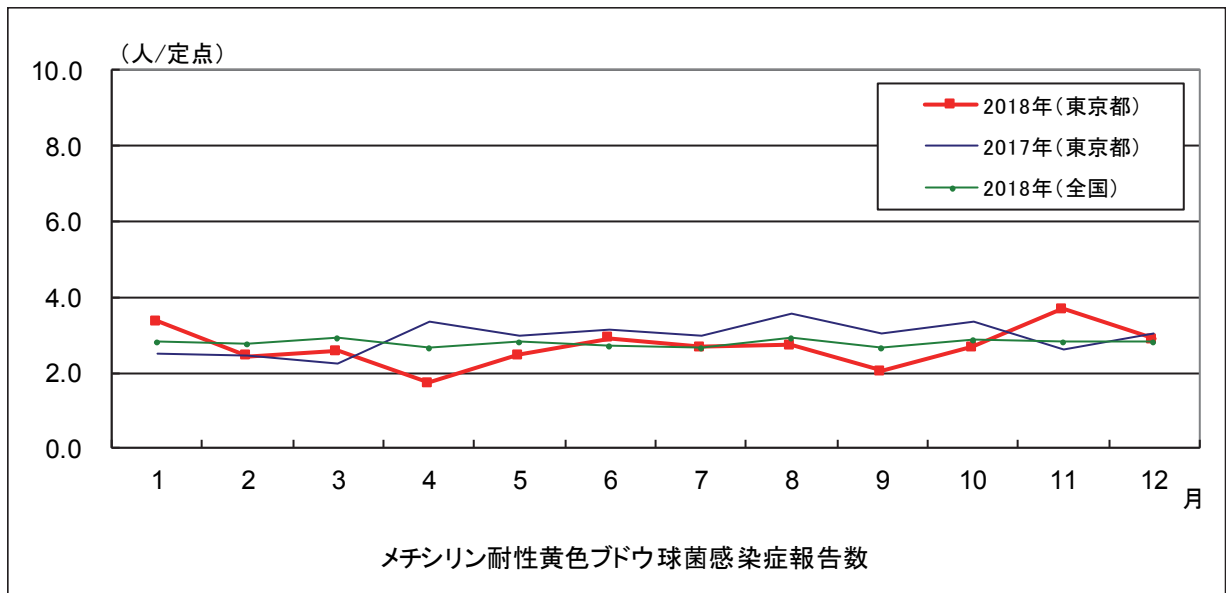
年齢階級別報告数では10歳未満235人（21.1%）、70歳以上642人（57.7%）であった。



(5) 基幹定点医療機関における月報告疾患

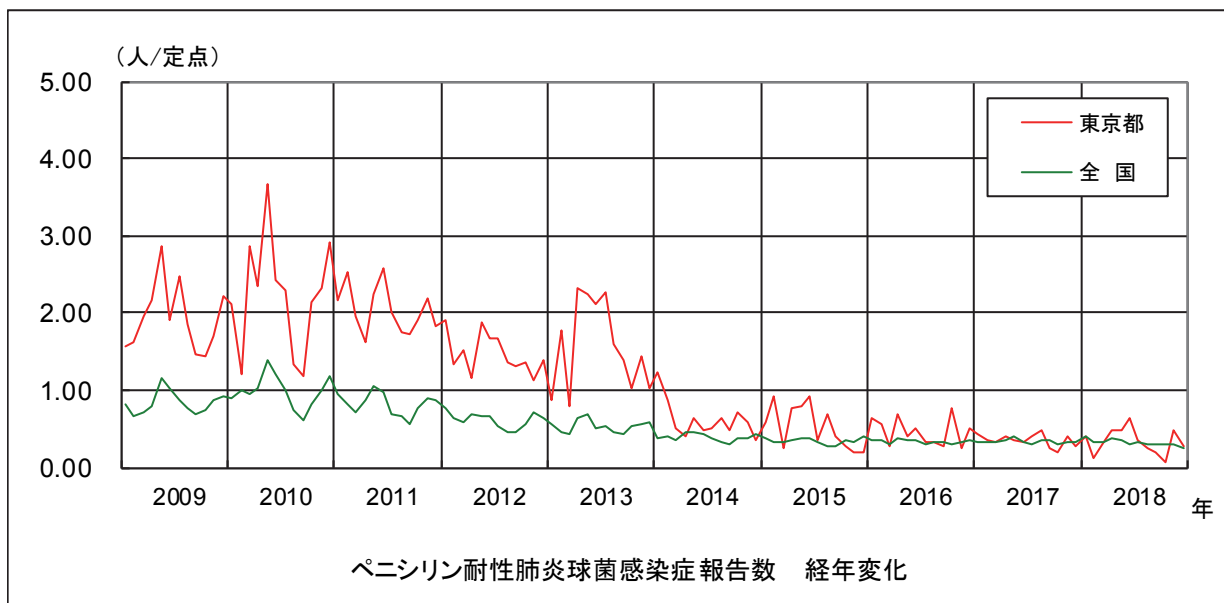
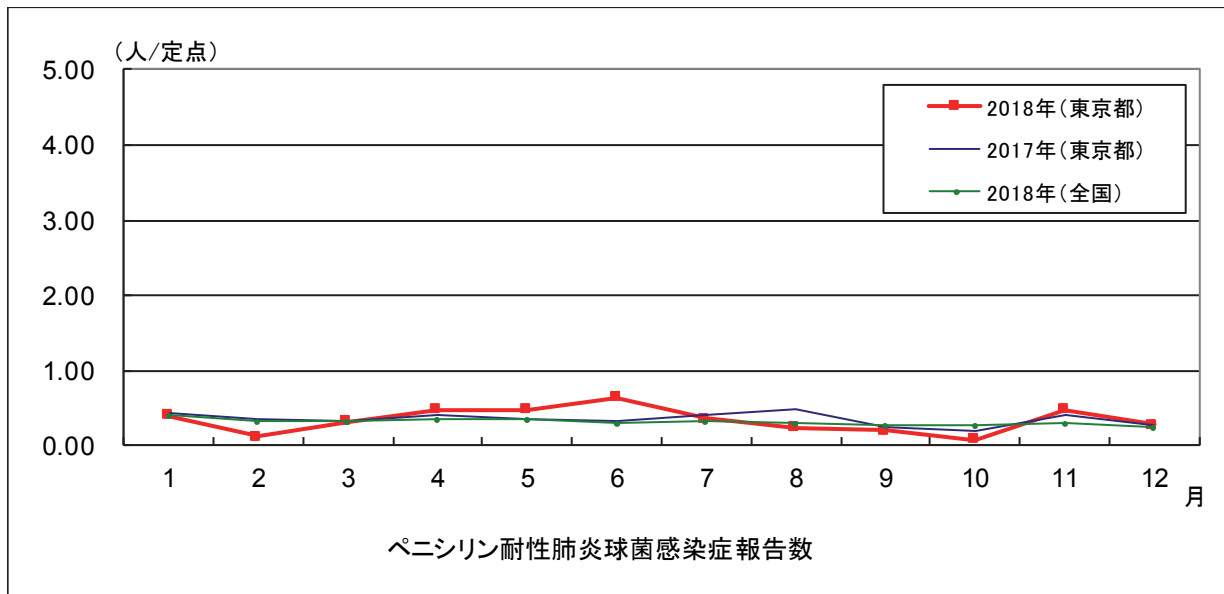
ア メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 感染症

2018年の報告数は804人、定点当たりの報告数は32.16人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は41.07人であり、2018年はここ10年で最も少ない報告数であった。



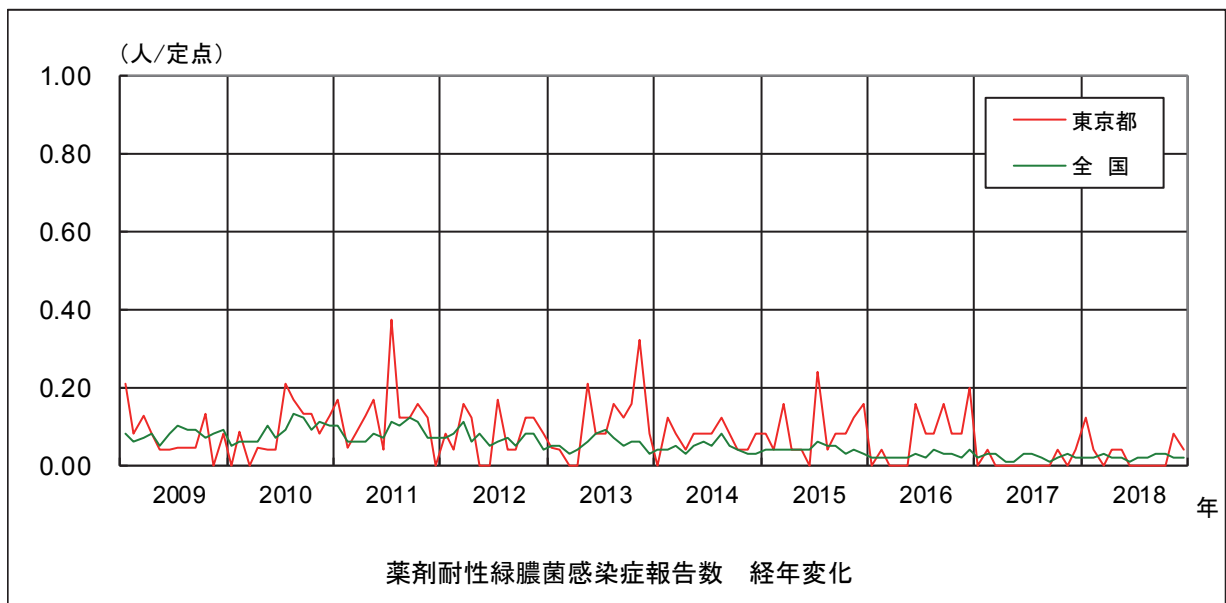
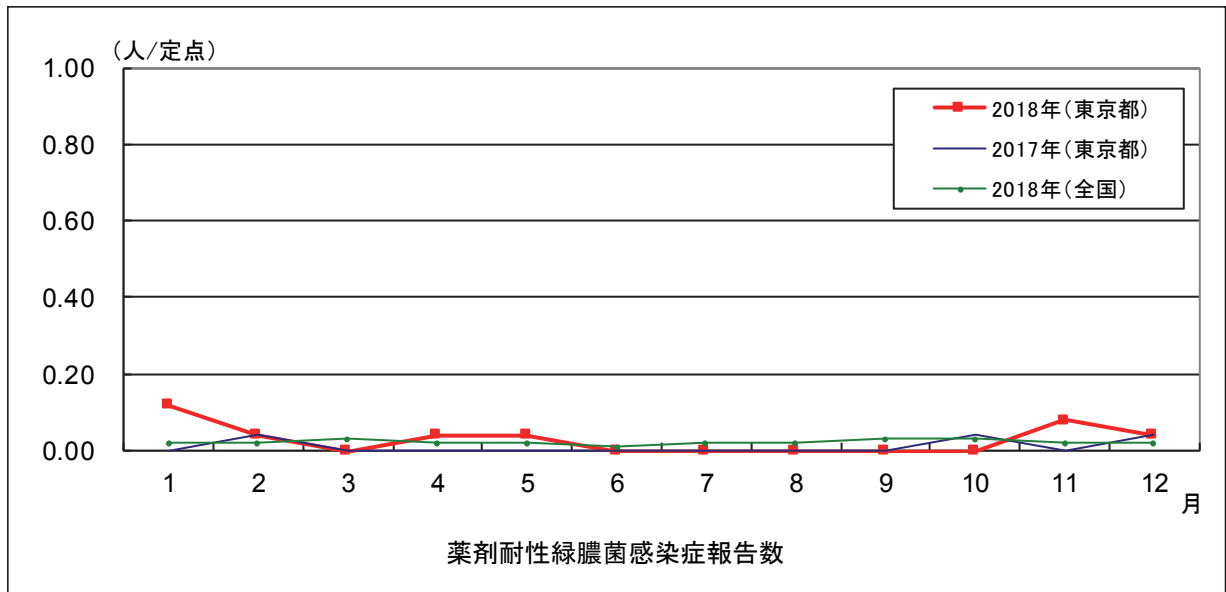
イ ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

2018年の報告数は102人、定点当たりの報告数は4.08人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は13.89人であり、2018年はここ10年で最も少ない報告数であった。



ウ 薬剤耐性緑膿菌感染症

2018年の報告数は9人、定点当たりの報告数は0.36人であった。ここ10年の定点当たりの報告数の平均は0.91人であり、ここ10年では2017年に次いで少ない報告数であった。



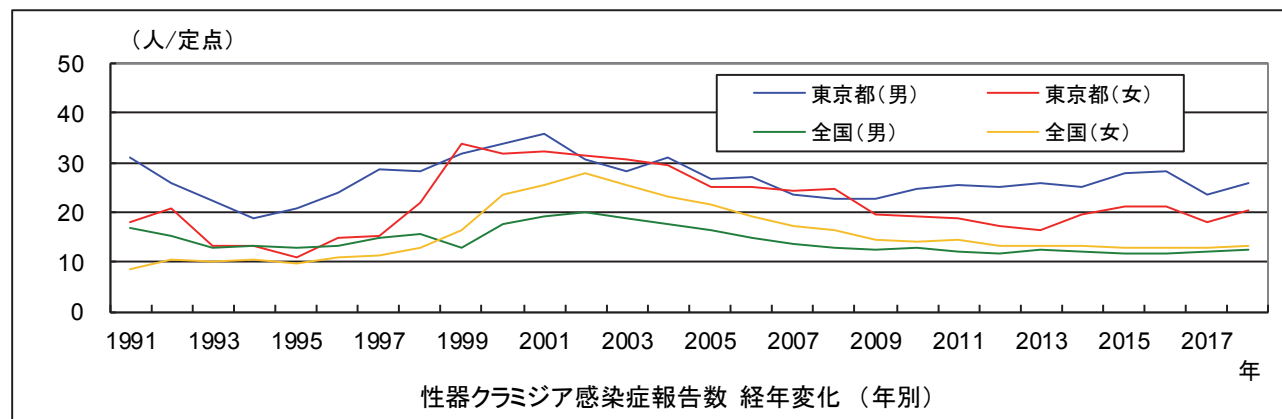
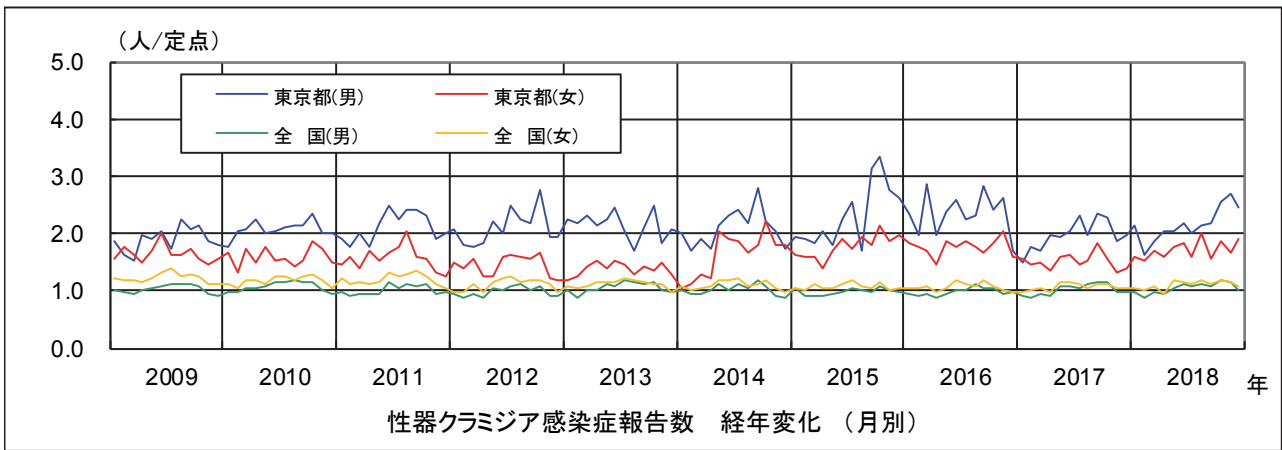
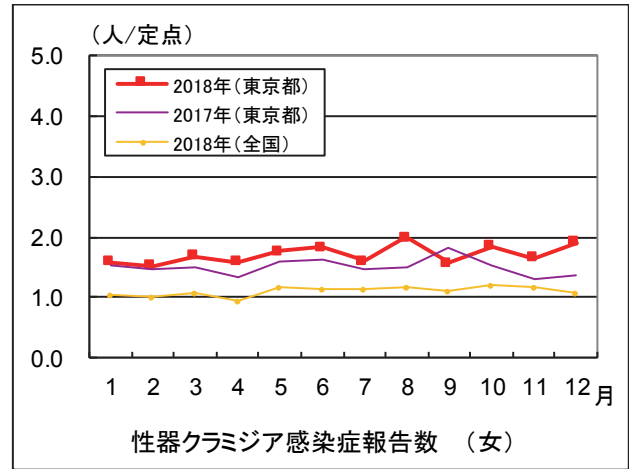
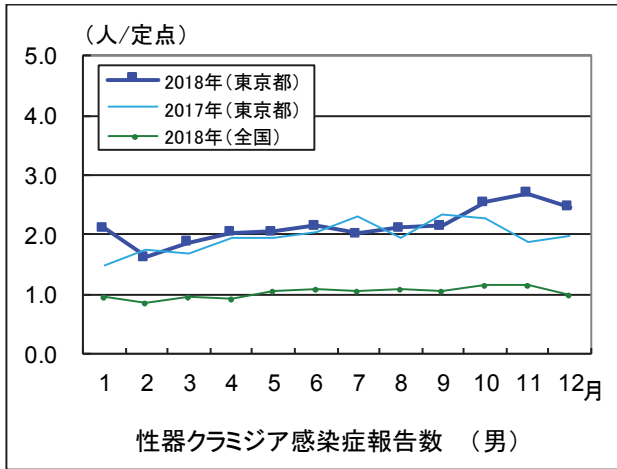
(6) 性感染症

ア 性器クラミジア感染症

2018年の報告数は2,551人、定点当たり46.46人であり、前年より増加が見られた。男性の報告数は1,422人、定点当たり25.90人（前年比1.09）、女性の報告数は1,129人、定点当たり20.56人（前年比1.14）であった。

定点当たり報告数を月別に見ると、最多は10月で4.40人、最少は2月で3.16人であった。保健所別では、男性は千代田の82.00人、女性は多摩立川の78.00人が最多で、報告がゼロだった保健所は男性では、八王子市、町田市、多摩立川、多摩小平、女性では文京、中野区、北区、多摩府中であった。

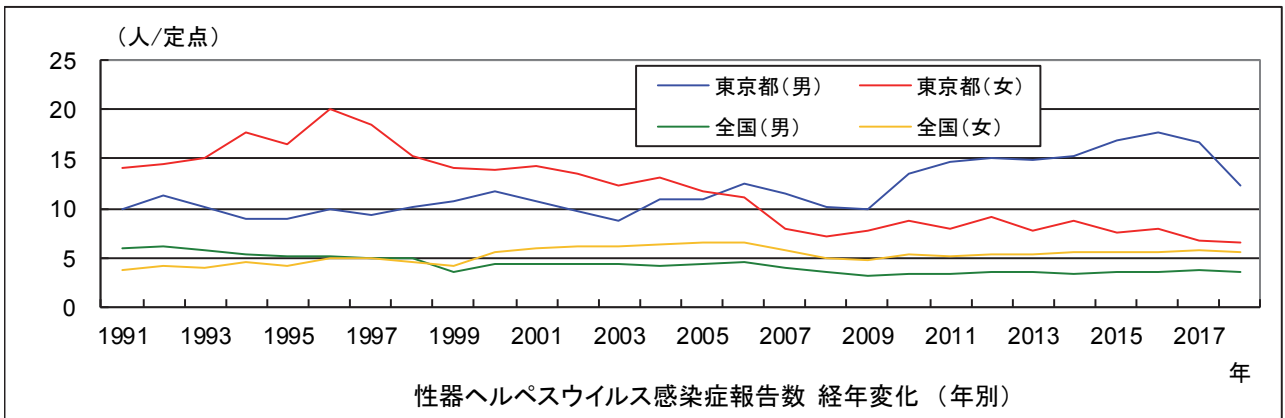
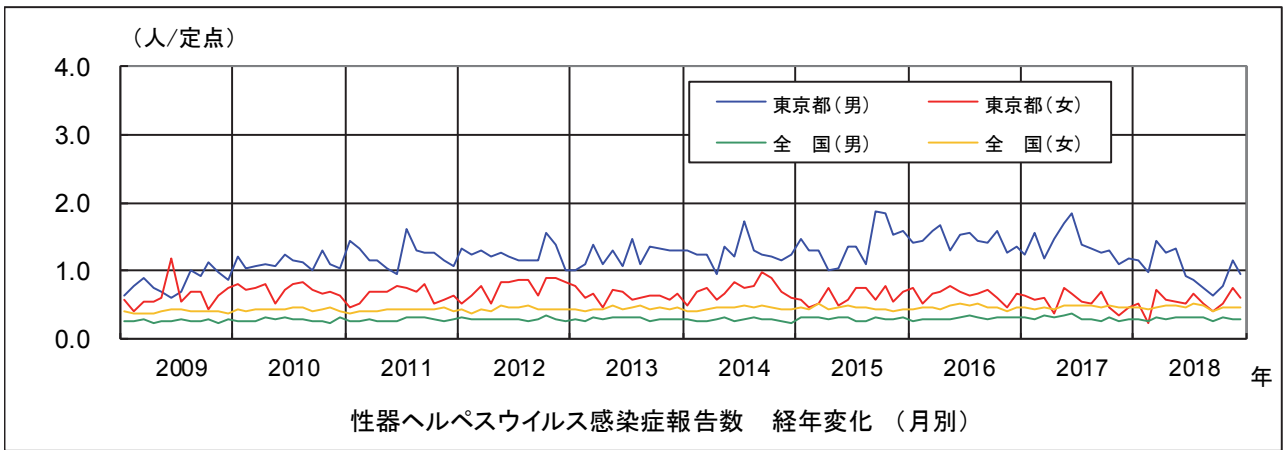
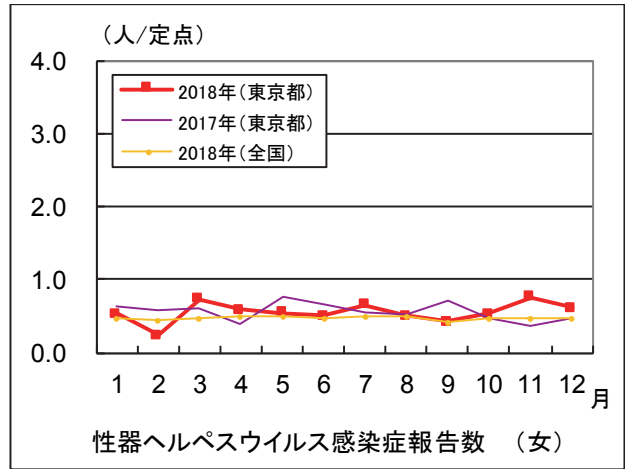
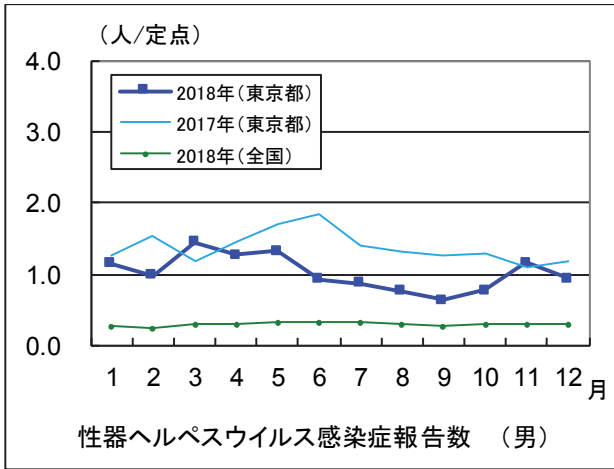
年齢階級別報告数では、男性は20から40歳代にかけて報告数が多く、25～29歳が最多で323人であった。女性では20から30歳代の報告数が多く、20～24歳の341人が最多であった。



イ 性器ヘルペスウイルス感染症

2018年の報告数は1,037人、定点当たり18.88人であり、男性の報告数は674人、定点当たり12.27人（前年比0.74）、女性の報告数は363人、定点当たり6.61人（前年比0.99）で、男性に多い状況が続いている。

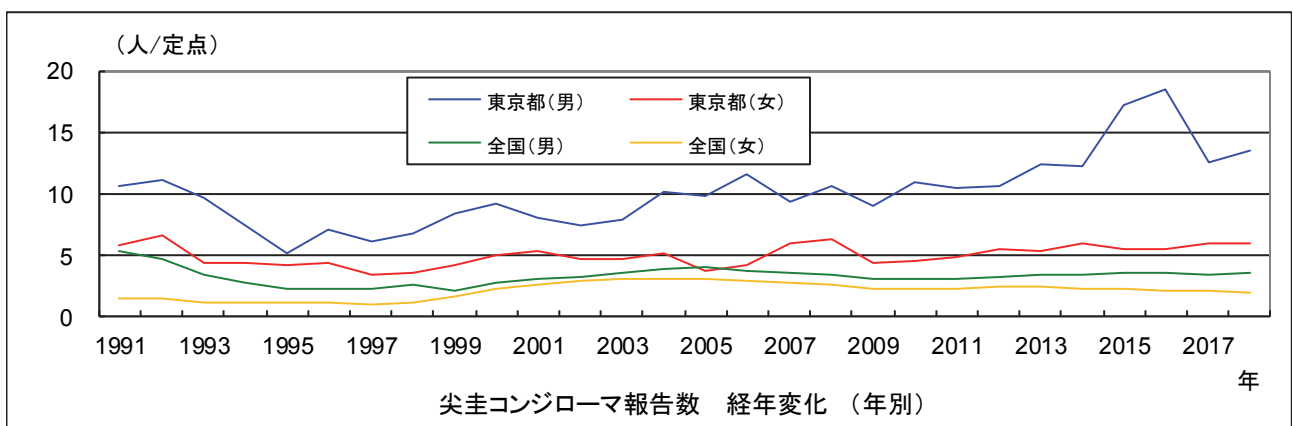
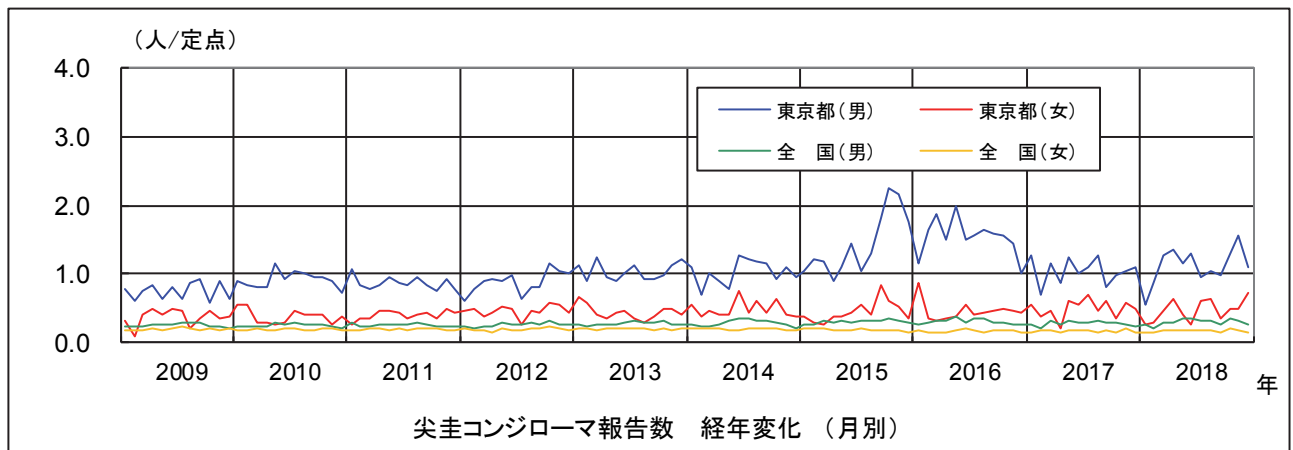
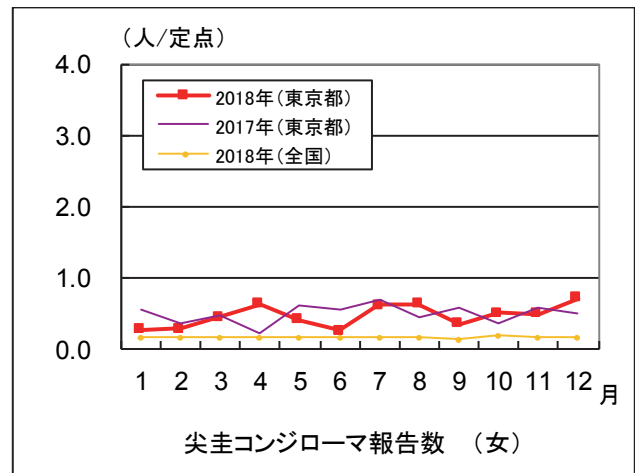
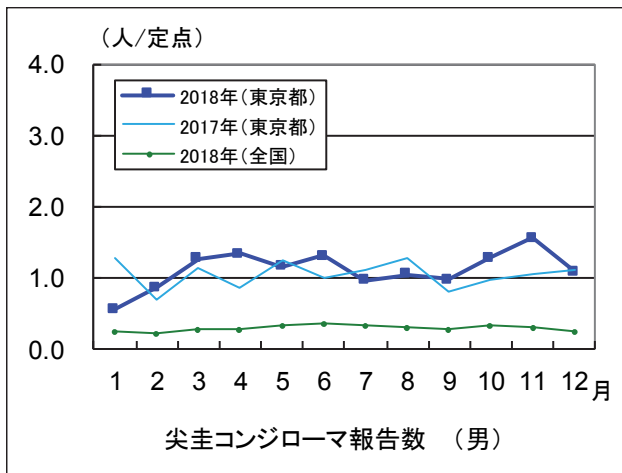
月別の定点当たり報告数は、男性では最多が3月で1.45人、最少は9月で0.64人、女性では最多は11月が0.76人、最少は2月で0.24人であった。保健所別では、男性の最多はみなとで90.00人、女性の最多は町田市で17.00人であった。報告がゼロだった保健所は男性では、大田区、北区、荒川区、足立、八王子市、町田市、多摩立川、多摩府中、多摩小平で、女性では文京、中野区、北区、多摩小平であった。年齢階級別報告数では、男性は35～44歳の報告数が多く、最多は35～39歳で114人であった。女性では20～29歳の報告数が多く、最多は25～29歳の80人であった。



ウ 尖圭コンジローマ

2018年の報告数は1,051人、定点当たり19.14人であり、男性の報告数は740人、定点当たり13.47人（前年比1.07）、女性の報告数は311人、定点当たりでは前年と変わらず5.99人（前年比1.00）で男性の定点当たりの数が増加し、男性が女性の倍以上届け出がなされていた。

月別定点当たり報告数は、男性は11月が最多で1.56人、1月が最小で0.56人だった。女性は12月が最多で0.72人、6月が最少で0.25人であった。保健所別定点報告数は、男女とも新宿区が最多（男性60.64人、26.43人）であった。報告がゼロだった保健所は男性では大田区、荒川区、足立、八王子市、町田市、多摩立川、多摩小平で、女性では文京、品川区、大田区、中野区、北区、荒川区、多摩小平であった。年齢階級別報告数では、男性は25～39歳が多く、最多は25～29歳の139人であった。女性では20歳代が多く、最多は25～29歳の89人であった。

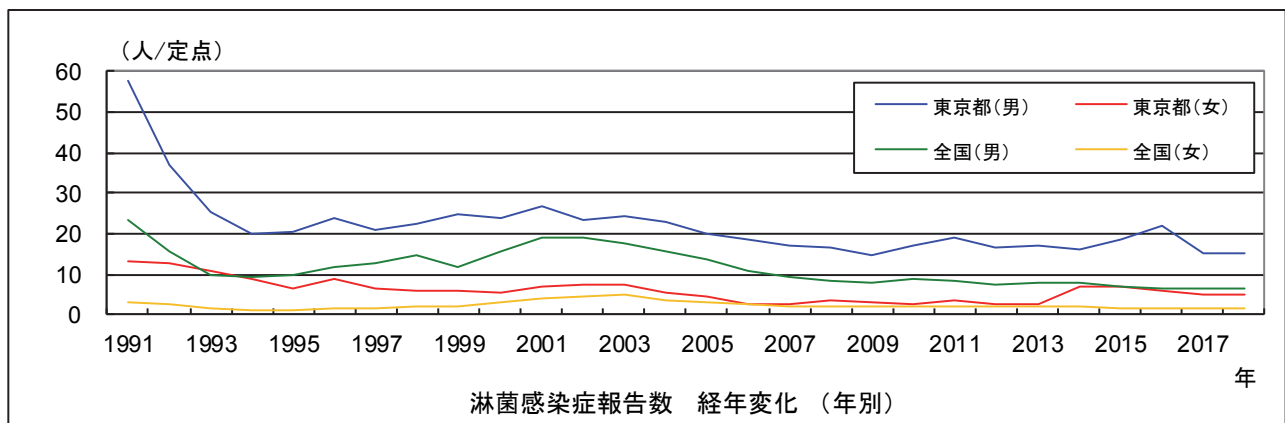
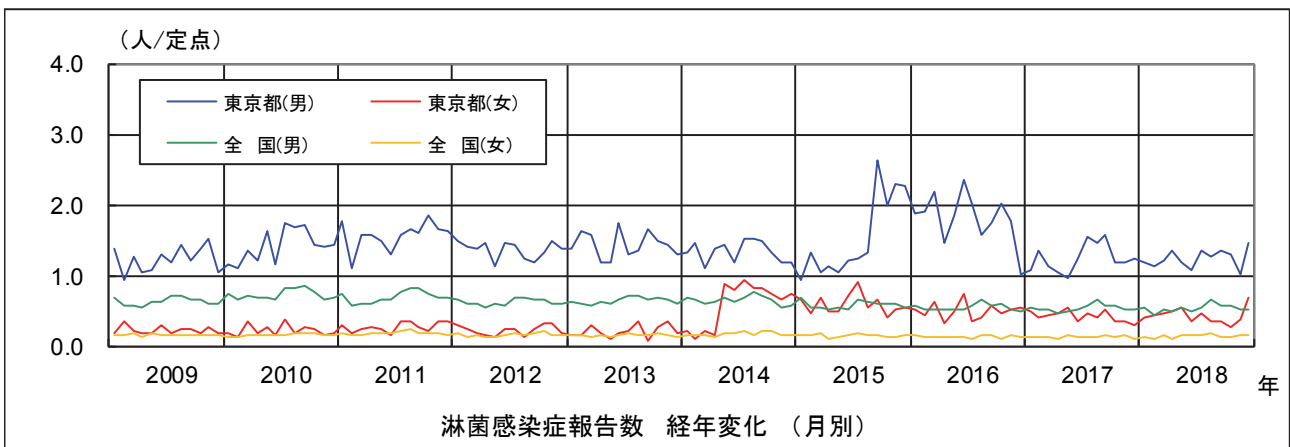
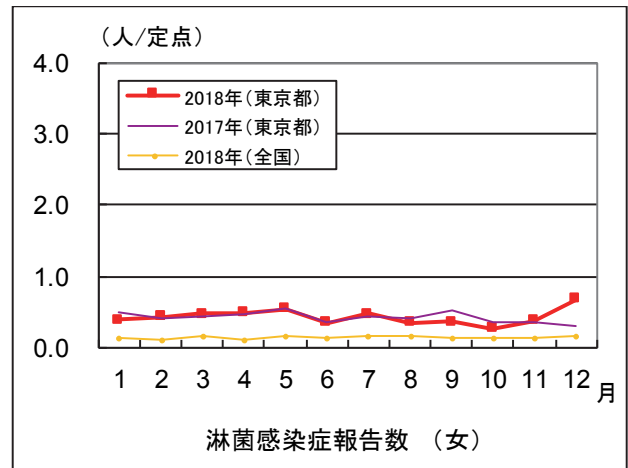
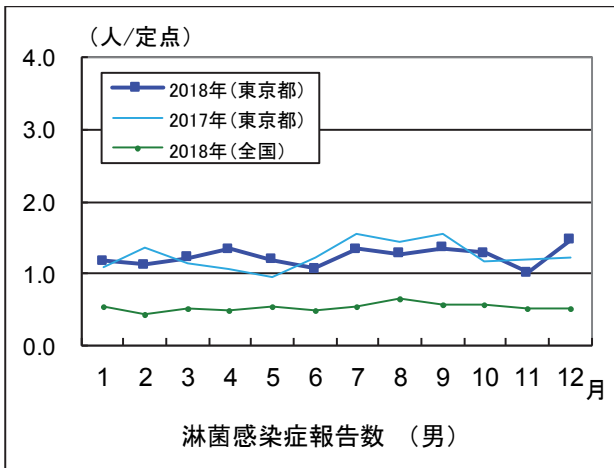


エ 淋菌感染症

2018年の報告数は1,104人、定点当たり20.11人であり、男性の報告数は818人、定点当たり14.90人（前年比0.99）、女性の報告数は286人、定点当たり5.21人（前年比1.01）で女性の報告数にわずかな増加が見られた。

月別定点当たり報告数は、男女とも12月が最多（男性1.46人、女性0.69人）で最少は男性が11月（1.02人）女性が10月（0.96人）であった。保健所別定点報告数では、男性は千代田区の43.50人、女性は台東の70.00人が最多であった。報告がゼロだった保健所は男性は北区、八王子市、町田市、多摩小平、女性は千代田区、文京、品川区、北区、荒川区、町田市、多摩府中、多摩小平であった。

年齢階級別報告数では、男性は20～44歳と比較的幅の広い年齢階級で届け出が多くみられたが、女性は20歳代で届け出が多くみられた。



オ 臙トリコモナス症

2018年の報告数は128人、定点当たり2.33人で昨年に比べ報告数は18人増加した。男性の報告数は6人、定点当たり0.11人（前年比3.00）、女性の報告数は122人、定点当たり2.22人（前年比1.13）と男女ともに前年を上回った。

男性は報告数が少なく明らかな傾向を判断するのは困難だったが、女性では、月別定点当たり患者報告数は5月が最多で0.31人、8月が最少で0.09人であった。保健所別では、男性は千代田、中央区、池袋、八王子市以外は届け出がなかった。女性では台東がもっとも届け出が多く19.00人で、報告がゼロだった保健所は千代田、みなど、文京、江東区、品川区、大田区、北区、荒川区、多摩府中であった。年齢階級別報告数では男性では25～54歳までで報告があった。女性では15～70歳以上まで幅広い年齢で報告があったが、20歳代が多く、25～29歳が31人と最多であった。

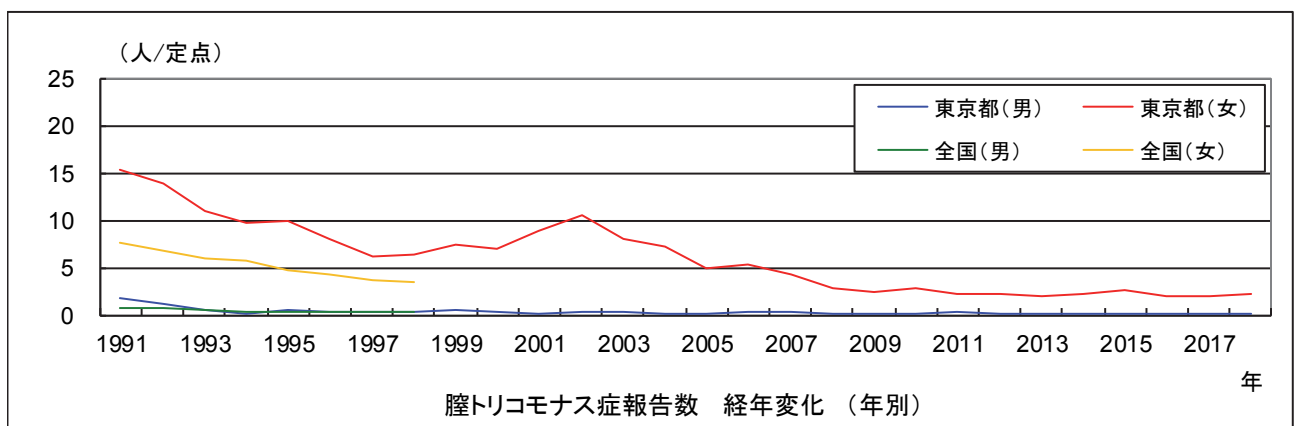
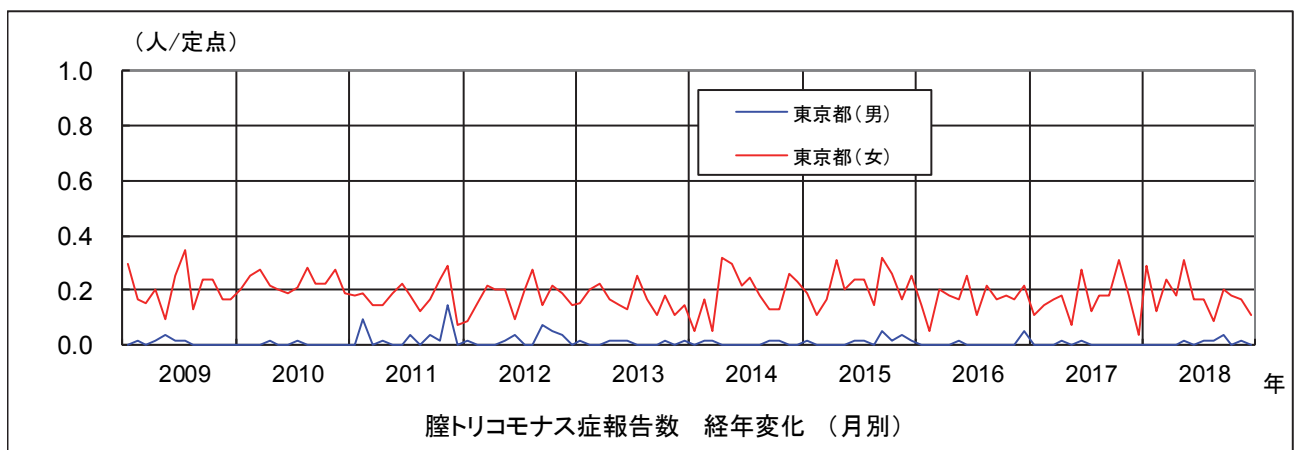
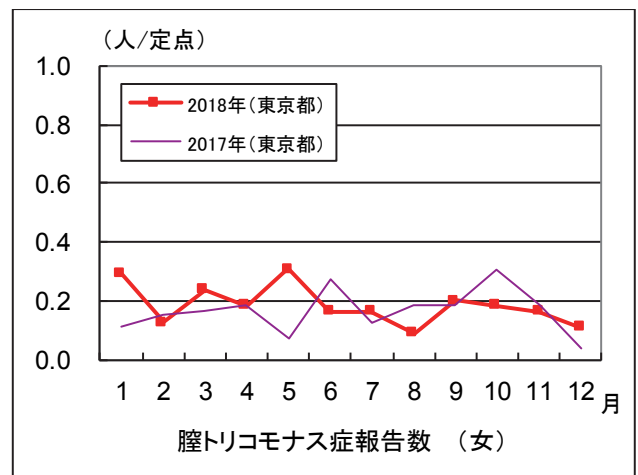
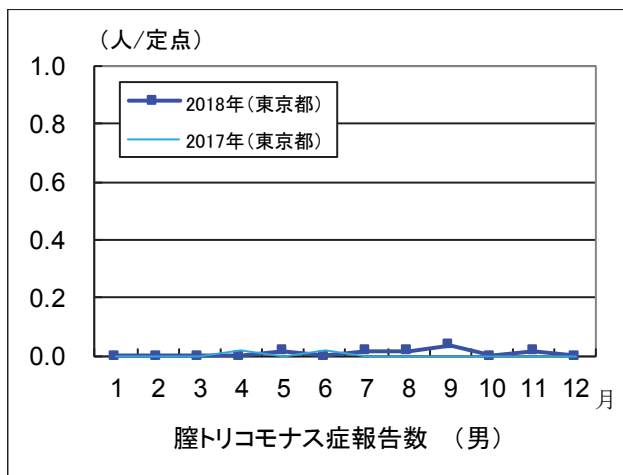


表4-1(1) 週別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2018年第1週~第52週

週	期間	報告定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	報告定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A 球菌 溶血性 レンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
1	1. 1~ 1. 7	404	4,357	253	54	46	227	763	108	10	19	52		16
2	1. 8~ 1.14	414	9,456	261	51	72	486	1,676	110	26	33	121	3	18
3	1.15~ 1.21	415	20,612	262	70	67	712	1,844	81	22	50	122	2	14
4	1.22~ 1.28	416	22,504	263	87	44	720	1,426	53	23	32	109	1	25
5	1.29~ 2. 4	416	22,104	263	83	45	625	1,518	71	20	26	76	3	19
6	2. 5~ 2.11	414	16,376	262	68	54	733	1,313	65	13	23	109	9	22
7	2.12~ 2.18	416	9,137	263	57	37	575	1,096	66	4	19	92		22
8	2.19~ 2.25	414	6,963	261	55	40	677	1,290	53	8	18	93	3	20
9	2.26~ 3. 4	414	4,988	261	75	31	685	1,321	78	6	18	100	6	17
10	3. 5~ 3.11	414	3,272	261	57	39	628	1,235	84	12	20	102		20
11	3.12~ 3.18	414	2,185	261	100	48	684	1,369	80	6	29	100	3	26
12	3.19~ 3.25	413	1,204	262	77	42	588	1,179	65	17	24	119	1	14
13	3.26~ 4. 1	415	788	261	68	51	553	1,184	84	9	48	123	1	14
14	4. 2~ 4. 8	413	452	259	54	27	481	1,217	80	14	60	118	5	19
15	4. 9~ 4.15	416	358	262	90	58	620	1,369	76	16	66	140	5	19
16	4.16~ 4.22	417	374	264	90	64	788	1,715	84	22	64	149	1	31
17	4.23~ 4.29	412	299	260	74	100	909	1,777	71	29	101	195	5	24
18	4.30~ 5. 6	405	96	253	41	68	357	840	58	15	72	106	8	12
19	5. 7~ 5.13	418	93	264	33	116	911	1,822	122	28	99	215	6	28
20	5.14~ 5.20	416	74	263	71	157	923	2,067	83	52	187	173	11	22
21	5.21~ 5.27	415	66	261	46	204	833	2,017	165	42	160	181	26	33
22	5.28~ 6. 3	416	63	262	46	193	929	1,925	66	65	164	197	32	30
23	6. 4~ 6.10	417	50	263	51	232	949	1,988	127	90	199	177	60	28
24	6.11~ 6.17	416	29	262	62	207	876	1,742	113	90	170	180	118	46
25	6.18~ 6.24	416	35	262	82	198	830	1,787	84	117	299	183	139	43
26	6.25~ 7. 1	411	13	262	96	199	772	1,674	105	192	322	177	356	44
27	7. 2~ 7. 8	417	28	263	90	170	688	1,467	98	240	289	180	500	33
28	7. 9~ 7.15	411	22	260	151	154	634	1,401	79	334	265	167	817	38
29	7.16~ 7.22	411	6	259	179	135	465	1,063	75	297	199	123	811	49
30	7.23~ 7.29	410	8	257	245	126	456	1,104	61	308	207	159	978	28
31	7.30~ 8. 5	411	10	258	372	98	404	1,013	53	298	269	139	908	21
32	8. 6~ 8.12	367	9	239	395	58	304	832	41	270	187	104	627	21
33	8.13~ 8.19	380	12	230	320	50	203	559	29	160	141	71	340	12
34	8.20~ 8.26	399	4	248	378	59	314	832	57	201	276	126	408	13
35	8.27~ 9. 2	408	10	254	509	68	324	911	45	229	260	134	379	29
36	9. 3~ 9. 9	414	34	261	544	63	401	1,114	57	298	277	145	311	28
37	9.10~ 9.16	414	87	259	549	75	387	1,009	41	348	255	125	261	34
38	9.17~ 9.23	413	79	260	362	50	341	902	54	321	219	126	163	28
39	9.24~ 9.30	413	71	259	326	51	374	891	57	308	227	118	165	27
40	10. 1~10. 7	412	100	260	340	55	405	1,073	56	483	339	136	168	30
41	10. 8~10.14	418	42	263	249	48	372	956	79	362	240	99	119	16
42	10.15~10.21	415	56	260	228	52	500	1,153	68	373	262	114	129	21
43	10.22~10.28	416	67	262	172	48	602	1,338	57	372	337	129	81	20
44	10.29~11. 4	412	83	261	108	53	593	1,339	89	342	284	109	56	13
45	11. 5~11.11	413	186	263	107	60	700	1,791	121	301	404	137	31	22
46	11.12~11.18	416	251	262	85	99	713	2,058	89	374	387	140	36	20
47	11.19~11.25	417	208	262	66	103	770	2,013	113	303	417	131	25	14
48	11.26~12. 2	418	392	263	71	114	851	2,838	200	296	575	138	18	27
49	12. 3~12. 9	417	654	262	64	126	914	3,151	146	214	625	124	22	33
50	12.10~12.16	417	1,117	263	72	138	856	3,319	202	209	538	106	18	15
51	12.17~12.23	415	3,233	262	64	106	940	3,573	175	181	549	103	8	16
52	12.24~12.30	394	4,545	249	46	73	538	2,428	141	82	383	79	5	12
合計			137,262		7,830	4,671	32,120	79,282	4,515	8,452	10,733	6,771	8,188	1,246

表4-1(2) 週別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2018年第1週～第52週

週	期 間	報告定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	報告定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	報告定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	報告定点数 (基幹)	インフルエンザ入院
1	1. 1～ 1. 7	253	3		38		16	25	1		1	1	1	25	92
2	1. 8～ 1.14	261	6	2	38		26	25				2	3	25	104
3	1.15～ 1.21	262	7	2	38		14	25		2	2		1	25	140
4	1.22～ 1.28	263	4	2	38		9	25			3	1		25	110
5	1.29～ 2. 4	263	12	1	38		9	25	1	1		1	3	25	123
6	2. 5～ 2.11	262	10	2	38		12	25	1	1			4	25	122
7	2.12～ 2.18	263	9	7	38		12	25	1		1	2		25	98
8	2.19～ 2.25	261	10	9	38		12	25	1	1	3		1	25	69
9	2.26～ 3. 4	261	8	5	37	1	10	25					5	25	49
10	3. 5～ 3.11	261	7	6	38	1	6	25			3	5	6	25	36
11	3.12～ 3.18	261	13	4	38		8	25		1	3	1	10	25	27
12	3.19～ 3.25	262	9	4	38	1	6	25		1	1	1	12	25	8
13	3.26～ 4. 1	261	8	2	38		8	25	2		3	1	7	25	11
14	4. 2～ 4. 8	259	5	5	38		20	25		2	5	2	3	25	6
15	4. 9～ 4.15	262	12	12	38		21	25					7	25	7
16	4.16～ 4.22	264	13	4	38		20	25	2		1		8	25	7
17	4.23～ 4.29	260	14	6	38		22	25	1		1	1	6	25	5
18	4.30～ 5. 6	253	5	3	37		11	25					6	25	3
19	5. 7～ 5.13	264	25	3	38	1	36	25		1	2	2	8	25	2
20	5.14～ 5.20	263	17	3	38	1	35	25			3	1	2	25	2
21	5.21～ 5.27	261	11	6	38		23	25	1	2	1		3	25	0
22	5.28～ 6. 3	262	20	2	38		23	25	1		3	1	4	25	1
23	6. 4～ 6.10	263	17	6	38	2	19	25			2			25	0
24	6.11～ 6.17	262	20	5	38		25	25	1	2	1	1	2	25	2
25	6.18～ 6.24	262	15	5	38		24	25	2		2	1	1	25	1
26	6.25～ 7. 1	262	26	6	37		17	25			1	2		25	0
27	7. 2～ 7. 8	263	35	4	38		28	25			8	1	1	25	0
28	7. 9～ 7.15	260	31	3	38	1	20	25	1		4			25	0
29	7.16～ 7.22	259	27	1	38	1	26	25	1	3			1	25	0
30	7.23～ 7.29	257	36	2	38		34	25	1	1	2			25	2
31	7.30～ 8. 5	258	40	5	38		35	25	2		3	1		25	0
32	8. 6～ 8.12	239	24	3	36		38	25			2	1		25	0
33	8.13～ 8.19	230	17	2	33		15	25	2	3	5	1		25	0
34	8.20～ 8.26	248	40	7	36	1	50	25			5			25	1
35	8.27～ 9. 2	254	42	8	38		36	25	1		6	1		25	0
36	9. 3～ 9. 9	261	51	5	37		30	25			6			25	0
37	9.10～ 9.16	259	38	6	38		30	25		1	1			25	0
38	9.17～ 9.23	260	25	2	38		9	25		3	6			25	1
39	9.24～ 9.30	259	28	4	38		14	25	1		6	3		25	0
40	10. 1～10. 7	260	34	2	38		25	25			4			25	1
41	10. 8～10.14	263	44	3	38	1	21	25		2	7			25	0
42	10.15～10.21	260	43	3	38		20	25	1		5	1		25	0
43	10.22～10.28	262	38	4	38	2	23	25		1	16			25	1
44	10.29～11. 4	261	33	2	38	1	22	25	3	1	12			25	0
45	11. 5～11.11	263	30	3	38		21	25	1	3	12			25	1
46	11.12～11.18	262	17	6	37		12	25			13	1	1	25	1
47	11.19～11.25	262	22	4	38		15	25			10		1	25	0
48	11.26～12. 2	263	21	3	38		22	25	1		17	3		25	15
49	12. 3～12. 9	262	16	7	38		13	25	1		8			25	3
50	12.10～12.16	263	14	4	37		20	25			7		1	25	5
51	12.17～12.23	262	8	8	38		21	25	1		17	1	2	25	20
52	12.24～12.30	249	13	1	33		16	25		1	6			25	37
合 計		1,073	214			14	1,060		32	33	230	40	110		1,113

表4-2(1) 週別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2018年第1週~第52週

週	期間	報告 定点 数 (イン フル エン ザ)	イン フル エン ザ	報告 定点 数 (小 児 科)	R S ウ イ ル ス 感 染 症	咽 頭 結 膜 熱	A 球 菌 咽 頭 炎 溶 血 性 レ ン サ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	ヘル パン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎
1	1. 1~ 1. 7	404	10.78	253	0.21	0.18	0.90	3.02	0.43	0.04	0.08	0.21		0.06
2	1. 8~ 1.14	414	22.84	261	0.20	0.28	1.86	6.42	0.42	0.10	0.13	0.46	0.01	0.07
3	1.15~ 1.21	415	49.67	262	0.27	0.26	2.72	7.04	0.31	0.08	0.19	0.47	0.01	0.05
4	1.22~ 1.28	416	54.10	263	0.33	0.17	2.74	5.42	0.20	0.09	0.12	0.41	0.00	0.10
5	1.29~ 2. 4	416	53.13	263	0.32	0.17	2.38	5.77	0.27	0.08	0.10	0.29	0.01	0.07
6	2. 5~ 2.11	414	39.56	262	0.26	0.21	2.80	5.01	0.25	0.05	0.09	0.42	0.03	0.08
7	2.12~ 2.18	416	21.96	263	0.22	0.14	2.19	4.17	0.25	0.02	0.07	0.35		0.08
8	2.19~ 2.25	414	16.82	261	0.21	0.15	2.59	4.94	0.20	0.03	0.07	0.36	0.01	0.08
9	2.26~ 3. 4	414	12.05	261	0.29	0.12	2.62	5.06	0.30	0.02	0.07	0.38	0.02	0.07
10	3. 5~ 3.11	414	7.90	261	0.22	0.15	2.41	4.73	0.32	0.05	0.08	0.39		0.08
11	3.12~ 3.18	414	5.28	261	0.38	0.18	2.62	5.25	0.31	0.02	0.11	0.38	0.01	0.10
12	3.19~ 3.25	413	2.92	262	0.29	0.16	2.24	4.50	0.25	0.06	0.09	0.45	0.00	0.05
13	3.26~ 4. 1	415	1.90	261	0.26	0.20	2.12	4.54	0.32	0.03	0.18	0.47	0.00	0.05
14	4. 2~ 4. 8	413	1.09	259	0.21	0.10	1.86	4.70	0.31	0.05	0.23	0.46	0.02	0.07
15	4. 9~ 4.15	416	0.86	262	0.34	0.22	2.37	5.23	0.29	0.06	0.25	0.53	0.02	0.07
16	4.16~ 4.22	417	0.90	264	0.34	0.24	2.98	6.50	0.32	0.08	0.24	0.56	0.00	0.12
17	4.23~ 4.29	412	0.73	260	0.28	0.38	3.50	6.83	0.27	0.11	0.39	0.75	0.02	0.09
18	4.30~ 5. 6	405	0.24	253	0.16	0.27	1.41	3.32	0.23	0.06	0.28	0.42	0.03	0.05
19	5. 7~ 5.13	418	0.22	264	0.13	0.44	3.45	6.90	0.46	0.11	0.38	0.81	0.02	0.11
20	5.14~ 5.20	416	0.18	263	0.27	0.60	3.51	7.86	0.32	0.20	0.71	0.66	0.04	0.08
21	5.21~ 5.27	415	0.16	261	0.18	0.78	3.19	7.73	0.63	0.16	0.61	0.69	0.10	0.13
22	5.28~ 6. 3	416	0.15	262	0.18	0.74	3.55	7.35	0.25	0.25	0.63	0.75	0.12	0.11
23	6. 4~ 6.10	417	0.12	263	0.19	0.88	3.61	7.56	0.48	0.34	0.76	0.67	0.23	0.11
24	6.11~ 6.17	416	0.07	262	0.24	0.79	3.34	6.65	0.43	0.34	0.65	0.69	0.45	0.18
25	6.18~ 6.24	416	0.08	262	0.31	0.76	3.17	6.82	0.32	0.45	1.14	0.70	0.53	0.16
26	6.25~ 7. 1	411	0.03	262	0.37	0.76	2.95	6.39	0.40	0.73	1.23	0.68	1.36	0.17
27	7. 2~ 7. 8	417	0.07	263	0.34	0.65	2.62	5.58	0.37	0.91	1.10	0.68	1.90	0.13
28	7. 9~ 7.15	411	0.05	260	0.58	0.59	2.44	5.39	0.30	1.28	1.02	0.64	3.14	0.15
29	7.16~ 7.22	411	0.01	259	0.69	0.52	1.80	4.10	0.29	1.15	0.77	0.47	3.13	0.19
30	7.23~ 7.29	410	0.02	257	0.95	0.49	1.77	4.30	0.24	1.20	0.81	0.62	3.81	0.11
31	7.30~ 8. 5	411	0.02	258	1.44	0.38	1.57	3.93	0.21	1.16	1.04	0.54	3.52	0.08
32	8. 6~ 8.12	367	0.02	239	1.65	0.24	1.27	3.48	0.17	1.13	0.78	0.44	2.62	0.09
33	8.13~ 8.19	380	0.03	230	1.39	0.22	0.88	2.43	0.13	0.70	0.61	0.31	1.48	0.05
34	8.20~ 8.26	399	0.01	248	1.52	0.24	1.27	3.35	0.23	0.81	1.11	0.51	1.65	0.05
35	8.27~ 9. 2	408	0.02	254	2.00	0.27	1.28	3.59	0.18	0.90	1.02	0.53	1.49	0.11
36	9. 3~ 9. 9	414	0.08	261	2.08	0.24	1.54	4.27	0.22	1.14	1.06	0.56	1.19	0.11
37	9.10~ 9.16	414	0.21	259	2.12	0.29	1.49	3.90	0.16	1.34	0.98	0.48	1.01	0.13
38	9.17~ 9.23	413	0.19	260	1.39	0.19	1.31	3.47	0.21	1.23	0.84	0.48	0.63	0.11
39	9.24~ 9.30	413	0.17	259	1.26	0.20	1.44	3.44	0.22	1.19	0.88	0.46	0.64	0.10
40	10. 1~10. 7	412	0.24	260	1.31	0.21	1.56	4.13	0.22	1.86	1.30	0.52	0.65	0.12
41	10. 8~10.14	418	0.10	263	0.95	0.18	1.41	3.63	0.30	1.38	0.91	0.38	0.45	0.06
42	10.15~10.21	415	0.13	260	0.88	0.20	1.92	4.43	0.26	1.43	1.01	0.44	0.50	0.08
43	10.22~10.28	416	0.16	262	0.66	0.18	2.30	5.11	0.22	1.42	1.29	0.49	0.31	0.08
44	10.29~11. 4	412	0.20	261	0.41	0.20	2.27	5.13	0.34	1.31	1.09	0.42	0.21	0.05
45	11. 5~11.11	413	0.45	263	0.41	0.23	2.66	6.81	0.46	1.14	1.54	0.52	0.12	0.08
46	11.12~11.18	416	0.60	262	0.32	0.38	2.72	7.85	0.34	1.43	1.48	0.53	0.14	0.08
47	11.19~11.25	417	0.50	262	0.25	0.39	2.94	7.68	0.43	1.16	1.59	0.50	0.10	0.05
48	11.26~12. 2	418	0.94	263	0.27	0.43	3.24	10.79	0.76	1.13	2.19	0.52	0.07	0.10
49	12. 3~12. 9	417	1.57	262	0.24	0.48	3.49	12.03	0.56	0.82	2.39	0.47	0.08	0.13
50	12.10~12.16	417	2.68	263	0.27	0.52	3.25	12.62	0.77	0.79	2.05	0.40	0.07	0.06
51	12.17~12.23	415	7.79	262	0.24	0.40	3.59	13.64	0.67	0.69	2.10	0.39	0.03	0.06
52	12.24~12.30	394	11.54	249	0.18	0.29	2.16	9.75	0.57	0.33	1.54	0.32	0.02	0.05
	平均		6.38		0.59	0.35	2.37	5.86	0.33	0.63	0.80	0.50	0.62	0.09

表4-2(2) 週別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2018年第1週~第52週

週	期 間	報告 定点数 (小児科)	不明 発しん症	川崎 病	報告 定点数 (眼科)	急性 出血性 結膜炎	流行 性角 結膜炎	報告 定点数 (基幹)	細菌 性髄 膜炎	無菌 性髄 膜炎	マイ コプラ ズマ 肺炎	(オウ ム病 を除く) クラ ミジ ア肺 炎	(ロタ ウイ ルス による) 感染 性胃 腸炎	報告 定点数 (基幹)	イン フル エン ザ入 院
1	1. 1~ 1. 7	253	0.01		38		0.42	25	0.04		0.04	0.04	0.04	25	3.68
2	1. 8~ 1.14	261	0.02	0.01	38		0.68	25				0.08	0.12	25	4.16
3	1.15~ 1.21	262	0.03	0.01	38		0.37	25		0.08	0.08		0.04	25	5.60
4	1.22~ 1.28	263	0.02	0.01	38		0.24	25			0.12	0.04		25	4.40
5	1.29~ 2. 4	263	0.05	0.00	38		0.24	25	0.04	0.04		0.04	0.12	25	4.92
6	2. 5~ 2.11	262	0.04	0.01	38		0.32	25	0.04	0.04			0.16	25	4.88
7	2.12~ 2.18	263	0.03	0.03	38		0.32	25	0.04		0.04	0.08		25	3.92
8	2.19~ 2.25	261	0.04	0.03	38		0.32	25	0.04	0.04	0.12		0.04	25	2.76
9	2.26~ 3. 4	261	0.03	0.02	37	0.03	0.27	25					0.20	25	1.96
10	3. 5~ 3.11	261	0.03	0.02	38	0.03	0.16	25			0.12	0.20	0.24	25	1.44
11	3.12~ 3.18	261	0.05	0.02	38		0.21	25		0.04	0.12	0.04	0.40	25	1.08
12	3.19~ 3.25	262	0.03	0.02	38	0.03	0.16	25		0.04	0.04	0.04	0.48	25	0.32
13	3.26~ 4. 1	261	0.03	0.01	38		0.21	25	0.08		0.12	0.04	0.28	25	0.44
14	4. 2~ 4. 8	259	0.02	0.02	38		0.53	25		0.08	0.20	0.08	0.12	25	0.24
15	4. 9~ 4.15	262	0.05	0.05	38		0.55	25					0.28	25	0.28
16	4.16~ 4.22	264	0.05	0.02	38		0.53	25	0.08		0.04		0.32	25	0.28
17	4.23~ 4.29	260	0.05	0.02	38		0.58	25	0.04		0.04	0.04	0.24	25	0.20
18	4.30~ 5. 6	253	0.02	0.01	37		0.30	25					0.24	25	0.12
19	5. 7~ 5.13	264	0.09	0.01	38	0.03	0.95	25		0.04	0.08	0.08	0.32	25	0.08
20	5.14~ 5.20	263	0.06	0.01	38	0.03	0.92	25			0.12	0.04	0.08	25	0.08
21	5.21~ 5.27	261	0.04	0.02	38		0.61	25	0.04	0.08	0.04		0.12	25	
22	5.28~ 6. 3	262	0.08	0.01	38		0.61	25	0.04		0.12	0.04	0.16	25	0.04
23	6. 4~ 6.10	263	0.06	0.02	38	0.05	0.50	25			0.08			25	
24	6.11~ 6.17	262	0.08	0.02	38		0.66	25	0.04	0.08	0.04	0.04	0.08	25	0.08
25	6.18~ 6.24	262	0.06	0.02	38		0.63	25	0.08		0.08	0.04	0.04	25	0.04
26	6.25~ 7. 1	262	0.10	0.02	37		0.46	25			0.04	0.08		25	
27	7. 2~ 7. 8	263	0.13	0.02	38		0.74	25			0.32	0.04	0.04	25	
28	7. 9~ 7.15	260	0.12	0.01	38	0.03	0.53	25	0.04		0.16			25	
29	7.16~ 7.22	259	0.10	0.00	38	0.03	0.68	25	0.04	0.12			0.04	25	
30	7.23~ 7.29	257	0.14	0.01	38		0.89	25	0.04	0.04	0.08			25	0.08
31	7.30~ 8. 5	258	0.16	0.02	38		0.92	25	0.08		0.12	0.04		25	
32	8. 6~ 8.12	239	0.10	0.01	36		1.06	25			0.08	0.04		25	
33	8.13~ 8.19	230	0.07	0.01	33		0.45	25	0.08	0.12	0.20	0.04		25	
34	8.20~ 8.26	248	0.16	0.03	36	0.03	1.39	25			0.20			25	0.04
35	8.27~ 9. 2	254	0.17	0.03	38		0.95	25	0.04		0.24	0.04		25	
36	9. 3~ 9. 9	261	0.20	0.02	37		0.81	25			0.24			25	
37	9.10~ 9.16	259	0.15	0.02	38		0.79	25		0.04	0.04			25	
38	9.17~ 9.23	260	0.10	0.01	38		0.24	25		0.12	0.24			25	0.04
39	9.24~ 9.30	259	0.11	0.02	38		0.37	25	0.04		0.24	0.12		25	
40	10. 1~10. 7	260	0.13	0.01	38		0.66	25			0.16			25	0.04
41	10. 8~10.14	263	0.17	0.01	38	0.03	0.55	25		0.08	0.28			25	
42	10.15~10.21	260	0.17	0.01	38		0.53	25	0.04		0.20	0.04		25	
43	10.22~10.28	262	0.15	0.02	38	0.05	0.61	25		0.04	0.64			25	0.04
44	10.29~11. 4	261	0.13	0.01	38	0.03	0.58	25	0.12	0.04	0.48			25	
45	11. 5~11.11	263	0.11	0.01	38		0.55	25	0.04	0.12	0.48			25	0.04
46	11.12~11.18	262	0.06	0.02	37		0.32	25			0.52	0.04	0.04	25	0.04
47	11.19~11.25	262	0.08	0.02	38		0.39	25			0.40		0.04	25	
48	11.26~12. 2	263	0.08	0.01	38		0.58	25	0.04		0.68	0.12		25	0.60
49	12. 3~12. 9	262	0.06	0.03	38		0.34	25	0.04		0.32			25	0.12
50	12.10~12.16	263	0.05	0.02	37		0.54	25			0.28		0.04	25	0.20
51	12.17~12.23	262	0.03	0.03	38		0.55	25	0.04		0.68	0.04	0.08	25	0.80
52	12.24~12.30	249	0.05	0.00	33		0.48	25		0.04	0.24			25	1.48
平 均			0.08	0.02		0.01	0.54		0.02	0.03	0.18	0.03	0.08		0.86

表5-1(1) 保健所別患者報告数(インフルエンザ・小児科) 2018年第1週~第52週

	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)										
			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	
千代田	4	1,020	3	31	10	120	215	20	43	30	37	37	6
中央区	5	1,468	3	51	80	414	1,784	87	309	151	120	95	26
みなと	9	2,559	6	304	97	714	1,379	98	205	153	138	170	40
新宿区	12	3,089	8	584	161	994	1,977	77	176	53	143	131	7
文京	7	2,155	4	46	63	329	1,087	66	153	155	120	85	17
台東	7	1,628	4	181	178	698	2,245	64	531	261	215	187	30
墨田区	8	2,170	5	192	66	264	899	54	304	223	146	135	10
江東区	14	4,065	9	356	201	1,084	4,717	131	333	445	264	212	44
品川区	12	2,040	8	201	133	516	2,133	105	179	285	173	182	19
目黒区	8	1,975	5	249	37	665	1,727	81	204	184	107	202	22
大田区	21	6,561	13	555	428	1,711	5,313	232	260	377	339	482	44
世田谷	25	7,853	16	569	260	1,938	4,593	376	424	759	308	536	55
渋谷区	7	1,363	4	29	21	143	997	61	108	138	61	81	1
中野区	11	3,612	7	176	103	1,121	2,203	124	307	214	260	203	48
杉並	16	4,862	10	183	157	674	2,625	131	224	287	203	164	30
池袋	8	1,744	5	157	50	178	452	45	46	86	23	97	4
北区	11	3,431	7	79	78	468	1,566	88	224	331	229	168	16
荒川区	7	2,614	4	340	124	748	1,498	62	492	138	202	220	19
板橋区	16	3,598	10	67	66	409	1,683	123	194	294	190	147	31
練馬区	21	6,582	13	271	205	2,592	3,758	243	378	793	341	514	87
足立	20	6,120	13	470	289	951	4,376	216	350	279	315	415	47
葛飾区	13	4,911	8	92	79	774	2,873	117	316	133	195	234	15
江戸川	19	6,428	12	278	321	1,713	4,197	176	350	261	260	591	94
八王子市	18	9,104	11	554	279	2,082	5,463	245	406	951	298	498	107
町田市	13	5,623	8	94	33	1,453	3,582	245	205	417	207	232	69
西多摩	14	4,982	8	49	117	695	1,324	88	107	242	119	104	30
南多摩	14	5,698	9	275	140	842	1,734	179	159	375	251	281	69
多摩立川	21	6,641	14	259	64	1,716	2,759	208	350	529	258	313	56
多摩府中	33	12,038	21	473	346	2,861	5,697	396	532	998	675	747	109
多摩小平	23	10,774	15	663	485	3,228	4,419	352	535	1,191	569	721	88
島しょ	2	554	1	2		25	7	25	48		5	4	6
合計	419	137,262	264	7,830	4,671	32,120	79,282	4,515	8,452	10,733	6,771	8,188	1,246
定点当たり報告数		331.57		30.49	17.96	123.25	304.52	17.35	32.65	41.36	26.05	32.01	4.79
前年定点当たり報告数		314.14		34.47	28.21	117.71	326.63	19.73	129.10	5.04	27.13	26.54	11.16
当年/前年		1.06		0.88	0.64	1.05	0.93	0.88	0.25	8.21	0.96	1.21	0.43

表5-1(2) 保健所別患者報告数(小児科・眼科・基幹) 2018年第1週~第52週

	設置定点数(小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数(眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数(基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(オウム病を除く)クラミジア肺炎	(ロタウイルスによる)感染性胃腸炎	インフルエンザ入院
千代田	3	7	2				2			25		4	57
中央区	3	25	5	1		103							
みなと	6	7	12				1	1		37	7		55
新宿区	8	25	45	2	1	13	2	4	6	28	2	5	45
文京	4		5	1		21	1						40
台東	4	23	5										
墨田区	5	47	1	1		3	1	4		27		5	57
江東区	9	23	5	1		69							
品川区	8	7	3	1		13							
目黒区	5	18	5	1		5							
大田区	13	56	16	2		77	1						
世田谷	16	143	7	2	2	44	2	4	16	3		11	148
渋谷区	4	15		1		78	1			21		14	23
中野区	7	11	4	1		31							
杉並	10	37	14	1		38	2			8		5	137
池袋	5	1	3	1		60	1			12	10	10	
北区	7	8		1	3	19							
荒川区	4	2	2	1		42							
板橋区	10	47	2	2	2	58	1	1		4		6	58
練馬区	13	33	10	2		39							
足立	13	10	3	2		72							
葛飾区	8	47		1		11	1		1	15	2	31	109
江戸川	12	38	8	2	2	59							
八王子市	11	54	8	2	1	70	1						35
町田市	8	57	5	1									
西多摩	8		2	1		2	1		1				19
南多摩	9	2	2	1		2							
多摩立川	14	47	5	2	1	7	1			3			29
多摩府中	21	189	16	3	2	92	3	14	5	39	19	8	192
多摩小平	15	94	19	2		32	2	4	4	8		11	108
島しょ	1						1						1
合計	264	1,073	214	39	14	1,060	25	32	33	230	40	110	1,113
定点当たり報告数		4.14	0.82		0.37	28.22		1.28	1.32	9.20	1.60	4.40	44.52
前年定点当たり報告数		4.25	0.79		0.31	31.48		1.64	1.56	9.48	1.84	9.40	36.08
当年/前年		0.98	1.04		1.19	0.90		0.78	0.85	0.97	0.87	0.47	1.23

表5-2(1) 保健所別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科)

2018年第1週～第52週

	設置定点数(インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数(小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	4	255.00	3	10.33	3.33	40.00	71.67	6.67	14.33	10.00	12.33	12.33	2.00
中央区	5	295.70	3	17.50	27.00	140.00	599.33	29.50	103.17	50.50	41.00	32.00	8.67
みなと	9	284.33	6	50.67	16.17	119.00	229.83	16.33	34.17	25.50	23.00	28.33	6.67
新宿区	12	257.42	8	73.57	20.18	124.64	247.64	9.63	22.05	6.63	17.89	16.52	0.88
文京	7	307.86	4	11.83	15.83	82.50	272.42	16.58	38.75	39.25	30.33	21.50	4.25
台東	7	237.81	4	45.25	44.50	174.50	561.25	16.00	132.75	65.25	53.75	46.75	7.50
墨田区	8	271.25	5	38.40	13.20	52.80	179.80	10.80	60.80	44.60	29.20	27.00	2.00
江東区	14	291.92	9	39.69	22.44	120.89	526.43	14.64	37.10	49.71	29.46	23.64	4.89
品川区	12	170.68	8	25.39	16.78	64.89	268.83	13.26	22.78	35.97	21.76	23.71	2.43
目黒区	8	251.00	5	49.80	7.40	133.00	345.40	16.20	40.80	36.80	21.40	40.40	4.40
大田区	21	312.44	13	44.33	33.28	132.67	411.91	18.02	20.30	29.40	26.48	39.02	3.39
世田谷	25	319.30	16	36.71	16.76	123.10	293.49	24.11	27.07	48.76	19.47	34.40	3.52
渋谷区	7	194.71	4	7.25	5.25	35.75	249.25	15.25	27.00	34.50	15.25	20.25	0.25
中野区	11	361.20	7	29.47	17.17	187.27	367.67	20.67	51.27	35.77	43.43	34.40	8.00
杉並	16	290.79	10	17.48	14.73	62.36	243.18	12.11	21.01	26.64	18.93	15.93	2.77
池袋	8	250.44	5	41.70	12.10	43.80	111.37	11.45	11.90	21.83	5.65	22.00	0.95
北区	11	322.21	7	11.48	11.30	67.83	227.29	12.77	32.57	47.97	33.08	24.69	2.29
荒川区	7	376.38	4	88.67	31.42	189.33	381.50	15.75	126.83	35.75	51.50	56.50	4.75
板橋区	16	236.63	10	6.85	6.79	41.87	170.84	12.45	19.85	29.80	19.26	15.49	3.12
練馬区	21	313.44	13	22.14	16.12	201.97	292.79	18.95	30.22	64.43	26.85	43.56	6.80
足立	20	308.03	13	36.78	22.45	74.01	341.02	16.78	27.19	21.76	24.45	32.75	3.66
葛飾区	13	377.77	8	11.50	9.88	96.75	359.13	14.63	39.50	16.63	24.38	29.25	1.88
江戸川	19	341.30	12	24.28	27.31	145.57	356.04	14.88	30.28	22.04	22.23	52.10	8.08
八王子市	18	505.86	11	50.36	25.36	189.27	496.64	22.27	36.91	86.45	27.09	45.27	9.73
町田市	13	467.03	8	11.75	4.13	181.63	447.75	30.63	25.63	52.13	25.88	29.00	8.63
西多摩	14	355.87	8	6.18	14.80	87.81	168.20	11.26	13.75	31.05	15.21	14.18	3.79
南多摩	14	407.00	9	30.56	15.56	93.56	192.67	19.89	17.67	41.67	27.89	31.22	7.67
多摩立川	21	317.17	14	18.51	4.57	122.64	197.27	14.86	25.00	37.79	18.43	22.36	4.00
多摩府中	33	367.31	21	23.81	16.90	140.38	279.38	19.60	26.62	49.11	33.23	37.59	5.42
多摩小平	23	474.05	15	45.68	33.12	219.25	301.54	23.97	36.18	81.25	38.79	50.05	5.95
島しょ	2	277.00	1	2.00		25.00	7.00	25.00	48.00		5.00	4.00	6.00
定点当たり報告数		331.57		30.49	17.96	123.25	304.52	17.35	32.65	41.36	26.05	32.01	4.79
前年定点当たり報告数		314.14		34.47	28.21	117.71	326.63	19.73	129.10	5.04	27.13	26.54	11.16
当年/前年		1.06		0.88	0.64	1.05	0.93	0.88	0.25	8.21	0.96	1.21	0.43

表5-2(2) 保健所別定点当たり患者報告数(小児科・眼科・基幹)

2018年第1週～第52週

	小児科			眼科			基幹						
	設置定点数	不明発しん症	川崎病	設置定点数	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
千代田	3	2.33	0.67				2			12.50		2.00	28.50
中央区	3	8.33	1.67	1		103.00							
みなと	6	1.17	2.00				1	1.00	37.00	7.00			55.00
新宿区	8	3.13	5.66	2	1.00	10.50	2	2.00	3.00	14.00	1.00	2.50	22.50
文京	4		1.25	1		21.00	1						40.00
台東	4	5.75	1.25										
墨田区	5	9.40	0.20	1		3.00	1	4.00	27.00			5.00	57.00
江東区	9	2.56	0.56	1		69.00							
品川区	8	0.88	0.38	1		13.00							
目黒区	5	3.60	1.00	1		5.00							
大田区	13	4.37	1.25	2		39.00	1						
世田谷	16	9.20	0.44	2	1.00	24.00	2	2.00	8.00	1.50		5.50	74.00
渋谷区	4	3.75		1		78.00	1		21.00			14.00	23.00
中野区	7	1.83	0.67	1		31.00							
杉並	10	3.50	1.36	1		38.00	2		4.00			2.50	68.50
池袋	5	0.25	0.70	1		60.00	1		12.00	10.00	10.00		
北区	7	1.14		1	3.00	19.00							
荒川区	4	0.50	0.50	1		42.00							
板橋区	10	4.71	0.20	2	1.00	29.00	1	1.00	4.00			6.00	58.00
練馬区	13	2.67	0.78	2		20.00							
足立	13	0.78	0.24	2		36.50							
葛飾区	8	5.88		1		11.00	1		1.00	15.00	2.00	31.00	109.00
江戸川	12	3.44	0.68	2	1.00	29.50							
八王子市	11	4.91	0.73	2	0.50	35.00	1						35.00
町田市	8	7.13	0.63	1									
西多摩	8		0.25	1		2.00	1		1.00				19.00
南多摩	9	0.22	0.22	1		2.00							
多摩立川	14	3.36	0.36	2	0.50	3.50	1		3.00				29.00
多摩府中	21	9.32	0.80	3	0.67	32.00	3	4.67	1.67	13.00	6.33	2.67	64.00
多摩小平	15	6.38	1.28	2		16.50	2	2.00	2.00	4.00		5.50	54.00
島しょ	1						1						1.00
定点当たり報告数		4.14	0.82		0.37	28.22		1.28	1.32	9.20	1.60	4.40	44.52
前年定点当たり報告数		4.25	0.79		0.31	31.48		1.64	1.56	9.48	1.84	9.40	36.08
当年/前年		0.98	1.04		1.19	0.90		0.78	0.85	0.97	0.87	0.47	1.23

表6 年齢階級別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹) 2018年第1週～第52週

	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
6か月未満	234	903	32	16	704	33	45	5	74	40	
12か月未満	1,133	1,849	372	155	4,918	148	686	92	1,870	775	8
1歳	3,906	3,175	1,299	1,118	10,969	225	2,460	447	3,439	2,565	46
2歳	4,743	1,148	707	1,831	8,126	181	1,786	793	868	1,806	68
3歳	5,873	438	678	3,019	7,508	320	1,194	1,381	281	1,057	129
4歳	7,601	195	554	4,308	7,301	426	783	1,719	128	768	181
5歳	8,429	59	364	4,406	6,377	501	538	1,962	53	480	198
6歳	8,770	20	193	4,157	5,243	568	333	1,438	23	275	176
7歳	8,823	10	113	3,431	4,096	646	183	1,017	19	112	112
8歳	7,568	8	82	2,610	3,484	492	113	778	4	79	110
9歳	6,682	7	56	1,851	2,805	327	90	447	6	73	73
10～14歳	21,731	8	79	3,175	7,208	544	134	485	4	78	119
15～19歳	7,371		16	268	1,699	33	13	8		17	13
20～29歳	7,017	10	126	1,775	8,844	71	94	161	2	63	13
30～39歳	8,755										
40～49歳	12,423										
50～59歳	7,628										
60～69歳	4,528										
70～79歳	2,596										
80歳以上	1,451										
合計	137,262	7,830	4,671	32,120	79,282	4,515	8,452	10,733	6,771	8,188	1,246

注：小児科定点把握対象疾病の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

	不明発しん症	川崎病	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
6か月未満	22	5		4	9	13	1		4	12
12か月未満	141	24		12			2		12	19
1歳	319	63		42	1	2	12		13	46
2歳	156	45		35		2	10		11	28
3歳	106	34		27			20		6	21
4歳	70	20		27	1		11		11	19
5歳	67	18	1	37		1	9		15	16
6歳	46	1		18			17		14	26
7歳	30	3		12			13		8	16
8歳	32			7	2		15		4	17
9歳	14	1		8		2	26		2	15
10～14歳	34			37		2	37	1	8	48
15～19歳	5			26		1	7			15
20～29歳	31		4	141		2	9	3		12
30～39歳				233	3	2	10	4	1	24
40～49歳			5	200		2	13	5		33
50～59歳			3	98	3		7	3		35
60～69歳			1	56	1	2	3	5		69
70～79歳				40	6	2	4	11	1	206
80歳以上					6		4	8		436
合計	1,073	214	14	1,060	32	33	230	40	110	1,113

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読みかえる。

注：眼科定点把握対象疾患の「70～79歳」は「70歳以上」と読みかえる。

表7-1 二次医療圏別患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2018年第1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	8,830	20	613	428	2,275	6,710	335	1,241	750	630	574	119
2 区南部圏	33	8,601	21	756	561	2,227	7,446	337	439	662	512	664	63
3 区西南部圏	40	11,191	25	847	318	2,746	7,317	518	736	1,081	476	819	78
4 区西部圏	39	11,563	25	943	421	2,789	6,805	332	707	554	606	498	85
5 区西北部圏	56	15,355	35	574	399	3,647	7,459	499	842	1,504	783	926	138
6 区東北部圏	40	13,645	25	902	492	2,473	8,747	395	1,158	550	712	869	81
7 区東部圏	41	12,663	26	826	588	3,061	9,813	361	987	929	670	938	148
8 西多摩圏	14	4,982	8	49	117	695	1,324	88	107	242	119	104	30
9 南多摩圏	45	20,425	28	923	452	4,377	10,779	669	770	1,743	756	1,011	245
10 北多摩西部圏	21	6,641	14	259	64	1,716	2,759	208	350	529	258	313	56
11 北多摩南部圏	33	12,038	21	473	346	2,861	5,697	396	532	998	675	747	109
12 北多摩北部圏	23	10,774	15	663	485	3,228	4,419	352	535	1,191	569	721	88
13 島しょ圏	2	554	1	2		25	7	25	48		5	4	6
合計	419	137,262	264	7,830	4,671	32,120	79,282	4,515	8,452	10,733	6,771	8,188	1,246

	設置定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	感染性胃腸炎 (ロタウイルスによる)	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	62	29	2		124	4	1		62	7	4	152
2 区南部圏	21	63	19	3		90	1						
3 区西南部圏	25	176	12	4	2	127	3	4	16	24		25	171
4 区西部圏	25	73	63	4	1	82	4	4	6	36	2	10	182
5 区西北部圏	35	89	15	6	5	176	2	1		16	10	16	58
6 区東北部圏	25	59	5	4		125	1		1	15	2	31	109
7 区東部圏	26	108	14	4	2	131	1	4		27		5	57
8 西多摩圏	8		2	1		2	1		1				19
9 南多摩圏	28	113	15	4	1	72	1						35
10 北多摩西部圏	14	47	5	2	1	7	1			3			29
11 北多摩南部圏	21	189	16	3	2	92	3	14	5	39	19	8	192
12 北多摩北部圏	15	94	19	2		32	2	4	4	8		11	108
13 島しょ圏	1						1						1
合計	264	1,073	214	39	14	1,060	25	32	33	230	40	110	1,113

表7-2 二次医療圏別定点当たり患者報告数(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹)

2018年第1週～第52週

	設置定点数 (インフルエンザ)	インフルエンザ	設置定点数 (小児科)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
1 区中央部圏	32	277.31	20	30.87	21.45	113.96	336.21	16.84	62.18	37.61	31.57	28.83	5.96
2 区南部圏	33	261.08	21	37.03	26.97	106.88	357.25	16.21	21.32	31.84	24.69	33.17	3.01
3 区西南部圏	40	283.50	25	34.59	12.93	110.86	296.75	20.98	29.77	43.92	19.19	33.42	3.17
4 区西部圏	39	298.87	25	38.64	17.05	112.77	274.61	13.43	28.70	22.45	24.54	20.67	3.44
5 区西北部圏	56	285.17	35	17.54	11.93	108.26	221.56	14.81	25.54	45.32	23.36	28.67	4.09
6 区東北部圏	40	342.66	25	36.69	19.81	99.61	353.39	15.91	46.93	22.22	28.74	35.33	3.26
7 区東部圏	41	310.65	26	32.49	22.87	118.94	381.02	14.00	38.66	36.18	26.05	37.05	5.77
8 西多摩圏	14	355.87	8	6.18	14.80	87.81	168.20	11.26	13.75	31.05	15.21	14.18	3.79
9 南多摩圏	45	463.70	28	32.96	16.14	156.32	384.96	23.89	27.50	62.25	27.00	36.11	8.75
10 北多摩西部圏	21	317.17	14	18.51	4.57	122.64	197.27	14.86	25.00	37.79	18.43	22.36	4.00
11 北多摩南部圏	33	367.31	21	23.81	16.90	140.38	279.38	19.60	26.62	49.11	33.23	37.59	5.42
12 北多摩北部圏	23	474.05	15	45.68	33.12	219.25	301.54	23.97	36.18	81.25	38.79	50.05	5.95
13 島しょ圏	2	277.00	1	2.00		25.00	7.00	25.00	48.00		5.00	4.00	6.00

	設置定点数 (小児科)	不明発しん症	川崎病	設置定点数 (眼科)	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	設置定点数 (基幹)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	ク(オウム病を除く) ラミジア肺炎	感(ロタウイルスによる) 染性胃腸炎	インフルエンザ入院
1 区中央部圏	20	3.10	1.46	2		62.00	4	0.25		15.50	1.75	1.00	38.00
2 区南部圏	21	3.02	0.92	3		30.17	1						
3 区西南部圏	25	7.16	0.48	4	0.50	32.50	3	1.33	5.33	8.00		8.33	57.00
4 区西部圏	25	2.98	2.57	4	0.33	27.08	4	1.00	1.50	9.00	0.50	2.50	45.50
5 区西北部圏	35	2.65	0.44	6	0.87	29.65	2	0.50		8.00	5.00	8.00	29.00
6 区東北部圏	25	2.41	0.20	4		31.42	1		1.00	15.00	2.00	31.00	109.00
7 区東部圏	26	4.25	0.55	4	0.50	33.00	1	4.00		27.00		5.00	57.00
8 西多摩圏	8		0.25	1		2.00	1		1.00				19.00
9 南多摩圏	28	4.04	0.54	4	0.25	18.00	1						35.00
10 北多摩西部圏	14	3.36	0.36	2	0.50	3.50	1			3.00			29.00
11 北多摩南部圏	21	9.32	0.80	3	0.67	32.00	3	4.67	1.67	13.00	6.33	2.67	64.00
12 北多摩北部圏	15	6.38	1.28	2		16.50	2	2.00	2.00	4.00		5.50	54.00
13 島しょ圏	1						1						1.00

表8-1 月別患者報告数(基幹)

2018年1月~12月

	報告定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	84	10	3
2月	25	61	3	1
3月	25	64	8	
4月	25	43	12	1
5月	25	62	12	1
6月	25	73	16	
7月	25	67	9	
8月	25	68	6	
9月	25	51	5	
10月	25	67	2	
11月	25	92	12	2
12月	25	72	7	1
合計		804	102	9

表8-2 月別定点当たり患者報告数(基幹)

2018年1月~12月

	報告定点数	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	薬剤耐性緑膿菌感染症
1月	25	3.36	0.40	0.12
2月	25	2.44	0.12	0.04
3月	25	2.56	0.32	
4月	25	1.72	0.48	0.04
5月	25	2.48	0.48	0.04
6月	25	2.92	0.64	
7月	25	2.68	0.36	
8月	25	2.72	0.24	
9月	25	2.04	0.20	
10月	25	2.68	0.08	
11月	25	3.68	0.48	0.08
12月	25	2.88	0.28	0.04
平均		2.68	0.34	0.03
合計		32.16	4.08	0.36
前年合計		35.24	4.20	0.12
当年/前年		0.91	0.97	3.00

表8-3 月別・性別患者報告数(基幹) 2018年1月~12月

	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
1月	53	31	5	5	3	
2月	40	21	1	2	1	
3月	39	25	6	2		
4月	28	15	8	4	1	
5月	35	27	6	6	1	
6月	38	35	12	4		
7月	37	30	3	6		
8月	48	20	3	3		
9月	29	22	3	2		
10月	47	20	2			
11月	54	38	7	5	1	1
12月	40	32	2	5	1	
合計	488	316	58	44	8	1

表8-4 性別・年齢階級別患者報告数(基幹) 2018年1月~12月

	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	男	女	男	女	男	女
0歳	75	58	1	3	1	
1~4歳	26	19	15	14		
5~9歳	18	9	5	2		
10~14歳	11	13	3	4		
15~19歳	7	2	1	1		
20~24歳	5	4	1	1		
25~29歳	6	7				
30~34歳	7	6	1		1	
35~39歳	5	6	1	1		
40~44歳	17	8	1			
45~49歳	22	8			2	
50~54歳	16	6				
55~59歳	21	5		1		
60~64歳	33	5	4	2		
65~69歳	35	13	6	3	1	
70歳以上	184	147	19	12	3	1
合計	488	316	58	44	8	1
定点当たり報告数	19.52	12.64	2.32	1.76	0.32	0.04
前年定点当たり報告数	22.92	12.32	2.76	1.44	0.08	0.04
当年/前年	0.85	1.03	0.84	1.22	4.00	1.00

表9-1 月別患者報告数(性感染症) 表9-2 月別定点あたり患者報告数(性感染症)

2018年1月~12月

2018年1月~12月

	報告 定点 数	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭 コンジロー マ	淋菌 感染症	臍 トリコモ ナス症
1月	55	204	92	46	87	16
2月	55	174	67	64	86	7
3月	55	196	120	95	93	13
4月	55	199	102	109	101	10
5月	55	210	103	87	96	18
6月	55	220	79	86	78	9
7月	55	199	84	87	100	10
8月	55	227	70	93	89	6
9月	55	205	58	74	95	13
10月	55	242	72	99	86	10
11月	55	239	106	113	77	10
12月	54	236	84	98	116	6
合計		2,551	1,037	1,051	1,104	128

	報告 定点 数	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭 コンジロー マ	淋菌 感染症	臍 トリコモ ナス症
1月	55	3.71	1.67	0.84	1.58	0.29
2月	55	3.16	1.22	1.16	1.56	0.13
3月	55	3.56	2.18	1.73	1.69	0.24
4月	55	3.62	1.85	1.98	1.84	0.18
5月	55	3.82	1.87	1.58	1.75	0.33
6月	55	4.00	1.44	1.56	1.42	0.16
7月	55	3.62	1.53	1.58	1.82	0.18
8月	55	4.13	1.27	1.69	1.62	0.11
9月	55	3.73	1.05	1.35	1.73	0.24
10月	55	4.40	1.31	1.80	1.56	0.18
11月	55	4.35	1.93	2.05	1.40	0.18
12月	54	4.37	1.56	1.81	2.15	0.11
平均		3.87	1.57	1.60	1.68	0.19
合計		46.46	18.88	19.14	20.11	2.33
前年合計		41.77	23.29	18.58	20.20	2.00
当年/前年		1.11	0.81	1.03	1.00	1.16

表9-3 月別・性別患者報告数(性感染症) 2018年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膺トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	117	87	63	29	31	15	65	22		16
2月	55	90	84	54	13	48	16	62	24		7
3月	55	103	93	80	40	70	25	67	26		13
4月	55	112	87	70	32	74	35	74	27		10
5月	55	113	97	73	30	64	23	66	30	1	17
6月	55	119	101	51	28	72	14	59	19		9
7月	55	111	88	48	36	53	34	74	26	1	9
8月	55	117	110	42	28	58	35	70	19	1	5
9月	55	119	86	35	23	54	20	75	20	2	11
10月	55	140	102	43	29	71	28	71	15		10
11月	55	148	91	64	42	86	27	56	21	1	9
12月	54	133	103	51	33	59	39	79	37		6
合計		1,422	1,129	674	363	740	311	818	286	6	122

表9-4 月別・性別定点当たり患者報告数(性感染症) 2018年1月~12月

	報告 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膺トリコモナス症	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1月	55	2.13	1.58	1.15	0.53	0.56	0.27	1.18	0.40		0.29
2月	55	1.64	1.53	0.98	0.24	0.87	0.29	1.13	0.44		0.13
3月	55	1.87	1.69	1.45	0.73	1.27	0.45	1.22	0.47		0.24
4月	55	2.04	1.58	1.27	0.58	1.35	0.64	1.35	0.49		0.18
5月	55	2.05	1.76	1.33	0.55	1.16	0.42	1.20	0.55	0.02	0.31
6月	55	2.16	1.84	0.93	0.51	1.31	0.25	1.07	0.35		0.16
7月	55	2.02	1.60	0.87	0.65	0.96	0.62	1.35	0.47	0.02	0.16
8月	55	2.13	2.00	0.76	0.51	1.05	0.64	1.27	0.35	0.02	0.09
9月	55	2.16	1.56	0.64	0.42	0.98	0.36	1.36	0.36	0.04	0.20
10月	55	2.55	1.85	0.78	0.53	1.29	0.51	1.29	0.27		0.18
11月	55	2.69	1.65	1.16	0.76	1.56	0.49	1.02	0.38	0.02	0.16
12月	54	2.46	1.91	0.94	0.61	1.09	0.72	1.46	0.69		0.11

表9-5 保健所別、二次医療圏別患者報告数(性感染症)

2018年1月～12月

	設置 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	164	12	25	4	36	2	87		1		313	18
中央区	3	87	23	44	5	16	3	32	2	2	1	181	34
みなと	2	97	26	180	27	95	8	53	2			425	63
新宿区	7	320	126	201	87	419	181	226	45		9	1,166	448
文京	1	39		8		9		20				76	
台東	2	23	139	7	15	7	29	10	140		38	47	361
墨田区	2	20	20	9	2	10	3	14	2		3	53	30
江東区	2	98	11	30	4	37	2	70	7			235	24
品川区	1	71	4	32	5	8		28				139	9
大田区	2	26	46		1			8	1			34	48
渋谷区	5	113	91	77	71	44	25	58	6		3	292	196
中野区	2	32		1		3		17	5		5	53	10
杉並	2	80	15	4	3	10	2	27	2		1	121	23
池袋	3	158	94	48	47	21	22	112	32	2	15	341	210
北区	1	9				17						26	
荒川区	1	1	20		7			1				2	27
板橋区	2	26	49	2	13	3	4	23	5		3	54	74
足立	2	8	44		10		3	5	9		2	13	68
江戸川	2	43	115	6	5	4	6	22	4		13	75	143
八王子市	4		76		28		8		7	1	11	1	130
町田市	1		52		17		8				10		87
多摩立川	2		156		11		4	1	17		6	1	194
多摩府中	3	7			1	1	1	4				12	2
多摩小平	1		10								2		12
合 計	55	1,422	1,129	674	363	740	311	818	286	6	122	3,660	2,211
定点当たり報告数		25.90	20.56	12.27	6.61	13.47	5.99	14.90	5.21	0.11	2.22	66.65	40.59
前年定点当たり報告数		23.67	18.10	16.59	6.70	12.59	5.99	15.02	5.17	0.04	1.97	67.92	37.93
当年/前年		1.09	1.14	0.74	0.99	1.07	1.00	0.99	1.01	3.00	1.13	0.98	1.07

区中央部圏	10	410	200	264	51	163	42	202	144	3	39	1,042	476
区南部圏	3	97	50	32	6	8		36	1			173	57
区西南部圏	5	113	91	77	71	44	25	58	6		3	292	196
区西部圏	11	432	141	206	90	432	183	270	52		15	1,340	481
区西北部圏	6	193	143	50	60	41	26	135	37	2	18	421	284
区東北部圏	3	9	64		17		3	6	9		2	15	95
区東部圏	6	161	146	45	11	51	11	106	13		16	363	197
南多摩圏	5		128		45		16		7	1	21	1	217
北多摩西部圏	2		156		11		4	1	17		6	1	194
北多摩南部圏	3	7			1	1	1	4				12	2
北多摩北部圏	1		10								2		12

表9-6 保健所別、二次医療圏別定点当たり患者報告数(性感染症)

2018年1月～12月

	設置 定点 数	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		合 計	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
千代田	2	82.00	6.00	12.50	2.00	18.00	1.00	43.50		0.50		156.50	9.00
中央区	3	29.00	7.67	14.67	1.67	5.33	1.00	10.67	0.67	0.67	0.33	60.33	11.33
みなと	2	48.50	13.00	90.00	13.50	47.50	4.00	26.50	1.00			212.50	31.50
新宿区	7	46.40	18.31	29.33	12.67	60.64	26.43	32.93	6.62		1.31	169.31	65.33
文京	1	39.00		8.00		9.00		20.00				76.00	
台東	2	11.50	69.50	3.50	7.50	3.50	14.50	5.00	70.00		19.00	23.50	180.50
墨田区	2	10.00	10.00	4.50	1.00	5.00	1.50	7.00	1.00		1.50	26.50	15.00
江東区	2	49.00	5.50	15.00	2.00	18.50	1.00	35.00	3.50			117.50	12.00
品川区	1	71.00	4.00	32.00	5.00	8.00		28.00				139.00	9.00
大田区	2	13.00	23.00		0.50			4.00	0.50			17.00	24.00
渋谷区	5	22.60	18.20	15.40	14.20	8.80	5.00	11.60	1.20		0.60	58.40	39.20
中野区	2	16.00		0.50		1.50		8.50	2.50		2.50	26.50	5.00
杉並	2	40.00	7.50	2.00	1.50	5.00	1.00	13.50	1.00		0.50	60.50	11.50
池袋	3	52.67	31.33	16.00	15.67	7.00	7.33	37.33	10.67	0.67	5.00	113.67	70.00
北区	1	9.00				17.00						26.00	
荒川区	1	1.00	20.00		7.00			1.00				2.00	27.00
板橋区	2	13.00	24.50	1.00	6.50	1.50	2.00	11.50	2.50		1.50	27.00	37.00
足立	2	4.00	22.00		5.00		1.50	2.50	4.50		1.00	6.50	34.00
江戸川	2	21.50	57.50	3.00	2.50	2.00	3.00	11.00	2.00		6.5	37.50	71.50
八王子市	4		19.00		7.00		2.00		1.75	0.25	2.75	0.25	32.50
町田市	1		52.00		17.00		8.00				10.00		87.00
多摩立川	2		78.00		5.50		2.00	0.50	8.50		3.00	0.50	97.00
多摩府中	3	2.33			0.33	0.33	0.33	1.33				4.00	0.67
多摩小平	1		10.00								2.00		12.00
合 計	55	1,422	1,129	674	363	740	311	818	286	6	122	3,660	2,211
定点当たり報告数		25.90	20.56	12.27	6.61	13.47	5.99	14.90	5.21	0.11	2.22	66.65	40.59

区中央部圏	10	41.00	20.00	26.40	5.10	16.30	4.20	20.20	14.40	0.30	3.90	104.20	47.60
区南部圏	3	32.33	16.67	10.67	2.00	2.67		12.00	0.33			57.67	19.00
区西南部圏	5	22.60	18.20	15.40	14.20	8.80	5.00	11.60	1.20		0.60	58.40	39.20
区西部圏	11	39.63	12.97	18.98	8.28	39.57	16.85	24.84	4.82		1.37	121.82	43.73
区西北部圏	6	32.17	23.83	8.33	10.00	6.83	4.33	22.50	6.17	0.33	3.00	70.17	47.33
区東北部圏	3	3.00	21.33		5.67		1.00	2.00	3.00		0.67	5.00	31.67
区東部圏	6	26.83	24.33	7.50	1.83	8.50	1.83	17.67	2.17		2.67	60.50	32.83
南多摩圏	5		25.60		9.00		3.20		1.40	0.20	4.20	0.20	43.40
北多摩西部圏	2		78.00		5.50		2.00	0.50	8.50		3.00	0.50	97.00
北多摩南部圏	3	2.33			0.33	0.33	0.33	1.33				4.00	0.67
北多摩北部	1		10.00								2.00		12.00

表9-7 年齢階級別患者報告数(性感染症) 2018年1月~12月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖圭 コンジローマ		淋菌感染症		膣トリコモナス症		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0歳												
1~4歳								1				1
5~9歳								1				1
10~14歳												
15~19歳	19	67	6	12	4	11	10	10		4	39	104
20~24歳	208	341	41	77	75	87	144	83		26	468	614
25~29歳	323	288	73	80	139	89	158	57	2	31	695	545
30~34歳	242	201	79	47	129	55	129	32		13	579	348
35~39歳	214	101	114	43	115	33	120	18	2	13	565	208
40~44歳	146	54	110	26	86	14	100	31		11	442	136
45~49歳	119	40	82	29	62	15	80	21	1	10	344	115
50~54歳	66	16	62	14	65	6	33	18	1	5	227	59
55~59歳	47	14	44	14	32	1	15	8		4	138	41
60~64歳	18	5	23	6	14		13	4		2	68	17
65~69歳	13	2	16	8	12		8	2		1	49	13
70歳以上	7		24	7	7		8			2	46	9
合 計	1,422	1,129	674	363	740	311	818	286	6	122	3,660	2,211

表10 検査結果別報告数(基幹) 2018年1月~12月

病原体	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	合計
<i>Staphylococcus aureus</i>	2					2
<i>Staphylococcus sp.</i>	1					1
<i>Streptococcus agalactiae</i>	1					1
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1					1
<i>Streptococcus pyogenes</i>	1					1
<i>Cryptococcus neoformans</i>	1					1
<i>Enterococcus faecalis</i>	1					1
<i>Listeria monocytogenes</i>	2					2
Other diarrheagenic <i>E. coli</i>	3					3
Enterovirus nt.		2				2
Mumps virus		1				1
Varicella-zoster virus		1				1
<i>Mycoplasma pneumoniae</i>			224			224
<i>Chlamydia pneumoniae</i>				40		40
Rotavirus group A nt.					4	4
Rotavirus group unknown					94	94
Negative		8				8
記載無し	19	21	6		12	58
合 計	32	33	230	40	110	445

表11 疑似症サーベイランス報告数 2018年第1週～第52週

週	期 間	定点数	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
1	1. 1～ 1. 7	443		
2	1. 8～ 1.14	443		
3	1.15～ 1.21	443		
4	1.22～ 1.28	443		
5	1.29～ 2. 4	443		1
6	2. 5～ 2.11	443	1	
7	2.12～ 2.18	443		
8	2.19～ 2.25	443		
9	2.26～ 3. 4	443		
10	3. 5～ 3.11	443		
11	3.12～ 3.18	443		
12	3.19～ 3.25	443		
13	3.26～ 4. 1	443		
14	4. 2～ 4. 8	443		
15	4. 9～ 4.15	443		
16	4.16～ 4.22	443		
17	4.23～ 4.29	443		
18	4.30～ 5. 6	443		
19	5. 7～ 5.13	443		
20	5.14～ 5.20	443	1	
21	5.21～ 5.27	443		
22	5.28～ 6. 3	443		
23	6. 4～ 6.10	443		
24	6.11～ 6.17	443		
25	6.18～ 6.24	443		
26	6.25～ 7. 1	443		
27	7. 2～ 7. 8	443		
28	7. 9～ 7.15	443		
29	7.16～ 7.22	443		
30	7.23～ 7.29	443		
31	7.30～ 8. 5	443	1	
32	8. 6～ 8.12	443		
33	8.13～ 8.19	443		1
34	8.20～ 8.26	443		
35	8.27～ 9. 2	443		
36	9. 3～ 9. 9	443		
37	9.10～ 9.16	443		
38	9.17～ 9.23	443		
39	9.24～ 9.30	443		
40	10. 1～10. 7	443		
41	10. 8～10.14	443		
42	10.15～10.21	443		
43	10.22～10.28	443		1
44	10.29～11. 4	443		
45	11. 5～11.11	443		
46	11.12～11.18	443		
47	11.19～11.25	443		
48	11.26～12. 2	443		
49	12. 3～12. 9	443		
50	12.10～12.16	443		
51	12.17～12.23	443		
52	12.24～12.30	443		1
合 計			3	4

保健所	定点数	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
千代田	4		
中央区	5		
みなと	9		
新宿区	13		
文京	8		
台東	7		
墨田区	9		
江東区	14		
品川区	13		
目黒区	8		
大田区	22		
世田谷	28		
渋谷区	9	3	
中野区	11		
杉並	16		
池袋	9		
北区	11		
荒川区	7		
板橋区	18		
練馬区	21		
足立	21		
葛飾区	13		
江戸川	19		
八王子市	19		1
町田市	13		
西多摩	15		1
南多摩	15		
多摩立川	23		
多摩府中	36		
多摩小平	24		2
島しょ	3		
合 計	443	3	4

年齢階級	発熱及び 呼吸器症状	発熱及び 発しん・水疱
0歳	1	
1歳	2	1
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		1
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		1
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		1
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合 計	3	4

第 2 章

東京都感染症発生動向調査事業における病原体情報

東京都健康安全研究センターでは、感染症法により位置づけられた感染症発生動向調査事業を実施している。本事業では、東京都内の病原体定点医療機関で臨床診断された疾患名を基に搬入された検体について、病原体検索・解析（ウイルス検査ならびに細菌検査）を行っている。それらの検査結果を疾病毎に検出病原体、遺伝子（血清）型解析等と共に、1月～12月（インフルエンザおよび感染性胃腸炎については流行シーズン）でまとめた。なお、2016年感染症発生動向調査事業実施要綱の一部改正に伴い設定した検体提出数の基準では、発生動向の疫学解析に足る検体数、病原体検出数が確保できなかったため、2017年に一部緩和し、搬入数および検査項目の設定を変更している。

種別	診断名		検体数
小児科	R S ウイルス感染症	伝染性紅斑	週1～2検体 ^{※1}
	咽頭結膜熱	突発性発しん	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	百日咳	
	感染性胃腸炎	ヘルパンギーナ	
	水痘	流行性耳下腺炎	
	手足口病		
	不明発しん症（都単独）	川崎病（都単独）	月1～2検体
内科	インフルエンザ又はインフルエンザ様疾患 （上気道炎・下気道炎を含む）		流行期 ^{※2} ：週1～2検体 非流行期：月1～2検体
眼科	急性出血性結膜炎		週1～2検体
	流行性角結膜炎		
性感染症	性器クラミジア感染症		週1～2検体
	性器ヘルペスウイルス感染症		
	尖圭コンジローマ（HPV感染症）		
	淋菌感染症		
	臈トリコモナス症（都単独）		
基幹	感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）		週2検体
	細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌が同定された場合は除く）		
	無菌性髄膜炎		
	クラミジア肺炎（オウム病を除く）		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		
	マイコプラズマ肺炎		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		
	インフルエンザ（鳥インフルエンザは除く。入院患者のみ）		

※1 流行状況に応じて、1～2疾患の検体を提出する。

※2 都内定点医療機関当たりの患者報告数が1を超えた時点から1を下回る時点まで、都からの通知による。

(1) 小児科・内科・基幹病原体定点医療機関からの搬入検体

ア インフルエンザ

① 2017/2018年シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

インフルエンザウイルスの流行シーズンは、毎年9月（第36週）を境にシーズン分けされており、2018年の前半は2017/2018年シーズン、2018年の後半は2018/2019年シーズンとなる。2017/2018年シーズン（2017年第36週～2018年第35週）は、インフルエンザ病原体定点医療機関から677検体が搬入された。遺伝子検査ではAH1pdm09 116件（20.7%）、AH3亜型 190件（33.9%）、B型 254件（Victoria系統3件：0.5%、B型 Yamagata系統 251件：44.8%）の計560件が検出され、流行の半数近くをB型 Yamagata系統が占めていたことが明らかとなった（図1a、図2a）。ウイルス分離試験では、AH1pdm09 107株、AH3亜型 139株、B型 224株（Victoria系統3株、Yamagata系統 221株）の計470株が分離された。

② 2018/2019年シーズンのインフルエンザウイルス検出状況

2018/2019年シーズン（2018年第36週～2019年3月末の第13週）は、インフルエンザ病原体定点医療機関から483検体が搬入された。遺伝子検査ではAH1pdm09 142件（35.2%）、AH3亜型 254件（63.0%）、B型 7件（Victoria系統5件：1.2%、Yamagata系統2件：0.5%）の計403件が検出され、流行の半数以上をAH3亜型が占めていたことが明らかとなった（図1b、図2b）。ウイルス分離試験では、AH1pdm09 122株、AH3亜型 212株、B型 5株（Victoria系統4株、Yamagata系統1株）の計339株が分離された。

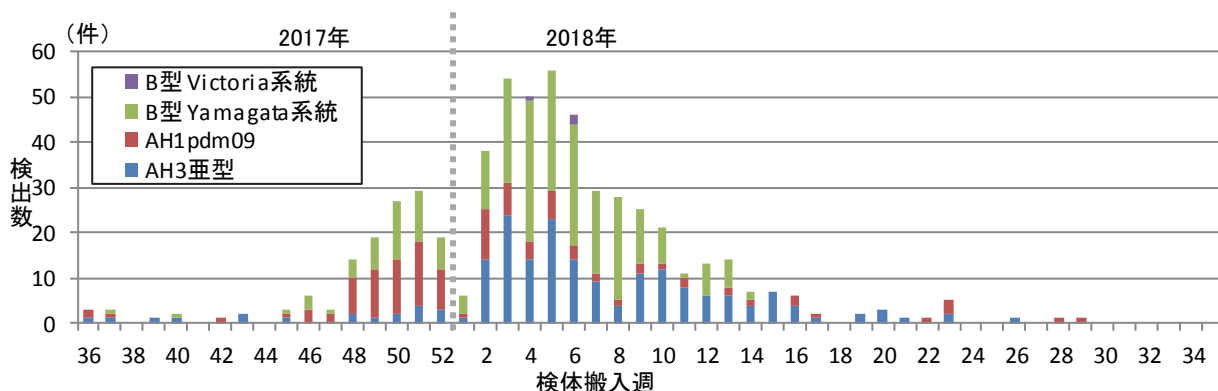


図 1a. 2017/2018年シーズンのインフルエンザウイルス遺伝子検出数

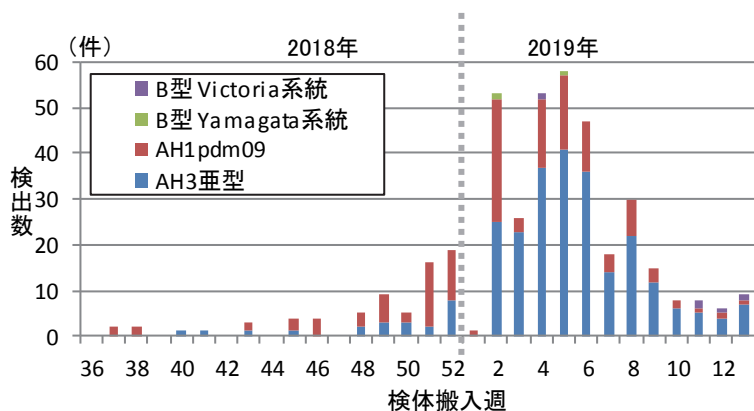


図 1b. 2018/2019年シーズンのインフルエンザウイルス遺伝子検出数（2019年3月末現在）

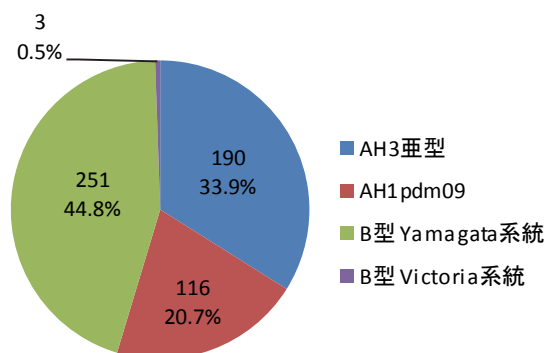


図 2a. 2017/2018 年シーズンのインフルエンザウイルス遺伝子検出状況

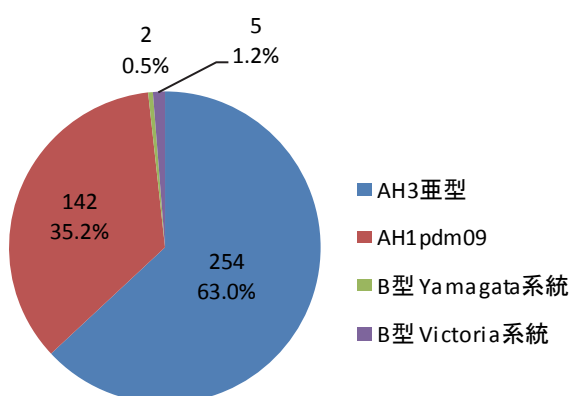


図 2b. 2018/2019 年シーズンのインフルエンザウイルス遺伝子検出状況 (2019 年 3 月末現在)

③ インフルエンザウイルスの抗原解析

遺伝子解析及びワクチン株抗血清を用いた HI 試験により、インフルエンザウイルスの抗原性状を比較した。遺伝子解析は、RT-nested PCR 検査によって得られた HA (ヘマグルチニン) 遺伝子の一部断片を用いてダイレクトシーケンスにより塩基配列を決定し、ワクチン株と分子系統樹上で比較した。分離株の性状解析は、国立感染症研究所配布のインフルエンザサーベイランスキット抗血清を用いた HI 試験 (1.0%モルモット赤血球浮遊液を使用) により行った。

AH1pdm09 について 2017/2018 年シーズンの流行株とワクチン株 (A/Singapore/GP1908/2015) を比較したところ、解析範囲 (569 塩基) の遺伝子変異は 6~13 塩基 (塩基一致率: 97.7%~99.0%) であった。これらの株は系統樹上ではワクチン株と同じクレードに属し、HI 試験による抗原性状を比較したところワクチン株と同等の反応性がみられ、抗原性に大きな変異はないと推察された (図 3)。2018/2019 年シーズンの流行株とワクチン株を比較すると、解析範囲の遺伝子変異は 10~15 塩基 (塩基一致率: 97.4%~98.2%) であった。系統樹上では同じクレードに属し、HI 試験による抗原性状を比較したところ、ワクチン株と同等の反応性がみられた。

AH3 亜型は、2017/2018 年シーズンの流行株とワクチン株 (A/Hong Kong /4801/2014) を比較すると、解析範囲 (329 塩基) で 8~14 塩基の変異 (塩基一致率: 95.7%~97.5%) がみられ、系統樹上ではワクチン株と異なるクレードに属していた。また、分離株は HA 価が 8 倍未満で HI 試験が実施できない

株が約 80% 存在し、さらに HA 価が 8 倍以上で HI 試験が実施できた株では約 60% でワクチン株抗体との反応性の低下が見られた。2018/2019 年シーズンはワクチン株が A/Hong Kong/4801/2014 から A/Singapore/INFIMH-16-0019/2016 に変更された。2018/2019 年シーズンの流行株とワクチン株を比較すると、解析範囲で 3~9 塩基の変異（塩基一致率：97.2%~99.0%）がみられ、系統樹上では流行株の多くはワクチン株と同じクレードに属していたが、ワクチン株とは異なるクレードに属する株もあった（図 4）。分離株は HA 価が 8 倍未満で HI 試験が実施できないものが多くを占めた。HA 価が 8 倍以上で HI 試験が実施できた 1 株では、ワクチン株と同等の反応性が見られた。

B 型 Victoria 系統では、2017/2018 年シーズンの流行株とワクチン株（B/Texas/02/2013）を比較すると解析範囲（288 塩基）での遺伝子変異は 2~5 塩基（塩基一致率：98.2%~98.6%）であった（図 5）。HI 試験では 3 株中 2 株でワクチン株と同等の反応性が見られ、1 株でワクチン株抗体との反応性の低下が見られた。一方、2018/2019 年シーズンはワクチン株が B/Texas/02/2013 から B/Maryland/15/2016 に変更され、2018/2019 年シーズンの流行株とワクチン株では、解析範囲での遺伝子変異は 6~7 塩基（塩基一致率：97.5~97.8%）であった。HI 試験では、4 株中 3 株はワクチン株と同等の反応性が見られたが、1 株はワクチン株抗体との反応性の低下が見られた。

B 型 Yamagata 系統では、2017/2018 年シーズンの流行株とワクチン株（B/Phuket/3073/2013）を比較すると、解析範囲（288 塩基）での遺伝子変異は 6~12 塩基（塩基一致率：96.3%~98.0%）であった。HI 試験では約 75% の株でワクチン株と同等の反応性が見られ、残りの約 25% の株でワクチン株抗体との反応性の低下が見られた。2018/2019 年シーズンの検出株（1 株）とワクチン株を比較すると、解析範囲での遺伝子変異は 11 塩基（塩基一致率：96.1%）であり、HI 試験ではワクチン株と同等の反応性が見られた。

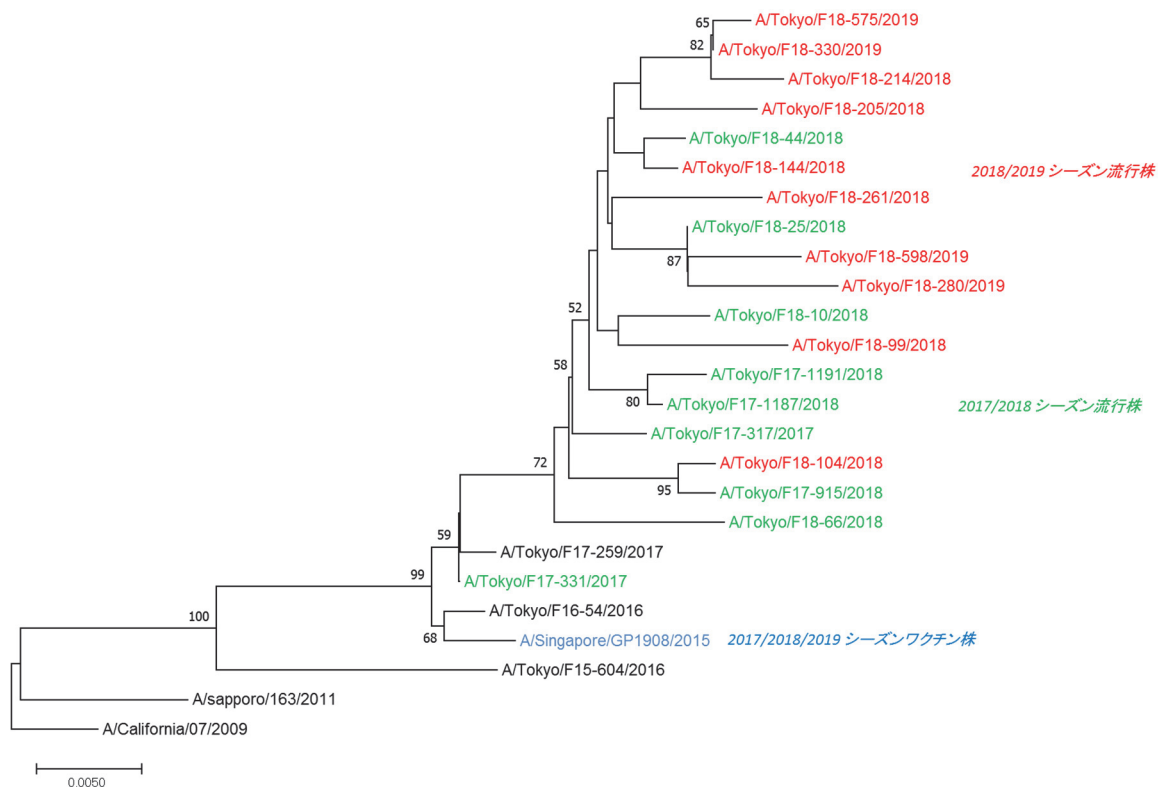


図 3. 東京都における AH1pdm09 インフルエンザウイルスの HA 分子系統樹

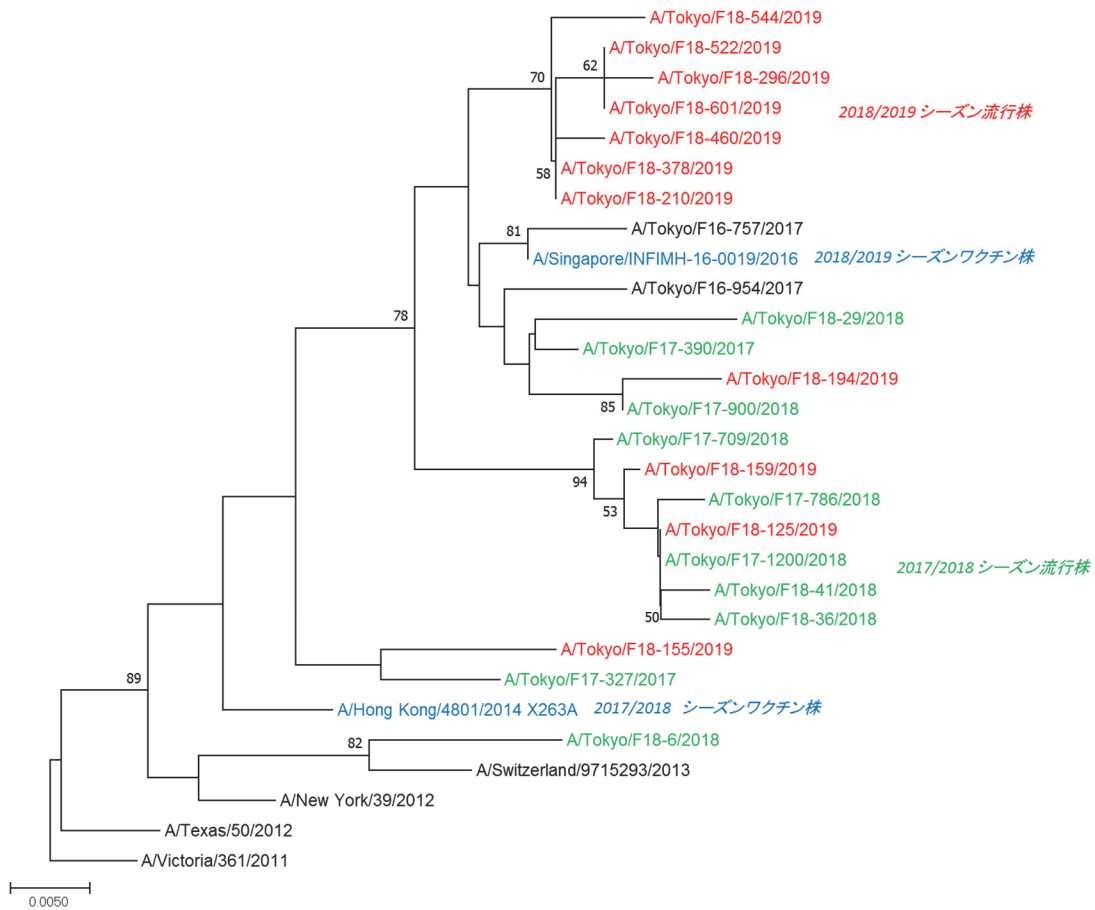


図 4. 東京都における AH3 亜型インフルエンザウイルスの HA 分子系統樹

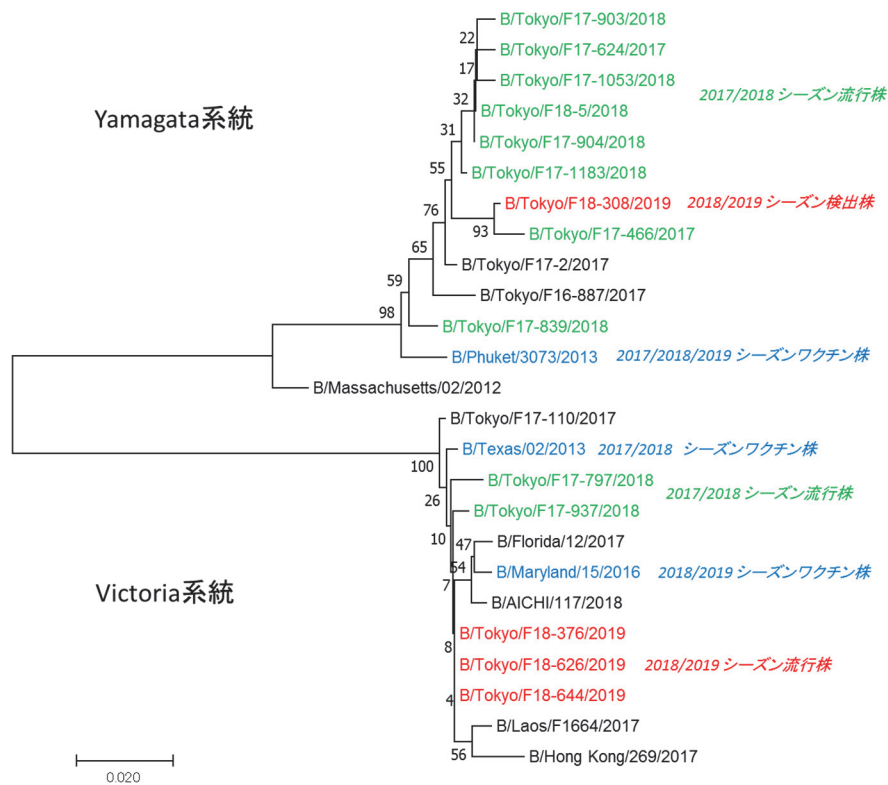


図 5. 東京都における B 型インフルエンザウイルスの HA 分子系統樹

④ その他のウイルスの検出状況

インフルエンザの検査と同時に、エンテロウイルス、アデノウイルス等の遺伝子検査を行った。

2017/2018年シーズンは677検体が搬入され、エンテロウイルス6件、ライノウイルス20件、アデノウイルス18件が検出された(図6a)。また、インフルエンザウイルス(B型 Yamagata 系統)と単純ヘルペスウイルス1型(HSV-1)が同時に検出された検体が1件あった。

2018/2019年シーズンは483検体が搬入され、エンテロウイルス7件、ライノウイルス8件、アデノウイルス10件が検出された(図6b)。また、HSV-1とインフルエンザウイルス(AH3亜型)が同時に検出された検体が1件、ヒトパルボウイルスB19とインフルエンザウイルス(AH3亜型)が同時に検出された検体が1件あった。両シーズンともライノウイルスとアデノウイルスは、インフルエンザの流行期ではインフルエンザウイルスと同時に検出される例が多かった。

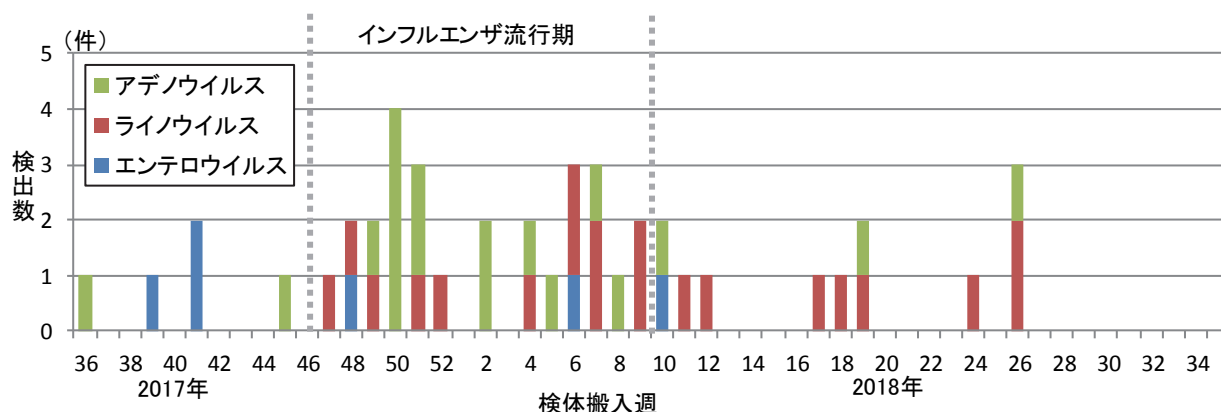


図 6a. 2017/2018 年シーズンのエンテロウイルス、アデノウイルス遺伝子検出数

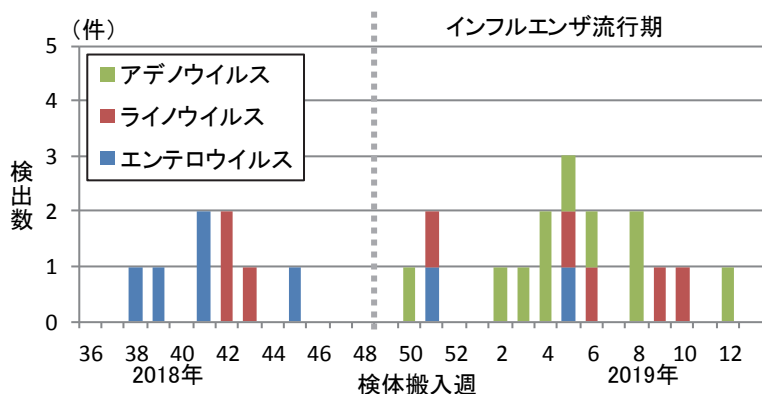


図 6b. 2018/2019 年シーズンのエンテロウイルス、アデノウイルス遺伝子検出数 (2019 年 3 月末現在)

イ RS ウイルス感染症

小児科定点医療機関でRSウイルス感染症と診断され、当センターに搬入された患者検体50件についてRSウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。50件中44件からRSウイルス遺伝子(A型12件、B型32件)が検出された。また、ヒトメタニューモウイルスとコクサッキーウイルスA4型の遺伝子(重複検出を含む)がそれぞれ1件検出された。さらにRSウイルスA型6株、B型7株が分離された(表1)。RSウイルスの検出状況を搬入月別に見ると、9月をピークに6月から

12月までの一峰性に検出された。また、A型は7月をピークとして検出されたが検出のない月も半数あった一方で、B型では1月から12月までほぼ毎月1～2件の検出がみられ、9月をピークとする8月から10月に集中していた（図7）。

表1. RSウイルス感染症患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

検出ウイルス	遺伝子検出件数	分離件数
RSウイルスA型	12	6
RSウイルスB型	32	7
ヒトメタニューモウイルス	1	0
コクサッキーウイルスA4型	1	0
陰性	5	37

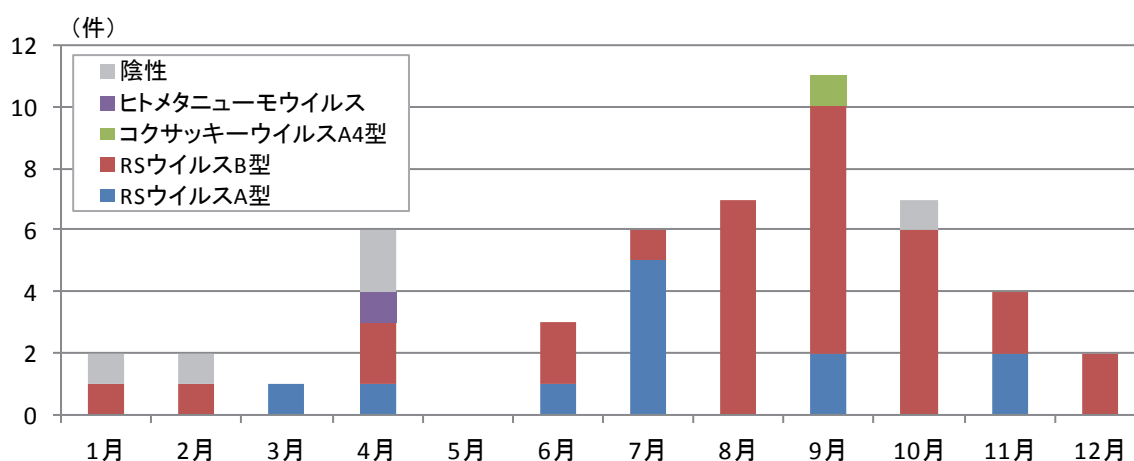


図7. RSウイルス感染症患者検体からのウイルス検出状況

ウ 咽頭結膜熱

小児科定点医療機関で咽頭結膜熱と診断され、当センターに搬入された患者検体51件についてアデノウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。51件中30件からアデノウイルス遺伝子（3型：12件、2型：8件、1型：5件、6型：2件、4型・5型・54型：各1件）が検出された。また、3件からコクサッキーウイルス、1件からエンテロウイルスD68型、3件からライノウイルスが検出された（表2）。

月別の検査件数については7月が12件と最多で、他の月では2件から7件の間で増減を繰り返していた。また、咽頭結膜熱は「プール熱」とも呼ばれ一般に夏に発生が多いと認識されるが、主要な原因ウイルスであるアデノウイルスについては、7月のみならず11月にも検出数の増加が見られた。なお、ライノウイルスは3月から10月にかけて散発的に検出され、夏風邪の原因とされるコクサッキーウイルスは7月に最も多く検出された（図8）。

表 2. 咽頭結膜熱患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

検出ウイルス	遺伝子検出数	分離件数
アデノウイルス1型	5	3
アデノウイルス2型	8	7
アデノウイルス3型	12	4
アデノウイルス4型	1	1
アデノウイルス5型	1	1
アデノウイルス6型	2	2
アデノウイルス54型	1	0
コクサッキーウイルスA2型	1	0
コクサッキーウイルスA4型	1	1
コクサッキーウイルスA9型	1	0
エンテロウイルスD68型	1	0
ヒトヘルペスウイルス6型	4	0
ヒトヘルペスウイルス7型	2	0
ライノウイルス	3	0
陰性	14	32

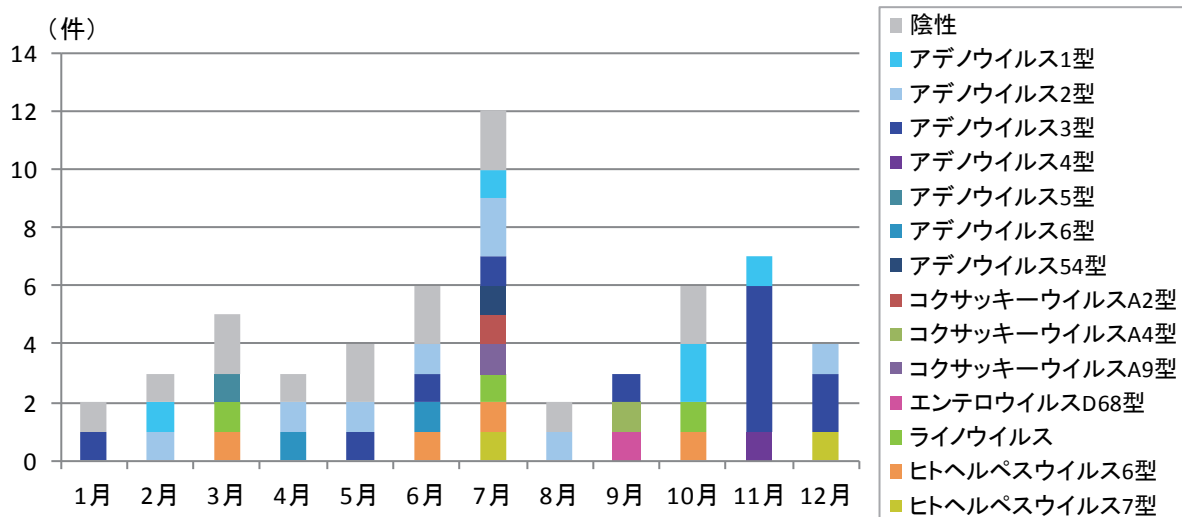


図 8. 咽頭結膜熱患者検体からのウイルス検出状況（重複検出を含む）

エ 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は流行時期に合わせ、毎年第 36 週から翌年の第 35 週までの 1 年間を流行シーズンとしている。2018 年は、第 35 週までの 2017/2018 年シーズン（2018 年 1 月 1 日から 2018 年 9 月 2 日）と第 36 週以降の 2018/2019 年シーズン（2018 年 9 月 3 日から 2018 年 12 月 30 日）に分けられる。

小児科定点医療機関及び基幹定点医療機関において感染性胃腸炎と診断され、当センターに搬入された患者検体について、小児科定点の検体についてはノロウイルス、サポウイルス、A 群ロタウイルス、アデノウイルス及びアストロウイルス、基幹定点の検体では A 群ロタウイルス及び C 群ロタウイルスの遺伝子検査を実施した。2018 年は患者検体 98 件について検査を実施した結果、63 件からノロウイルス等が検出された。内訳は A 群ロタウイルス、ノロウイルスが 20 件と多く、サポウイルスは 10 件、アデノウイルスは 7 件であった。A 群ロタウイルスとサポウイルスの重複検出も 1 件確認され

た。ノロウイルスの遺伝子型については GII.2 と GII.4 が多い傾向がみられた（表 3 及び図 9）。

表 3. 感染性胃腸炎患者の搬入検体数及び検出されたウイルス遺伝子の内訳

	2017/2018 シーズン	2018/2019 シーズン	計	遺伝子検査 陽性検体数
小児科定点	62	28	90	56
基幹定点	8	0	8	7
計	70	28	98	63

検出遺伝子	2017/2018 シーズン	2018/2019 シーズン
ノロウイルス GI.3	0	1
ノロウイルス GII.2	5	2
ノロウイルス GII.3	0	1
ノロウイルス GII.4	4	6
ノロウイルス GII.17	1	0
サポウイルス	6	4
A群ロタウイルス	20	0
アデノウイルス	7	0
アストロウイルス	4	3
計	47	17

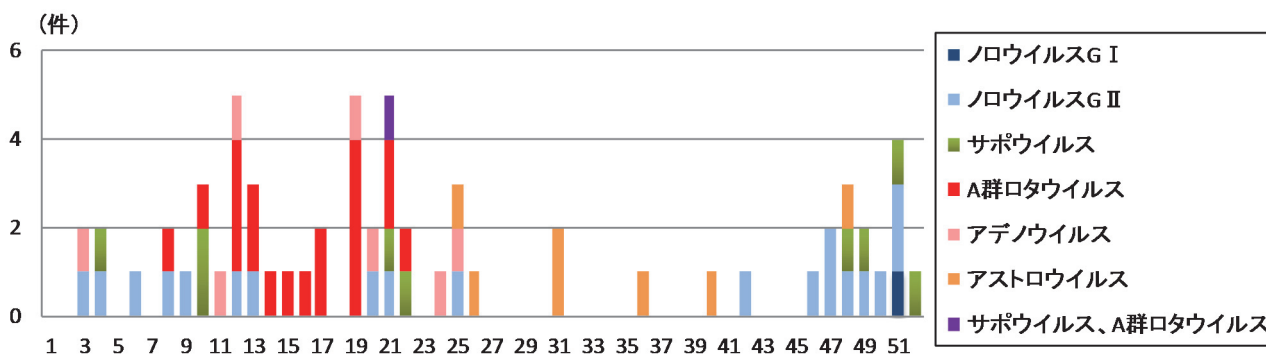


図 9. 感染性胃腸炎患者検体からのウイルス遺伝子検出状況

オ 水痘

小児科定点医療機関で水痘と診断され当センターに搬入された患者検体 30 件について、水痘帯状疱疹ウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。30 検体中 12 件から当該遺伝子が検出され、4 検体からはライノウイルスが、コクサッキーウイルス A6 型とヒトパルボウイルス B19 がそれぞれ 1 件検出された（表 4 及び図 10）。

表 4. 水痘患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

検出ウイルス	遺伝子検出数	分離件数
水痘帯状疱疹ウイルス	12	0
ライノウイルス	4	0
コクサッキーウイルスA6型	1	0
ヒトパルボウイルスB19	1	0
陰性	14	30

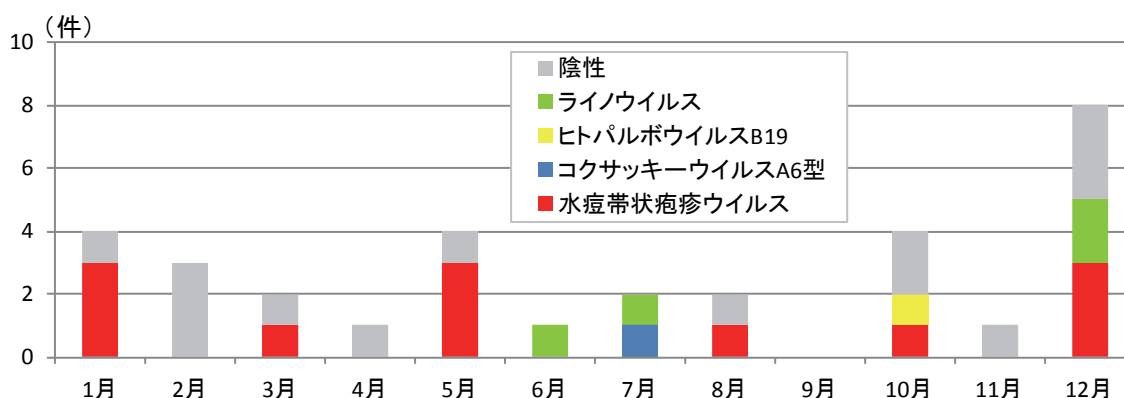


図 10. 水痘患者検体からのウイルス検出状況（重複検出を含む）

カ 手足口病

小児科定点医療機関で手足口病と診断され、当センターに搬入された患者検体 67 件について、エンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。検出されたエンテロウイルスはコクサッキーウイルス A16 型が 23 件と最多で、次いでエンテロウイルス 71 型 12 件、コクサッキーウイルス A6 型 6 件、コクサッキーウイルス A5 型 3 件、コクサッキーウイルス A4 型と A9 型、及びエコーウイルス 3 型、型別不明のエンテロウイルスはそれぞれ 1 件であった。エンテロウイルス以外では、ヒトヘルペスウイルス 6 型 2 件 (3.7%)、ライノウイルス 5 件 (9.3%) であった。分離試験ではコクサッキーウイルス 8 株、エンテロウイルス 71 型が 10 株、ライノウイルス 3 株が分離された (表 5)。搬入月別に検出状況を見ると、10 月をピークとして、5 月から 12 月にかけて検出が増加していた (図 11)。

表 5. 手足口病患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出数	分離件数
コクサッキーウイルスA4型	1	0
コクサッキーウイルスA5型	3	0
コクサッキーウイルスA6型	6	0
コクサッキーウイルスA9型	1	0
コクサッキーウイルスA16型	23	8
エコーウイルス3型	1	0
エンテロウイルス71型	12	10
エンテロウイルス型別不明	1	0
ライノウイルス	5	3
ヒトヘルペスウイルス6型	2	0
陰性	14	46

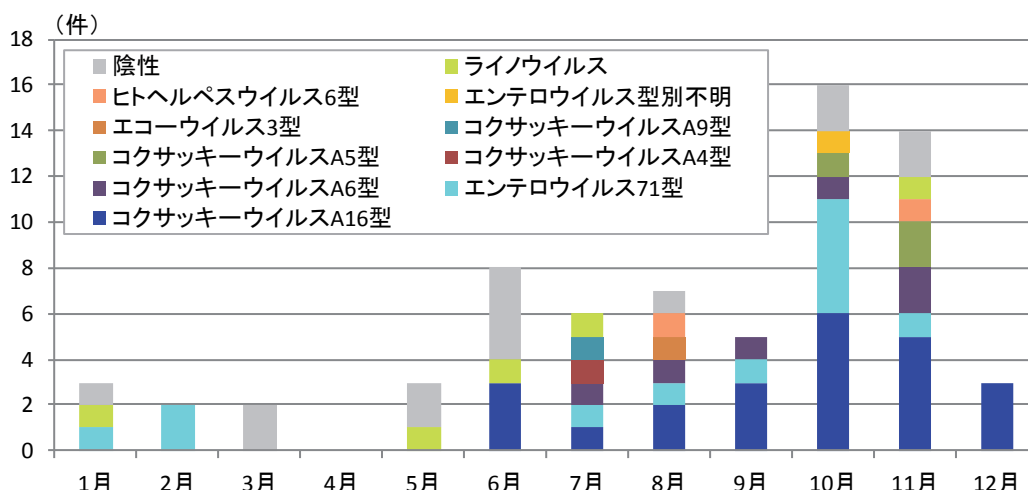


図 11. 手足口病患者検体からのウイルス検出状況 (重複検出を含む)

キ 伝染性紅斑

小児科定点医療機関で伝染性紅斑と診断され、当センターに搬入された患者検体 57 件についてヒトパルボウイルス B19 等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。57 検体中 31 件からヒトパルボウイルス B19 が検出された。その他、コクサッキーウイルス A9 型、ライノウイルスがそれぞれ 3 件検出された (表 6、図 12)。

表 6. 伝染性紅斑患者検体から検出されたウイルスの内訳 (重複検出を含む)

	遺伝子検出数	分離件数
ヒトパルボウイルスB19	31	—
コクサッキーウイルスA9型	3	0
ライノウイルス	3	0
陰性	23	57

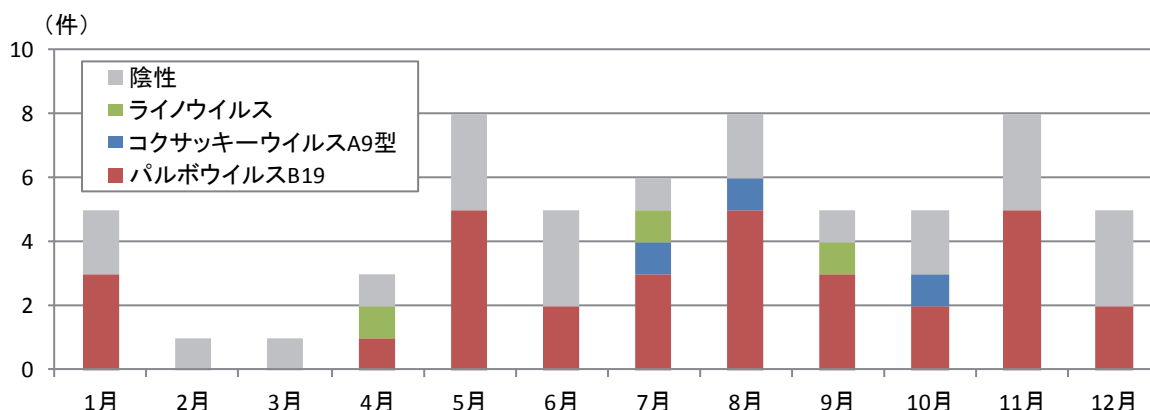


図 12. 伝染性紅斑患者検体からのウイルス検出状況

ク 突発性発しん

小児科定点医療機関で突発性発しんと診断され、当センターに搬入された患者検体 57 件について遺

伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。57 件中 27 件からヒトヘルペスウイルス 6 型、5 件からヒトヘルペスウイルス 7 型、1 件からヒトパレコウイルス 1 型が検出された。また、ライノウイルスとアデノウイルス 2 型がそれぞれ 1 件検出されたが、これらはヒトヘルペスウイルス 6 型、7 型との重複感染であった（表 7）。患者検体の搬入件数については、2 月と 6 月に多かった。しかし、2 月の検出件数は 8 検体中 1 件と低率であったのに対し、6 月の検出数は 12 検体中 11 件と多く、検出率も高かった（図 13）。

表 7. 突発性発しんの患者から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

	遺伝子検出数	分離件数
ヒトヘルペスウイルス6型	27	0
ヒトヘルペスウイルス7型	5	0
アデノウイルス2型	1	1
コクサッキーウイルスA16型	0	1
ヒトパレコウイルス1型	1	0
ライノウイルス	1	0
陰性	24	55

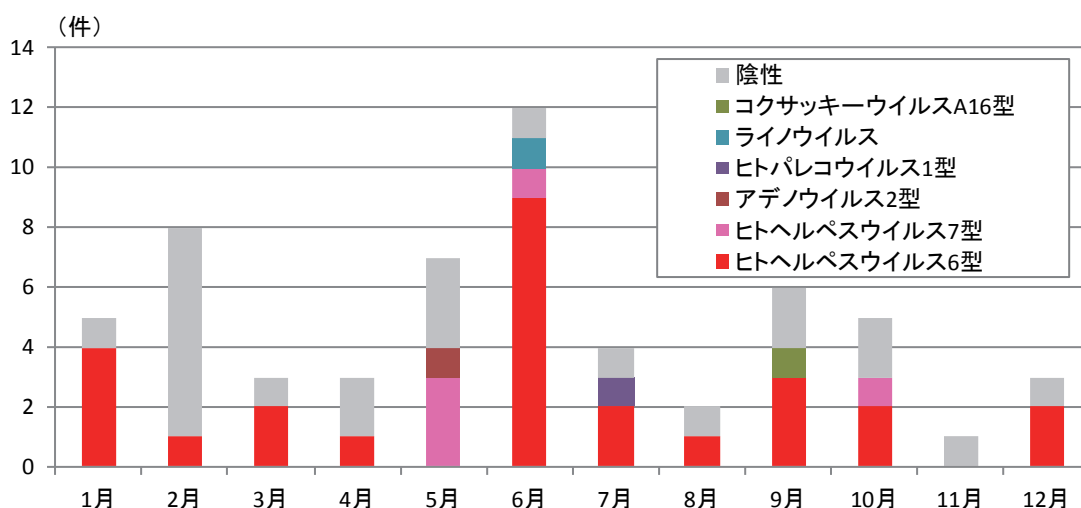


図 13. 突発性発しん患者検体からのウイルス検出状況（重複検出を含む）

ケ ヘルパンギーナ

小児科定点医療機関でヘルパンギーナと診断され、当センターに搬入された患者検体 50 件についてエンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、最も多く検出されたのはコクサッキーウイルス A4 型の 18 件であった（表 8）。搬入月別に検出状況を見ると、7 月をピークとして、5 月以降 12 月までなんらかのウイルスが検出された（図 14）。

表 8. ヘルパンギーナ患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
コクサッキーウイルスA2型	4	2
コクサッキーウイルスA4型	18	4
コクサッキーウイルスA5型	1	0
コクサッキーウイルスA6型	2	0
コクサッキーウイルスA9型	2	0
コクサッキーウイルスA10型	4	0
コクサッキーウイルスA16型	2	0
コクサッキーウイルスB2型	1	0
コクサッキーウイルスB4型	1	0
ライノウイルス	1	0
アデノウイルス1型	0	1
陰性	14	43

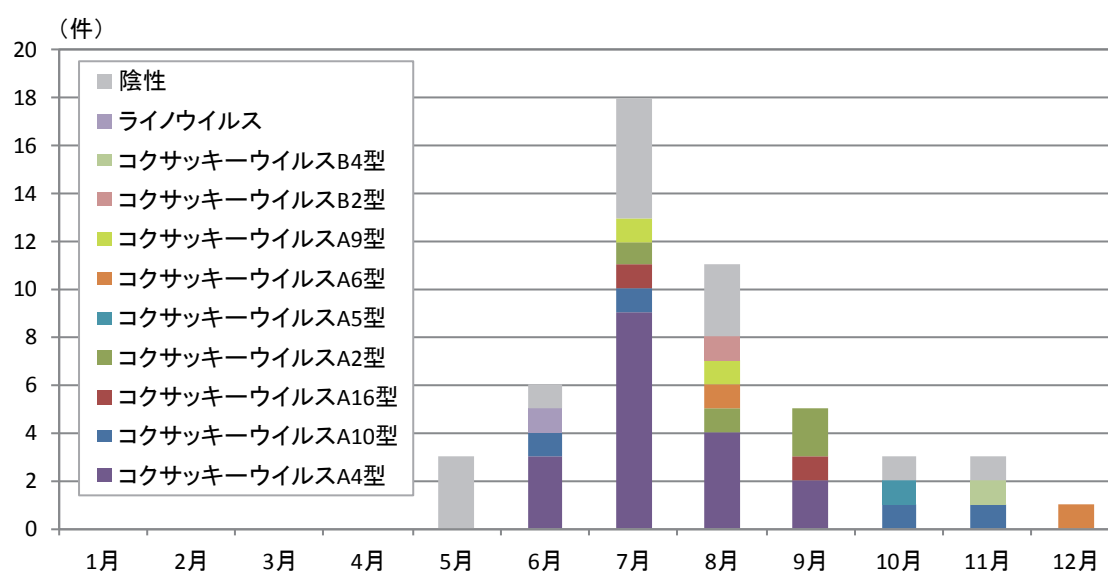


図 14. ヘルパンギーナ患者検体からのウイルス検出状況

コ 流行性耳下腺炎

小児科定点医療機関で流行性耳下腺炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 48 件について、ムンプスウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。流行性耳下腺炎の検体は 4 月から 7 月に多く搬入され、このうち 7 件から EB ウイルス遺伝子が検出されたが、ムンプスウイルスの検出はなかった（表 9、図 15）。

表 9. 流行性耳下腺炎の患者から検出されたウイルスの内訳

検出ウイルス	遺伝子検出数	分離件数
EBウイルス	7	0
陰性	41	48

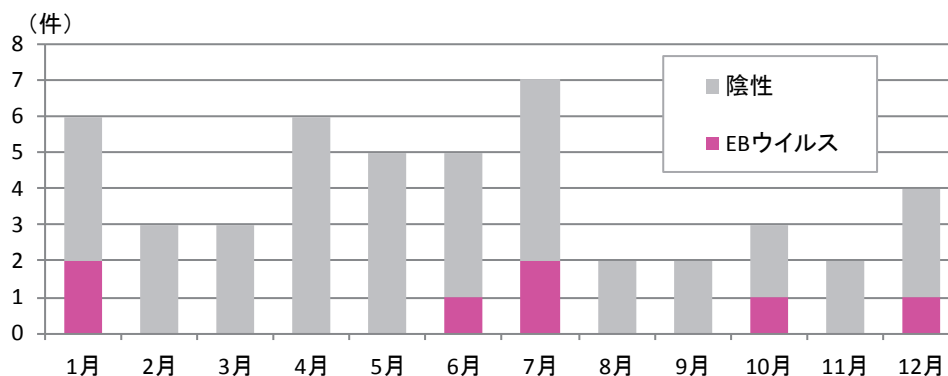


図 15. 流行性耳下腺炎患者検体からのウイルス検出状況

サ 不明発しん症

小児科定点医療機関で不明発しん症と診断され、当センターに搬入された患者検体 154 件について麻しんウイルス、風しんウイルス、ヒトパルボウイルス B19、ヒトヘルペスウイルス 6 型・7 型、エンテロウイルス、アデノウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。

遺伝子検査では、89 件（重複検出を含む）からウイルス遺伝子が検出され、最も多く検出されたのはコクサッキーウイルス A9 型の 19 件であり、次いでヒトパルボウイルス B19 及びヒトヘルペスウイルス 6 型 16 件、ライノウイルス 9 件、ヒトヘルペスウイルス 7 型 6 件であった。また、麻しん・風しんウイルスについては遺伝子解析による型別を実施し、麻しんウイルス 2 件は全てワクチン株、風しんウイルス 11 件のうち 4 件がワクチン株であった。ウイルス分離試験では、遺伝子検査で検出されなかったアデノウイルス 1 型が 2 株、アデノウイルス 2 型および単純ヘルペスウイルス 1 型がそれぞれ 1 株分離された（表 10）。

なお、月別の検出状況は、検出件数が最も多かったコクサッキーウイルス A9 型については夏季に検出数が増加する傾向が見られた（図 16）。

表 10. 不明発しん症患者検体から検出されたウイルスの内訳（重複検出を含む）

検出ウイルス	遺伝子検出数	分離件数
コクサッキーウイルスA9型	19	0
コクサッキーウイルスA10型	1	0
コクサッキーウイルスA16型	1	0
コクサッキーウイルスB5型	1	0
エコーウイルス11型	1	1
エコーウイルス18型	1	1
エンテロウイルス71型	1	0
エンテロウイルス型別不明	2	0
ライノウイルス	9	1
アデノウイルス1型	0	2
アデノウイルス2型	0	1
アデノウイルス6型	2	2
ヒトパルボウイルスB19	16	0
ヒトヘルペスウイルス6型	16	0
ヒトヘルペスウイルス7型	6	0
単純ヘルペスウイルス1型	0	1
麻しんウイルスA型(ワクチン)	2	—
風しんウイルス(合計)	11	—
1a型(ワクチン)	4	—
1E型	2	—
型別不明	5	—
陰性	77	145

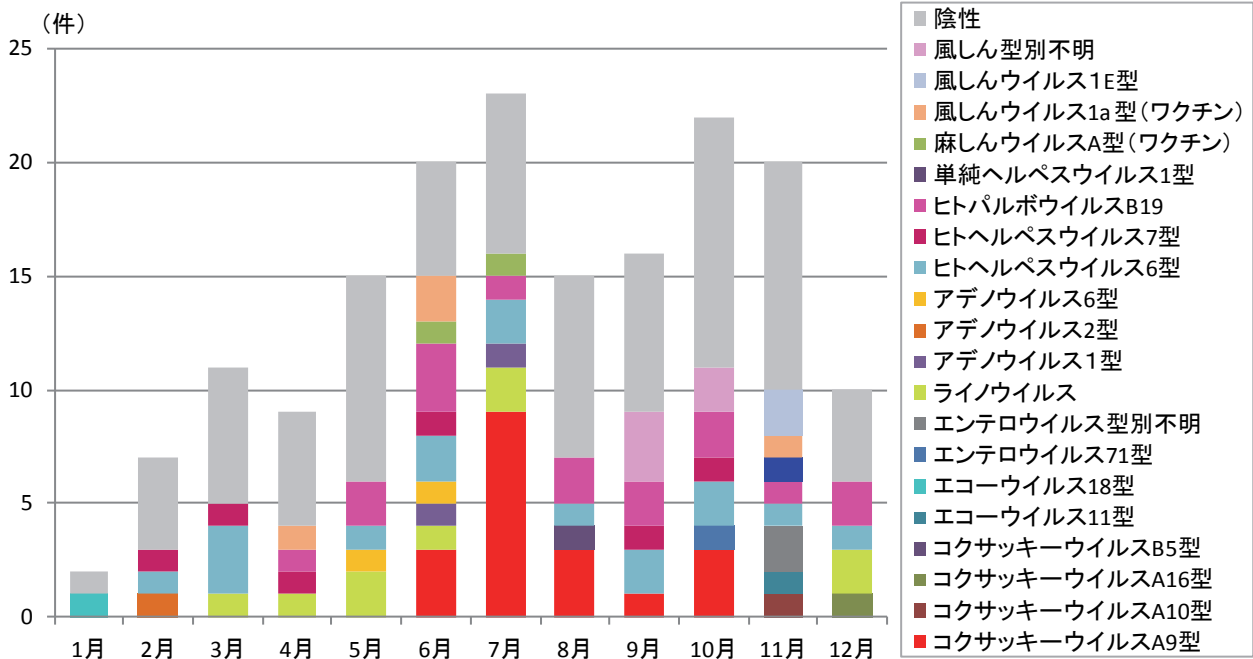


図 16. 不明発しん症患者検体からの月別ウイルス検出状況（重複検出を含む）

シ 川崎病

小児科定点医療機関で川崎病と診断され、当センターに搬入された患者検体 3 件についてアデノウイルス、エンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、遺伝子検査でライノウイルスが 1 件検出された。

ス 無菌性髄膜炎

基幹定点医療機関で無菌性髄膜炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 47 件についてエンテロウイルス等の遺伝子検査及びウイルス分離試験を実施した。その結果、12 件からエンテロウイルス、3 件からヒトパレコウイルスの遺伝子が検出された。また、分離試験ではエコーウイルス、コクサッキーウイルスがそれぞれ 4 株、エンテロウイルス 71 型が 1 株分離された（表 11）。検出時期は 7 月から 10 月に集中していた（図 17）。

表 11. 無菌性髄膜炎患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
コクサッキーウイルスA4型	1	0
コクサッキーウイルスA9型	1	1
コクサッキーウイルスB4型	2	2
コクサッキーウイルスB5型	0	1
エンテロウイルスD68型	1	0
エコーウイルス11型	3	3
エコーウイルス14型	1	1
エンテロウイルス71型	2	1
エンテロウイルス型別不明	1	0
ヒトパレコウイルス3型	3	0
陰性	32	38

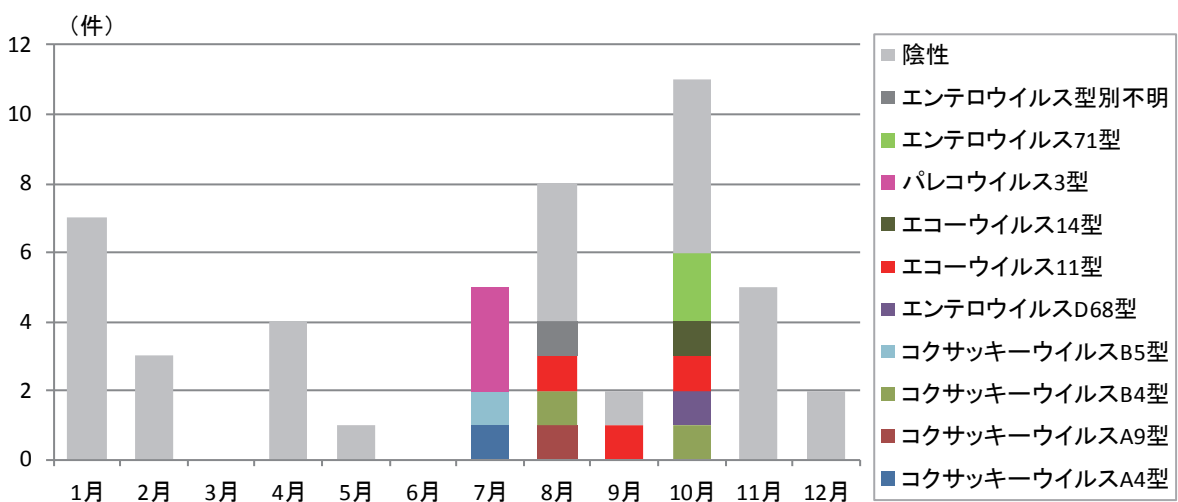


図 17. 無菌性髄膜炎患者検体からのウイルス検出状況

(2) 眼科病原体定点医療機関からの搬入検体

ア 急性出血性結膜炎

定点医療機関で出血性結膜炎と診断され当センターに搬入された1検体について、アデノウイルス及びエンテロウイルスの遺伝子検査及び分離検査を実施したがウイルスは検出されなかった。

イ 流行性角結膜炎

定点医療機関で流行性角結膜炎と診断され当センターに搬入された患者検体12件について、アデノウイルス及びエンテロウイルスの遺伝子検査及び分離検査を実施した。このうち9件からアデノウイルス遺伝子が検出され、1件からアデノウイルス3型が分離された(表12、図18)。

表 12. 流行性角結膜炎患者検体から検出されたウイルスの内訳

	遺伝子検出数	分離件数
アデノウイルス3型	1	1
アデノウイルス8型	1	0
アデノウイルス53型	1	0
アデノウイルス54型	4	0
アデノウイルス64型	2	0
陰性	3	11

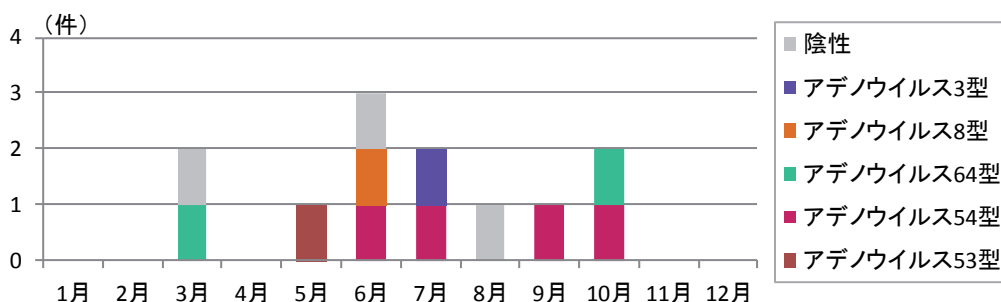


図 18. 流行性角結膜炎患者検体からの月別ウイルス検出状況

(3) 性感染症 (STI) 病原体定点医療機関からの搬入検体

ア 性器ヘルペスウイルス感染症

STI 病原体定点医療機関から 38 件 (主として性器ヘルペス感染症を疑う患者の陰部尿道擦過物、又は水泡内容物) が搬入された。38 件中 7 件 (18.4%) から HSV-1、9 件 (23.7%) から HSV-2 の遺伝子が検出された。

イ 尖圭コンジローマ

STI 病原体定点医療機関から 55 件 (陰部尿道擦過物、尖圭コンジローマ部位擦過物、又は尖圭コンジローマ患部生検材料) が搬入された。55 件中 46 件 (83.6%) からヒトパピローマウイルス (HPV) 遺伝子が検出された。1 検体から 1 種類の HPV 遺伝子型が検出されたのは 31 件 (56.4%) で、子宮頸がん等のリスク評価による分類で見ると、High リスク群に分類されたものが 1 件 (18 型)、Low リスク群に分類されたものが 30 件であった [6 型:15 件 (50.0%)、11 型:14 件 (46.7%)、54 型:1 件 (3.3%)]。

また、15 件からは 2 種類の HPV 遺伝子が検出された [High リスクと Low リスク : 8 件 (53.3%)、Low リスクと Low リスク : 7 件 (46.7%)]。

ウ ウイルス性尿道炎

STI 病原体定点医療機関から 68 件 (尿又は陰部尿道擦過物) が搬入された。68 件中 1 件 (1.5%) からアデノウイルス 56 型、1 件 (1.5%) から HSV-2 が検出され、HSV-1 は検出されなかった。

(4) 積極的疫学調査による搬入検体

ア 二類感染症

① 中東呼吸器症候群 (MERS コロナウイルス)

都内医療機関で MERS コロナウイルス感染疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 2 件について遺伝子検査を実施した。その結果、MERS コロナウイルスについてはいずれも陰性であった。なお、類症鑑別のために行った季節性インフルエンザ検査で、1 件から AH1pdm09 が検出された。

② 鳥インフルエンザ (A/H5N1 亜型、A/H7N9 亜型)

都内医療機関で鳥インフルエンザウイルス感染疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 1 件について遺伝子検査を実施した。その結果、鳥インフルエンザウイルスについては陰性であり、類症鑑別のために行った季節性インフルエンザ検査でも陰性だった。

イ 四類感染症

① A 型肝炎

医療機関で A 型肝炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 349 件について遺伝子検査を実施した。347 件から A 型肝炎遺伝子が検出され、これらについて遺伝子解析を行った結果、遺伝子型は I A 型 345 件、I B 型 1 件、III A 型 1 件であった。

② E 型肝炎

医療機関で E 型肝炎と診断され、当センターに搬入された患者検体 80 件について遺伝子検査を実施した。45 件から E 型肝炎遺伝子が検出され、これらについて遺伝子解析を行った結果、遺伝子型は 1 型 4 件、3 型 41 件であった。

③ 蚊媒介感染症 (デング熱、チクングニア熱、ジカウイルス感染症)

都内の医療機関でデング熱と診断、またはデング熱等の蚊媒介感染症疑いと診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 81 件 (血液 56 件、尿 25 件) について検査を実施した。その結果、24 件からデングウイルス遺伝子 (1 型 7 件、2 型 12 件、3 型 5 件) が検出され、それらは全て海外感染疑い例であった。なお、チクングニアウイルス遺伝子およびジカウイルス遺伝子は検出されなかった。

④ リケッチア等関連疾患 (Q 熱、つつが虫病、日本紅斑熱、発しんチフス、ライム病)

都内の医療機関でリケッチア関連疾患疑いと診断され、保健所を通じて当センターに患者検体 18 件

(Q熱 1件、つつが虫病 10件、日本紅斑熱 2件、リケッチア症 1件、ライム病 4件) が搬入された。これらのうち、14件 (つつが虫病 9件、日本紅斑熱 1件、リケッチア症 1件、ライム病 3件) について遺伝子検査を実施した。その結果、つつが虫患者の急性期血液 9検体中 6件 (66.7%) から *Orientia tsutsugamushi* の遺伝子を検出した。それらの内訳は、Karp株様の *O. tsutsugamushi* が3件、Kuroki株様 1件、Kawasaki株様が2件であった。また、日本紅斑熱を疑われた検体およびリケッチア症を疑われた3検体からは病原性のあるリケッチアの遺伝子は検出されず、ライム病疑いの4検体からも病原性のあるボレリアの遺伝子は検出されなかった。

ウ 五類感染症 (全数把握疾患)

① 急性脳炎

都内の医療機関で急性脳炎と診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 1 件についてエンテロウイルスの遺伝子検査を実施したが、エンテロウイルスは検出されなかった。

② 水痘 (入院を要するもの)

都内の医療機関で水痘と診断され入院に至った事例で、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 3 件について水痘帯状疱疹ウイルス (VZV) の遺伝子検査を行ったところ、3 件全てから VZV 遺伝子が検出された。

③ 急性弛緩性麻痺

都内の医療機関で急性弛緩性麻痺と診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 8 件について、エンテロウイルスの遺伝子検査を実施したところ、いずれも陰性であった。

④ 不明呼吸器疾患

保健所を通じて当センターに搬入された施設内で発生した呼吸器疾患事例由来の患者検体 2 件についてインフルエンザウイルス、RS ウイルス、メタニューモウイルスについて遺伝子検査を実施したところ、いずれも陰性であった。

⑤ 麻しん及び風しん

都内医療機関で麻しん、あるいは風しん (疑い含む) と診断され、保健所を通じて当センターに搬入された患者検体 1,490 件について麻しんウイルス及び風しんウイルスの遺伝子検査を実施した。その結果、麻しんウイルス遺伝子が 26 件から検出され、遺伝子型別を行ったところ D8 型が 21 件、H1 型が 1 件、B3 型が 1 件、A 型が 3 件であった。一方、風しんウイルス遺伝子は 575 件から検出され、遺伝子型別を行ったところ 1E 型が 512 件、2B 型が 2 件、1a 型が 1 件、型別不能が 60 件であった。

また、麻しん及び風しんウイルスが陰性となった検体については、病原体レファレンス事業によりヒトパルボウイルス B19 等の遺伝子検索も実施した。その結果、ヒトパルボウイルス B19 は 59 件、ヒトヘルペスウイルス 6 型は 15 件検出された。

2 細菌検査結果

(1) 三類感染症の病原体検索

ア 細菌性赤痢

細菌性赤痢を疑う 5 歳女兒から検出された菌株について、生化学的試験および血清学的試験を実施した結果、*Shigella sonnei* と同定された。患者は発症の約 3 週間前までモロッコへの渡航歴があり、胃腸炎症状(下痢、血便)を有していた。

(2) 四類感染症の病原体検索

ア レジオネラ症

レジオネラ症 7 事例、7 件の検体が搬入された。その内訳は、患者喀痰 1 件、気管ぬぐい液 1 件、患者由来株 5 株であった。喀痰及び気管ぬぐい液に対し、レジオネラ属菌の遺伝子検査及び分離培養を実施した結果、喀痰は遺伝子検査陽性であったが、分離培養は陰性であり、気管ぬぐい液は遺伝子検査及び分離培養ともに陰性であった。患者由来株について、血清型別試験を実施した結果、2 群が 3 株、1 群が 1 株、および 5 群が 1 株であった。

(3) 五類感染症(全数把握対象)の病原体検索

ア カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

患者由来株 89 株が搬入された。菌株の内訳は、*Klebsiella aerogenes* (旧名 *Enterobacter aerogenes*) が最も多く 21 株、次いで *Klebsiella pneumoniae* が 18 株、*Escherichia coli* が 14 株、*Enterobacter cloacae* が 13 株、*Citrobacter freundii* が 8 株、*Serratia marcescens* が 5 株、*Klebsiella oxytoca* が 3 株であった。その他、*Proteus mirabilis*、*Providencia rettgeri*、*Leclercia adecarboxylata* なども搬入された。

PCR 法による β -ラクタマーゼ遺伝子の検出を実施した結果、NDM 遺伝子保有株が 10 株であった。また、IMP-1 遺伝子保有株が 14 株、KPC 遺伝子保有株が 1 株、OXA-48 遺伝子保有株が 1 株、CTX-M-1 group 遺伝子保有株が 15 株、CTX-M-2 group 遺伝子保有株が 5 株、CTX-M-9 group 遺伝子保有株が 12 株、EBC 遺伝子保有株が 4 株、CIT 遺伝子保有株が 5 株、DHA 遺伝子保有株が 1 株であった。また、検査したいずれの耐性遺伝子も保有していなかった株は 39 株であった。

イ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

搬入された患者由来株は 79 株(74 事例)で、Lancefield 分類による群別の結果、A 群が 28 株、B 群が 15 株、C 群が 2 株、F 群が 1 株、G 群が 33 株であった。

A 群レンサ球菌 28 株のうち 27 株は *Streptococcus pyogenes* であり、その T 血清型は 1 型:9 株、12 型:5 株、B3264 型:6 株、9 型:1 株であり、型別不能が 6 株であった。M タンパクをコードする遺伝子により型別を行う emm 型別を実施した結果、1 型が 9 株と最も多く、次いで 89 型が 7 株、12 型が 3 株などであった。

B 群レンサ球菌 15 株の血清型を実施した結果、Ib 型:6 株、V 型:4 株、III 型:2 株、VI 型が 1 株であり、型別不能が 2 株であった。

また、A 群レンサ球菌の 1 株、C 群レンサ球菌 2 株及び G 群レンサ球菌 33 株は、*S. dysgalactiae* subsp. *equisimilis* であり、emm 型別を実施した結果、stG6792 型が最も多かった。

F 群レンサ球菌 1 株の菌種は、*S. constellatus* と同定された。

ウ 侵襲性インフルエンザ菌感染症

搬入された患者由来のインフルエンザ菌は 39 株(37 事例)であり、莢膜型別について免疫血清を用いた血清型及び PCR 法による型別を実施した結果、f 型が 2 株であり、残りの 37 株はすべて無莢膜型であった。

エ 侵襲性髄膜炎菌感染症

搬入された患者由来の髄膜炎菌は4株であり、それぞれについてPCR法による型別を実施した結果、Y群が3株、C群は1株となった。

オ 侵襲性肺炎球菌感染症

搬入された患者由来の肺炎球菌は144株(139事例)であり、それぞれについて莢膜血清型別を実施した。その結果は表13に示した通りであった。

表13. 肺炎球菌血清型別結果

血清型	株数	血清型	株数	血清型	株数
12F	16	35B	5	14	1
24B	14	7C	5	21	1
3	13	1	4	31	1
15A	12	38	4	19F	1
19A	9	11A	4	35F	1
10A	8	15C	4	6B	1
15B	7	34	3	6D	1
24F	7	7F	3	7A	1
23A	6	20	2		
6C	6	22F	2		
		33F	2		

カ バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE) 感染症

搬入された菌株は患者由来株5株であり、*Enterococcus faecium*が3株、*Enterococcus faecalis*が2株であった。そのうち、4株はvanB遺伝子を保有しており、1株はvanM遺伝子を保有していた。

キ 百日咳

搬入された本疾患患者由来株13株について、LAMP法による検査を実施した。その結果、搬入された13株は全て百日咳菌と同定された。

ク 薬剤耐性アシネトバクター感染症

搬入された本疾患患者由来株は*Acinetobacter baumannii*4株であり、PCR法による耐性遺伝子の検出を実施した結果、OXA-51-like β -ラクタマーゼをコードする遺伝子とプロモーター活性を有する挿入遺伝子領域 (ISAbal) 保有株が3株、OXA-51-like β -ラクタマーゼとOXA-23-like β -ラクタマーゼをコードする遺伝子保有株が1株であった。

(4) 五類感染症 (定点把握対象) の病原体検索

ア A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

都内の定点医療機関からA群溶血性レンサ球菌感染症患者由来咽頭スワブが140件搬入された。

搬入されたスワブから127株のA群溶血性レンサ球菌が分離され、T血清型別試験を実施した。その結果、T12型が28株と最も多く、次いでT1型が26株、TB3264型が25株であり、その他、T28型が16株、T4型が7株、T6型及びT11型がそれぞれ4株、T3型及びT25型がそれぞれ3株、T2型、T9型及びT14/49型が各々1株ずつの順であり、型別不能株は8株であった。

イ 感染性胃腸炎

小児科病原体定点から搬入された感染性胃腸炎疑いの患者糞便 8 件について腸管系の細菌検査を実施した。その結果、2 検体から *Campylobacter jejuni*、1 検体から *C. coli* が検出された。

ウ マイコプラズマ肺炎

都内の定点医療機関からマイコプラズマ肺炎疑い患者の咽頭拭い液が 9 検体搬入され、遺伝子検査及び分離同定を実施した。その結果、5 検体から肺炎マイコプラズマ遺伝子が検出され、2 株の肺炎マイコプラズマが分離された。

エ メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）感染症

都内の定点医療機関から MRSA 感染症患者由来検体が 57 検体搬入され、56 株が MRSA であり、1 株は MSSA であった。分離された MRSA56 株について、コアグラゼ型別試験を実施した結果、II 型:3 株、III 型:25 株、V 型:2 株、VII 型:23 株であり、型別不能は 3 株であった。

（5）性感染症（STI）病原体定点医療機関からの搬入検体

2018 年 1 月から 12 月に都内 4 ヶ所の性感染症病原体定点医療機関（STI 定点）より 91 件の検体が搬入された。内訳は、男性は陰部擦過物（スワブ）39 例、尿 29 例の合計 68 例、女性はスワブ 19 例、性別不明例はスワブ 1 例、尿 3 例の合計 4 例であった。

ア クラミジア・トラコマチスおよび淋菌

90 例（男性：67 例、女性：19 例、性別不明例：4 例）についてクラミジア・トラコマチスおよび淋菌の遺伝子検査を実施した。性別および年齢階級別の病原体検査成績を表 14 に示した。

表 14. 性別および年齢階級別の病原体検査結果

	年齢階級	検体数	遺伝子検査陽性				分離培養陽性
			クラミジア・トラコマチス	淋菌	梅毒	膣トリコモナス	淋菌
男性	20歳代	18	8	14			9
	30歳代	19	6	10			5
	40歳代	15	3	7			3
	50歳代	9	3	2			1
	60歳代	3		3			2
	70歳以上	4					
	計	68	20	36	0	0	20
女性	10歳代	3	3				
	20歳代	12	9		3		
	30歳代	3	3				
	40歳代	1	1				
	計	19	16	0	0	3	0
不明	20歳代	1	1				
	30歳代	1	1	1			
	40歳代	1					
	50歳代	1					
	計	4	2	1	0	0	0
合計		91	38	37	0	3	20

クラミジア・トラコマチスについては、男性 20 例 (29.9%)、女性 16 例 (84.2%)、性別不明 2 例 (50.0%) が陽性となった。淋菌は男性 36 例 (53.7%)、女性 0 例 (0.0%)、性別不明 1 例 (25.0%) が陽性となった。クラミジアと淋菌の遺伝子が共に検出されたのは、男性 10 例 (14.9%)、性別不明 1 例 (25.0%) であった。年齢階級別では、男性は 20～40 歳代でクラミジア・トラコマチス遺伝子陽性が 17 例、淋菌遺伝子陽性が 31 例検出された。女性のクラミジア・トラコマチス遺伝子陽性 16 例はすべて 10～40 歳代であった。

淋菌遺伝子が検出された 37 例のうち 20 例 (54.1%) から淋菌が分離された。分離された淋菌菌株については薬剤感受性試験を行った。

イ 梅毒トレポネーマ

1 例の男性生殖器の拭（臨床診断：梅毒）について、梅毒トレポネーマの遺伝子検査を行った。検査結果は陰性であった。

ウ 膣トリコモナス

3 例の女性生殖器の拭（臨床診断：トリコモナス 2 例、クラミジア 1 例）について、膣トリコモナスの遺伝子検査を行った結果、3 例とも膣トリコモナス遺伝子が検出された。うち 1 例はクラミジア・トラコマチス遺伝子陽性であった。

エ 性別および臨床診断別検査結果

性別および臨床診断別の病原体検査結果を表 15 に示した。男性では、性器クラミジア感染症と診断された 37 例中 13 例 (35.1%) からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、8 例 (21.6%) から淋菌遺伝子が検出され、うち 6 例から淋菌が分離された。また、淋菌感染症と診断された 28 例中 7 例 (25.0%) からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、26 例 (92.9%) から淋菌遺伝子が検出され、うち 13 例から淋菌が分離された。性器クラミジア感染症および淋菌感染症と診断された 2 例から淋菌遺伝子が検出されうち 1 例から淋菌が分離された。

表 15. 性別および臨床診断別の病原体検査結果

	臨床診断 (疑い例含む)	検体数	遺伝子検査陽性				分離培養陽性
			クラミジア・ トラコマチス	淋菌	梅毒	膣トリコモナス	淋菌
男性	性器クラミジア感染症	37	13	8			6
	淋菌感染症	28	7	26			13
	性器クラミジア感染症 + 淋菌感染症	2		2			1
	梅毒	1					
	計	68	20	36	0	0	20
女性	性器クラミジア感染症	17	15			1	
	膣トリコモナス症	2	1			2	
	計	19	16	0	0	3	0
不明	性器クラミジア感染症	4	2	1			
	計	4	2	1	0	0	0
合計		91	38	37	0	3	20

女性では、性器クラミジア感染症と診断された 17 例中 15 例 (88.2%) からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、また 1 例 (5.9%) から膣トリコモナス遺伝子が検出された。また、膣トリコモナス症と診断された 2 例のうち 1 例 (50.0%) からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、2 例 (100.0%) から膣トリコモナス遺伝子が検出された。

性別不明例では、性器クラミジア感染症と診断された 4 例中 2 例 (50.0%) からクラミジア・トラコマチス遺伝子が検出され、1 例 (25.0%) から淋菌遺伝子が検出された。

オ クラミジア・トラコマチスの血清型別遺伝子検査

クラミジア・トラコマチスは、血清型に基づいて A~L 型に分類され、アフリカやアジア等のトラコーマ流行地において多く検出されるトラコーマ型の A~C 型、トラコーマ非流行地で主に検出される性器クラミジア感染症型の D~K 型、鼠径リンパ肉芽腫症の起因菌となる L 型にそれぞれ分けられている。

遺伝子検査陽性の 38 例のうち、遺伝子解析により 30 例の血清型が型別出来た。血清型別判定の内訳を表 16 に示した。

日本を含む諸外国で主要な血清型とされている D、E、F の 3 つの型の合計で 63.3%であり、過半数を占めていた。この他、性器クラミジア感染症型の I 型を除く G~K 型もそれぞれ検出されたが、トラコーマ型 (A~C 型) や鼠径リンパ肉芽腫症型 (L 型) は検出されなかった。なお、遺伝子検査陽性の 8 例については、血清型別に用いるターゲット部位の核酸増幅が行えず、血清型が不明となった。

表 16. クラミジア・トラコマチスの血清型別結果

検体数	血清型							
	D 及び D/Da	E	F	G	H	I	J 及び Ja	K
30	5	10	4	4	1	2	2	2
(%)	(16.7)	(33.3)	(13.3)	(13.3)	(3.3)	(6.7)	(6.7)	(6.7)

カ 淋菌分離株の薬剤感受性

分離された淋菌 20 株の薬剤耐性試験の結果を表 17 に示した。ペニシリンに対しては全株が中等度耐性 (0.12µg/ml) 以上の耐性株であった。テトラサイクリンに対しては中等度耐性 (0.5µg/ml) 以上の耐性株は 18 株 (90.0%) であった。シプロフロキサシンに対する耐性株 (≥ 1µg/ml) は 14 株 (70.0%) であった。セフロキシムに対する中等度 (2µg/ml) 以上の耐性株は 12 株 (60.0%) であった。セフトアキシム、セフトリアキソン、スペクチノマイシンに対しては全株が感受性を示した。

表 17. 淋菌分離株 (20 株) の薬剤感受性

薬剤感受性	ペニシリン	テトラサイクリン	シプロフロキサシン	セフロキシム	セフトアキシム	セフトリアキソン	スペクチノマイシン
	PCG	TC	CPFX	CXM	CTX	CTRX	SPCM
耐性 (%)	2 (10.0)	0 (0.0)	14 (70.0)	9 (45.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
中等度耐性 (%)	18 (90.0)	18 (90.0)	0 (0.0)	3 (15.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
感受性 (%)	0 (0.0)	2 (10.0)	6 (30.0)	8 (40.0)	20 (100.0)	20 (100.0)	20 (100.0)

第 3 章

資 料

1 東京都感染症発生動向調査定点医療機関名簿

2018年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	滝医院	滝 正彦	102-0074	千代田区九段南4-3-1	03-3264-3101	
千代田	加賀医院	加賀 一兄	101-0051	千代田区神田神保町1-35	03-3291-9951	
千代田	東京通信病院	小野 正恵	102-8798	千代田区富士見2-14-23	03-5214-7111	○*
中央区	小坂こども元氣クリニック	小坂 和輝	104-0052	中央区月島3-30-3	03-5547-1191	
中央区	わたなべこどもクリニック	渡邊 浩志	104-0052	中央区月島1-8-1 アイ・マークタワー202	03-5548-2511	
中央区	搞小児科医院	搞 佳生	103-0007	中央区日本橋浜町2-20-2	03-3666-6035	
みなと	ぼれぼれクリニック	三浦 麻子	108-0074	港区南高輪1-5-21 ルート高輪ビル4F	03-5422-7626	○
みなと	とよら小児科	豊浦 多喜雄	108-0023	港区芝浦3-11-5 第三協栄ビル2階	03-5442-8872	
みなと	小田原医院	行岡 紀子	106-0045	港区麻布十番3-11-12	03-3451-4595	
みなと	白金タワークリニック	小出 浩史	108-0072	港区白金1-17-1-106	03-5789-3882	
みなと	南青山おおつかクリニック	大塚 伸行	107-0062	港区南青山4-9-17	03-5786-3288	
みなと	東京都済生会中央病院	小児科外来	108-0073	港区三田1-4-17	03-3451-8211	○*
新宿区	岡田小児科クリニック	岡田 和子	169-0072	新宿区大久保1-5-15	03-3200-1236	
新宿区	村橋医院	村橋 眞	162-0042	新宿区早稲田町73	03-3203-3538	
新宿区	川尻医院	川尻 敦夫	162-0041	新宿区早稲田鶴巻町534	03-3209-7701	
新宿区	オリエンタル診療所	近 裕	161-0031	新宿区西落合2-20-1	03-3565-3411	
新宿区	牛山医院	牛山 允	169-0075	新宿区高田馬場4-11-5	03-5386-3167	
新宿区	(社)聖母会 聖母病院 小児科	猪野 雅孝	161-8521	新宿区中落合2-5-1	03-3951-1111	○*
新宿区	星野こどもクリニック	星野 洋	161-0032	新宿区中落合2-16-26	03-5988-7133	
新宿区	国立国際医療研究センター 病院	七野 浩之	162-8655	新宿区戸山1-21-1	03-3202-7181	
文京	保坂こどもクリニック	保坂 篤人	112-0001	文京区白山5-27-12	03-3946-0641	
文京	石原医院	藤原 陽子	112-0006	文京区小日向1-6-6	03-3941-8526	
文京	大塚診療所	大塚 宜一	113-0034	文京区湯島3-31-6	03-3831-2294	
文京	吉村小児科	内海 裕美	112-0012	文京区大塚2-18-6	03-3943-3806	
台東	いりやキッズクリニック	浅野 由美子	110-0004	台東区下谷3-11-12	03-5808-0415	
台東	柴田小児科医院	柴田 雄介	111-0036	台東区松ヶ谷3-16-4	03-3841-2291	
台東	柳沢小児科医院	山崎 薫	111-0033	台東区花川戸1-14-18	03-3844-0668	
台東	小川こどもクリニック	小川 淳子	111-0053	台東区浅草橋1-25-5 小川ハイム201	03-3861-2429	
墨田区	増田小児科	増田 敬	130-0005	墨田区東駒形1-19-8	03-3622-9641	
墨田区	鈴木こどもクリニック	鈴木 洋	131-0031	墨田区墨田4-45-1	03-3619-4970	○
墨田区	平野医院	平野 圭	131-0043	墨田区立花6-1-14-1F	03-3611-2947	
墨田区	唐澤医院	唐澤 賢祐	130-0023	墨田区立川1-12-13	03-3631-2336	
墨田区	にしじま小児科	西島 由美	131-0046	墨田区京島1-6-3	03-3619-9585	
江東区	竹内小児科医院	竹内 透	135-0011	江東区扇橋2-1-3 ET21ビル2F	03-5606-0303	
江東区	笠井小児クリニック	笠井 秀明	136-0072	江東区大島9-5-1 コアシティ東大島103	03-3636-2577	
江東区	のずえ小児科	野末 富男	135-0062	江東区東雲1-9-11-102	03-5560-6071	
江東区	までのこうじクリニック	萬里小路 直樹	135-0016	江東区東陽3-27-32 玉河ビル2階	03-5683-5519	
江東区	たけうちこどもクリニック	竹内 敏雄	135-0061	江東区豊洲4-9-13 東京フロントコート132号	03-3533-2415	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。
備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
江東区	城田小児科医院	城田 夙男	135-0048	江東区門前仲町1-6-9	03-3641-4056	
江東区	亀戸キッズクリニック	杉本 佳乃	136-0071	江東区亀戸2-42-5 くらまえ三洋ビル2F	03-5875-3387	
江東区	正木医院	正木 忠明	136-0073	江東区北砂7-1-25	03-3644-5794	○
江東区	なおやこどもクリニック	坂口 直哉	136-0074	江東区東砂7-19-13 ペルコモン南砂2F	03-5653-0708	
品川区	東品川クリニック	安座間 薫	140-0002	品川区東品川3-18-3	03-3472-6684	
品川区	官平医院	官平 寛	141-0031	品川区西五反田4-22-3	03-3491-0366	
品川区	林小児科医院	林 紋子	140-0014	品川区大井3-6-12	03-3777-7127	
品川区	村井こどもクリニック	村井 孝安	142-0053	品川区中延5-8-19	03-3782-3415	
品川区	鈴の木こどもクリニック	鈴木 博	142-0041	品川区戸越1-3-1 夢のこども館	03-5759-5605	
品川区	田辺小児科医院	田辺 充子	142-0064	品川区旗の台6-30-1	03-3785-9003	
品川区	藤川医院	藤川 敏	140-0014	品川区大井7-29-2	03-3771-1764	
品川区	吉原医院	吉原 幸子	142-0041	品川区戸越5-8-5	03-3781-4030	
目黒区	自由が丘メディカルプラザ2	高嶋 能文	152-0035	目黒区自由が丘2-11-16 ニューパルビュー3F	03-5731-3565	
目黒区	目黒通りこどもクリニック	藤田 秀樹	153-0064	目黒区下目黒6-1-27 アメニティハウス 2F	03-6303-1091	
目黒区	田口医院	田口 豊	152-0003	目黒区碑文谷6-7-4 KYレジデンス	03-3714-0188	
目黒区	井手小児科	井手 郁	152-0002	目黒区目黒本町6-17-27	03-5704-3819	
目黒区	仲村医院	仲村 和子	153-0053	目黒区五本木1-8-9	03-3712-7776	
大田区	かざ山小児科	景山 敦	146-0082	大田区池上7-14-11	03-3752-8182	
大田区	井上小児科医院	井上 清	143-0023	大田区山王3-30-2	03-3771-2514	
大田区	宮下クリニック	宮下 守	143-0014	大田区大森中3-35-9	03-5764-1003	
大田区	田園小児科クリニック	高橋 茂	145-0071	大田区田園調布5-36-3	03-3722-0765	
大田区	岡小児科内科クリニック	岡 哲康	146-0091	大田区鶴の木1-16-19	03-3758-3387	
大田区	原口小児科クリニック	原口 道夫	144-0032	大田区北糀谷1-11-8	03-3742-1517	
大田区	奥山こどもクリニック	奥山 裕子	146-0095	大田区多摩川1-21-3	03-5482-0415	
大田区	加藤内科小児科医院	加藤 瑞規	146-0093	大田区矢口1-19-25	03-3759-6169	
大田区	神川小児科クリニック	神川 晃	144-0044	大田区本羽田1-6-22	03-3741-5005	
大田区	斎藤医院	斎藤 洋子	143-0025	大田区南馬込5-26-7	03-3772-2791	
大田区	どうどうクリニック	小柳 英樹	146-0081	大田区仲池上1-31-13	03-5747-2333	○
大田区	うちやまこどもクリニック	内山 浩志	146-0085	大田区久が原3-36-13-3F	03-3753-7172	
大田区	木村こどもクリニック	木村 方美	144-0045	大田区南六郷2-27-1	03-3733-9080	
世田谷	いなみ小児科	稲見 誠	154-0002	世田谷区下馬3-10-7	03-3421-4885	
世田谷	吉川小児科	吉川 弘二	156-0043	世田谷区松原3-28-8-2階	03-5329-4153	
世田谷	橋本小児科医院	橋本 倫太郎	157-0072	世田谷区祖師谷3-37-5	03-3482-4668	○
世田谷	かねみつ小児クリニック	金光 岳文	157-0062	世田谷区南鳥山4-7-14	03-5384-3355	
世田谷	小林クリニック	小林 俊夫	157-0067	世田谷区喜多見2-10-3-101	03-3416-7119	
世田谷	山口小児科内科	山口 義哉	158-0091	世田谷区中町4-35-6	03-3702-6180	
世田谷	永井小児科内科医院	永井 雄一	158-0081	世田谷区深沢6-20-14	03-5707-0624	
世田谷	田宮小児科医院	田宮 貞和	156-0052	世田谷区経堂5-21-3	03-3427-7974	
世田谷	うめはらこどもクリニック	梅原 実	154-0004	世田谷区太子堂3-38-18	03-6809-7878	
世田谷	つだ小児科クリニック	津田 正彦	154-0017	世田谷区世田谷4-5-8 アルス世田谷ネクステージ1F	03-5477-7736	
世田谷	えんどう小児科クリニック	遠藤 大一	156-0045	世田谷区桜上水1-7-10 クールセリシエ1F	03-6379-7127	
世田谷	三宅小児科	三宅 健	156-0057	世田谷区上北沢4-21-13	03-3302-2771	
世田谷	直宮医院	直宮 晃一	155-0031	世田谷区北沢3-11-14	03-3468-2867	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
世田谷	白井医院	白井 弘人	157-0066	世田谷区成城5-7-12	03-3482-2253	
世田谷	用賀クリニック	川崎 浩司	158-0096	世田谷区玉川台2-22-16 パークヒル用賀Ⅲ 1F	03-3709-6255	
世田谷	藤井医院	藤井 秀樹	158-0083	世田谷区奥沢1-38-19	03-3728-0383	
渋谷区	坂本クリニック	坂本 純一	151-0073	渋谷区笹塚1-31-11 ピラージュ笹塚 1-101	03-3469-3926	
渋谷区	医療法人社団 育心会 稲垣クリニック	稲垣 稔	151-0053	渋谷区代々木5-7-17-1F	03-5453-1399	
渋谷区	かずえキッズクリニック	川上 一恵	151-0072	渋谷区幡ヶ谷3-81-7	03-3376-1662	
渋谷区	内藤小児科内科医院	内藤 章文	150-0022	渋谷区恵比寿南2-5-9	03-3713-2526	
中野区	高木小児科医院	高木 英行	165-0031	中野区上鷲宮4-19-10	03-5241-5823	
中野区	江原町小児科耳鼻科	金 慶彰	165-0023	中野区江原町3-35-8	03-5988-7705	
中野区	田沼内科・小児科医院	田沼 美昭	164-0012	中野区本町6-23-3	03-3380-2622	
中野区	小池小児科医院	小池 林太郎	165-0033	中野区若宮1-43-11	03-3330-0743	
中野区	宇野医院	宇野 真二	164-0001	中野区中野1-6-2	03-3369-2090	
杉並	立正佼成会附属佼成病院	倉山 亮太	166-0012	杉並区和田2-25-1	03-3383-1281	○*
中野区	しばたこども&アレルギー クリニック	柴田 淳	164-0003	中野区東中野5-1-1 ユニゾンタワー3F	03-3360-5569	
杉並	柿田医院	柿田 豊	167-0022	杉並区下井草2-23-5	03-3395-3602	
杉並	長沼内科医院	長沼 裕一郎	166-0015	杉並区成田東3-36-8	03-3311-1803	
杉並	中里医院	中里 恵美子	167-0043	杉並区上荻4-2-3	03-3390-5258	
杉並	はら医院	原 みさ子	168-0062	杉並区方南2-28-3	03-3317-0380	
杉並	松野医院	松野 哲彦	166-0001	杉並区阿佐谷北3-42-10	03-3330-4656	
杉並	宮下小児科医院	佐々木 礼子	166-0016	杉並区成田西3-20-3	03-3392-3855	
杉並	宮崎クリニック	宮崎 素子	168-0063	杉並区和泉4-51-14	03-3317-7701	
杉並	岩崎小児科医院	岩崎 由紀夫	166-0012	杉並区和田3-49-7	03-5377-0015	
杉並	セキこどもクリニック	関 兼英	166-0004	杉並区阿佐谷南2-1-27	03-3318-1625	
杉並	高井戸こどもクリニック	柳垣 繁	168-0071	杉並区高井戸西1-27-22	03-3331-6644	
池袋	金澤医院	金澤 義之	170-0003	豊島区駒込3-5-7	03-3910-4952	
池袋	みなと小児科	湊 通嘉	171-0043	豊島区要町 3-22-10-301	03-3973-5080	
池袋	田村医院	田村 仁	170-0011	豊島区池袋本町1-45-16	03-3971-4922	
池袋	平井医院	平井 貴志	171-0032	豊島区雑司が谷1-26-10	03-3971-8064	
池袋	南長崎こみ山医院	込山 賢次	171-0052	豊島区南長崎3-14-17	03-3953-0086	
北区	斉藤小児科医院	斉藤 十紀	114-0003	北区豊島2-8-6	03-3911-0569	
北区	ほくとクリニック	金子 清志	115-0045	北区赤羽2-9-6	03-3901-4926	
北区	富士見診療所	越田 利弘	114-0031	北区十条仲原3-1-5	03-3900-5354	
北区	かとうクリニック	加藤 隆司	115-0043	北区神谷1-12-9	03-3913-1103	○
北区	中山医院	伊藤 佳子	114-0016	北区上中里1-17-8	03-3910-6805	
北区	桑畑医院	桑畑 圭子	114-0003	北区豊島2-6-1	03-3919-0700	
北区	はんだ・こどもクリニック	繁田 龍雄	115-0045	北区赤羽2-69-4 クリニックプラザ21 2F	03-3901-7433	
荒川区	鈴木小児科医院	鈴木 博之	116-0012	荒川区東尾久3-1-9	03-3892-1266	
荒川区	まつおかこどもクリニック	松岡 郁美	116-0002	荒川区荒川2-1-5 荒川セントラルビルディング2F	03-5604-1567	
荒川区	いなばキッズクリニック	稲葉 八興	116-0003	荒川区南千住4-7-1 BiVi南千住3D	03-5604-1710	
荒川区	加藤小児科内科医院	加藤 薫	116-0014	荒川区東日暮里5-44-1-1F	03-3803-3377	
板橋区	青木小児科医院	青木 恒春	175-0045	板橋区西台2-9-3	03-3932-3849	
板橋区	上原内科医院	上原 章	173-0004	板橋区板橋3-6-11	03-5375-9981	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
板橋区	石川医院	宮川 美知子	174-0071	板橋区常盤台1-61-3	03-3960-3940	
板橋区	井上医院	井上 文正	175-0092	板橋区赤塚4-17-11	03-5968-5777	
板橋区	杉内医院	杉内 孝謙	175-0094	板橋区成増3-17-16	03-3930-2331	
板橋区	望月内科クリニック	望月 紘一	174-0044	板橋区相生町4-5	03-3937-6769	2018年12月31日から
	こうのファミリーケア・クリニック	河野 嘉英	174-0056	板橋区志村3-20-26-1F	03-3965-1649	2019年1月1日から
板橋区	あべこどもクリニック	阿部 和子	175-0082	板橋区高島平1-28-5 KAZZビル2F	03-3559-8115	
板橋区	はっとり小児科	服部 拓哉	174-0063	板橋区前野町3-31-3	03-5994-3205	2018年7月31日まで
	えがおこどもクリニック	渡部 浩平	174-0063	板橋区前野町3-31-3	03-5994-7250	2018年8月1日から
板橋区	鈴木医院	鈴木 育夫	173-0023	板橋区大山町10-10	03-3956-1788	
板橋区	よりふじ医院	依藤 壽	173-0031	板橋区大谷口北町27-4	03-3956-1255	
練馬区	岩崎小児科医院	岩崎 章宣	178-0061	練馬区大泉学園町8-7-17	03-3867-5501	
練馬区	秋田医院	秋田 博伸	176-0013	練馬区豊玉中4-10-3	03-3991-1151	
練馬区	飯島医院	飯島 健志	179-0072	練馬区光が丘7-3-6	03-3976-6087	
練馬区	うすきクリニック	臼杵 一	178-0064	練馬区南大泉4-47-9 コンフォート南大泉1F	03-3924-0443	
練馬区	牧田小児科内科医院	牧田 郁夫	176-0002	練馬区桜台1-45-15 グランドールマキノ1F	03-3948-0600	○
練馬区	沼口整形外科・小児科	沼口 俊平	179-0072	練馬区光が丘5-2-5-102	03-3976-0131	○
練馬区	浅村こどもクリニック	浅村 信二	177-0041	練馬区石神井町2-8-21 星ビル2F	03-5372-6686	
練馬区	上石神井サン・クリニック	小西 佐知子	177-0044	練馬区上石神井3-6-34	03-5910-3888	
練馬区	佐藤皮膚科小児科クリニック	佐藤 徳枝	177-0045	練馬区関町北1-23-10 井口ビル4F	03-3928-2767	
練馬区	のと小児科クリニック	能登 信孝	179-0083	練馬区平和台4-12-6	03-5945-9855	
練馬区	マサキ小児科アレルギー科	正木 拓朗	178-0063	練馬区東大泉2-5-10	03-3923-1515	
練馬区	わたなべこどもクリニック	渡辺 克也	176-0023	練馬区中村北4-5-2	03-3990-9998	
練馬区	わたなべこどもクリニック	渡辺 久幸	178-0063	練馬区東大泉1-26-16	03-5947-3577	
足立区	和田小児科医院	和田 紀之	121-0812	足立区西保木間2-15-23	03-3884-2301	○
足立区	曙町クリニック	泉田 京子	120-0023	足立区千住曙町41-2-107	03-3879-9116	
足立区	日比谷医院	日比谷 一郎	121-0011	足立区中央本町5-5-27	03-3889-4601	
足立区	ちばこどもクリニック	千葉 康之	121-0801	足立区東伊興1-12-16	03-3857-0222	
足立区	三原小児科医院	三原 章	123-0857	足立区本木北町14-6	03-3890-0205	
足立区	勝楽堂病院	芦田 光則	120-0032	足立区千住柳町5-1	03-3881-0137	
足立区	梅津クリニック	梅津 亮二	120-0005	足立区綾瀬3-15-20 遠藤ビル2F	03-5616-8214	
足立区	中島小児科	中島 正樹	120-0015	足立区足立4-41-6	03-3852-5241	
足立区	中西医院	中西 隆	123-0852	足立区関原3-44-7	03-3852-1122	
足立区	千葉小児科内科医院	千葉 昭典	121-0061	足立区花畑7-14-9	03-3850-8523	
足立区	しみず医院	清水 博史	121-0823	足立区伊興3-18-21	03-5691-1212	
足立区	師田内科小児科	師田 基	121-0801	足立区東伊興3-2-7	03-3897-7320	
足立区	木村耳鼻咽喉科小児科医院	木村 康子	123-0872	足立区江北6-22-1	03-3896-3387	
葛飾区	伊藤メディカルクリニック	伊藤 民恵	124-0006	葛飾区堀切4-57-5	03-3602-4205	
葛飾区	高橋小児科医院	高橋 紀久雄	124-0023	葛飾区東新小岩5-17-1	03-3692-3021	
葛飾区	菊島小児科医院	菊島 秀丸	124-0013	葛飾区東立石3-24-16	03-3697-1556	
葛飾区	的場医院	伊藤 隆一	125-0042	葛飾区金町6-13-9	03-3607-0517	
葛飾区	永寿堂医院	松永 貞一	125-0061	葛飾区亀有3-43-5	03-3604-2101	○
葛飾区	白井医院	白井 泰生	124-0024	葛飾区新小岩1-37-11	03-3653-5774	
葛飾区	三尾医院	三尾 仁	125-0041	葛飾区東金町3-16-12	03-3607-2917	
葛飾区	鈴木医院	鈴木 敏克	125-0061	葛飾区亀有3-4-11	03-3690-2211	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
江戸川	吉岡医院	吉岡 和之	133-0056	江戸川区南小岩5-16-8	03-3657-1037	
江戸川	小松川医院	田崎 ゆき	132-0025	江戸川区松江3-12-13	03-3651-0057	
江戸川	久田医院	久田 和子	132-0035	江戸川区平井1-27-5	03-3681-0081	
江戸川	みやのこどもクリニック	宮野 孝一	134-0085	江戸川区南葛西2-18-27	03-3869-4133	
江戸川	なかにし小児科クリニック	中西 茂則	134-0088	江戸川区西葛西5-1-8 トーショービル1F	03-3675-6678	
江戸川	石橋こどもクリニック	石橋 涼子	132-0021	江戸川区中央2-4-18 ほっと館1F	03-5661-5336	
江戸川	はるやま小児科・アレルギー科	春山 次男	133-0065	江戸川区南篠崎町2-10-1 カームコート1F	03-3679-1188	
江戸川	千葉クリニック	千葉 友幸	134-0081	江戸川区北葛西1-14-23	03-3680-4035	○
江戸川	星田小児科クリニック	星田 宏	134-0083	江戸川区中葛西2-3-10	03-3680-2028	
江戸川	本橋医院	本橋 俊和	132-0024	江戸川区一之江8-15-1 エクセルイッチノエ1A	03-5662-8755	
江戸川	ながきこどもクリニック	永木 幸子	133-0051	江戸川区北小岩6-15-5 小岩メディカルセンター新館3F	03-5612-0661	
江戸川	アンヌ小児科	布上 孝志	133-0071	江戸川区東松本1-14-9	03-3672-1071	
西多摩	笹本医院	笹本 隆夫	198-0084	青梅市住江町58	0428-24-3955	
西多摩	わかさぎ医院	道佛 雅克	205-0001	羽村市小作台2-7-16	042-579-0311	
西多摩	星野小児科内科クリニック	星野 誠	197-0822	あきる野市小川東1-19-20-1	042-559-7332	○
西多摩	鈴木内科	鈴木 道彦	190-0163	あきる野市館谷156	042-596-2307	
西多摩	新井クリニック	新井 敏彦	190-1232	瑞穂町長岡1-51-2	042-557-0018	
西多摩	ナルゲンキッズクリニック	成井 研治	198-0036	青梅市河辺町4-20-4	0428-21-0252	
西多摩	大堀医院	大堀 洋一	198-0023	青梅市今井5-2440-159	0428-31-9098	
西多摩	東福生むさしの台クリニック	川島 雅之	197-0013	福生市武蔵野台1-1-7 センチュリー武蔵野台1F	042-539-1223	
八王子市	加地医院	加地 はるみ	193-0816	八王子市大楽寺町137	042-651-5341	○
八王子市	まつもと小児・アレルギークリニック	松本 勉	192-0364	八王子市南大沢2-2 パオレ5F	042-679-6051	
八王子市	のま小児科	野間 清司	192-0916	八王子市みなみ野3-1-8	042-632-7327	
八王子市	京王八王子クリニック	末松 隆二	192-0046	八王子市明神町4-7-14 八王子ONビル2F	042-645-7878	
八王子市	北野小児科	廣田 保蔵	192-0906	八王子市北野町545-3 きたのタウン6F	042-645-8715	
八王子市	小児科加藤醫院	加藤 直樹	192-0919	八王子市七国4-9-3	042-632-7950	
八王子市	なかよしこどもクリニック	朝長 香	192-0355	八王子市堀之内2-6-5 森本ビル201	042-679-6778	
八王子市	こどもクリニック南大沢	保坂 暁子	192-0364	八王子市南大沢2-27 フレスコ南大沢4F	042-670-8700	
八王子市	はしもと小児科	橋本 政樹	193-0942	八王子市栢田町557-3	042-668-8555	
八王子市	こども診療所	小島 直樹	192-0054	八王子市小門町10-3	042-625-0023	
八王子市	スマイルこどもクリニック	森脇 弘隆	193-0832	八王子市散田町5-4-20	042-661-5529	
南多摩	須賀小児科	須賀 康正	191-0031	日野市高幡328	042-593-7888	
南多摩	佐々木クリニック	佐々木 榮一	191-0062	日野市多摩平1-8-10	042-585-2591	
南多摩	こどもクリニックしみず	清水 伸泰	206-0034	多摩市鶴牧1-24-1 新都心センタービル3F	042-373-0512	○
南多摩	桜井医院	桜井 健彦	206-0811	稲城市押立1254-1	042-378-3224	
南多摩	牛尾医院	牛尾 方信	191-0043	日野市平山6-5-13	042-591-2001	
南多摩	おおしろクリニック	大城 清彦	191-0016	日野市神明3-6-16 アメニティ明和館1F-1	042-589-6780	
南多摩	唐木田こどもクリニック	飛田 正俊	206-0035	多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル2C	042-355-8505	
南多摩	まえはら小児科	前原 幸治	206-0011	多摩市関戸4-72 聖蹟桜ヶ丘オーパ5F	042-374-5028	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
南多摩	もりこどもクリニック	森 直行	206-0824	稲城市若葉台4-18-4	042-350-6977	2018年1月31日まで
	平尾内科クリニック	竹田 有為子	206-0823	稲城市平尾3-7-26	042-331-8221	2018年2月1日から
町田市	風の子こどもクリニック	風張 眞由美	194-0015	町田市金森東1-25-29 金森メディカルプラザA-2	042-851-8630	
町田市	はやしクリニック	林 泉彦	194-0035	町田市忠生2-28-7	042-793-3055	○
町田市	やもりこどもクリニック	矢守 利次	195-0057	町田市真光寺2-37-11 鶴川台メディカルヴィレッジ 総合棟1F-A	042-737-3675	
町田市	しのはら小児クリニック	篠原 治	194-0003	町田市小川1-2-8	042-795-3003	
町田市	キッズクリニック智	渡邊 智子	194-0211	町田市相原町1652-1	042-700-6315	
町田市	豊川小児科内科医院	豊川 達記	194-0001	町田市つくし野2-18-18	042-795-4465	
町田市	村野小児科・アレルギー科	村野 浩太郎	196-0063	町田市野津田町1083	042-735-5777	
町田市	やすだこどもクリニック	保田 由喜治	194-0032	町田市本町田920-1	042-725-9056	
多摩立川	野上医院	五十嵐 弥生	190-0021	立川市羽衣町2-42-7	042-522-6010	○
多摩立川	内野産婦人科外科小児科	内野 孝子	186-0002	国立市東1-8-6 メディカルセンター	042-580-0112	
多摩立川	藤田医院	藤田 仁	208-0031	武蔵村山市岸1-25-1	042-560-0363	○
多摩立川	太陽こども病院	木内 巻男	196-0003	昭島市松原町1-2-1	042-544-7511	
多摩立川	医療法人社団瑞涼会 くぼしまこどもクリニック	久保嶋 慎二	185-0024	国分寺市泉町2-9-3 ハートフル西晴3F	042-300-1801	
多摩立川	めぐろクリニック	目黒 隆毅	190-0034	立川市西砂町6-6-16	042-520-1234	
多摩立川	さいわいこどもクリニック	宮田 章子	190-0002	立川市幸町1-11-3	042-536-7280	○
多摩立川	大田医院	大田 眞也	196-0022	昭島市中神町1237	042-541-0311	
多摩立川	マシュマロこどもクリニック	富士川 善直	185-0003	国分寺市戸倉4-45-5	042-320-1155	
多摩立川	くろさわ子ども&内科クリニック	黒澤 サト子	180-0011	国分寺市本多3-7-25	042-323-9630	○
多摩立川	大久保医院	新井 ゆみ	186-0011	国立市谷保7224	042-572-7775	
多摩立川	有村クリニック	有村 章	207-0014	東大和市南街4-10-6	042-590-0377	
多摩立川	さくらこどもクリニック	野口 幸男	207-0023	東大和市上台北3-393-1	042-566-8177	
多摩立川	伊奈平南クリニック	田中 こずえ	208-0023	武蔵村山市伊奈平4-4-1	042-560-1311	
多摩府中	ささもとこどもクリニック	笹本 和広	182-0036	調布市飛田給1-41-5 T・Oビル2F	042-498-4153	
多摩府中	ぬきいこどもクリニック	貫井 清孝	182-0022	調布市国領町4-8-1 プラザバレット2F	042-440-0215	
多摩府中	松本医院	松本 悦雄	180-0002	武蔵野市吉祥寺東町1-23-3	0422-22-5755	
多摩府中	おぎわらこどもクリニック	荻原 篤	180-0006	武蔵野市中町3-3-2	0422-60-5177	
多摩府中	きたのこどもクリニック	内藤 英紀	181-0003	三鷹市北野4-12-17 きたのメディカルパーク1階	0422-70-4150	
多摩府中	若林医院	若林 研司	181-0001	三鷹市井の頭4-16-10	0422-43-0526	
多摩府中	まつおか小児クリニック	松岡 典子	183-0034	府中市寿町2-4-42 ユープ府中3F	042-319-1020	○
多摩府中	岡山小児科・眼科医院	岡山 哲廣	184-0015	小金井市貫井北町5-28-16	042-342-4792	2018年9月30日まで
	東小金井駅前こどもクリニック	道下 崇史	184-0002	小金井市梶野町5-325-209 クリオ小金井パークフロント	042-387-1030	2018年10月1日から
多摩府中	石戸谷小児科	石戸谷 尚子	201-0012	狛江市中和泉1-1-1 狛江YSビル4F	03-3430-1070	
多摩府中	長谷川小児科医院	長谷川 正子	180-0001	武蔵野市吉祥寺北町2-8-5	0422-22-6804	
多摩府中	渡辺こどもクリニック	渡邊 直幸	181-0013	三鷹市下連雀9-5-1 泰成マンション1F	0422-41-1550	
多摩府中	つちや小児科	土屋 正己	181-0013	三鷹市下連雀4-16-11	0422-40-1488	
多摩府中	さくらんぼこどもクリニック	三日市 薫	183-0026	府中市南町4-43-1	042-340-8288	
多摩府中	おき医院	隠岐 直紀	183-0011	府中市白糸台5-24-1	042-354-1277	
多摩府中	日野クリニック	日野 佳昭	183-0034	府中市住吉町2-15-9	042-330-3600	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
多摩府中	すみれクリニック	篠崎 昌子	183-0021	府中市片町3-26-14	042-401-8461	
多摩府中	野々田小児科内科	野々田 昶	183-0013	府中市小柳町3-32-26	042-369-2561	
多摩府中	佐々木こどもクリニック	佐々木 伸彦	182-0006	調布市西つつじヶ丘3-37-2 横田ファイブ107	042-487-2433	
多摩府中	麻生こどもクリニック	麻生 泰二	182-0026	調布市小島町1-5-6 アールアンドエスビル3F	042-480-7810	
多摩府中	えんどう小児科	遠藤 泰弘	184-0002	小金井市梶野町4-2-32-103	0422-56-7211	2018年3月31日まで
	三枝耳鼻咽喉科・小児科医院	三枝 歌子	184-0004	小金井市本町5-19-32 三枝ビル2F	042-381-8221	2018年4月1日から
多摩府中	神保クリニック小児科	神保 修	201-0003	狛江市和泉本町1-2-13	03-3430-2818	
多摩小平	清水小児科内科医院	清水 達也	187-0001	小平市大沼町2-729-8	042-343-2255	
多摩小平	わかばこどもクリニック	渡邊 孫衛	189-0024	東村山市富士見町3-13-14	042-390-2700	
多摩小平	大塚小児科アレルギー科 クリニック	大塚 武	203-0053	東久留米市本町3-1-23	042-479-7300	
多摩小平	すぎはらこどもクリニック	杉原 聡	188-0004	西東京市西原町5-1-17	042-451-8680	
多摩小平	斉藤小児科内科クリニック	斉藤 喜親	202-0004	西東京市下保谷4-2-21	042-421-7201	
多摩小平	清瀬旭ヶ丘診療所	和田 光弘	204-0002	清瀬市旭ヶ丘2-5-4	042-491-2214	
多摩小平	鈴木小児科内科医院	鈴木 昌和	187-0045	小平市学園西町2-11-28	042-341-0353	○
多摩小平	中山小児科医院	中山 康子	187-0011	小平市鈴木町1-30-20	042-322-1231	
多摩小平	ちあきこどもクリニック	辻 千秋	187-0034	小平市栄町2-3-7	042-349-2012	
多摩小平	武こどもクリニック	深堀 俊彦	189-0013	東村山市栄町2-32-20-201	042-397-3374	○
多摩小平	あきつこどもクリニック	村上 綾子	189-0001	東村山市秋津町4-31-16	042-390-1150	
多摩小平	いくせ医院	木村 憲人	203-0013	東久留米市新川町1-4-18 わかさとビル1F	042-471-2304	
多摩小平	ひばりこどもクリニック	高山 順	188-0001	西東京市谷戸町3-11-9 長谷川ビル1F	042-438-8824	
多摩小平	すくすくkidsクリニック	高田 佳宜	188-0012	西東京市南町5-9-17	042-451-3027	
多摩小平	武蔵野総合クリニック	守山 典宏	204-0021	清瀬市元町1-8-30	042-496-7015	2018年12月31日まで
	宇都宮小児科内科クリニック	宇都宮 庄司	204-0021	清瀬市元町1-8-2 清水ビル3F	042-491-5556	2019年1月1日まで
島しょ	大島医療センター	清水 忠典	100-0101	大島町元町3-2-9	04992-2-2345	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、小児科病原体定点を兼ねる医療機関である。

2019年変更医療機関

2019年4月1日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
品川区	東品川クリニック	安座間 薫	140-0002	品川区東品川3-18-3	03-3472-6684	2019年3月31日まで
	千葉医院	千葉 光雄	140-0001	品川区北品川2-20-6	03-3471-3493	2019年4月1日から
西多摩	新井クリニック	新井 敏彦	190-1232	瑞穂町長岡1-51-2	042-557-0018	2019年3月31日まで
	ばば子どもクリニック	馬場 一徳	205-0011	羽村市五ノ神352-22	042-555-3788	2019年4月1日から

内科（155定点）

2018年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	神田診療所	高橋 淳	101-0047	千代田区内神田2-8-14	03-3256-0086	
中央区	松本内科院	松本 章一	104-0031	中央区京橋2-11-5-5F	03-4405-7480	
中央区	中央内科クリニック	村松 弘康	103-0013	中央区日本橋人形町2-7-8	03-3668-0088	
みなと	馬場クリニック	馬場 繁二	106-0045	港区麻布十番2-13-2	03-3454-7788	
みなと	もとやまクリニック	元山 幹雄	108-0072	港区白金1-8-9	03-3473-2866	
みなと	新田町ビル診療所	坪田 淳	108-0014	港区芝5-34-6 新田町ビル2F	03-3451-2619	
新宿区	高橋医院	高橋 秀和	169-0074	新宿区北新宿3-21-8	03-3371-8064	
新宿区	早稲田クリニック	小西 洋之	162-0045	新宿区馬場下町10 早稲田レストハウス2F	03-3208-2007	
新宿区	石井外科	石井 正彌	162-0065	新宿区住吉町8-2	03-3351-9338	
新宿区	磯貝クリニック	磯貝 祐貴子	169-0051	新宿区西早稲田2-4-8	03-3232-1776	
文京	八千代診療所	井上 博和	113-0001	文京区白山1-5-8	03-3811-4519	
文京	森谷医院	森谷 茂樹	113-0022	文京区千駄木5-43-11	03-3821-0128	
文京	大橋内科クリニック	大橋 誠	113-0024	文京区西片2-15-11	03-5842-8670	
台東	関戸クリニック	関戸 俊樹	111-0035	台東区西浅草2-14-3	03-3844-8666	
台東	城所医院	城所 功文	110-0014	台東区北上野2-26-5	03-3844-0510	○
台東	かとう医院	加藤 元浩	110-0003	台東区根岸3-12-14	03-5603-7161	
墨田区	大室医院	大室 博之	130-0012	墨田区太平3-2-7	03-3622-0629	
墨田区	東京曳舟病院	古城 資久	131-0032	墨田区東向島2-27-1	03-5655-1120	
墨田区	さとう内科クリニック	佐藤 和子	130-0004	墨田区本所4-13-3-1F	03-5819-6505	○
江東区	小林クリニック	小林 昭夫	136-0072	江東区大島4-1-6-105	03-3684-0481	
江東区	みやたけクリニック	宮武 俊秀	136-0074	江東区東砂4-23-6	03-5677-3232	
江東区	大陽ビルクリニック	中木 基江	135-0016	江東区東陽3-23-6 大陽ビル102	03-5635-5715	
江東区	望月内科クリニック	望月 俊男	135-0005	江東区高橋13-2 ヴィラロイヤル森下1F	03-5669-1531	
江東区	辰巳中央診療所	鳴海 章人	135-0053	江東区辰巳1-9-49-102	03-3521-0163	
品川区	白井クリニック	白井 寛	140-0014	品川区大井2-4-1	03-3771-7265	
品川区	千葉医院	千葉 光雄	140-0001	品川区北品川2-20-6	03-3471-3493	
品川区	遠藤医院	遠藤 紀雄	141-0021	品川区上大崎2-24-13-305	03-3492-6422	
品川区	青柳医院	青柳 豊	142-0042	品川区豊町1-4-15	03-3788-0801	
目黒区	杉田診療所	杉田 浩	153-0063	目黒区目黒1-5-19 目黒第一ビル	03-3493-2731	2018年12月31日まで
	駒場クリニック	下津浦 末博	153-0041	目黒区駒場2-4-5	03-6279-7557	2019年1月1日から
目黒区	清水クリニック	清水 嘉一	153-0051	目黒区上目黒5-19-40	03-3715-3290	
目黒区	阿部医院	清水 恵一郎	152-0032	目黒区平町2-5-7	03-3717-2288	
大田区	テクノポートクリニック	宮島 良征	144-0035	大田区南蒲田2-16-1 トキメックビル別館2F	03-5703-5522	
大田区	馬込中央診療所	寺門 節雄	143-0027	大田区中馬込1-5-8	03-3775-5631	
大田区	北條医院	北條 稔	143-0016	大田区大森北3-4-5	03-3768-0066	○
大田区	井出内科クリニック	井出 雅生	146-0092	大田区下丸子3-13-11	03-3757-2484	
大田区	松坂医院	松坂 聡	144-0047	大田区萩中1-6-28	03-3741-0985	
大田区	溝谷医院	溝谷 弘成	143-0012	大田区大森東2-1-4	03-3763-7371	
大田区	並木医院	並木 敦也	145-0065	大田区東雪谷5-27-13	03-3720-8041	
大田区	竹内内科小児科医院	竹内 昭一	145-0072	大田区田園調布本町40-12-201	03-3721-5222	
世田谷	亀井内科神経内科クリニック	亀井 敦行	158-0083	世田谷区奥沢4-15-7	03-3726-1108	
世田谷	古畑病院	古畑 正	154-0001	世田谷区池尻2-33-10	03-3424-0705	○
世田谷	幸野メディカルクリニック	幸野 敬子	157-0072	世田谷区祖師谷3-30-28	03-3483-1808	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、内科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
世田谷	竹川内科医院	竹川 享	156-0051	世田谷区宮坂1-41-20	03-3706-2341	
世田谷	医療法人社団 シンセリテイ いなみ内科クリニック	稲見 真木子	154-0024	世田谷区三軒茶屋1-13-7 三茶JOYビル2F	03-3413-1730	
世田谷	こうらクリニック	兒浦 利哉	154-0021	世田谷区豪徳寺1-23-22	03-3425-2333	
世田谷	高橋医院	高橋 由光	158-0094	世田谷区玉川3-23-22	03-3700-0232	
世田谷	荏原医院	荏原 包臣	158-0097	世田谷区用賀4-13-11	03-3700-0135	
世田谷	西島内科クリニック	西島 敬之郎	157-0068	世田谷区宇奈根3-1-21	03-5494-2020	
渋谷区	小林医院	小林 晴二郎	151-0064	渋谷区上原1-23-1	03-3467-3577	
渋谷区	しおぎざ内科	塩崎 正英	150-0002	渋谷区渋谷1-7-5 青山セブンハイツ2F	03-5485-3123	○
渋谷区	渡辺クリニック	渡辺 豊	151-0071	渋谷区本町3-10-3-202	03-3375-7361	
中野区	大場診療所	渡辺 茂	165-0034	中野区大和町3-40-6	03-3330-0073	
中野区	山田クリニック	山田 千津子	165-0026	中野区新井2-6-10	03-3386-0415	
中野区	東中野クリニック	飯国 紀一郎	164-0003	中野区東中野1-58-12	03-3361-2732	
中野区	溝口医院	溝口 雅康	164-0013	中野区弥生町2-12-9	03-3372-0035	
杉並	藤多クリニック	藤多 和義	167-0043	杉並区上荻1-9-1	03-3392-8811	
杉並	富士見丘医院	加茂 隆	168-0082	杉並区久我山5-20-1	03-3332-2401	○
杉並	河合内科クリニック	河合 章	167-0043	杉並区上荻3-1-11	03-3399-8563	
杉並	内山クリニック	内山 克己	168-0063	杉並区和泉3-6-2	03-5355-3535	
杉並	石井こども・内科循環器科 クリニック	石井 哲哉	166-0014	杉並区松ノ木1-6-21	03-3314-5677	
杉並	清水内科クリニック	清水 聡	166-0003	杉並区高円寺南1-7-4	03-3318-2431	
池袋	武藤クリニック	武藤 敬	171-0051	豊島区長崎1-22-11	03-3957-7065	
池袋	山下診療所大塚	山下 巖	170-0004	豊島区北大塚2-13-1 GHYビル5F	03-3910-6711	
池袋	目白おかの内科	岡野 晃	171-0031	豊島区目白3-16-15 茜ビル1F	03-5988-3363	
北区	青木内科クリニック	青木 薫	114-0024	北区西ヶ原1-46-17 旭レヂデンス1F	03-5961-1855	
北区	共和堂医院	増田 幹生	114-0001	北区東十条2-5-1	03-3911-0665	
北区	王子神谷齋藤クリニック	齋藤 広重	114-0003	北区豊島8-24-4	03-3911-5433	
北区	医療法人社団景星会赤羽 赤羽東口病院	河 一京	115-0045	北区赤羽1-38-5	03-3902-2131	
荒川区	水野クリニック	水野 武昭	116-0002	荒川区荒川1-49-2 サクラハイツ2F	03-3891-0219	
荒川区	飯土用内科	飯土用 誠也	116-0002	荒川区荒川3-23-13	03-3891-5858	
荒川区	東京リバーサイド病院	森野 文敏	116-0003	荒川区南千住8-4-4	03-5850-0311	
板橋区	平山医院	平山 貴度	174-0064	板橋区中台1-46-3	03-3932-3598	
板橋区	岡部医院	岡部 洋太郎	173-0004	板橋区板橋3-37-1	03-3961-0416	
板橋区	天木診療所	天木 聡	174-0053	板橋区清水町47-7	03-3961-3913	○
板橋区	野口医院	野口 晟	175-0082	板橋区高島平1-43-1	03-3932-9700	2018年1月31日まで
	高島平東口クリニック	梅原 有弘	175-0082	板橋区高島平8-5-10 MAビル3F	03-3933-1213	2018年3月1日から
板橋区	伊藤内科小児科クリニック	伊藤 景樹	175-0094	板橋区成増1-17-10	03-3930-5114	
板橋区	多比良医院	多比良 清	175-0094	板橋区成増4-13-2	03-3975-8139	
練馬区	川邊内科	川邊 敏之	177-0044	練馬区上石神井2-26-15	03-3920-6810	○
練馬区	練馬第一診療所	矢田 毅	179-0083	練馬区平和台4-20-16	03-3933-8957	
練馬区	すずしろ診療所	黒部 信一	176-0001	練馬区練馬1-15-1 堀越ビル2階	03-3557-1131	
練馬区	金谷クリニック	金谷 斎	179-0072	練馬区光が丘2-4-11-102	03-3979-2331	
練馬区	豊島医院	豊島 良一	177-0041	練馬区石神井町1-22-8	03-3996-0014	
練馬区	若井内科・呼吸器科	若井 安理	178-0061	練馬区大泉学園町7-15-16 ハナブサ第一ビル3階	03-5933-2011	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、内科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
練馬区	長嶺医院	稲田 直行	178-0063	練馬区東大泉7-7-9	03-3922-6122	
練馬区	水谷内科呼吸器科クリニック	水谷 清二	178-0063	練馬区東大泉6-51-4 TKマンション1F	03-3867-8141	
足立	城北診療所	須藤 秀明	123-0852	足立区関原2-38-21	03-3840-5474	2018年5月1日代表者変更
		山村 彰義				
足立	久勝医院	久勝 章司	120-0013	足立区弘道2-1-3	03-3889-4714	
足立	健愛クリニック	鈴木 篤	120-0023	足立区千住曙町37-8	03-5813-1805	
足立	山一ビル内科クリニック	有野 亨	121-0815	足立区島根3-8-1	03-3884-8888	
足立	天沼医院	天沼 満	121-0812	足立区西保木間4-5-14-2	03-3883-8855	
足立	佐々木医院	佐々木 照	120-0005	足立区綾瀬2-26-17	03-5680-0566	
足立	旭医院	青木 哲	120-0026	足立区千住旭町9-15	03-3888-3508	
葛飾区	吉川内科医院	吉川 昌一	125-0063	葛飾区白鳥3-31-2-101	03-3602-8723	
葛飾区	遠藤医院	遠藤 啓一郎	125-0052	葛飾区柴又3-12-18	03-3607-1636	
葛飾区	富田医院	富田 秀人	124-0022	葛飾区奥戸5-1-18	03-3692-3026	
葛飾区	久保島医院	久保嶋 武仁	124-0001	葛飾区小菅2-25-10	03-3602-2746	
葛飾区	猪口医院	猪口 幸子	125-0052	葛飾区柴又4-6-14	03-5693-1511	
江戸川	同愛会病院	椿 浩司	132-0031	江戸川区松島1-42-21	03-3654-3311	
江戸川	医療法人社団美友梨会 福田クリニック	福田 徹	133-0065	江戸川区南篠崎町2-38-13	03-3679-2011	
江戸川	京谷医院	京谷 淳	133-0051	江戸川区北小岩6-17-7	03-3671-8103	
江戸川	小暮医院	小暮 堅三	133-0042	江戸川区興宮町16-13	03-3653-5347	
江戸川	中川医院	中川 陽之	132-0034	江戸川区小松川3-75	03-3684-2534	
江戸川	葛西中央病院	土谷 明男	134-0091	江戸川区船堀7-10-3	03-3680-8121	
江戸川	恵仁堂医院	山上 恵一	133-0052	江戸川区東小岩4-10-5	03-3657-4416	○
西多摩	福生クリニック	玉木 一弘	197-0012	福生市加美平3-35-13	042-551-2312	
西多摩	日の出ヶ丘病院	神尾 重則	190-0181	日の出町大久野310	042-597-0811	
西多摩	片平医院	片平 潤一	198-0036	青梅市河辺町10-16-20	0428-21-1741	○
西多摩	近藤医院	近藤 之暢	197-0827	あきる野市油平35	042-558-0506	
西多摩	双葉クリニック	松崎 潤	205-0022	羽村市双葉町1-1-15	042-570-1588	
西多摩	石畑診療所	小林 康弘	190-1211	西多摩郡瑞穂町石畑207	042-557-0072	
八王子市	秋山内科医院	秋山 幸久	192-0904	八王子市子安町1-32-7	042-643-0212	
八王子市	京王八王子駅前診療所	田中 光彦	192-0046	八王子市明神町4-7-1 京王駅前ビル5F	042-645-8228	○
八王子市	近藤内科医院	近藤 一英	193-0824	八王子市長房町1502-30	042-661-6035	
八王子市	遠山内科・循環器クリニック	遠山 博	192-0916	八王子市みなみ野2-16-3 モンパルテ1F	042-632-8033	
八王子市	伊藤内科消化器医院	伊藤 均	192-0045	八王子市大和田町4-15-14	042-642-6734	
八王子市	南大沢クリニック	佐々木 容三	192-0364	八王子市南大沢5-14-4-1	042-674-7766	
八王子市	横川内科クリニック	島村 嘉一	192-0823	八王子市横川町550-23 矢野ビル1F	042-625-7711	
南多摩	斉藤内科呼吸器科	斉藤 宣照	206-0025	多摩市永山4-2-6-202	042-373-2522	
南多摩	土方クリニック	土方 英史	191-0024	日野市万願寺1-13-1	042-587-7171	
南多摩	中川クリニック	中川 均	191-0041	日野市南平7-18-11	042-594-0313	
南多摩	やはの内科・胃腸科クリニック	矢羽野 壮光	206-0011	多摩市関戸1-11-9 桜ヶ丘富沢ビル6F	042-356-3761	
南多摩	長峰クリニック	武井 滋	206-0821	稲城市長峰2-2-2	042-350-7171	
町田市	こばやし医院	小林 信正	194-0012	町田市金森1-26-15	042-726-3431	
町田市	中村クリニック	中村 豊	194-0036	町田市木曽東3-20-28	042-792-0033	2018年6月1日から
町田市	泰生医院	金沢 健雅	194-0212	町田市小山町2470-5	042-797-7423	
町田市	成田クリニック	成田 雅弘	194-0011	町田市成瀬ヶ丘2-23-16	042-795-1281	○
町田市	はやし内科クリニック	林 淳弘	195-0057	町田市真光寺2-37-11	042-736-5501	
多摩立川	つづきクリニック	都築 義和	190-0013	立川市富士見町4-10-18	042-540-4180	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、内科病原体定点を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
多摩立川	平田循環器・内科	平田 俊吉	190-0002	立川市幸町2-45-9	042-537-4850	○
多摩立川	まことクリニック	腰塚 誠二	196-0003	昭島市松原町2-9-1	042-546-2800	
多摩立川	国分寺内科中央病院	松本 めぐみ	185-0022	国分寺市東元町2-3-19	042-322-0131	
多摩立川	新田クリニック	新田 國夫	186-0005	国立市西2-26-29	042-574-3355	
多摩立川	半田医院	半田 宏一	208-0013	武蔵村山市大南3-54-16	042-564-8649	
多摩立川	高橋医院	高橋 英樹	207-0021	東大和市立野2-3-17	042-565-7001	
多摩府中	赤須内科クリニック	赤須 文彰	183-0006	府中市緑町2-17-9	042-334-0780	
多摩府中	小林内科	小林 肇	182-0035	調布市上石原2-30-22	042-482-8623	
多摩府中	田原医院	田原 順雄	180-0014	武蔵野市関前3-3-9	042-251-8458	
多摩府中	渡辺医院	渡辺 滋	180-0004	武蔵野市吉祥寺本町4-7-9	0422-22-8937	
多摩府中	岡庭医院	岡庭 孝	181-0001	三鷹市井の頭3-21-16	0422-43-8367	
多摩府中	いりえ内科クリニック	入江 哲也	181-0003	三鷹市北野4-5-30 キューブコート鳥山101号	03-5314-3577	
多摩府中	府中よつやクリニック	市川 雅	183-0035	府中市四谷3-37-14	042-336-7222	
多摩府中	仙川さとうクリニック	佐藤 正邦	182-0002	調布市仙川町2-18-15 メゾン仙川1F	03-5315-7373	
多摩府中	武蔵小金井クリニック	金光 寛承	184-0004	小金井市本町5-19-33	042-384-0080	
多摩府中	柏田内科クリニック	柏田 和子	201-0001	狛江市西野川1-15-19	03-3430-0222	○
多摩府中	中村内科クリニック	中村 公彦	183-0031	府中市西府町2-12-1	042-362-2112	
多摩府中	辻医院	荒井 敏	182-0034	調布市下石原3-60-4	042-482-2891	
多摩小平	松岡内科クリニック	松岡 緑郎	187-0002	小平市花小金井1-1-11 エメラルドビル3F	042-426-8080	
多摩小平	高橋内科クリニック	高橋 英二	189-0011	東村山市恩多町4-1-23	042-395-3553	
多摩小平	水谷医院	水谷 良子	189-0013	東村山市栄町1-13-1	042-390-5522	
多摩小平	宮本医院	宮本 兼吾	204-0022	清瀬市松山1-42-6	042-491-0547	
多摩小平	山口内科・呼吸器科クリニック	山口 規夫	203-0053	東久留米市本町3-12-2	042-472-2386	○
多摩小平	廣川クリニック	廣川 豊	202-0012	西東京市東町4-8-28 JUN西東京市101	042-425-6476	
多摩小平	保谷内科・呼吸器科クリニック	保谷 功	202-0005	西東京市住吉町6-1-26	042-458-7870	
多摩小平	井上内科クリニック	井上 玄	187-0042	小平市仲町268-6 サライ仲町102	042-342-0056	
島しょ	小笠原村診療所	野沢 有二	100-2101	小笠原村父島清瀬	04998-2-3800	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、内科病原体定点を兼ねる医療機関である。

2019年変更医療機関

2019年4月1日 現在

品川区	千葉医院	千葉 光雄	140-0001	品川区北品川2-20-6	03-3471-3493	2019年3月31日まで
	さとうクリニック	佐藤 慶一	140-0004	品川区南品川2-17-25	03-3450-0010	2019年4月1日から

眼科 (39定点)

2018年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
中央区	宮下眼科医院	宮下 公男	104-0031	中央区京橋2-5-18 3F	03-3564-0240	
新宿区	東京女子医科大学病院眼科	篠崎 和美	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111	○*
新宿区	東京医科大学病院眼科	森 秀樹	160-0023	新宿区西新宿6-7-1	03-3342-6111	
文京	順天堂大学医学部眼科	村上 晶	113-0033	文京区本郷3-1-3	03-3813-3111	
墨田区	毛塚眼科医院	毛塚 剛司	131-0033	墨田区向島1-5-7	03-3622-0941	
江東区	さとう眼科	佐藤 明	136-0076	江東区南砂6-1-11	03-3645-5441	
品川区	濱崎眼科医院	濱崎 陞	140-0014	品川区大井3-18-17	03-3776-4197	
目黒区	にっこのクリニック	入戸野 晋	152-0011	目黒区原町2-1-24	03-5704-4092	
大田区	朝広眼科	朝広 信彦	146-0085	大田区久が原5-17-9	03-3751-7757	
大田区	下丸子眼科クリニック	藤井 孝	146-0092	大田区下丸子1-6-24 グランドステラ下丸子1F	03-5741-2400	
世田谷	烏山眼科医院	福下 公子	157-0062	世田谷区南烏山5-16-20 二番館ハラジマビル3F	03-3308-0777	
世田谷	喜多見眼科	熊川 美代子	157-0067	世田谷区喜多見8-18-10 小泉ビル3F	03-5494-7878	
渋谷区	細川眼科クリニック	細川 可奈	150-0012	渋谷区広尾5-14-2 広尾KKビル4F	03-5423-7023	○
中野区	福田眼科医院	福田 敏雅	165-0026	中野区新井2-33-1	03-3386-3700	
杉並	荒木眼科医院	荒木 博子	167-0042	杉並区西荻北2-9-10	03-3395-3091	○
池袋	大木眼科	大木 孝太郎	171-0014	豊島区池袋2-17-1	03-3971-2598	
北区	秋山眼科医院	秋山 健一	114-0023	北区滝野川3-4-14	03-3915-5210	
荒川区	眼科アリモト	有本 啓三	116-0014	荒川区東日暮里5-51-7	03-3806-3720	
板橋区	フルヤ眼科クリニック	古谷 和正	173-0004	板橋区板橋1-22-8 古谷ビル2F	03-5375-4930	
板橋区	小暮眼科	小暮 慎二	175-0094	板橋区成増3-10-5	03-3979-3555	
練馬区	荻野眼科医院	荻野 公嗣	177-0041	練馬区石神井町1-25-10	03-3996-2021	
練馬区	氷川台眼科	長松 淳一	179-0084	練馬区氷川台3-38-8 内観堂ビル2F	03-5984-1900	
足立	三原眼科医院	三原 敬	123-0857	足立区本木北町14-6	03-3890-0785	
足立	菅田眼科	菅田 裕久	120-0034	足立区千住2-6	03-3881-2641	
葛飾区	的場眼科クリニック	伊藤 景子	125-0042	葛飾区金町6-13-9	03-3607-0657	
江戸川	松江八木橋眼科	八木橋 修	132-0025	江戸川区松江2-1-5 目々沢ビル	03-5607-3505	
江戸川	安田医院	安田 尚美	132-0011	江戸川区瑞江1-43-12	03-5666-7038	
八王子市	倉田眼科医院	倉田 美樹	192-0073	八王子市寺町55	042-622-1440	
八王子市	大熊眼科医院	大熊 京子	193-0835	八王子市千人町2-19-15 長塚ビル3F	042-667-3477	
西多摩	馬詰眼科	馬詰 良比古	197-0023	福生市志茂224-1	042-553-9521	
南多摩	小川眼科	小川 昭彦	206-0011	多摩市関戸2-40-1 ニッセイ聖蹟桜ヶ丘ビル3F	042-337-6660	
町田市	吉川眼科クリニック	吉川 啓司	194-0021	町田市中町1-3-1 小田桐ビル2F	042-739-0781	
多摩立川	天佑眼科医院	岡本 晴彦	207-0014	東大和市南街1-27-5	042-561-2965	
多摩立川	曾根医院	曾根 隆一郎	185-0012	国分寺市本町4-19-8	042-322-0516	
多摩府中	こはら眼科	小原 真樹夫	180-0006	武蔵野市中町1-4-4 スクウェア三鷹1F	0422-52-8871	
多摩府中	武蔵境眼科医院	村松 隆次	180-0023	武蔵野市境南町1-8-1 武蔵野STビル2F	0422-34-2117	
多摩府中	平山眼科医院	平山 信隆	183-0023	府中市宮町1-20-19 大津ビル2F	042-364-0300	
多摩小平	徳島診療所	中川 尚	189-0024	東村山市富士見町1-2-14	042-391-2525	○
多摩小平	つしま眼科医院	對馬 一仁	204-0021	清瀬市元町1-8-19 アーク清瀬201	042-496-2240	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、眼科病原体定点を兼ねる医療機関である。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。

性感染症（55定点）

2018年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	スバル医院	中村 憲司	100-0006	千代田区有楽町1-2-6	03-3580-9559	
千代田	(公社)東京都教職員互助会 三楽病院	平澤 潔	101-8326	千代田区神田駿河台2-5	03-3292-3981	
中央区	前田医院	前田 立雄	104-0045	中央区築地1-3-6	03-3541-0396	
中央区	弓削医院	弓削 文一	103-0014	中央区日本橋蠣殻町1-28-7	03-3666-3979	
中央区	対馬ルリ子女性ライフクリニック 銀座	対馬 ルリ子	104-0061	中央区銀座2-6-5 銀座トレシヤビル7F	03-3538-0283	
みなと	大原皮膚泌尿器科	大原 正雄	107-0052	港区赤坂2-14-33 栄屋清水ビル5階	03-3584-4821	
みなと	赤枝六本木診療所	赤枝 恒雄	106-0046	港区元麻布3-1-30	03-3405-1388	
新宿区	新宿さくらクリニック	澤村 正之	169-0073	新宿区百人町2-11-22	03-3364-6333	
新宿区	峰岸医院	峰岸 宏年	160-0023	新宿区西新宿5-9-19	03-3373-1686	
新宿区	植松医院	植松 幹雄	169-0075	新宿区高田馬場1-32-14 UKビル2F	03-3209-5608	
新宿区	阿蘇医院	阿蘇 哲	160-0008	新宿区三栄町1-1	03-3351-3224	
新宿区	竹下医院	竹下 寿子	169-0075	新宿区高田馬場2-14-22	03-3200-1281	
新宿区	(財)東京都保健医療公社 大久保病院	高田 淳子	160-8488	新宿区歌舞伎町2-44-1	03-5273-7711	
新宿区	しらかば診療所	井戸田 一郎	162-0065	新宿区住吉町8-28 B・STEPビル2階	03-5919-3127	
文京	細部医院	細部 高英	113-0031	文京区根津1-1-15	03-3822-6858	
台東	佐々木医院	佐々木貴子	111-0032	台東区浅草5-33-7	03-3872-6776	
台東	永寿総合病院	高橋 峰夫	110-8645	台東区東上野2-23-16	03-3833-8381	
墨田区	南外科泌尿器科	南 孝明	131-0032	墨田区東向島5-38-14	03-3614-2511	
墨田区	賛育会病院	鈴木 正明	130-0012	墨田区太平3-20-2	03-3622-9191	
江東区	尾関皮膚泌尿器科	尾関 全彦	135-0048	江東区門前仲町2-6-2 幸栄ビル3階	03-3630-1241	○
江東区	江東病院	宮崎 亮一郎	136-0072	江東区大島6-8-5	03-3685-2166	
品川区	東五反田クリニック	小川 秀彌	141-0022	品川区東五反田4-11-12 パトロール池田山102	03-3280-6762	
大田区	前村医院	前村 由美	143-0014	大田区大森中2-19-17	03-3761-3955	
大田区	東京蒲田病院	小山 豊	144-0051	大田区西蒲田7-10-1	03-3733-0525	
渋谷区	ムラキクリニック	村木 淳郎	151-0064	渋谷区上原1-33-10	03-5790-8333	
渋谷区	赤阪医院	赤阪 雄一郎	150-0001	渋谷区神宮前3-31-9	03-3401-7506	
渋谷区	JR東京総合病院	奥山 伸彦	151-8528	渋谷区代々木2-1-3	03-3320-2204	
渋谷区	東クリニック	東 哲徳	151-0073	渋谷区笹塚1-30-3 ピラージュ笹塚Ⅲ4F	03-3481-0380	
渋谷区	都立広尾病院	秋山 邦久	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181	
中野区	矢島外科泌尿器科	矢島 暎夫	165-0027	中野区野方5-7-22	03-3338-6911	2018年8月31日まで
	やなだクリニック	築田 周一	164-0013	中野区弥生町6-2-20	03-5342-9511	2018年9月1日から
中野区	新渡戸記念中野総合病院	吉野 修司	164-8607	中野区中央4-59-16	03-3382-1231	
杉並	荻窪駅前クリニック	吉田 正林	167-0051	杉並区荻窪5-27-8 FCビル4F	03-3220-9622	
杉並	荻窪病院	杉山 武	167-0035	杉並区今川3-1-24	03-3399-1101	
池袋	安康レディースクリニック	安康 善雄	171-0014	豊島区池袋2-42-3 オスカービル2F	03-3971-3544	
池袋	真和クリニック	森田 博人	171-0021	豊島区西池袋1-25-1	03-3971-3272	
池袋	渡辺胃腸科医院	渡辺 伸介	170-0005	豊島区南大塚1-53-1	03-3943-6371	○
北区	十条銀座診療所	平林 徹	114-0034	北区上十条2-27-17	03-3908-1826	
荒川	加藤産婦人科医院	加藤 寛彦	116-0001	荒川区町屋2-9-21	03-3895-3521	
板橋区	本多医院	本多 章乃	173-0023	板橋区大山町18-12	03-3959-0807	
板橋区	板橋中央総合病院	大橋 浩文	174-8691	板橋区小豆沢2-12-7	03-3967-1181	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、「性感染症病原体定点」を兼ねる医療機関である。

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
足立	長門クリニック	渡邊 秀樹	120-0002	足立区中川2-5-8	03-3605-3131	
足立	博慈会記念総合病院	林 達郎	123-0864	足立区鹿浜5-11-1	03-3899-1311	
江戸川	岩倉病院	岩倉 弘毅	133-0056	江戸川区南小岩7-28-4	03-3659-3215	○
江戸川	とおるクリニック	田中 徹	132-0011	江戸川区瑞江2-3-1-3F	03-5664-8020	
八王子市	新クリニック	福嶺 紀隆	193-0931	八王子市台町2-16-8	042-621-6203	
八王子市	西島産婦人科	西島 重信	193-0835	八王子市千人町1-8-5	042-661-6642	○
八王子市	米山産婦人科病院	花岡 素美	192-0065	八王子市新町2-12	042-642-5225	
八王子市	はぎの医院	萩野 陽一郎	192-0066	八王子市本町11-6	042-622-2206	
町田市	町田産婦人科菜の花クリニック	町田 利正	194-0045	町田市南成瀬7-14-1	042-728-1101	
多摩立川	泉医院	泉 康二	190-0012	立川市曙町2-14-16	042-522-2233	
多摩立川	こむかい産婦人科	小武海 成之	190-0022	立川市錦町2-3-30	050-3588-0123	
多摩府中	武蔵野陽和会病院	長倉 和彦	180-0012	武蔵野市緑町2-1-33	0422-52-3212	
多摩府中	武蔵野赤十字病院	泌尿器科部長	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111	*
多摩府中	都立多摩総合医療センター	医事課 医事管理係	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111	
多摩小平	真能クリニック	真能 純一	187-0045	小平市学園西町2-13-37 カミデビル2F	042-342-8280	

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、性感染症病原体定点を兼ねる医療機関である。

備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。

基幹 (25定点)

2018年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
千代田	東京通信病院	小野 正恵	102-8798	千代田区富士見2-14-23	03-5214-7111	○ *
千代田	(公社)東京都教職員互助会 三楽病院	総務課長	101-8326	千代田区神田駿河台2-5	03-3292-3981	
みなと	東京都済生会中央病院	小児科外来	108-0073	港区三田1-4-17	03-3451-8211	○ *
新宿区	(社)聖母会 聖母病院	猪野 雅孝	161-8521	新宿区中落合2-5-1	03-3951-1111	○ *
新宿区	東京女子医科大学病院	病院長	162-8666	新宿区河田町8-1	03-3353-8111	○ #
文京	がん・感染症センター 都立駒込病院	医事課長	113-8677	文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	○
墨田区	都立墨東病院	医事課長	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	03-3633-6151	○
大田区	(公財)東京都保健医療公社 荏原病院	医事課長	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	03-5734-8000	○
世田谷	国立成育医療研究センター	医事課長	157-8535	世田谷区大蔵2-10-1	03-3416-0181	
世田谷	公立学校共済組合 関東中央病院	医事課長	158-8531	世田谷区上用賀6-25-1	03-3429-1171	
渋谷区	都立広尾病院	医事課長	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181	○
杉並	立正佼成会附属佼成病院	倉山 亮太	166-0012	杉並区和田2-25-1	03-3383-1281	○ *
杉並	河北総合病院	岡井 隆広	166-8588	杉並区阿佐谷北1-7-3	03-3339-2121	
池袋	都立大塚病院	病歴係長	170-8476	豊島区南大塚2-8-1	03-3941-3211	○
板橋区	(公財)東京都保健医療公社 豊島病院	医事課長	173-0015	板橋区栄町33-1	03-5375-1234	○
葛飾	(公財)東京都保健医療公社 東部地域病院	医事課長	125-8512	葛飾区亀有5-14-1	03-5682-5111	○
西多摩	青梅市立総合病院	医事課長	198-0042	青梅市東青梅4-16-5	0428-22-3191	○
八王子市	東京医科大学 八王子医療センター	医事課長	193-0998	八王子市館町1163	042-665-5611	○
多摩立川	国家公務員共済組合連合会 立川病院	医事課長	190-8531	立川市錦町4-2-22	042-523-3131	○
多摩府中	都立多摩総合医療センター	医事課 医事管理係	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111	○
	都立小児総合医療センター	医事課 医事管理係	183-8561	府中市武蔵台2-8-29	042-300-5111	○
多摩府中	武蔵野赤十字病院	総務課長	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111	○
多摩小平	(公財)東京都保健医療公社 多摩北部医療センター	医事課長	189-8511	東村山市青葉町1-7-1	042-396-3811	○
多摩小平	公立昭和病院	医事課長	187-8510	小平市天神町2-450	042-461-0052	○
島しょ	町立八丈病院	業務課長	100-1511	八丈町三根26-11	04996-2-1188	○

(注) 備考欄に「○」の表示がある医療機関は、基幹病原体定点を兼ねる医療機関である。
 備考欄に「*」の表示がある医療機関は、「小児科定点」を兼ねる医療機関である。
 備考欄に「#」の表示がある医療機関は、「眼科定点」を兼ねる医療機関である。

疑似症単独（24定点）

2018年12月31日 現在

保健所名	医療機関名	氏名	郵便番号	所在地	電話番号	備考
新宿区	(公財) 東京都保健医療公社 大久保病院	庶務課庶務係	160-8488	新宿区歌舞伎町2-44-1 東京都健康プラザハイジア	03-5273-7711	2019年3月31日まで
文京	がん・感染症センター 都立駒込病院	庶務課	113-8677	文京区本駒込3-18-22	03-3823-2101	* 2019年3月31日まで
墨田区	都立墨東病院	医事課	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	03-3633-6151	* 2019年3月31日まで
品川区	N T T 東日本関東病院	感染症対策推進室	141-8625	品川区東五反田5-9-22	03-3448-6651	2019年3月31日まで
大田区	(公財) 東京都保健医療公社 荏原病院	医事課医事管理係	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	03-5734-8000	* 2019年3月31日まで
世田谷	自衛隊中央病院	医療安全評価官	154-0001	世田谷区池尻1-2-24	03-3411-0151	2019年3月31日まで
世田谷	国立成育医療研究センター	運営部医事課	157-8535	世田谷区大蔵2-10-1	03-3416-0181	2019年3月31日まで
世田谷	公立学校共済組合 関東中央病院	事務部 医事課外来係	158-8531	世田谷区上用賀6-25-1	03-3429-1171	2019年3月31日まで
渋谷区	都立広尾病院	医療サービス課 サービス推進係	150-0013	渋谷区恵比寿2-34-10	03-3444-1181	* 2019年3月31日まで
渋谷区	日本赤十字社医療センター	院内感染対策室	150-8935	渋谷区広尾4-1-22	03-3400-1311	2019年3月31日まで
池袋	都立大塚病院	医事課医事管理係	170-8476	豊島区南大塚2-8-1	03-3941-3211	* 2019年3月31日まで
板橋区	(公財) 東京都保健医療公社 豊島病院	医事課	173-0015	板橋区栄町33-1	03-5375-1234	* 2019年3月31日まで
板橋区	地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター	医事課医事管理係	173-0015	板橋区栄町35-2	03-3964-1141	2019年3月31日まで
足立	博慈会記念総合病院	小児科医局	123-0864	足立区鹿浜5-11-1	03-3899-1311	2019年3月31日まで
西多摩	青梅市立総合病院	医事課医事係	198-0042	青梅市東青梅4-16-5	0428-22-3191	* 2019年3月31日まで
南多摩	(公財) 東京都保健医療公社 多摩南部地域病院	庶務課庶務係	206-0036	多摩市中沢2-1-2	042-338-5111	2019年3月31日まで
八王子市	東海大学八王子病院	事務部総務課	192-0032	八王子市石川町1838	042-639-1110	2019年3月31日まで
多摩立川	国家公務員共済組合連合会 立川病院	医事課長	190-8531	立川市錦町4-2-22	042-523-3131	* 2019年3月31日まで
多摩立川	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター	事務部企画課	190-0014	立川市緑町3256	042-526-5511	2019年3月31日まで
多摩府中	都立多摩総合医療センター	医事課医事管理係	183-8524	府中市武蔵台2-8-29	042-323-5111	* 2019年3月31日まで
多摩府中	武蔵野赤十字病院	事務部総務課	180-8610	武蔵野市境南町1-26-1	0422-32-3111	* 2019年3月31日まで
多摩府中	杏林大学医学部付属病院	医療安全部	181-8611	三鷹市新川6-20-2	0422-47-5511	2019年3月31日まで
多摩小平	公立昭和病院	患者サービス課	187-8510	小平市天神町2-450	042-461-0052	* 2019年3月31日まで
島しょ	町立八丈病院	病院事務局管理係	100-1511	八丈町三根26-11	04996-2-1188	* 2019年3月31日まで

(注) 備考欄に「*」の表示がある医療機関は、基幹定点を兼ねる医療機関である。

2019年からの疑似症定点（5定点）

2019年4月1日現在

新宿	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター	医事管理課	162-8655	東京都新宿区戸山1-21-1	03-3202-7181	2019年4月1日から
文京	がん・感染症センター 都立駒込病院	医事課医事管理担当	113-8677	文京区駒込3-18-22	03-3823-2101	2019年4月1日から
墨田区	東京都立墨東病院	医事課医事管理担当	130-8575	墨田区江東橋4-23-15	03-3633-6151	2019年4月1日から
大田区	(公財) 東京都保健医療公社 荏原病院	庶務課庶務係	145-0065	大田区東雪谷4-5-10	03-5734-8000	2019年4月1日から
世田谷	自衛隊中央病院	企画室医療情報調整係	154-0001	世田谷区池尻1-2-24	03-3411-0151	2019年4月1日から

2 東京都感染症予防検討委員会委員名簿

2018年12月31日現在 : 順不同

氏 名	役 職
◎ 長 岡 常 雄	社会福祉法人 土佐希望の家 副施設長
○ 岡 部 信 彦	川崎市健康安全研究所長
○ 萩 原 温 久	萩原医院（東京小児科医会）
永 井 英 明	独立行政法人 国立病院機構東京病院臨床研究部長
尾 形 英 雄	結核予防会複十字病院副院長
前 田 秀 雄 *	北区保健所長
広 松 恭 子	町田市保健所長
今 村 顕 史	東京都立駒込病院感染症科部長
稲 見 成 之	東京都福祉保健局健康安全部食品危機管理担当課長
石 川 貴 敏	東京都健康安全研究センター 企画調整部健康危機管理情報課疫学情報担当課長
山 下 和 予	国立感染症研究所感染症疫学センター客員研究員
杉 下 由 行	東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課長
長谷川 道 彦	はせがわクリニック（東京泌尿器科医会）
北 村 邦 夫	一般社団法人日本家族計画協会理事長（東京産婦人科医会）
黒 澤 サト子	くろさわ子ども&内科クリニック（東京小児科医会）
井 上 賢 治	お茶の水・井上眼科クリニック（東京都眼科医会）
美 田 敏 宏	順天堂大学医学部 熱帯医学・寄生虫病学講座教授
桜 山 豊 夫 *	公益財団法人東京都結核予防会理事長
池 田 忠 生	元日本大学医学部准教授
川 上 一 恵	東京都医師会理事（疾病担当）

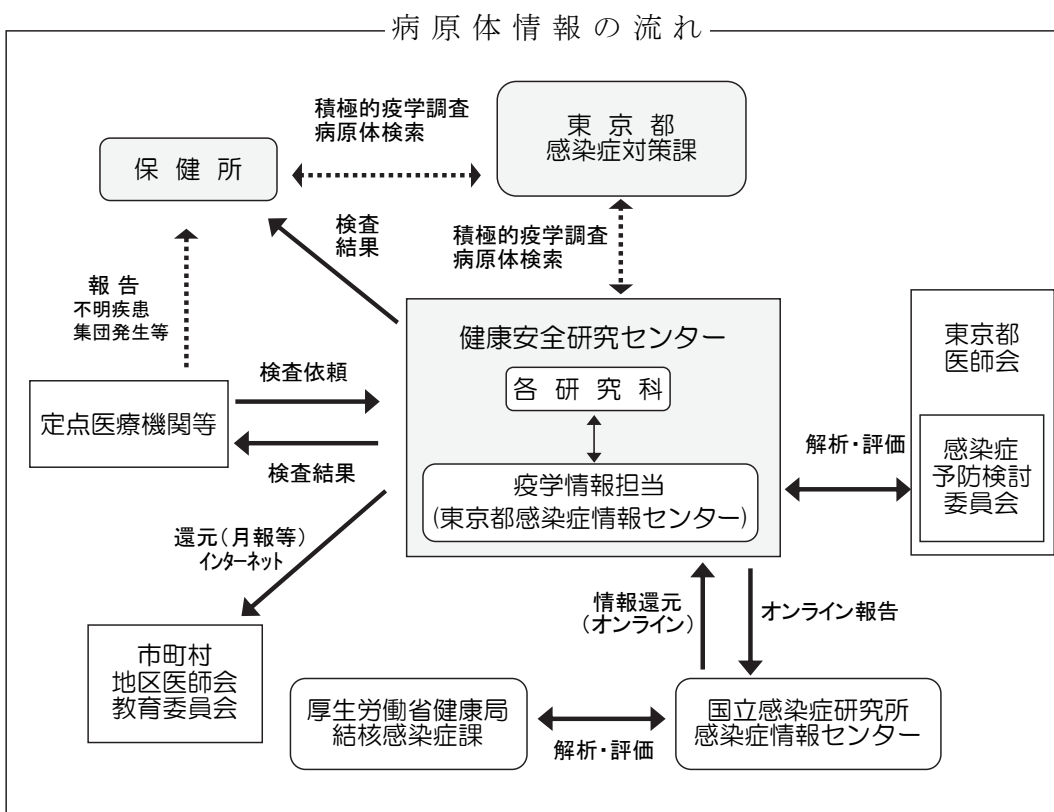
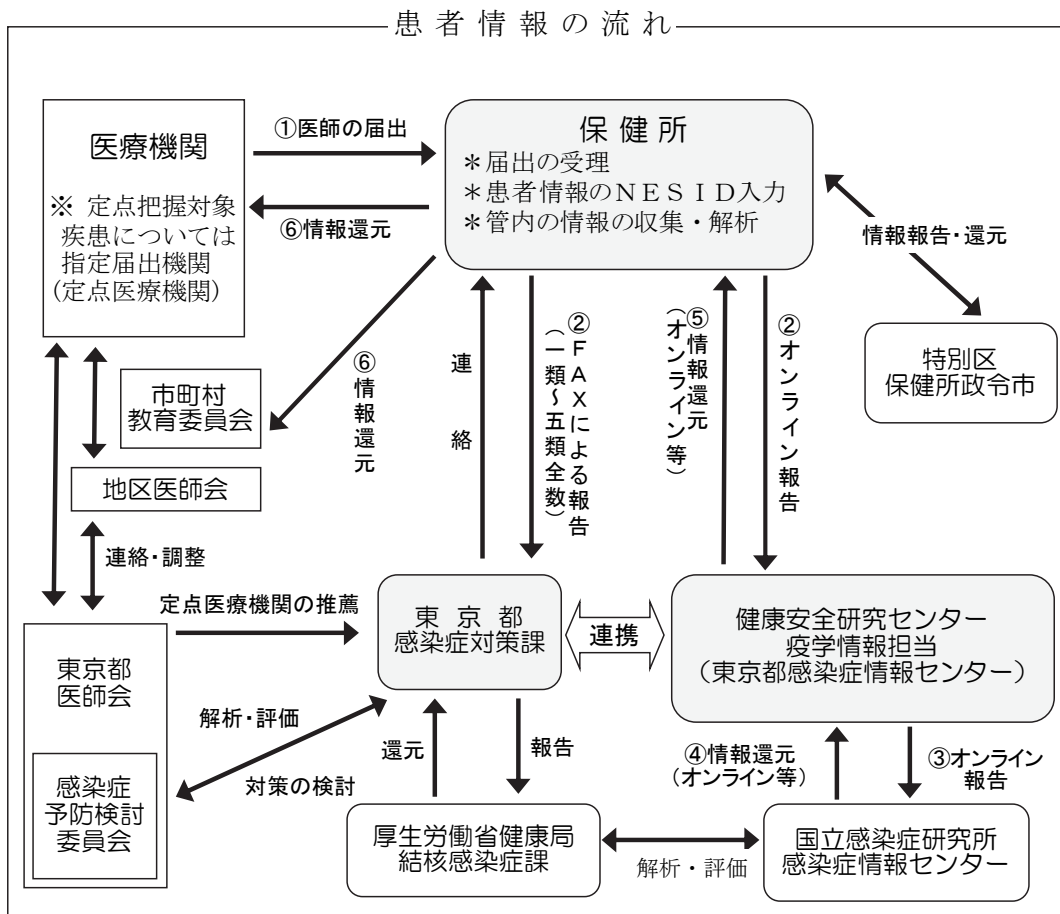
* 2018年4月1日から

◎委員長 ○副委員長

2018年3月31日まで

山 川 博 之	江戸川保健所長
平 山 宗 宏	東京大学名誉教授

3 東京都感染症発生動向調査事業の流れ



東京都感染症発生動向調査事業実施要綱

11 衛福結第680号
平成12年3月30日
最終改正 30 福保健感第1229号
平成31年3月11日

第1 趣旨及び目的

感染症発生動向調査事業については、昭和56年7月から18疾病を対象に開始され、昭和62年1月からは対象疾病を27に拡大するとともにコンピュータを用いたオンラインシステムを導入、以後、順次対象疾病の拡大を図りながら運用されてきたところである。

平成11年4月から施行された「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）により、本事業が、事前対応型行政を重視した感染症対策の一つとして位置づけられることになった。

これを受け、本事業は、感染症の発生状況の正確な把握と分析、その結果の国民や医療関係者への迅速な提供・公開により、感染症に対する有効かつ的確な予防・診断・治療に係る対策を図り、多様な感染症の発生及びまん延を防止するとともに、病原体情報を収集、分析することで、流行している病原体の検出状況及び特性を確認し、適切な感染症対策を立案することを目的として実施するものとする。

第2 根拠法令等

本事業の実施に当たっては、感染症法及び国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱に基づくものとする。

第3 対象感染症

この事業の対象とする感染症は、別表1のとおりとする。

第4 実施体制

1 地方感染症情報センター及び基幹地方感染症情報センター

地方感染症情報センターは、東京都、特別区及び保健所政令市における患者情報、疑似症情報及び病原体情報（検査情報を含む。以下同じ。）を収集・分析し、東京都、特別区及び保健所政令市の本庁に報告するとともに、全国情報と併せて、これらを速やかに医師会等の関係機関に提供・公開するために、東京都及び各特別区内に1か所、地方衛生研究所等の中に設置されている。

基幹地方感染症情報センターである東京都健康安全研究センター（以下「健康安全研究センター」という。）は、東京都全域の患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・分析し、その結果を各地方感染症情報センターに送付する。

2 指定届出機関及び指定提出機関（定点）

- (1) 東京都は、定点把握対象の感染症についての、患者情報及び疑似症情報を収集するため、感染症法第14条第1項に規定する指定届出機関として、患者定点及び疑似症定点をあらかじめ選定する。

- (2) 東京都は、定点把握対象の五類感染症についての、患者の検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）を収集するため、病原体定点をあらかじめ選定する。なお、感染症法施行規則第7条の2に規定する五類感染症については、感染症法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として、病原体定点を選定する。

3 検査施設

東京都内における本事業に係る検体等の検査については、健康安全研究センターにおいて実施する。健康安全研究センターは、検査施設における病原体等検査の業務管理要領（以下「病原体検査要領」という。）に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努めることとする。

第5 事業の実施

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるもの）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症、五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるもの）、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症を「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項及び第14条第2項に基づく届出の基準等について」（平成18年3月8日付健感発第0308001号厚生労働省健康局結核感染症課長通知、平成31年2月21日最終改正。以下「届出基準」という。）に基づき診断した場合は、本要綱の別記様式8から9、及び11から74を用いて、直ちに最寄りの保健所に届出を行う。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供について、依頼又は命令を受けた場合にあっては、検体等を提供する。

ウ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼等するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局健康安全部感染症対策課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターは、検体等が送付された場合にあっては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健

所、福祉保健局健康安全部感染症対策課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(エ) 健康安全研究センターは、患者が一類感染症と診断されている場合（疑いを含む。）又は東京都域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から求められた場合にあつては、福祉保健局健康安全部感染症対策課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。

(オ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

2 全数把握対象の五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるものを除く。）

(1) 調査単位及び実施方法

ア 診断した医師

全数把握対象の五類感染症（別表1の75、85及び86に掲げるものを除く。）を届出基準に基づき診断した医師は、国の定める届出基準の別記様式5-1から5-11、5-13から5-15、5-17から5-21、5-24並びに本要綱の別記様式10を用いて、7日以内に最寄りの保健所に届出を行う。

イ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあつては、検体等について、保健所に協力し、提供する。

ウ 保健所

(ア) 届出を受けた保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局健康安全部感染症対策課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

エ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所からの入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターは、検体等が送付された場合にあつては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、保健所、福祉保健局健康安全部感染症対策課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感

染症情報センターに報告する。

- (ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。
- (エ) 健康安全研究センターは、東京都域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあつては、福祉保健局健康安全部感染症対策課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。
- (オ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

3 定点把握対象の五類感染症

(1) 対象とする感染症患者の状態

各々の定点把握対象の五類感染症について、届出基準を参考とし、当該疾病の患者と診断される場合とする。

(2) 定点の選定

ア 患者定点

定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、東京都は次の点に留意し、関係医師会の協力を得て、医療機関の中から可能な限り無作為に患者定点を選定する。また、定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

(ア) 小児科定点

対象感染症のうち、別表1の88から99までに掲げるものについては、小児科を標ぼうする医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）を小児科定点として指定する。この場合において、小児科定点として指定された医療機関は、インフルエンザ定点として協力するよう努めること。

(イ) インフルエンザ定点

対象感染症のうち、別表1の100に掲げるインフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。以下同じ。）については、前記（ア）で選定した小児科定点のうちインフルエンザ定点として協力する小児科定点に加え、内科を標ぼうする医療機関（主として内科医療を提供しているもの）を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とする。

(ウ) 眼科定点

対象感染症のうち、別表1の101及び102に掲げるものについては、眼科を標ぼうする医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）を眼科定点として指定する。

(エ) 性感染症定点

対象感染症のうち、別表1の103から107までに掲げるものについては、産婦人科、産科若しくは婦人科（産婦人科系）、医療法施行令（昭和二十三年政令第三百二十六号）第三条の二第一項第一号ハ及びニ(2)の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科、泌尿器科又は皮膚科を標ぼうする医療機関（主として各々の標ぼう科の医療を提供しているもの）を性感染症定点として指定する。

(オ) 基幹定点

対象感染症のうち、別表1の100に掲げるインフルエンザ（届出基準はインフルエンザ定点と異なり、入院患者に限定される）、別表1の108から115までに掲げるものについては、患者を300人以上収容する施設を有する病院であって、内科及び外科を標榜する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を二次医療圏毎に1か所以上、基幹定点として指定する。

イ 病原体定点

病原体の分離等の検査情報を収集するため、東京都は次の点に留意し、関係医師会の協力を得て、病原体定点を選定する。また、定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

(ア) 医療機関を病原体定点として選定する場合は、原則として、患者定点として選定された医療機関の中から選定する。

(イ) アの(ア)により選定された患者定点の概ね10%を小児科病原体定点とし、別表1の88から99までを対象感染症とする。

(ウ) アの(ア)及び(イ)により選定された患者定点の概ね10%をインフルエンザ病原体定点とし、別表1の100を対象感染症とする。また、インフルエンザ病原体定点を、感染症法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として指定する。

(エ) アの(ウ)により選定された患者定点の中から眼科病原体定点を選定し、別表1の101及び102を対象感染症とする。

(オ) アの(エ)により選定された患者定点の中から性感染症病原体定点を選定し、別表1の103から107を対象感染症とする。

(カ) アの(オ)により選定された患者定点の中から基幹病原体定点を選定し、別表1の100に掲げるインフルエンザ（入院患者に限る。）、別表1の108から115までを対象感染症とする。

(3) 調査単位等

ア 患者情報

調査単位の期間等は、別表2のとおりとする。

イ 病原体情報

病原体情報のうち、(2)のイの(ウ)により選定された病原体定点に関するものについては、別表1の100に掲げるインフルエンザの流行期（(2)のアの(イ)により選定された患者定点あたりの患者発生数が東京都全体で1を超えた時点から1を下回るまでの間）には1週間（月曜日から日曜日）を調査単位とし、非流行期（流行期以外の期間）には各月を調査単位とする。その他病原体定点に関するものについては、各月を調査単位とする。

(4) 実施方法

ア 患者定点

(ア) 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準を参考とし、患者発生状況の把握を行うものとする。

(イ) (2)のアにより選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、それぞれの調査単位の患者発生状況を別記様式2から7に記載する。

(ウ) (イ)の届出に当たっては、感染症法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 病原体定点

(ア) 病原体定点として選定された医療機関は、必要に応じて病原体検査のために検体等採取

する。

(イ) 病原体定点は、検体等について、別記様式1の検査票を添付し、速やかに健康安全研究センターへ送付する。

(ウ) (2) のイの (イ) により選定された病原体定点においては、別表1の88から97までの対象感染症のうち、調査単位ごとに、概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を送付するものとする。

(エ) (2) のイの (ウ) により選定された病原体定点においては、別表1の100に掲げるインフルエンザ（インフルエンザ様疾患を含む。）について、調査単位ごとに、少なくとも1検体を送付するものとする。

ウ 検体等を所持している医療機関等

保健所等から当該患者の病原体検査のための検体等の提供の依頼を受けた場合にあっては、検体等について、保健所に協力し、提供する。

エ 保健所

(ア) 保健所は、患者定点から得られた患者情報が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症発生動向調査システムに入力するものとし、併せて、対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、福祉保健局健康安全部感染症対策課及び健康安全研究センターに報告する。

また、保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、病原体検査のための検体等の提供について依頼するものとする。なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じて福祉保健局健康安全部感染症対策課及び健康安全研究センターと協議する。

(イ) 保健所は、検体等の提供を受けた場合には、健康安全研究センターへ検査を依頼するものとする。

(ウ) 保健所は、定点把握の対象の五類感染症の発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

オ 健康安全研究センター

(ア) 健康安全研究センターは、管内の患者情報について保健所からの入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 健康安全研究センターは、別記様式1の検査票及び検体又は病原体情報が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、別記様式1により保健所、福祉保健局健康安全部感染症対策課に送付する。また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに報告する。

(ウ) 検査のうち、健康安全研究センターにおいて実施することが困難なものについては、必要に応じて、他の道府県等又は国立感染症研究所に協力を依頼する。

(エ) 健康安全研究センターは、東京都域を越えた感染症の集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められた場合にあっては、福祉保健局健康安全部感染症対策課等と協議の上、検体等を国立感染症研究所に送付する。

(オ) 基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

4 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(1) 対象とする疑似症の状態

各々の疑似症について、届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診断される場合とする。

(2) 疑似症定点の選定

東京都は、関係医師会の協力を得て、国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱第5の4(2)に定める基準を満たす医療機関の中から疑似症定点を選定する。また、疑似症定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ東京都全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

(3) 調査単位

調査単位の期間等は、別表3のとおりとする。

(4) 実施方法

ア 疑似症定点

(ア) 疑似症定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。

(イ) 疑似症定点として選定された医療機関は、届出基準に従い、直ちに疑似症発生状況を国の定める届出基準の別記様式6-7に記載する。なお、届出に当たっては、感染症法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 保健所

(ア) 保健所は、疑似症定点から得られた疑似症情報を、随時福祉保健局健康安全部感染症対策課に報告する。

また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報については、福祉保健局健康安全部感染症対策課及び健康安全研究センターに報告する。

(イ) 保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、市町村、指定届出機関、指定提出機関その他の関係医療機関、地区医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

ウ 福祉保健局健康安全部感染症対策課

福祉保健局健康安全部感染症対策課は保健所から得られた疑似症情報を健康安全研究センターに報告する。

エ 健康安全研究センター

基幹地方感染症情報センターである健康安全研究センターは、東京都内のすべての疑似症情報を収集し、汎用サーベイランスシステムに入力する。また、当該情報を分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

5 その他

(1) 上記の実施方法以外の部分について、必要と認められる場合には、東京都の実情に応じた追加を行い、地域における効果的・効率的な感染症発生動向調査体制を構築していくこととする。

(2) 感染症発生動向調査のために取り扱うこととなった検体等については、感染症の発生及びまん延防止策の構築、公衆衛生の向上のために使用されるものであり、それ以外の目的のために用いてはならない。また、検体採取の際には、その使用目的について説明の上、できるだけ、本人等に同意をとることが望ましい。なお、上記に掲げる目的以外の研究に使用する場合は、「人

を対象とする医学系研究に関する倫理指針」等の規定に従い行うものとする。

- (3) 本実施要綱に定める事項以外の内容については、必要に応じて福祉保健局長が定めることとする。

6 特別区及び保健所政令市との関係

東京都は、本事業を実施するため特別区及び保健所政令市と協議し、連携を図るものとする。

附 則

この実施要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成15年11月5日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成16年8月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成18年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成18年6月12日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成19年6月15日から施行し、同年4月1日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成20年1月31日から施行し、同年1月1日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成20年7月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成22年3月16日から施行し、同年3月11日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成23年2月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成23年9月5日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成25年5月22日から施行し、同年5月6日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成25年10月14日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成26年6月12日から施行し、同年5月12日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成26年8月13日から施行し、同年7月26日から適用する。附 則

この実施要綱は、平成26年9月19日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成27年2月25日から施行し、同年1月21日から適用する。

附 則

この実施要綱は、平成27年5月21日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成28年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成28年2月15日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成30年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成30年5月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成31年1月1日から施行する。

附 則

この実施要綱は、平成31年4月1日から施行する。

感染症法に基づく感染症の分類

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び指定感染症

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時期
一類	1 エボラ出血熱	○	○	○	全数	直ちに
	2 クリミア・コンゴ出血熱					
	3 痘そう					
	4 南米出血熱					
	5 ペスト					
	6 マールブルグ病					
	7 ラッサ熱					
二類	8 急性灰白髄炎	○	—	○	全数	直ちに
	9 結核	○	○	△※		
	10 ジフテリア	○	—	○		
	11 重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)	○	○	○		
	12 中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)	○	○	○		
	13 鳥インフルエンザ (H5N1)	○	○	○		
14 鳥インフルエンザ (H7N9)	○	○	○			
三類	15 コレラ	○	—	○	全数	直ちに
	16 細菌性赤痢	○	—	○		
	17 腸管出血性大腸菌感染症	○	—	○		
	18 腸チフス	○	—	○		
	19 パラチフス	○	—	○		
四類	20 E型肝炎	○	—	○	全数	直ちに
	21 ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む。)	○	—	○		
	22 A型肝炎	○	—	○		
	23 エキノコックス症	○	—	○		
	24 黄熱	○	—	○		
	25 オウム病	○	—	○		
	26 オムスク出血熱	○	—	○		
	27 回帰熱	○	—	○		
	28 キャサナル森林病	○	—	○		
	29 Q熱	○	—	○		
	30 狂犬病	○	—	○		
	31 コクシジオイデス症	○	—	○		
	32 サル痘	○	—	○		
	33 ジカウイルス感染症	○	—	○		
	34 重症熱性血小板減少症候群 (病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	○	—	○		
	35 腎症候性出血熱	○	—	○		
	36 西部ウマ脳炎	○	—	○		
	37 ダニ媒介脳炎	○	—	○		
	38 炭疽	○	—	○		
	39 チクングニア熱	○	—	○		
40 つつが虫病	○	—	○			
41 デング熱	○	—	○			
42 東部ウマ脳炎	○	—	○			
43 鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9を除く)	○	—	○			
44 ニバウイルス感染症	○	—	○			

※結核の無症状病原体保有者については、結核医療を必要としないと認められる場合は届出不要。

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出別	時期
四 類	45 日本紅斑熱	○	—	○	全数	直ちに
	46 日本脳炎	○	—	○		
	47 ハンタウイルス肺症候群	○	—	○		
	48 Bウイルス病	○	—	○		
	49 鼻疽	○	—	○		
	50 ブルセラ症	○	—	○		
	51 ベネズエラウマ脳炎	○	—	○		
	52 ヘンドラウイルス感染症	○	—	○		
	53 発しんチフス	○	—	○		
	54 ボツリヌス症	○	—	○		
	55 マラリア	○	—	○		
	56 野兎病	○	—	○		
	57 ライム病	○	—	○		
	58 リッサウイルス感染症	○	—	○		
	59 リフトバレー熱	○	—	○		
	60 類鼻疽	○	—	○		
61 レジオネラ症	○	—	○			
62 レプトスピラ症	○	—	○			
63 ロッキー山紅斑熱	○	—	○			
指定感染症	—	—	—	—	—	

※平成31年4月1日現在、政令に基づく指定感染症なし。

2 五類感染症（全数把握）

	疾患名	届出対象者			届出方法			
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出別	時期		
64	アメーバ赤痢	○	—	—	全数	7日以内		
65	ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	○	—	—				
66	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	○	—	—				
67	急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。)	○	—	—				
68	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	○	—	—				
69	クリプトスポリジウム症	○	—	—				
70	クロイツフェルト・ヤコブ病	○	—	—				
71	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	—	—				
72	後天性免疫不全症候群	○	—	○				
73	ジアルジア症	○	—	—				
74	侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	—	—				
75	侵襲性髄膜炎菌感染症	○	—	—			全数	直ちに
76	侵襲性肺炎球菌感染症	○	—	—			全数	7日以内
77	水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。)	○	—	—				
78	先天性風しん症候群	○	—	—				
79	梅毒	○	—	○				
80	播種性クリプトコックス症	○	—	—				
81	破傷風	○	—	—				
82	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	—	—				
83	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	—	—				
84	百日咳	○	—	—				
85	風しん	○	—	—				
86	麻しん	○	—	—	全数	直ちに		
87	薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	—	—	全数	7日以内		

3 新型インフルエンザ等感染症

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別	時期
116	新型インフルエンザ	○	○	○	全数	直ちに
117	再興型インフルエンザ	○	○	○		

4 五類感染症（定点把握）

	疾患名	届出対象者			届出方法	
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者	届出種別 (定点)	時期
88	RSウイルス感染症	○	—	—	別表2参照	
89	咽頭結膜熱	○	—	—		
90	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	—	—		
91	感染性胃腸炎	○	—	—		
92	水痘	○	—	—		
93	手足口病	○	—	—		
94	伝染性紅斑	○	—	—		
95	突発性発しん	○	—	—		
96	ヘルパンギーナ	○	—	—		
97	流行性耳下腺炎	○	—	—		
98	不明発しん症 (都単独)	○	—	—		
99	川崎病 (都単独)	○	—	—		
100	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	○	—	—		
101	急性出血性結膜炎	○	—	—		
102	流行性角結膜炎	○	—	—		
103	性器クラミジア感染症	○	—	—		
104	性器ヘルペスウイルス感染症	○	—	—		
105	尖圭コンジローマ	○	—	—		
106	淋菌感染症	○	—	—		
107	膻トリコモナス症 (都単独)	○	—	—		
108	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	○	—	—		
109	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	○	—	—		
110	細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)	○	—	—		
111	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	○	—	—		
112	マイコプラズマ肺炎	○	—	—		
113	無菌性髄膜炎	○	—	—		
114	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	—	—		
115	薬剤耐性緑膿菌感染症	○	—	—		

5 疑似症

	届出対象	届出対象者			調査単位 (期間)	時期
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者		
118	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したものの。	—	○	—	別表3参照	

五類感染症（定点把握）の調査単位と報告時期

定点種別	疾患名	調査単位 (期間)	時 期
小児科定点 ※	RSウイルス感染症	週単位 (月曜日から日曜日。以下同じ。)	次の月曜日
	咽頭結膜熱		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		
	感染性胃腸炎		
	水痘		
	手足口病		
	伝染性紅斑		
	突発性発しん		
	ヘルパンギーナ		
	流行性耳下腺炎		
	不明発しん症 (都単独)		
	川崎病 (都単独)		
インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)			
内科定点※	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	週単位	次の月曜日
眼科定点	急性出血性結膜炎	週単位	次の月曜日
	流行性角結膜炎		
性感染症 定点	性器クラミジア感染症	月単位	翌月初日
	性器ヘルペスウイルス感染症		
	尖圭コンジローマ		
	淋菌感染症		
	膣トリコモナス症 (都単独)		
基幹 定点	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	週単位	次の月曜日
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)		
	細菌性髄膜炎 (インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)		
	マイコプラズマ肺炎		
	無菌性髄膜炎		
	インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。入院患者のみ。)		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		

※小児科定点と内科定点を合わせてインフルエンザ定点とする。

疑似症の調査単位と報告時期

定点種別	届出対象	調査単位 (期間)	時 期
疑似症定点	発熱、呼吸器症状、発しん、消化器症状又は神経症状その他感染症を疑わせるような症状のうち、医師が一般に認められている医学的知見に基づき、集中治療その他これに準ずるものが必要であり、かつ、直ちに特定の感染症と診断することができないと判断したもの。	随時	直ちに

(注)

- 1 感染症法に規定する感染症によるものでないことが明らかである場合には、本届出の対象とはならない。
- 2 感染症法に規定する感染症によるものであることが明らかであり、かつ、いずれの感染症であるかが特定可能な場合には、当該感染症の届出基準に基づき届出を行うこととなるため、本届出の対象とはならない。
- 3 当該疑似症が発生した場合は直ちに報告するとともに、発生が無い場合についても週単位で報告する。

※ただし、2018年における疑似症の届出対象および報告時期については下記のとおりとなっている。

5 疑似症

	届出対象	届出対象者			調査単位 (期間)	時 期
		患者	疑似症患者	無症状病原体保有者		
118	摂氏38℃以上の発熱及び呼吸器症状 (明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。)	—	○	—	別表3参照	
119	発熱及び発しん又は水疱	—	○	—		

疑似症の調査単位と報告時期

定点種別	届出対象	調査単位 (期間)	時 期
疑似症定点	摂氏38℃以上の発熱及び呼吸器症状 (明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。)	随時及び週単位 (月曜日から日曜日)	直ちに及び 次の月曜日
	発熱及び発しん又は水疱		

(注)

- 1 感染症法に規定する感染症によるものでないことが明らかである場合には、本届出の対象とはならない。
- 2 感染症法に規定する感染症によるものであることが明らかであり、かつ、いずれの感染症であるかが特定可能な場合には、当該感染症の届出基準に基づき届出を行うこととなるため、本届出の対象とはならない。
- 3 当該疑似症が発生した場合は直ちに報告するとともに、発生が無い場合についても週単位で報告する。

別記様式一覧表

別記様式	件名等	別記様式	件名等
1	感染症発生動向調査病原体定点検査票	38	キャサナル森林病発生届
2	五類感染症（定点把握対象）小児科患者定点報告票	39	Q熱発生届
3	五類感染症（定点把握対象）インフルエンザ患者定点報告票	40	狂犬病発生届
4	五類感染症（定点把握対象）眼科患者定点報告票	41	コクシジオイデス症発生届
5	五類感染症（定点把握対象）性感染症患者定点報告票	42	サル痘発生届
6-1 6-2	五類感染症（定点把握対象）基幹患者定点報告票（週報告分）	43	ジカウイルス感染症発生届
7	五類感染症（定点把握対象）基幹患者定点報告票（月報告分）	44	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）発生届
8	麻疹発生届	45	腎症候性出血熱（HFRS）発生届
9	結核発生届	46	西部ウマ脳炎発生届
10	梅毒発生届	47	ダニ媒介脳炎発生届
11	風しん発生届	48	炭疽発生届
12	エボラ出血熱発生届	49	チクングニア熱発生届
13	クリミア・コンゴ出血熱発生届	50	つつが虫病発生届
14	痘そう発生届	51	デング熱発生届
15	南米出血熱発生届	52	東部ウマ脳炎発生届
16	ペスト発生届	53	鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9）を除く。）発生届
17	マールブルグ病発生届	54	ニバウイルス感染症発生届
18	ラッサ熱発生届	55	日本紅斑熱発生届
19	急性灰白髄炎発生届	56	日本脳炎発生届
20	ジフテリア発生届	57	ハンタウイルス肺症候群（HPS）発生届
21	重症急性呼吸器症候群（SARS）発生届	58	Bウイルス病発生届
22	中東呼吸器症候群（MERS）発生届	59	鼻疽発生届
23	鳥インフルエンザ（H5N1）発生届	60	ブルセラ症発生届
24	鳥インフルエンザ（H7N9）発生届	61	ベネズエラウマ脳炎発生届
25	コレラ発生届	62	ヘンドラウイルス感染症発生届
26	細菌性赤痢発生届	63	発しんチフス発生届
27	腸管出血性大腸菌感染症発生届	64	ボツリヌス症発生届
28	腸チフス発生届	65	マラリア発生届
29	パラチフス発生届	66	野兎病発生届
30	E型肝炎発生届	67	ライム病発生届
31	ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎含む）発生届	68	リッサウイルス感染症発生届
32	A型肝炎発生届	69	リフトバレー熱発生届
33	エキノコックス症発生届	70	類鼻疽発生届
34	黄熱発生届	71	レジオネラ症発生届
35	オウム病発生届	72	レプトスピラ症発生届
36	オムスク出血熱発生届	73	ロッキー山紅斑熱発生届
37	回帰熱発生届	74	侵襲性髄膜炎菌感染症発生届

各様式は東京都感染症情報センターに掲載（<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/survey/kobetsu>）

感染症発生動向調査病原体定点検査票

【医療機関記入欄】

医療機関名		医師名		【患者報告】 月 日 ~ 月 日 分で報告
患者報告を行った 該当する1種類の診断名にのみ○をつけてください。 (定点把握疾患の病原体の動向把握を目的とした検査ですので、下記の診断名の疾患を対象としています) ※発生動向調査事業の趣旨をご説明いただき、本人等の同意をとったうえで、検体採取をお願いいたします。				
診断名	小児科	・RSウイルス感染症 ・咽頭結膜熱 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 ・感染性胃腸炎 ・水痘 ・手足口病 ・伝染性紅斑 ・突発性発しん ・ヘルパンギーナ ・流行性耳下腺炎 ・川崎病 ・インフルエンザ ※インフルエンザ様疾患(上気道炎・下気道炎等)含む (迅速診断キット検査結果: A型陽性 B型陽性 陰性) ・不明発しん症		
	内科	・インフルエンザ ※インフルエンザ様疾患(上気道炎・下気道炎等)含む (迅速診断キット検査結果: A型陽性 B型陽性 陰性)		
	眼科	・流行性角結膜炎 ・急性出血性結膜炎		
	性感染症	・性器クラミジア感染症 ・性器ヘルペスウイルス感染症 ・尖圭コンジローマ ・淋菌感染症 ・膣トリコモナス症		
	基幹	・クラミジア肺炎(オウム病を除く) ・感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスに限る) ・マイコプラズマ肺炎 ・細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因とするものを除く) ・無菌性髄膜炎 ・インフルエンザ ※入院患者のみ (迅速診断キット検査結果: A型陽性 B型陽性 陰性) ・ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 ・メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 ・薬剤耐性緑膿菌感染症		
ID (イニシャル)				居住地 区市町村
発病日	年 月 日	検体採取日	年 月 日	性別 男・女 年齢 歳 ヵ月
検体	・便 ・直腸ぬぐい液 ・尿 ・髄液 ・咽頭ぬぐい液、うがい液、鼻汁 ・皮膚病巣(水疱内容、痂皮、創傷) ・吐物 ・喀痰 ・気管吸引液 ・陰部尿道頸管擦過物/分泌物 ・結膜ぬぐい液(結膜擦過物、眼脂) ・血液(全血、血清、血漿) ・その他 []			
	・発熱(最高 ℃) ・口内・咽頭所見() ・頭痛 ・唾液腺腫脹、リンパ節腫脹(部位) ・発疹(丘疹、紅斑、バラ疹、水疱) ・胃腸炎(下痢、血便、嘔気、嘔吐、腹痛) ・上気道/下気道炎(咽頭炎、扁桃炎、肺炎、気管支炎) ・肝機能障害 ・黄疸 ・出血傾向※全身のもの ・筋肉痛、関節痛 ・腎機能障害 ・神経系症状(脳炎、脳症、髄膜炎、意識障害) ・結膜炎、角膜炎、角結膜炎 ・尿路生殖器症状(排尿時痛、かゆみ、膿、下腹部痛、コンジローマ)			
転 帰	経過観察中、軽快、治癒、後遺症有り、死亡(原因)			
基礎疾患				
発生の状況	・散発 ・地域流行 ・家族内発生 ・集団発生(保育所、幼稚園、小学校、中学校、その他 [])			
最近の海外渡航歴	国名	期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
ワクチン接種歴 (当該疾患に係るもの)	(無、有、不明)		最近の接種年月日 年 月 日	
健安研への連絡事項				

センター記入欄につき
ここには記入しないでください。

(1) 複写 1組6枚 (医療機関控)

感染症発生動向調査（小児科定点）

週報

調査期間 平成 年 月 日(月) ~ 月 日(日) 医療機関名: _____

疾患名	年齢		~5	~11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	15	20歳	合計
	ヶ月	ヶ月	ヶ月	ヶ月										~14	~19	以上	
RSウイルス感染症	男																
	女																
咽頭結膜熱	男																
	女																
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男																
	女																
感染性胃腸炎	男																
	女																
水痘	男																
	女																
手足口病	男																
	女																
伝染性紅斑	男																
	女																
突発性発しん	男																
	女																
ヘルパンギーナ	男																
	女																
流行性耳下腺炎	男																
	女																
不明発しん症	男																
	女																
川崎病	男																
	女																

注1) 川崎病、不明発しん症は東京都独自の報告対象疾患です。

注2) 感染性胃腸炎については、原因の如何に関わらず、届出基準に合致する患者を診断し、又は死体を検索した場合に届出を行うこと。

疾患名	年齢		~5	~11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	15	20
	ヶ月	ヶ月	ヶ月	ヶ月										~14	~19	~29
インフルエンザ (鳥インフルエンザ 及び新型インフル エンザ等感染症を のぞく)	男															
	女															
			30	40	50	60	70	80歳	合計							
			~39	~49	~59	~69	~79	以上								
	男															
	女															

定点医療機関からのコメント

週報

感染症発生動向調査（インフルエンザ定点）

調査期間 平成 年 月 日 ~ 年 月 日

医療機関名: _____

インフルエンザ (鳥インフルエンザ 及び新型インフ ルエンザ等感染症 をのぞく)	0~5 カ月		6~11 カ月		1歳		2	3	4	5	6	7	8	9	10~ 14	15~ 19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70~ 79	80歳 以上	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		

定点医療機関 からのコメント	
-------------------	--

臨床診断例については、届出後であっても、血清抗体価の測定を実施するとともに、所在地の地方自治体に検体提出し、その結果について最寄りの保健所に報告していただき、検査結果等を総合的に勘案し、麻しんでないと判断された場合は届出の取り下げ等のご協力いただきますようお願いいたします。

麻 し ん 発 生 届

東京都知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第6項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 平成 年 月 日

医師の氏名 _____ 印 _____ （署名又は記名押印のこと）

従事する病院・診療所の名称 _____

上記病院・診療所の所在地(※) _____

電話番号(※) () - (※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検案）した者（死体）の種類					
・患者（確定例） ・感染症死亡者の死体					
2 当該者氏名	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(0歳は月齢)	6 当該者職業	
	男・女	年 月 日	歳 (か月)		
7 当該者住所					
電話 () -					
8 当該者所在地					
電話 () -					
9 保護者氏名	10 保護者住所 (9、10は患者が未成年の場合のみ記入)				
	電話 () -				

病 型	13 感染原因・感染経路・感染地域
1) 麻しん（検査診断例） 2) 麻しん（臨床診断例） 3) 修飾麻しん（検査診断例）	①感染原因・感染経路（確定・推定） 1 飛沫・飛沫核感染（感染源となった麻疹患者・状況：()） 2 接触感染（感染源となった麻疹患者・物の種類・状況：()） 3 その他（()）
11 症状 ・発熱（月 日出現） ・咳 ・鼻汁 ・結膜充血 ・眼脂 ・コプリック斑 ・発疹（月 日出現） ・肺炎 ・中耳炎 ・腸炎 ・クループ ・脳炎（急性脳炎の届出もお願いします） ・その他（()）	②感染地域（確定・推定） 1 日本国内（ 都道府県 市区町村） 2 国外（ 国 詳細地域() 渡航期間()）
12 診断方法 陰性結果を含め実施したものを全て記載して下さい。 (ア) 分離・同定による病原体の検出 検体：咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他() 検体採取日(月 日) 結果(陽性・陰性) 遺伝子型:() (イ) 検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出 検体：咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他() 検体採取日(月 日) 結果(陽性・陰性) 遺伝子型:() (ウ) 血清IgM抗体の検出 検体採取日(月 日) 結果(陽性・陰性・判定保留) 抗体価:() (エ) ペア血清での抗体の検出 検体採取日(1回目 月 日 2回目 月 日) 抗体価 (1回目 2回目) 結果：抗体陽転・抗体価の有意上昇 検査方法：EIA・HI・NT・PA・その他() (オ) その他の検査方法() 検体() 検体採取日(月 日) 結果() (カ) 臨床決定()	③麻しん含有ワクチン接種歴 1回目 有(歳)・無・不明 ワクチンの種類(麻しん単抗原・MR・MMR・不明) 接種年月日(S・H 年 月 日・不明) 製造会社/Lot番号(/ ・不明) 2回目 有(歳)・無・不明 ワクチンの種類(麻しん単抗原・MR・MMR・不明) 接種年月日(S・H 年 月 日・不明) 製造会社/Lot番号(/ ・不明)
	14 初診年月日 平成 年 月 日 15 診断（検案(※)）年月日 平成 年 月 日 16 感染したと推定される年月日 平成 年 月 日 17 発病年月日(*) 平成 年 月 日 18 死亡年月日(※) 平成 年 月 日
	19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項

この届出は診断後直ちに行ってください

(1, 3, 11 から 13 欄は該当する番号等を○で囲み、4, 5, 14 から 18 欄は年齢、年月日を記入すること。(※) 欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。(*) 欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。11, 12 欄は、該当するものすべてを記載すること。)

診断した医師の方へのお願い

感染症法第15条により、積極的疫学調査を実施致します（この場合、医師の守秘義務は解除されます）。しかし、迅速な感染拡大防止のため、保健所の調査前であっても、患者（又は保護者）の同意が得られた場合には、下記及び裏面調査票により情報提供をお願い致します。

ア. 集団生活：無、有（園児・小・中・高・大・その他の学生、施設入所者、その他()）	
イ. 集団に接する職業：無、有（保育士、教師、施設職員、医療従事者、その他()）	
ウ. 集団に接する機会：無、有（施設での実習、ボランティア活動、その他()）	
エ. 直近30日以内の海外滞在歴：無、有（国名：()）	
オ. 日本国内での滞在期間：長期滞在、一時滞在（帰国予定 年 月 日）	

保健所への裏面調査票記載の情報提供に関する患者（あるいは保護者）の同意 (有・無)

※ 迅速な感染源探索、二次感染対策に役立てるため、患者（あるいは保護者）の同意がとれた場合に、下記の事項について可能な限りご記入をお願いいたします。

1 患者の情報について記入してください。該当がない場合には「なし」に○をつけてください。

通学先・勤務先等	あり（ <input type="checkbox"/> ） なし（ <input type="checkbox"/> ）
同居者（家族・同室者等）	あり（ <input type="checkbox"/> ） なし（ <input type="checkbox"/> ）

2 感染源に関する情報（発症約2週間前に出かけた場所、会った人）

(1) 周囲に麻しんと診断された方はいましたか

いた （どなたですか ）

わからない

(2) 出かけた場所はどちらですか

- ・海外：渡航先
- ・職場や学校、保育所等：施設名
- ・人が多く集まる場所（クラブ活動、習い事、イベント、会食等）：名称
- ・その他：名称

3 二次感染に関する情報（発症1日前から解熱後3日目までに出かけた場所、会った人）

- ・職場や学校、保育所等：施設名
- ・人が多く集まる場所（クラブ活動、習い事、イベント、会食等）：名称
- ・医療機関：名称
- ・救急車、タクシーなど
- ・その他：名称

臨床診断例については、届出後であっても、血清抗体価の測定を実施するとともに、所在地の地方自治体に検体提出し、その結果について最寄りの保健所に報告していただき、検査結果等を総合的に勘案し、風しんでないと判断された場合は届出の取り下げ等のご協力いただきますようお願いいたします。

風 し ん 発 生 届

東京都知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 1 2 条第 1 項（同条第 6 項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 平成 年 月 日

医師の氏名

印

（署名又は記名押印のこと）

従事する病院・診療所の名称

上記病院・診療所の所在地(※)

電話番号(※)

（※病院・診療所に従事していない医師にあつては、その住所・電話番号を記載

1 診断（検査）した者（死体）の種類					
・患者（確定例） ・感染症死亡者の死体					
2 当該者氏名	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(0歳は月齢)	6 当該者職業	
	男・女	年 月 日	歳 (か月)		
7 当該者住所			電話 () -		
8 当該者所在地			電話 () -		
9 保護者氏名	10 保護者住所 (9、10は患者が未成年の場合のみ記入)				
	電話 () -				

病 型		13 感染原因・感染経路・感染地域
1)風しん（検査診断例）	2)風しん（臨床診断例）	①感染原因・感染経路（確定・推定）
11 症 状	・発熱（月 日出現） ・咳 ・鼻汁 ・結膜充血 ・発疹（月 日出現） ・リンパ節腫脹 ・関節痛・関節炎 ・血小板減少性紫斑病 ・脳炎（急性脳炎の届出もお願いします） ・その他（ ）	1 飛沫感染（感染源となった風しん患者・状況：） 2 接触感染（感染源となった風しん患者・物の種類・状況：） 3 その他（ ）
12 診断方法	陰性結果を含め実施したもの全て記載して下さい。 (ア) 分離・同定による病原体の検出 検体： 咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他（ ） 検体採取日（ 月 日 ） 結果（陽性・陰性） 遺伝子型：（ ） (イ) 検体から直接のPCR法による病原体遺伝子の検出 検体： 咽頭拭い液・血液・髄液・尿・その他（ ） 検体採取日（ 月 日 ） 結果（陽性・陰性） 遺伝子型：（ ） (ウ) 血清IgM抗体の検出 検体採取日（ 月 日 ） 結果（陽性・陰性・判定保留） 抗体価：（ ） (エ) ペア血清での抗体の検出 検体採取日（1回目 月 日 2回目 月 日） 抗体価（1回目 2回目）(単位) 結果：抗体陽転・抗体価の有意上昇 検査方法：HI・EIA・ELFA・LTI・CLEIA・LA その他（ ） (オ) その他の検査方法（ ） 検体（ ） 検体採取日（ 月 日 ） 結果（ ） (カ) 臨床決定（ ）	②感染地域（確定・推定） 1 日本国内（ 都道府県 市区町村） 2 国外（ 国 詳細地域 ） 渡航期間（ ） ③風しん含有ワクチン接種歴 1回目 有（ 歳）・無・不明 ワクチンの種類（風しん単抗原・MR・MMR・不明） 接種年月日（ S・H 年 月 日・不明） 製造会社/Lot番号（ / ・不明） 2回目 有（ 歳）・無・不明 ワクチンの種類（風しん単抗原・MR・MMR・不明） 接種年月日（ S・H 年 月 日・不明） 製造会社/Lot番号（ / ・不明）
		14 初診年月日 平成 年 月 日
		15 診断（検査(※)）年月日 平成 年 月 日
		16 感染したと推定される年月日 平成 年 月 日
		17 発病年月日（*） 平成 年 月 日
		18 死亡年月日（※） 平成 年 月 日
		19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のため に必要と認める事項 ・妊娠の有無(女性のみ) 有（ 週）・無・不明

この届出は診断後直ちに行ってください

（病型 1、3、11 から 13、19 欄は該当する番号等を○で囲み、4、5、14 から 18 欄は年齢、年月日を記入すること。

（※）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。（*）欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。

診断した医師の方へお願い

感染症法第 15 条により、積極的疫学調査を実施致します（この場合、医師の守秘義務は解除されます）。しかし、迅速な感染拡大防止のため、保健所の調査前であっても、患者（又は保護者）の同意が得られた場合には、下記及び裏面調査票により情報提供をお願い致します。

- ア. 集団生活：無、有（園児、小・中・高・大・その他の学生、施設入所者、その他（ ））
- イ. 集団に接する職業：無、有（保育士、教師、施設職員、医療従事者、その他（ ））
- ウ. 集団に接する機会：無、有（施設での実習、ボランティア活動、その他（ ））
- エ. 妊婦との接触：無、有
- オ. 直近 30 日以内の海外滞在歴：無、有（国名： ）
- カ. 日本国内での滞在期間：長期滞在、一時滞在（帰国予定 年 月 日）

保健所への裏面調査票記載の情報提供に関する患者（あるいは保護者）の同意（有・無）

※ 迅速な感染源探索、二次感染対策に役立てるため、患者（あるいは保護者）の同意がとれた場合に、下記の事項について可能な限りご記入をお願いいたします。

1 患者の情報について記入してください。該当がない場合には「なし」に○をつけてください。

通学先・勤務先等	あり（ ） なし
家族・同室者等	あり（ ） なし

2 感染源に関する情報（発症約3週間前に出かけた場所、会った人）

(1) 周囲に風しんと診断された方はいましたか

いた（ どなたですか ）

わからない

(2) 出かけた場所はどちらですか

- ・海外：渡航先
- ・職場や学校、保育所等：施設名
- ・人が多く集まる場所（クラブ活動、習い事、イベント、会食等）：名称
- ・その他：名称

3 二次感染に関する情報（発疹が出現する7日前から出現後5日目までに出かけた場所、会った人）

(1) 周囲に妊婦の方はいますか

いる（ どなたですか ）

いない

(2) 出かけた場所はどちらですか

- ・職場や学校、保育所等：施設名
- ・人が多く集まる場所（クラブ活動、習い事、イベント、会食等）：名称
- ・医療機関：名称
- ・救急車、タクシーなど：
- ・その他：名称

侵襲性髄膜炎菌感染症発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 1 2 条第 1 項（同条第 6 項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日 平成 年 月 日

医師の氏名 _____ 印 _____
 （署名又は記名押印のこと）

従事する病院・診療所の名称 _____
 上記病院・診療所の所在地(※) _____
 電話番号(※) () - _____

(※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断（検案）した者（死体）の種類					
・患者（確定例） ・感染症死亡者の死体					
2 当該者氏名	3 性別	4 生年月日	5 診断時の年齢(0歳は月齢)	6 当該者職業	
	男・女	年 月 日	歳 (月)		
7 当該者住所					
電話 () -					
8 当該者所在地					
電話 () -					
9 保護者氏名	10 保護者住所 (9、10は患者が未成年の場合のみ記入)				
	電話 () -				

11 症 状	・頭痛 ・嘔吐 ・意識障害 ・点状出血 ・髄膜炎 ・多臓器不全 ・発熱 ・発疹 ・項部硬直 ・ショック ・菌血症 ・その他 ()	・全身倦怠感 ・痙攣 ・大泉門膨隆 ・DIC ・関節炎 ・その他 ()	18 感染原因・感染経路・感染地域
	12 診断方法	・分離・同定による病原体の検出 検体：髄液・血液・その他 () 血清群：未実施・A群・B群・C群・Y群・W-135群・その他 () ・検体からの直接のPCR法による病原体遺伝子の検出 検体：髄液・血液・その他 () 血清群：未実施・A群・B群・C群・Y群・W-135群・その他 () ・その他の検査方法 () 検体 () 結果 ()	①感染原因・感染経路 (確定・推定) 1 飛沫・飛沫核感染 (感染源の種類・状況：) 2 接触感染 (接触した人・物の種類・状況：) 3 その他 () ②感染地域 (確定 ・ 推定) 1 日本国内 (都道府県 市区町村) 2 国外 (国) 詳細地域 () 渡航期間 () ③共同生活の有無 (有 ・ 無) 1 学生寮 2 社員寮 3 その他 () ④髄膜炎菌ワクチン接種歴 (有・無・不明)
13 初診年月日	平成 年 月 日	19 その他感染症のまん延の防止及び当該者の医療のために医師が必要と認める事項	
14 診断（検案(※)）年月日	平成 年 月 日		
15 感染したと推定される年月日	平成 年 月 日		
16 発病年月日 (*)	平成 年 月 日		
17 死亡年月日 (※)	平成 年 月 日		

この届出は診断後直ちに行ってください

(1, 3, 11, 12, 18 欄は該当する番号等を○で囲み、4, 5, 13 から 17 欄は年齢、年月日を記入すること。
 (※) 欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。(*) 欄は、患者（確定例）を診断した場合のみ記入すること。
 11, 12 欄は、該当するものすべてを記載すること。)

診断した医師の方へのお願い

感染症法第 15 条により、積極的疫学調査を実施致します（この場合、医師の守秘義務は解除されます）。しかし、迅速な感染拡大防止のため、保健所の調査前であっても、患者（又は保護者）の同意が得られた場合には、下記及び裏面調査票により情報提供をお願い致します。

ア. 集団生活：無、有（園児・小・中・高・大・その他の学生、施設入所者、その他（ ））	
イ. 集団に接する職業：無、有（保育士、教師、施設職員、医療従事者、その他（ ））	
ウ. 集団に接する機会：無、有（施設での実習、ボランティア活動、その他（ ））	
エ. 直近 30 日以内の海外滞在歴：無、有（国名： ）	
オ. 日本国内での滞在期間：長期滞在、一時滞在（帰国予定 年 月 日）	

保健所への裏面調査票記載の情報提供に関する患者（あるいは保護者）の同意 (有・無)

感染症発生動向調査事業報告書
平成 30 年（2018 年）

令和元年 7 月

登録番号 (31) 3

編集・発行 東京都健康安全研究センター
〒169-0073 東京都新宿区百人町 3-24-1
電 話 (03) 3363-3231
印刷所 有限会社 雄久社
〒154-0017 東京都世田谷区世田谷 1-24-7
電 話 (03) 5451-7030

